

平成 24 年度  
大学院課程教育修了時  
アンケート集計結果

平成 25 年 10 月  
教育・国際室

# 目次

● 教育評価委員会委員長からのコメント.....	1
● アンケート集計結果<全学共通項目>.....	7
● アンケート集計結果<全学共通項目>(博士課程前期).....	10
● 総合科学研究科	
・研究科総評.....	13
・アンケート集計結果(博士課程前期) .....	14
● 文学研究科	
・研究科総評.....	27
・アンケート集計結果(博士課程前期) .....	28
● 教育学研究科	
・研究科総評.....	39
・アンケート集計結果(博士課程前期) .....	40
● 社会科学研究科	
・研究科総評.....	52
・アンケート集計結果(博士課程前期法政システム学専攻) .....	55
・アンケート集計結果(博士課程前期社会経済システム学専攻) .....	67
・アンケート集計結果(博士課程前期マネジメント専攻) .....	79
● 理学研究科	
・研究科総評.....	90
・アンケート集計結果(博士課程前期) .....	91
● 先端物質科学研究科	
・研究科総評.....	127
・アンケート集計結果(博士課程前期) .....	128

● 医歯薬保健学研究科	
・研究科総評.....	134
・アンケート集計結果(博士課程前期医歯科学専攻) .....	135
・アンケート集計結果(博士課程前期口腔健康科学専攻) .....	144
・アンケート集計結果(博士課程前期薬科学専攻) .....	153
・アンケート集計結果(博士課程前期保健学専攻) .....	162
● 工学研究科	
・研究科総評.....	171
・アンケート集計結果(博士課程前期) .....	172
● 生物圏科学研究科	
・研究科総評.....	185
・アンケート集計結果(博士課程前期) .....	186
● 国際協力研究科	
・研究科総評.....	193
・アンケート集計結果(博士課程前期) .....	195
● 法務研究科	
・研究科総評.....	202
・アンケート集計結果.....	205
● アンケート集計結果<全学共通項目> (博士課程後期).....	215

## 平成 24 年度大学院課程教育修了時アンケートの総評

教育・国際室教育評価委員会委員長 岩永 誠

大学院課程教育修了時アンケート（以下、「修了時アンケート」）を実施するにあたり

修了時アンケートは、平成 21 年度から実施されてきた「卒業・修了予定者によるフィードバック調査」のうち、大学院課程教育修了者（以下、「修了者」）を対象として実施してきたものを独立させ、項目を各研究科の独自項目に変更して実施するものである。大学院課程教育（以下、「大学院教育」）の成果を修了者に自己評価してもらうとともに、大学に対する要望等を聴くことは、大学院教育の PDCA サイクルの一つとして改善や質保証を行うために重要である。これまで 3 回実施されてきた「卒業・修了予定者によるフィードバック調査」は、全学共通のアンケート項目を用いて、Web での実施という形で行ってきた。しかし、アンケートの回収率が低い上に、各研究科の独自の試みやその教育成果を評価する項目を設けていなかったため、評価に活用できないという問題を抱えていた。

修了予定者を対象としたアンケートが研究科の自己点検・評価のエビデンスに使えるものにすべきであることを教育評価委員会において決定し、平成 24 年度修了予定者からの実施に備え、アンケート項目例や実施方法等の検討を進めてきた。その結果、各研究科の実態や独自性、その成果を問えるアンケート項目にすること、回収率を上げるために Web だけでなく紙媒体での実施を可能とすること等の改善を行い、大学として「修了時アンケート」を実施することになった。このことにより、各研究科が実施している特徴ある教育の成果を検証することが可能になり、大学院教育の質保証、学生支援の充実・改善に活用できる基礎データを収集することができるようになった。

博士課程前期、修士課程、専門職学位課程及び博士課程（以下、「博士課程前期」）においては、各研究科で独自のアンケート項目を作成し、教育成果の評価を問うこととし、その結果は「大学院博士課程前期（修士課程）及び専門職学位課程における自己点検とその改善に関する年次報告書」のエビデンスとして活用できるようにした。博士課程後期については、博士課程前期の項目を参考として項目を作成することとした。学生生活に関しては、全学共通項目とし、博士課程前期と後期を通して回答を求めた。なお、学生生活については、全学で集計し、個別の教育成果に関する項目は各研究科で集計することとした。ただし、博士課程後期は回答数が少なく、研究科によっては個人が特定される可能性があるために、学生生活の項目（全学共通項目）（以下、「学生生活」）のみの集計を公表することとした。

今回の修了時アンケートは、項目を見直した初年度の実施である。本アンケートの項目を作成した各研究科の担当者及び実施、取りまとめの協力をしていただいた関係者の方々に深く感謝申し上げます。本アンケートが今後継続して実施され、大学院教育の質向上や学生支援の充実につながることを切に願っている。

学生生活の全学集計について

6 ページの「別紙」に平成 24, 23, 22 年度の回答率を掲載している。今年度は、アンケート対象者 1,339 人（博士課程前期：1,163 人，博士課程後期：176 人）のうち，909 人の回答が得られ，回答率は 67.9%であった。これは，平成 23 年度の回答率 27.6%（アンケート対象者 1,277 人のうち 352 人から回答），平成 22 年度の回答率 42.8%（アンケート対象者 1,249 人のうち 534 人から回答）と比べ，大きく上昇した。平成 24 年度から，部局によっては紙媒体での回答も可能とした。実施方法で比較すると，紙媒体の回答率は 80.4%（対象者 837 人のうち 673 人回答），Web の回答率は 45.7%（対象者 442 人のうち 202 人回答）という結果となり，当初想定したように紙媒体で実施することが全体の回答率を上げる要因となったことは間違いない。その他の要因として，研究科が独自でアンケート項目を作成したことで，研究科が実施から回収まで主体的に取り組んだことや，論文の提出に併せてアンケートの解答用紙を提出させたことなどの理由が挙げられるであろう。

今回の分析は，平成 24 年度のみを対象とした。平成 22, 23 年度は，博士課程前期・後期で分けて集計していない上，回答を 4 件法で行っていたため，5 件法で実施した 24 年度との直接比較はできないからである。なお，学生生活に関しては，広島大学として問題を把握し，対応していかなければならない事項であるため，全研究科を取りまとめて集計することとした。

7～9 ページに，博士課程前期と後期を通しての学生生活の集計を示した。これには，施設を利用したことがないという回答も含まれているため，その回答を除いた結果を表 1 に示した。利用していない割合が高かったのは，課外活動施設（42%），学生プラザの学生支援部門（32%），保健管理センター（26%），授業以外での大学側のサポート（24%）であった。大学院学生が利用しない施設・設備の多いことが分かる。

「大変満足できた」「概ね満足できた」と答えた割合は，1～7 のすべての質問項目で 50% を超えており，特に質問 4（図書館；78%），質問 1（所属研究科の学生支援室；74%），質問 3（保健管理センター；70%）は高くなっている。それに対して，「不満」「やや不満」の割合が高かったのは，質問 4（福利厚生施設；17%）や質問 6（課外活動施設；17%）であった。

以上のように，大学院学生は学生生活におおかた満足しているようである。しかし，食堂や売店と行った福利厚生施設やグラウンドや体育館という課外活動施設への不満がやや高いようである。特に福利厚生施設は，大学院生が頻繁に利用する施設である（利用なしは 3%にすぎない）ことから，大学として不満を減らし満足度を高めるような取り組みを今後とも行っていく必要がある。

表1 「利用なし」を除いた集計結果（博士課程前期・後期の合計）

	大変満足 できた	概ね満足 できた	どちらでも ない	やや不満	不満	合計
1	279	299	106	64	30	778
	36%	38%	14%	8%	4%	
2	149	209	112	31	56	557
	27%	38%	20%	6%	10%	
3	162	258	112	21	47	600
	27%	43%	19%	4%	8%	
4	236	336	119	18	27	736
	32%	46%	16%	2%	4%	
5	188	327	147	95	37	794
	24%	41%	19%	12%	5%	
6	113	166	116	36	45	476
	24%	35%	24%	8%	9%	
7	115	239	182	50	46	632
	18%	38%	29%	8%	7%	

- 1: 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス
- 2: 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス
- 3: 保健管理センターでの対応とケア
- 4: 図書館での対応やサービス
- 5: 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス
- 6: 課外活動施設(グラウンドや体育館, テニスコート等)の施設や設備
- 7: 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス

## 学生生活の博士課程前期の集計について

学生生活について、博士課程前期のみを集計した結果は、6ページの「別紙」に示したとおりである。回答者は777名で、回答率は66.8%であった。「利用なし」の割合が高い項目もあるため、「利用なし」を除いた集計を表2に示す。「利用なし」の割合が高いのは、質問6（課外活動施設；38%）、質問2（学生プラザの学生支援部門；30%）であった。

「大変満足できた」「概ね満足できた」と答えた割合は、1～7のすべての質問項目で50%を超えており、特に質問4（図書館；77%）、質問1（所属研究科の学生支援室；73%）、質問3（保健管理センター；72%）で高くなっている。それに対して、「不満」「やや不満」の割合が高かったのは、質問2（学生プラザの学生支援部門；17%）や質問6（課外活動施設；17%）、質問5（福利厚生施設；16%）、質問7（授業以外での大学のサポート；16%）であった。

学生が頻繁に利用する図書館や所属研究科の学生支援室での満足度が高く、さほど利用していない課外活動施設や学生プラザの学生支援部門での不満度が高くなっていた。利用頻度が低いために、いざ利用したときの不満が印象に残っている可能性がある。しかし、福利厚生施設については、利用頻度も高いものの不満度が高かった。満足（65%）と比べると不満（16%）を訴える割合は低いとはいえ、今後改善に向けての検討が必要であろう。

表2 「利用なし」をのぞいた集計結果（博士課程前期のみ）

	大変満足 できた	概ね満足 できた	どちらでも ない	やや不満	不満	合計
1	227 34%	260 39%	88 13%	59 9%	29 4%	663
2	130 27%	184 38%	94 19%	27 6%	55 11%	490
3	143 28%	228 44%	88 17%	15 3%	44 8%	518
4	204 32%	283 45%	99 16%	18 3%	24 4%	628
5	166 25%	274 40%	124 18%	84 12%	29 4%	677
6	103 24%	153 36%	98 23%	32 7%	43 10%	429
7	99 18%	207 38%	149 27%	44 8%	45 8%	544

- 1: 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス
- 2: 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス
- 3: 保健管理センターでの対応とケア
- 4: 図書館での対応やサービス
- 5: 福利厚生施設（食堂や売店等）の施設や設備とサービス
- 6: 課外活動施設（グラウンドや体育館、テニスコート等）の施設や設備
- 7: 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス

### 学生生活の博士課程後期の集計について

学生生活について、博士課程後期のみを集計結果は215～217ページに示したとおりである。回答者は132名で、回答率は75.0%であった。「利用なし」の割合が高い項目もあるため、「利用なし」を除いた集計を表3に示す。「利用なし」の割合が高いのは、質問6（課外活動施設；63%）、質問2（学生プラザの学生支援部門；48%）、質問3（保健管理センター；36%）、質問7（授業以外の大学のサポート；32%）であった。博士課程前期と比べて、利用しない施設が多くかつその率が高くなっている。

「利用なし」を除いた集計の結果、「大変満足できた」「概ね満足できた」と回答した割合は、質問6（課外活動施設）で低く49%であったが、それ以外の質問項目では50%を超えている。特に、質問1（所属研究科の学生支援室；79%）と質問4（図書館；79%）で高くなっている。それに対して、「不満」「やや不満」の割合が高かったのは、質問5（福利厚生施設；16%）、質問6（課外活動施設；13%）、質問3（保健管理センター；11%）であった。

学生が頻繁に利用する図書館や所属研究科の学生支援室での満足度が高く、さほど利用していない課外活動施設での不満度が高くなっていた。しかし福利厚生施設については、利用頻度が高くても、不満の程度は相対的に高い。満足の割合も64%とはいえ、頻繁に利用する施設であることから、不満を減らす努力は必要であろう。

表3 「利用なし」をのぞいた集計結果（博士課程後期のみ）

	大変満足 できた	概ね満足 できた	どちらでも ない	やや不満	不満	合計
1	52 45%	39 34%	18 16%	5 4%	1 1%	115
2	19 28%	25 37%	18 27%	4 6%	1 1%	67
3	19 23%	30 37%	24 29%	6 7%	3 4%	82
4	32 30%	53 49%	20 19%	0 0%	3 3%	108
5	22 19%	53 45%	23 20%	11 9%	8 7%	117
6	10 21%	13 28%	18 38%	4 9%	2 4%	47
7	16 18%	32 36%	33 38%	6 7%	1 1%	88

- 1: 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス
- 2: 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス
- 3: 保健管理センターでの対応とケア
- 4: 図書館での対応やサービス
- 5: 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス
- 6: 課外活動施設(グラウンドや体育館, テニスコート等)の施設や設備
- 7: 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス



## 2012年度(H24年度)

研究科名	対象者数 (人)	回答者数 (人)	回答率 (%)
全研究科(前期、後期含む)	1,339	909	67.9
博士課程前期、修士、専門職	1,163	777	66.8
総合科学研究科	53	42	79.2
文学研究科	35	35	100.0
教育学研究科	172	134	77.9
社会科学研究科	59	33	55.9
└法政システム学専攻	25	9	36.0
└社会経済システム学専攻	20	11	55.0
└マネジメント専攻	14	13	92.9
理学研究科	140	140	100.0
先端物質科学研究科	86	37	43.0
医歯薬保健学研究科	78	57	73.1
工学研究科	322	150	46.6
生物圏科学研究科	64	52	81.3
国際協力研究科	46	22	47.8
法務研究科	49	42	85.7
博士課程後期	176	132	75.0
総合科学研究科	13	10	76.9
文学研究科	6	5	83.3
教育学研究科	25	14	56.0
社会科学研究科	1	1	100.0
└法政システム学専攻	—	—	—
└社会経済システム学専攻	—	—	—
└マネジメント専攻	1	1	100.0
理学研究科	16	16	100.0
先端物質科学研究科	9	6	66.7
医歯薬保健学研究科	48	43	89.6
工学研究科	30	19	63.3
生物圏科学研究科	17	13	76.5
国際協力研究科	10	4	40.0

## 2011年度(H23年度)

研究科名	対象者数 (人)	回答者数 (人)	回答率 (%)
全研究科	1,277	352	27.6
総合科学研究科	68	13	19.1
文学研究科	50	18	36.0
教育学研究科	193	49	25.4
社会科学研究科	64	17	26.6
理学研究科	147	30	20.4
先端物質科学研究科	103	49	47.6
医歯薬学総合研究科	66	15	22.7
保健学研究科	39	8	20.5
工学研究科	336	93	27.7
生物圏科学研究科	96	20	20.8
国際協力研究科	54	36	66.7
法務研究科	61	4	6.6

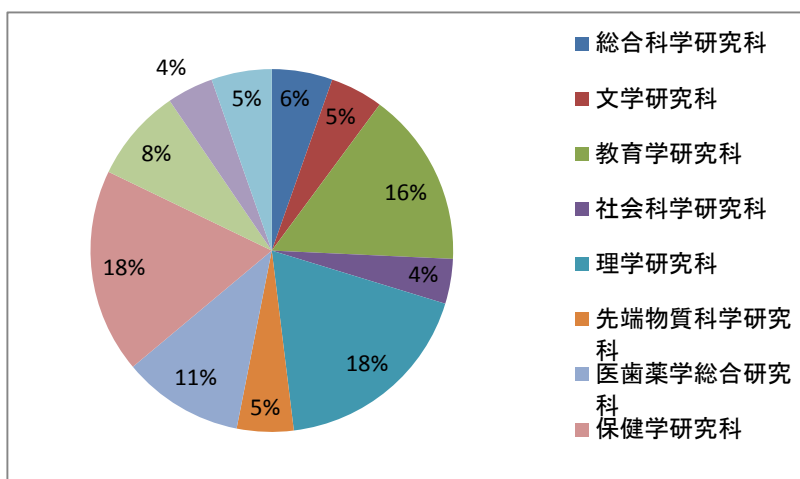
## 2010年度(H22年度)

研究科名	対象者数 (人)	回答者数 (人)	回答率 (%)
全研究科	1,249	534	42.8
総合科学研究科	51	24	47.1
文学研究科	68	28	41.2
教育学研究科	186	78	41.9
社会科学研究科	71	17	23.9
理学研究科	150	54	36.0
先端物質科学研究科	95	56	58.9
医歯薬学総合研究科	89	28	31.5
保健学研究科	39	13	33.3
工学研究科	316	170	53.8
生物圏科学研究科	79	35	44.3
国際協力研究科	51	19	37.3
法務研究科	54	12	22.2

## 平成24年度大学院課程教育修了時アンケート集計結果<全学共通項目>

### ○所属研究科

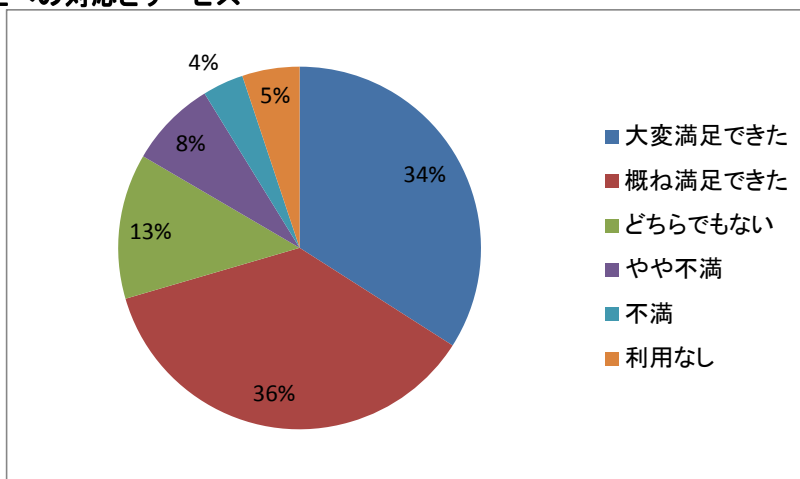
総合科学研究科	46
文学研究科	40
教育学研究科	133
社会科学研究科	34
理学研究科	156
先端物質科学研究科	43
医歯薬学総合研究科	92
保健学研究科	155
工学研究科	71
生物圏科学研究科	35
国際協力研究科	46



### ○在学中の学生生活に関する満足度について

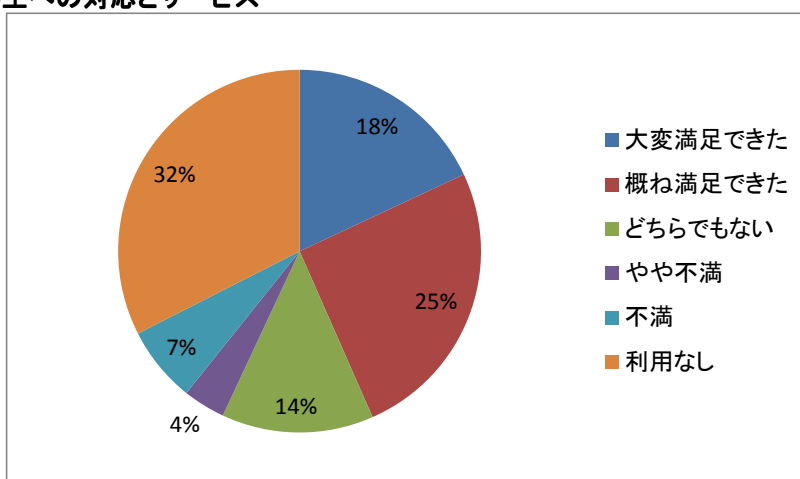
#### 1. 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

大変満足できた	279
概ね満足できた	299
どちらでもない	106
やや不満	64
不満	30
利用なし	42



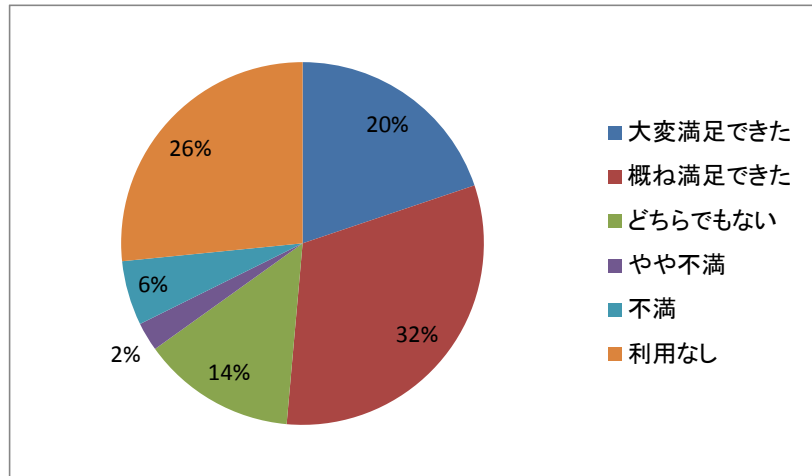
#### 2. 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

大変満足できた	149
概ね満足できた	209
どちらでもない	112
やや不満	31
不満	56
利用なし	268



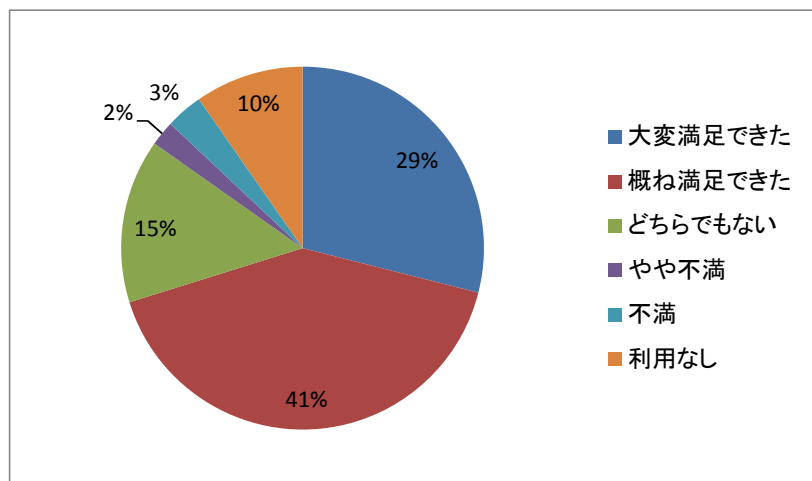
### 3. 保健管理センターでの対応とケア

大変満足できた	162
概ね満足できた	258
どちらでもない	112
やや不満	21
不満	47
利用なし	217



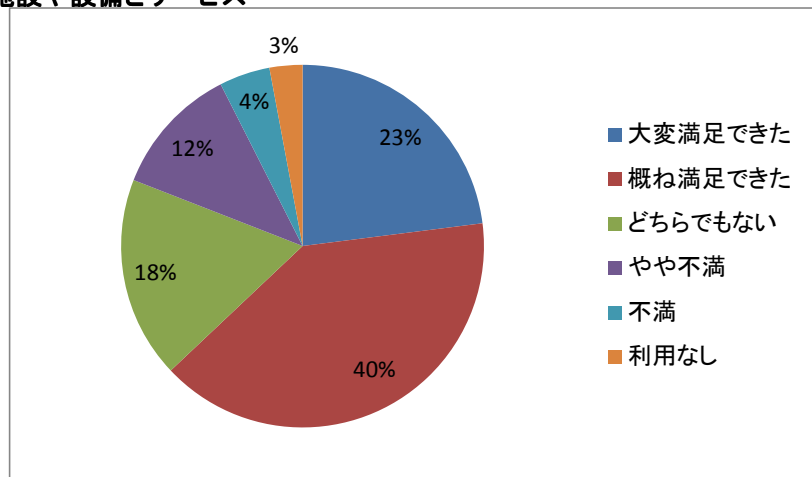
### 4. 図書館での対応やサービス

大変満足できた	236
概ね満足できた	336
どちらでもない	119
やや不満	18
不満	27
利用なし	79



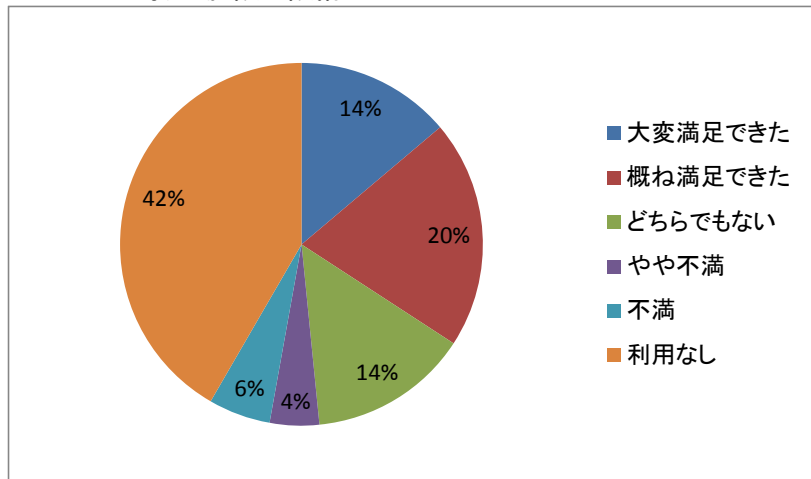
### 5. 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

大変満足できた	188
概ね満足できた	327
どちらでもない	147
やや不満	95
不満	37
利用なし	24



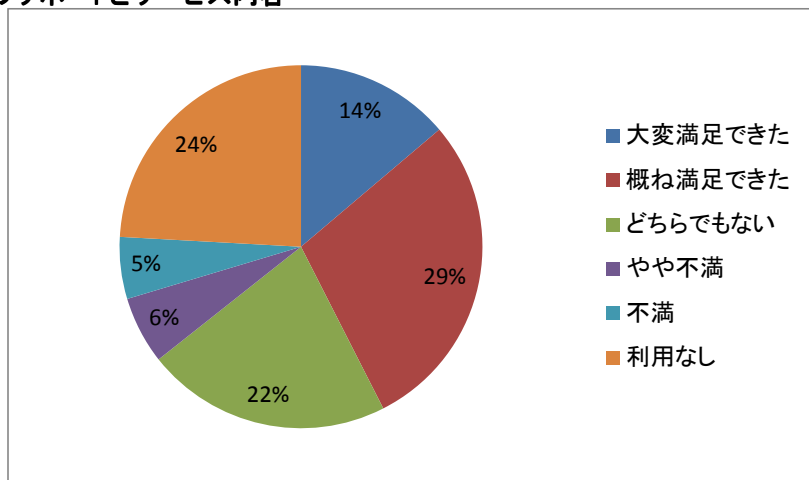
### 6. 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

大変満足できた	113
概ね満足できた	166
どちらでもない	116
やや不満	36
不満	45
利用なし	340



### 7. 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

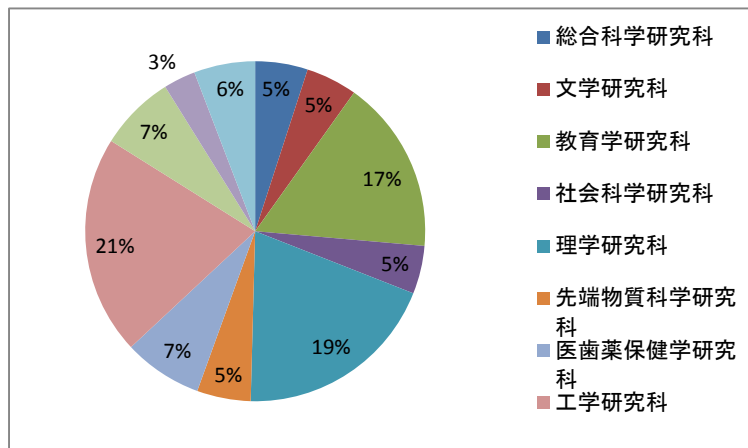
大変満足できた	115
概ね満足できた	239
どちらでもない	182
やや不満	50
不満	46
利用なし	201



# 平成24年度大学院課程教育修了時アンケート集計結果<全学共通項目>(博士課程前期)

## ○所属研究科

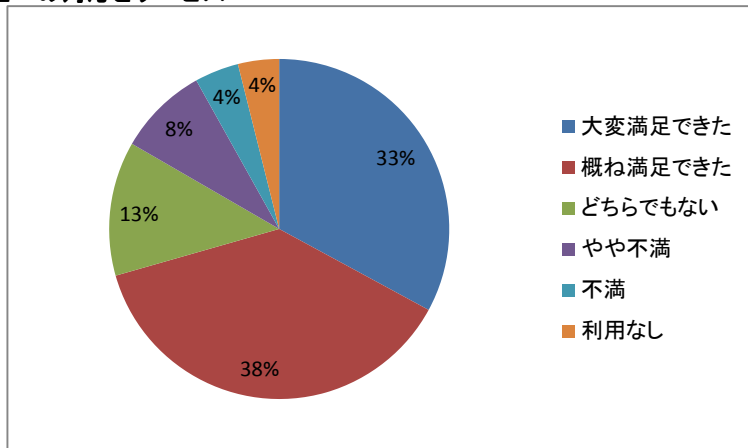
総合科学研究科	36
文学研究科	35
教育学研究科	119
社会科学研究科	33
理学研究科	140
先端物質科学研究科	37
医歯薬保健学研究科	54
工学研究科	150
生物圏科学研究科	52
国際協力研究科	22
法務研究科	42



## ○在学中の学生生活に関する満足度について

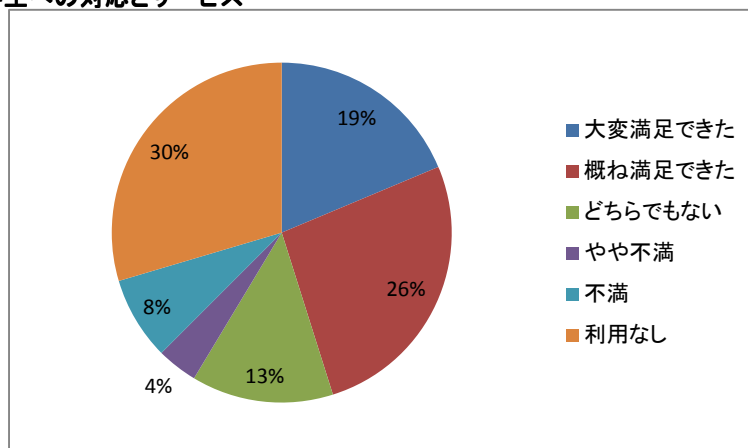
### 1. 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

大変満足できた	227
概ね満足できた	260
どちらでもない	88
やや不満	59
不満	29
利用なし	27



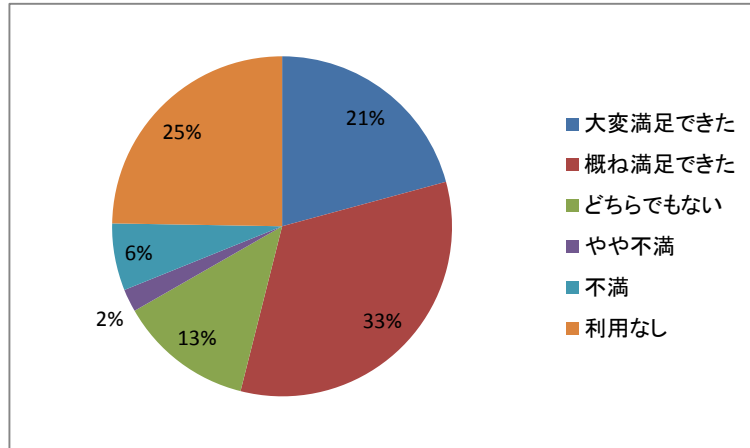
### 2. 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

大変満足できた	130
概ね満足できた	184
どちらでもない	94
やや不満	27
不満	55
利用なし	206



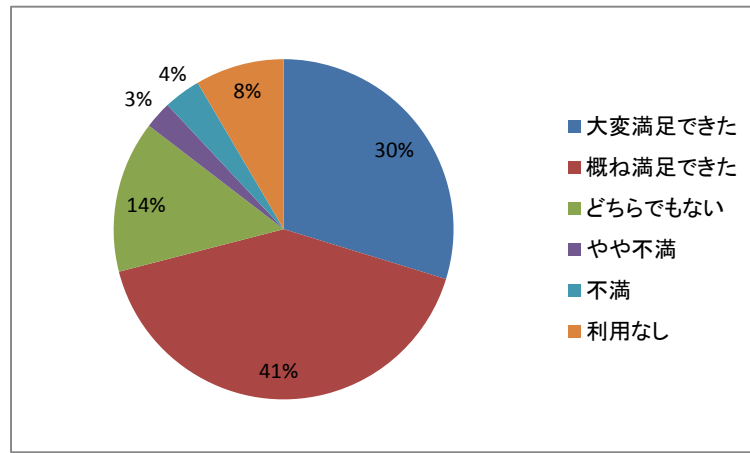
### 3. 保健管理センターでの対応とケア

大変満足できた	143
概ね満足できた	228
どちらでもない	88
やや不満	15
不満	44
利用なし	170



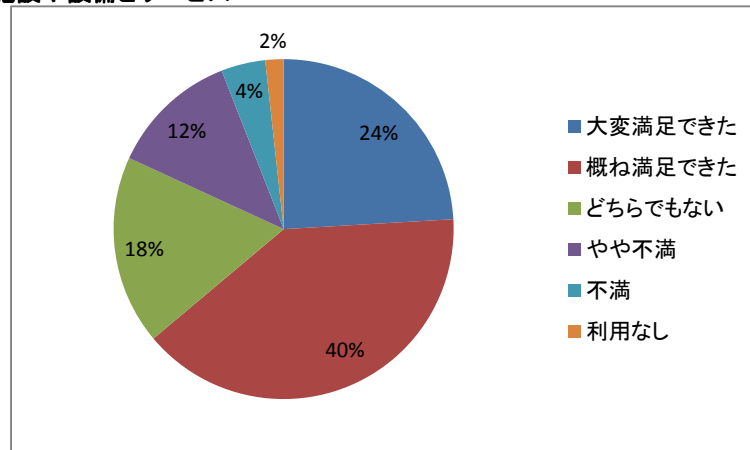
### 4. 図書館での対応やサービス

大変満足できた	204
概ね満足できた	283
どちらでもない	99
やや不満	18
不満	24
利用なし	58



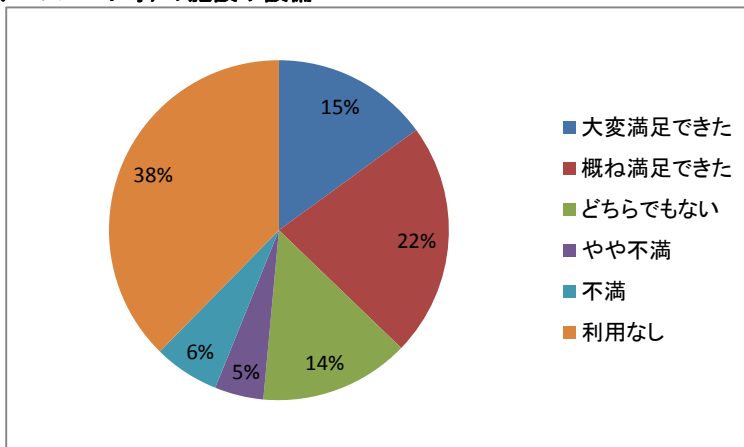
### 5. 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

大変満足できた	166
概ね満足できた	274
どちらでもない	124
やや不満	84
不満	29
利用なし	12



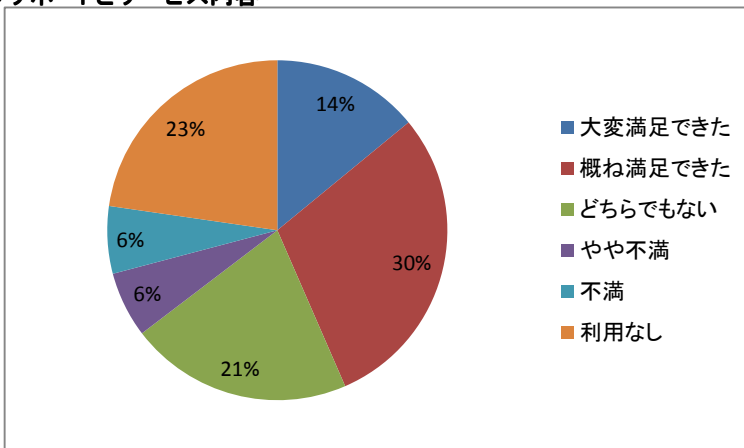
6. 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

大変満足できた	103
概ね満足できた	153
どちらでもない	98
やや不満	32
不満	43
利用なし	259



7. 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

大変満足できた	99
概ね満足できた	207
どちらでもない	149
やや不満	44
不満	45
利用なし	160



## 研究科総評

### 研究科：総合科学研究科

#### 1. 集計結果のまとめ

本研究科では大学院修了時アンケートを紙媒体で実施し、回答率については、博士課程前期が対象学生数53名に対して42名の回答があり回答率は79%、また、博士課程後期は対象学生数13名に対して10名の回答があり回答率は77%であった。どちらも全学の平均回答率（博士課程前期：67%、博士課程後期：75%）よりも高い結果となった。これは、教授会等において指導教員に周知するとともに、学生が学生支援担当事務に論文の提出をする際にアンケートを配付し、提出（回収）期限について担当事務から学生に対して周知徹底できたことが主な理由と考えられる。

また、今回の集計結果のうち、特に研究科の取り組みが反映されたものと考えられる主な設問（ややあてはまる、あてはまるに回答した者が8割以上）を以下に記載する。

##### <博士課程前期>

- ・設問2については、大学院での授業内容及び特別研究（修士論文）の指導の充実、教育に係る設備及び備品等の充実。
- ・設問4については、大学院での教育と研究の成果として、論理的思考力の向上、専門分野の知識と技能の習得、課題探究能力及び問題解決能力の向上。

##### <博士課程後期>

- ・設問3については、大学院での研究の成果として、論理的思考力の向上、課題探究能力及び問題解決能力の向上、学会等での発表及び論文発表への助言と指導、経済的支援。
- ・設問5については、教員及び事務系職員との良好な関係。

以上のことから、本アンケートの実施目的である学生支援の充実・改善については、相応の成果が上がっているものとする。

#### 2. 次年度に向けた対応

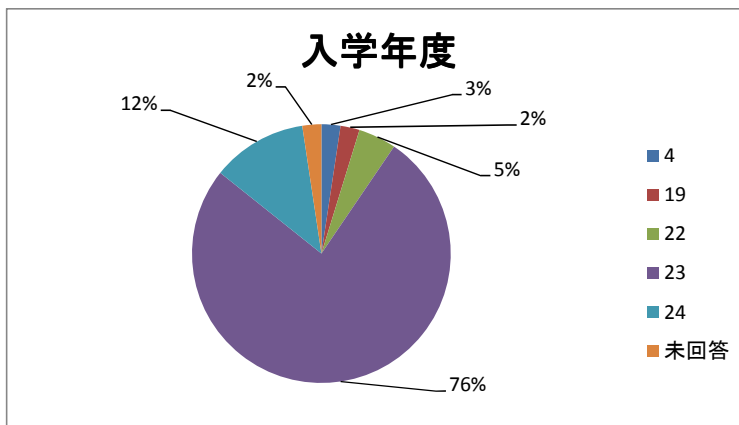
今回のアンケート結果では、上記1の肯定的な回答が多かった設問に対して、一方で否定的な回答（あてはまらない、ややあてはまらないに回答した者が5割）が多かった設問が1問あり（設問3「外国語運用能力の向上」）、次年度に向けた対応として、研究科長室会議及び教務委員会等において検討していきたい。

また、その他の設問内容に対しても更なる充実・改善に努めていきたい。



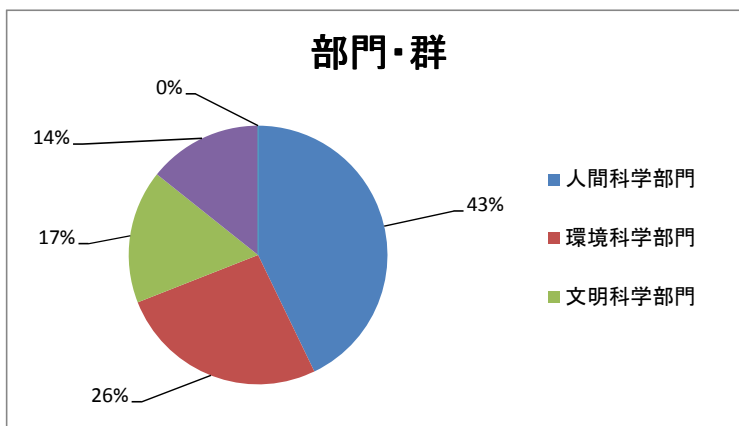
入学年度

入学年度	入学年度集計
4	1
19	1
22	2
23	32
24	5
未回答	1



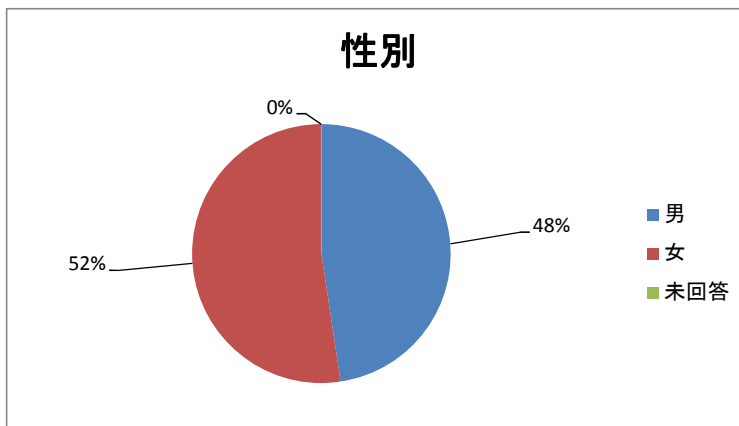
部門・群

選択肢	回答
人間科学部門	18
環境科学部門	11
文明科学部門	7
21世紀プロジェクト群	6
未回答	0



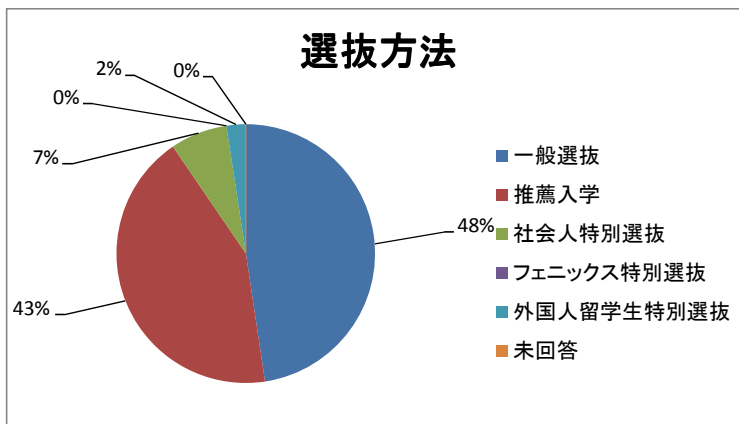
性別

選択肢	回答
男	20
女	22
未回答	0



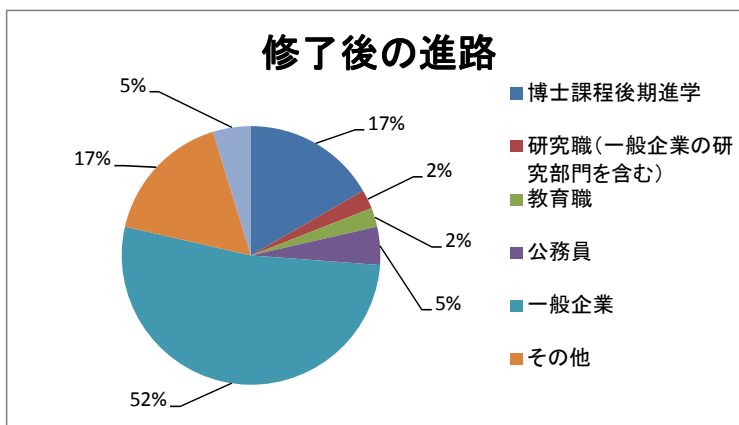
選抜方法

選択肢	回答
一般選抜	20
推薦入学	18
社会人特別選抜	3
フェニックス特別選抜	0
外国人留学生特別選抜	1
未回答	0



### 修了後の進路

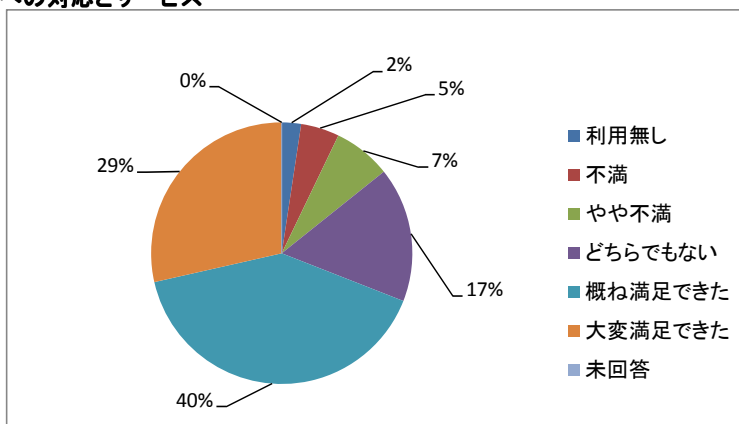
選択肢	回答
博士課程後期進学	7
研究職(一般企業の研究部門を含む)	1
教育職	1
公務員	2
一般企業	22
その他	7
未回答	2



問1 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

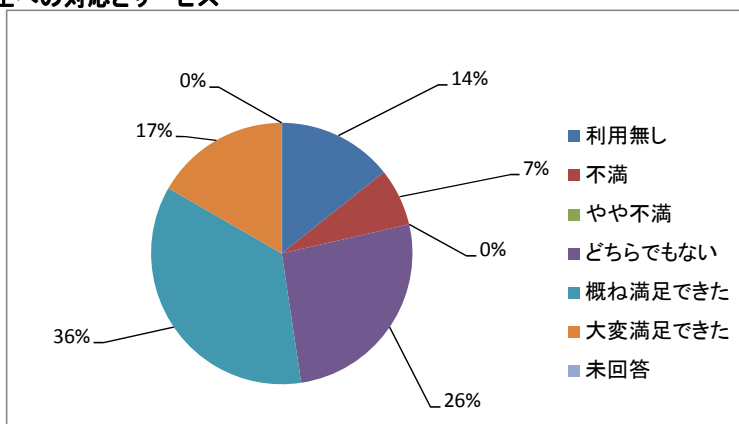
#### 1-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用無し	1
不満	2
やや不満	3
どちらでもない	7
概ね満足できた	17
大変満足できた	12
未回答	0



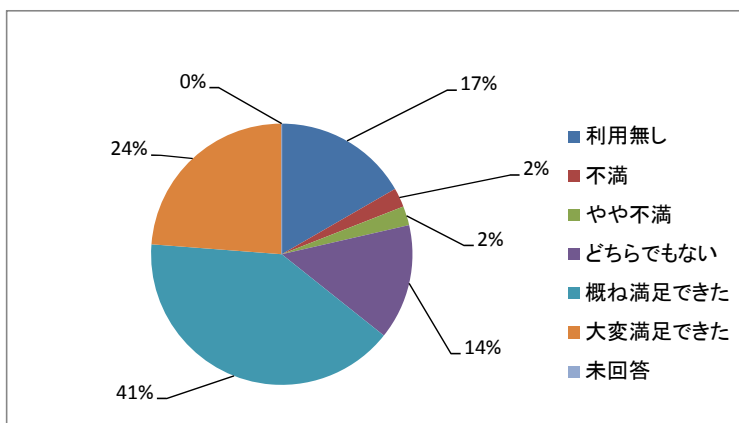
#### 1-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用無し	6
不満	3
やや不満	0
どちらでもない	11
概ね満足できた	15
大変満足できた	7
未回答	0



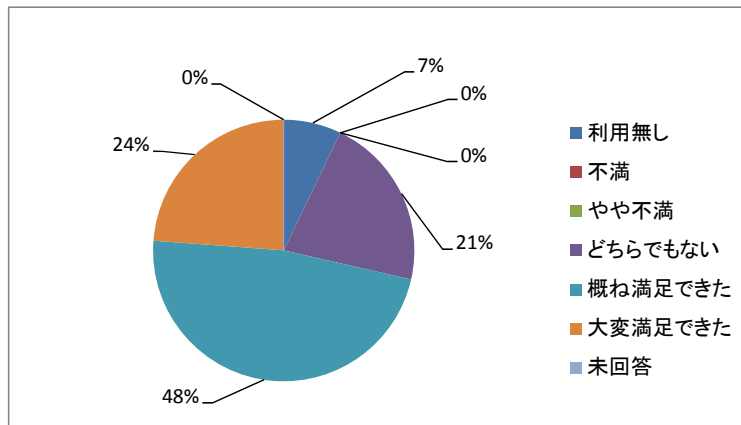
#### 1-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用無し	7
不満	1
やや不満	1
どちらでもない	6
概ね満足できた	17
大変満足できた	10
未回答	0



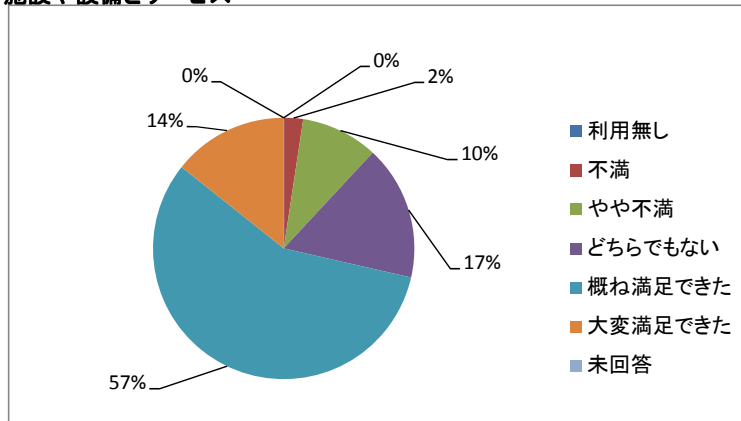
1-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用無し	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	9
概ね満足できた	20
大変満足できた	10
未回答	0



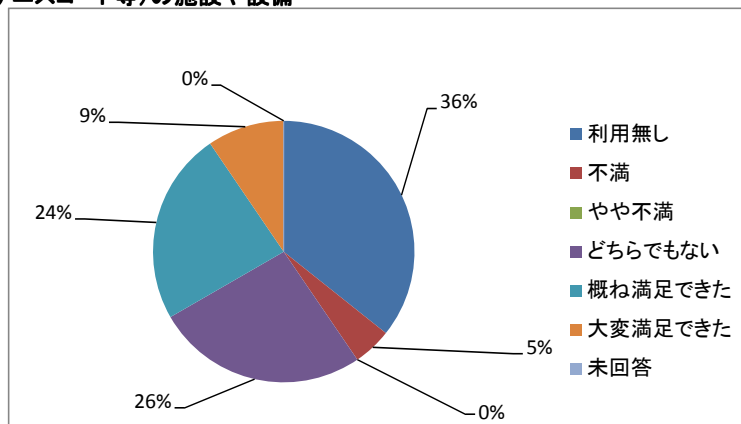
1-5 福利厚生施設や(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用無し	0
不満	1
やや不満	4
どちらでもない	7
概ね満足できた	24
大変満足できた	6
未回答	0



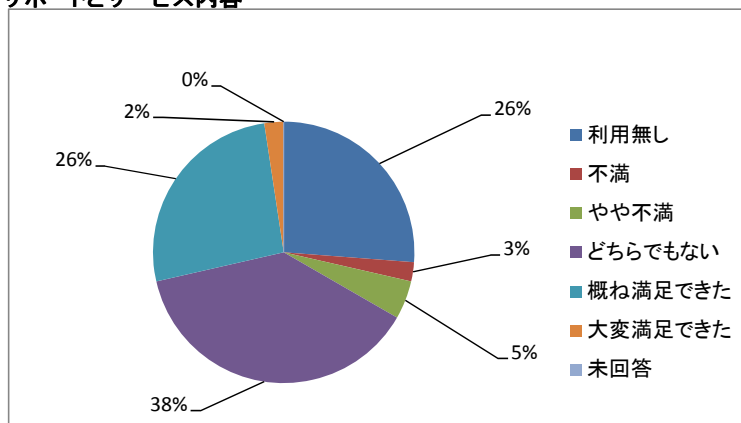
1-6 課外活動施設(グラウンドや体育館, テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用無し	15
不満	2
やや不満	0
どちらでもない	11
概ね満足できた	10
大変満足できた	4
未回答	0



1-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

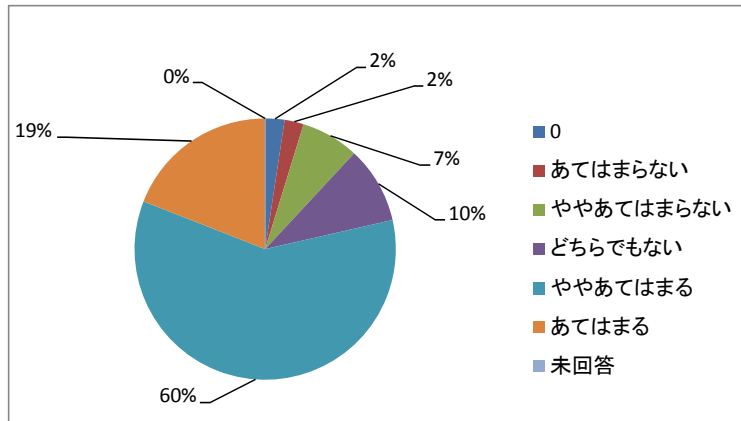
選択肢	回答
利用無し	11
不満	1
やや不満	2
どちらでもない	16
概ね満足できた	11
大変満足できた	1
未回答	0



問2 大学院で受けた教育についてお尋ねします。

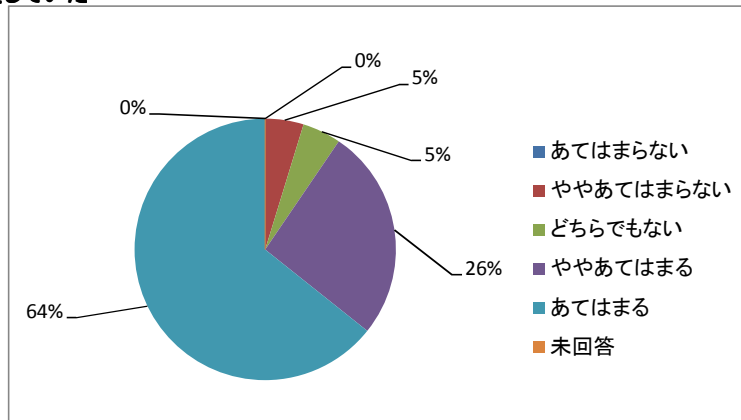
2-1 授業内容は充実していた

選択肢	回答
0	1
あてはまらない	1
ややあてはまらない	3
どちらでもない	4
ややあてはまる	25
あてはまる	8
未回答	0



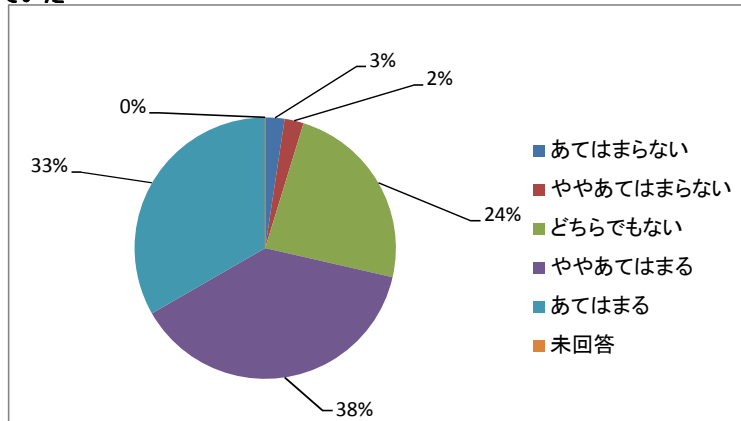
2-2 特別研究(修士論文)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	2
どちらでもない	2
ややあてはまる	11
あてはまる	27
未回答	0



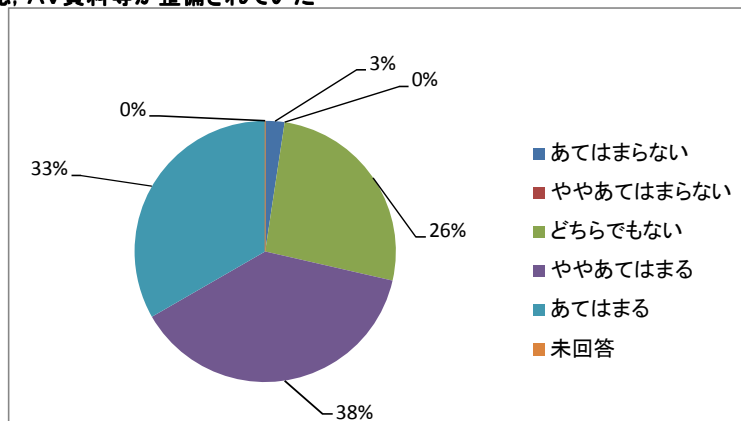
2-3 研究・教育に必要なICT環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	1
どちらでもない	10
ややあてはまる	16
あてはまる	14
未回答	0



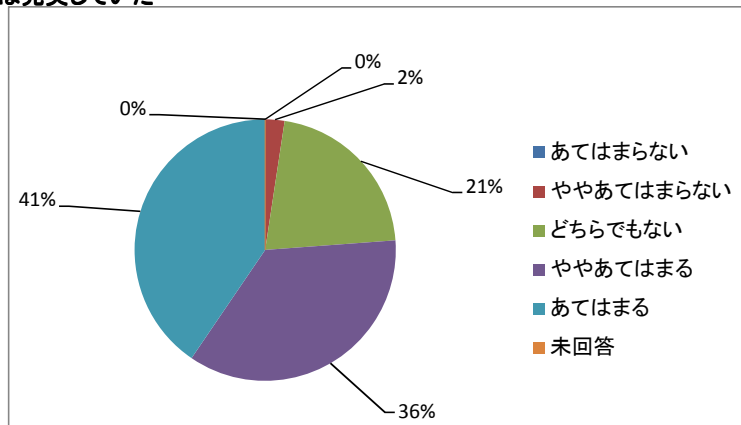
2-4 研究・教育に必要な図書や学術雑誌, AV資料等が整備されていた

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	0
どちらでもない	11
ややあてはまる	16
あてはまる	14
未回答	0



2-5 全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた

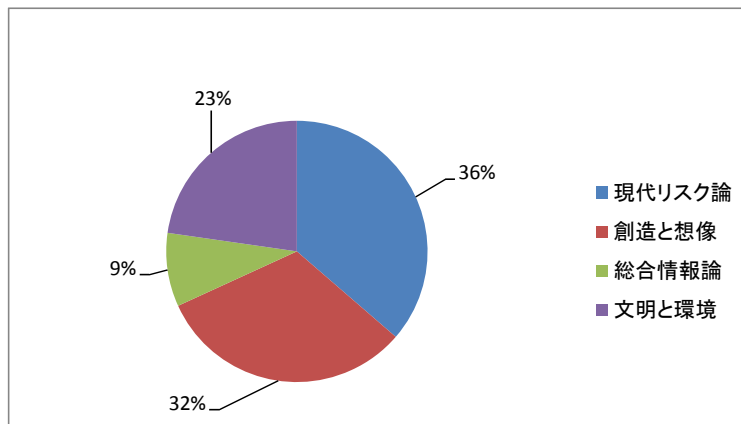
選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	9
ややあてはまる	15
あてはまる	17
未回答	0



問3 コア科目についてお尋ねします

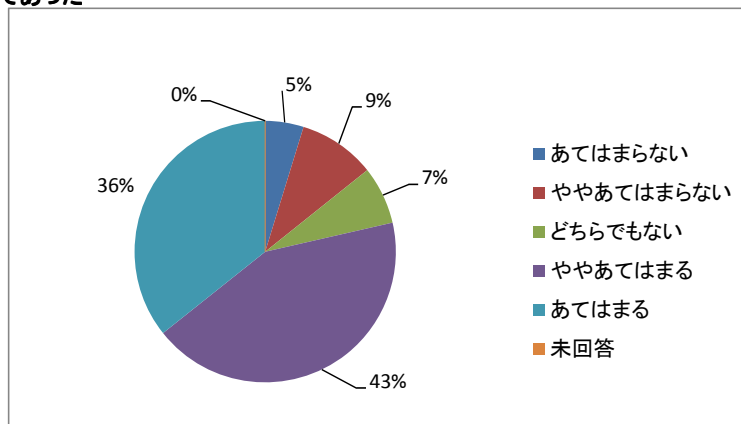
3-1 選択したコア科目名(複数選択可)

選択肢	3-1集計
現代リスク論	16
創造と想像	14
総合情報論	4
文明と環境	10



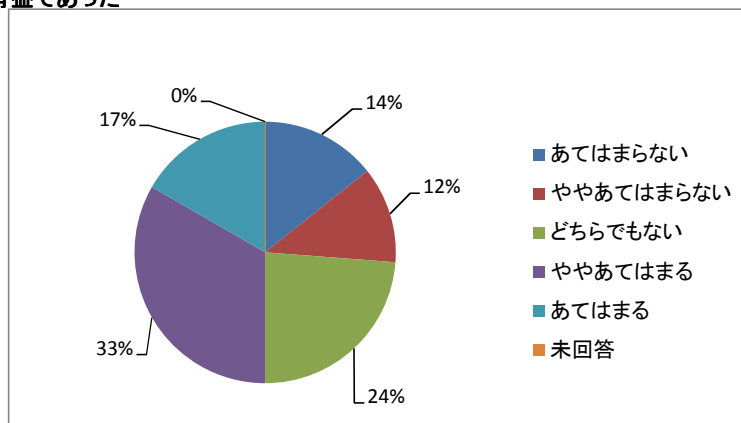
3-2 異分野の大学院生との交流が有益であった

選択肢	回答
あてはまらない	2
ややあてはまらない	4
どちらでもない	3
ややあてはまる	18
あてはまる	15
未回答	0



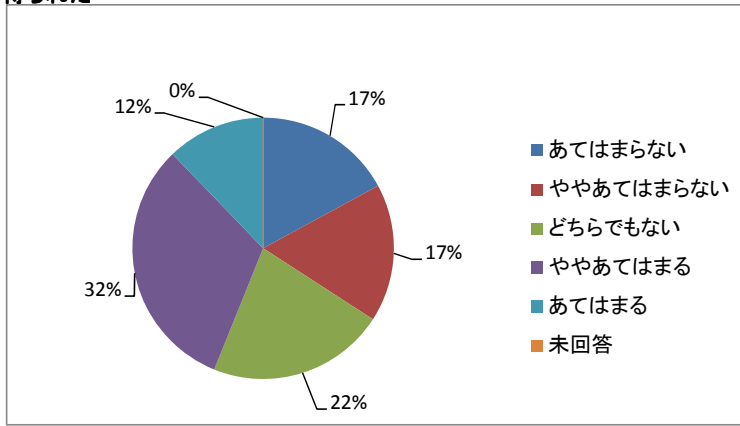
3-3 総合科学的手法を学ぶ授業として有益であった

選択肢	回答
あてはまらない	6
ややあてはまらない	5
どちらでもない	10
ややあてはまる	14
あてはまる	7
未回答	0



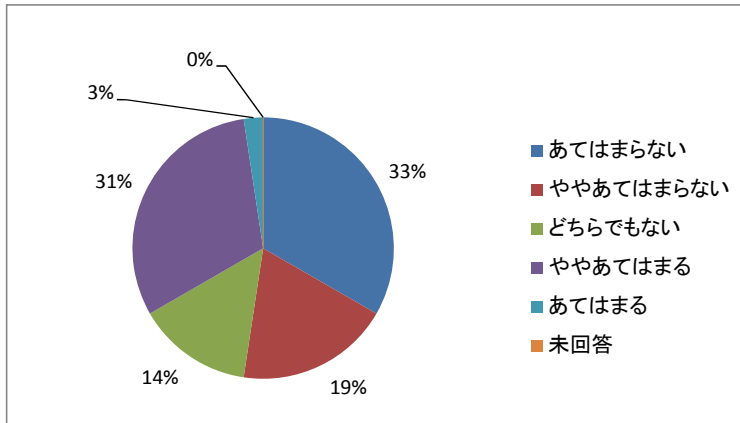
3-4 文系・理系にわたって幅広い知識が得られた

選択肢	回答
あてはまらない	7
ややあてはまらない	7
どちらでもない	9
ややあてはまる	13
あてはまる	5
未回答	0



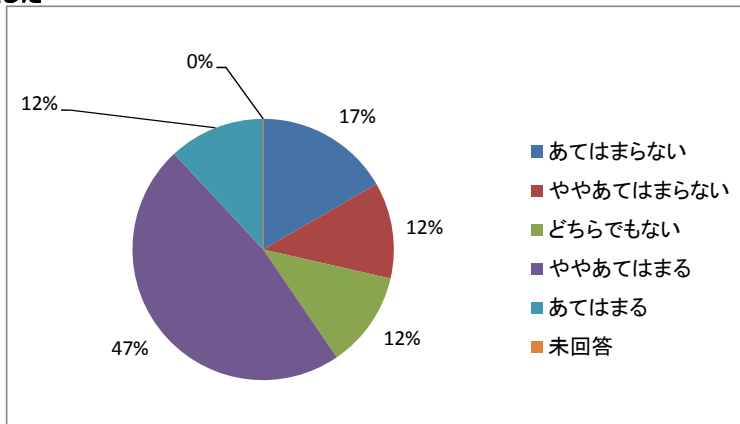
3-5 専門分野の研究に役立った

選択肢	回答
あてはまらない	14
ややあてはまらない	8
どちらでもない	6
ややあてはまる	13
あてはまる	1
未回答	0



3-6 総合的に判断して、この講義に満足した

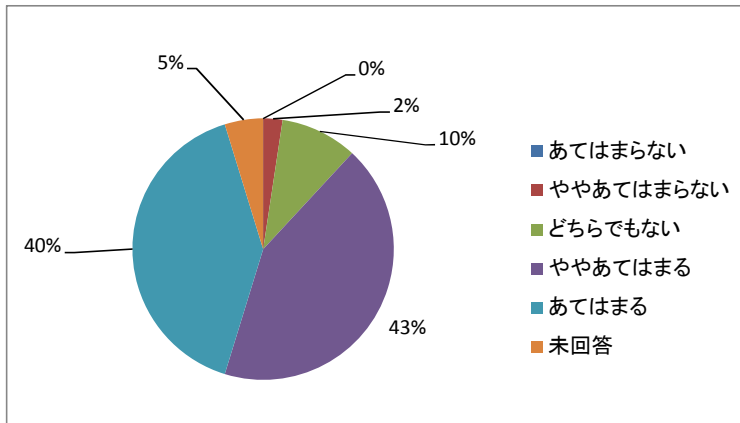
選択肢	回答
あてはまらない	7
ややあてはまらない	5
どちらでもない	5
ややあてはまる	20
あてはまる	5
未回答	0



問4 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

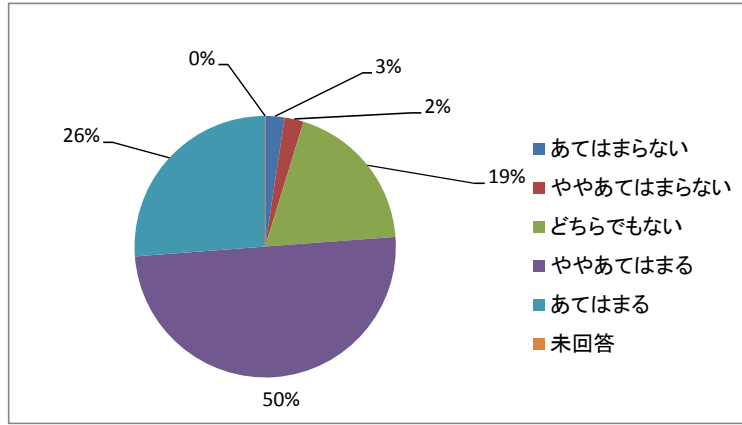
4-1 論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	18
あてはまる	17
未回答	2



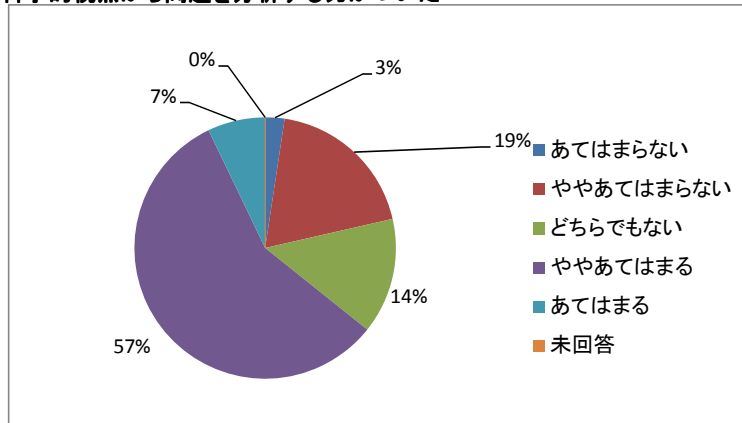
4-2 物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	1
どちらでもない	8
ややあてはまる	21
あてはまる	11
未回答	0



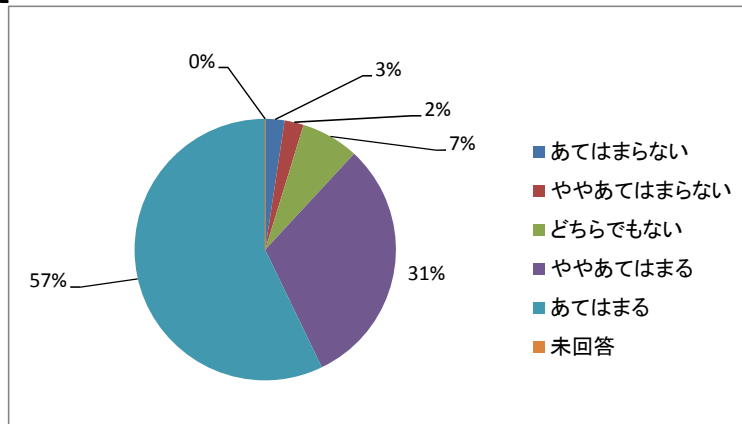
4-3 文系・理系の枠にとらわれない総合科学的視点から問題を分析する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	8
どちらでもない	6
ややあてはまる	24
あてはまる	3
未回答	0



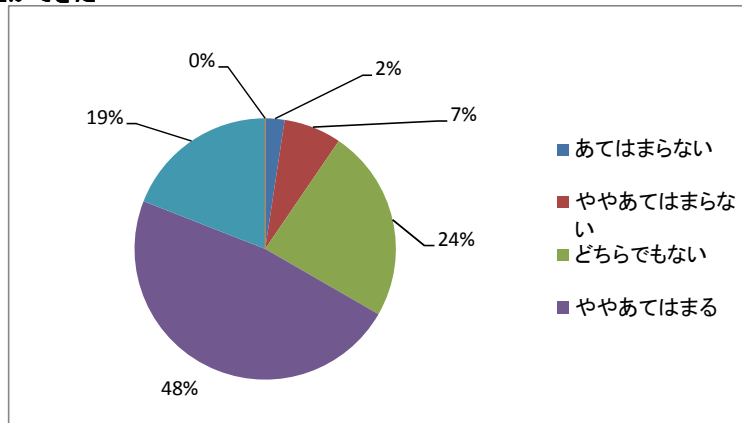
4-4 専門分野の知識と技能を修得できた

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	13
あてはまる	24
未回答	0



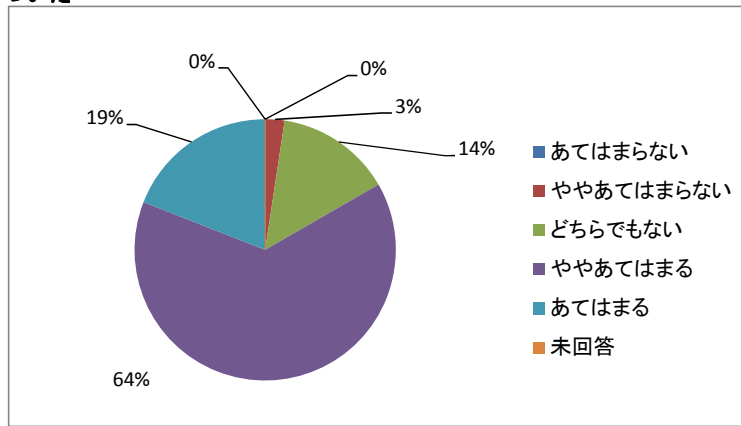
4-5 専門分野以外の知識も修得することができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	3
どちらでもない	10
ややあてはまる	20
あてはまる	8
未回答	0



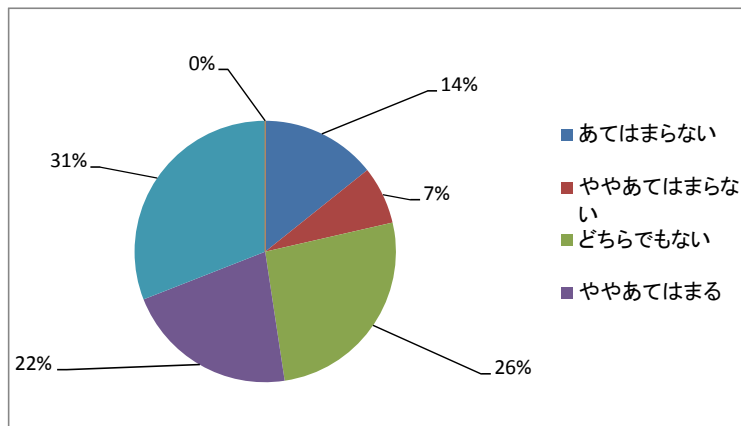
4-6 研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	6
ややあてはまる	27
あてはまる	8
未回答	0



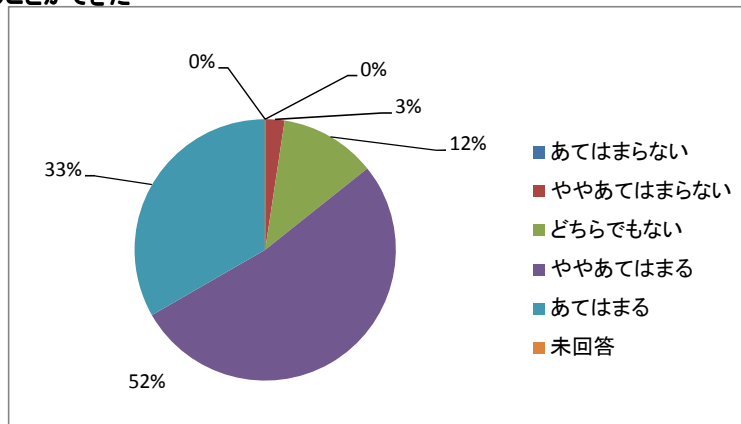
4-7 外国語運用能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	6
ややあてはまらない	3
どちらでもない	11
ややあてはまる	9
あてはまる	13
未回答	0



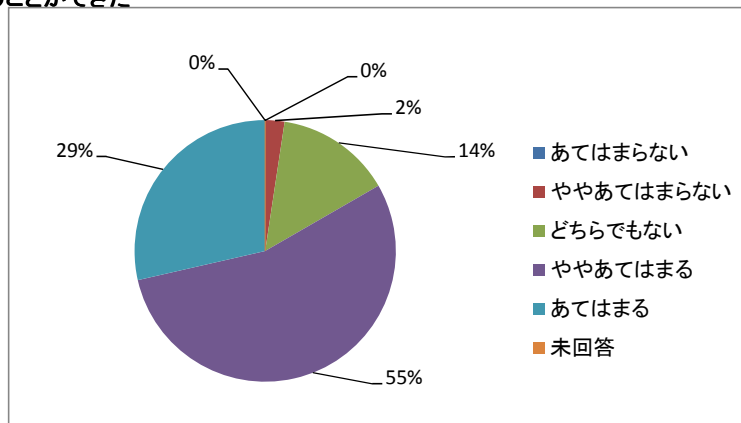
4-8 研究等を通じて課題探求能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	5
ややあてはまる	22
あてはまる	14
未回答	0



4-9 研究等を通じて問題解決能力を養うことができた

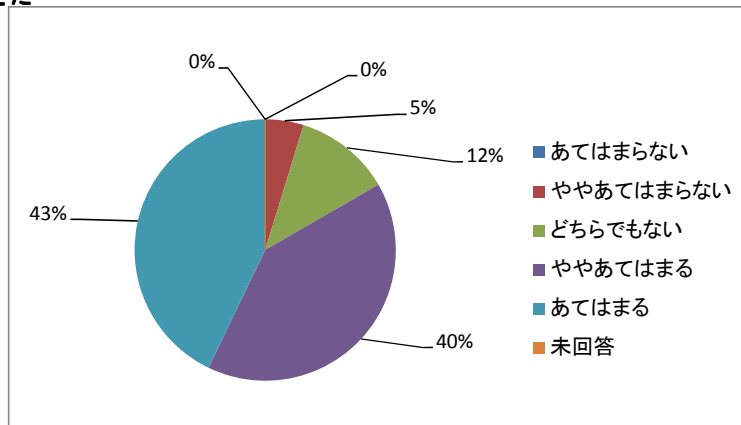
選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	6
ややあてはまる	23
あてはまる	12
未回答	0





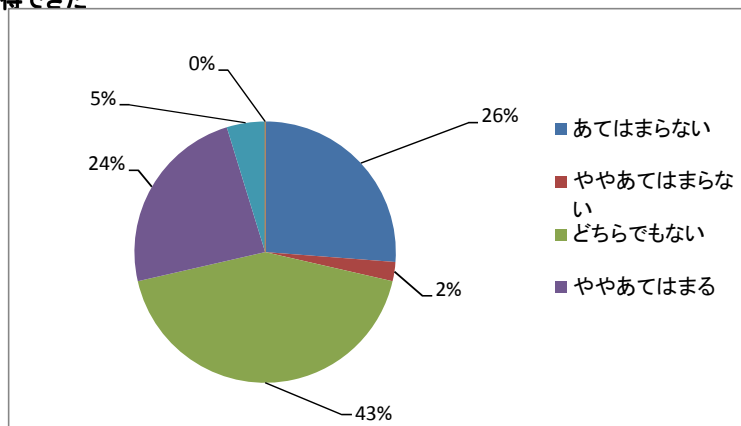
4-10 意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	2
どちらでもない	5
ややあてはまる	17
あてはまる	18
未回答	0



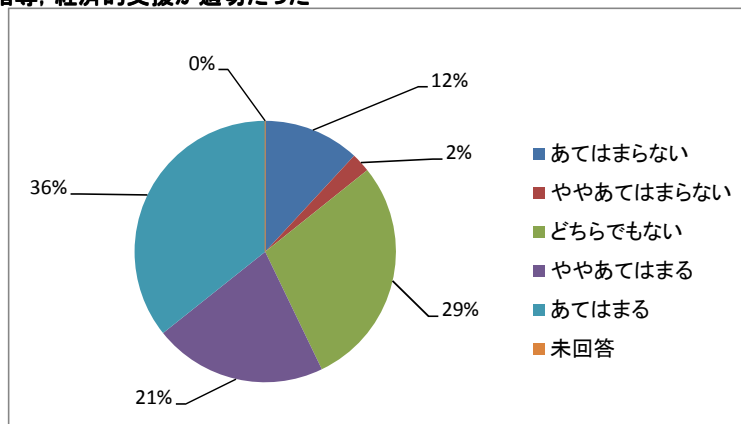
4-11 入学時に希望していた資格等を取得できた

選択肢	回答
あてはまらない	11
ややあてはまらない	1
どちらでもない	18
ややあてはまる	10
あてはまる	2
未回答	0



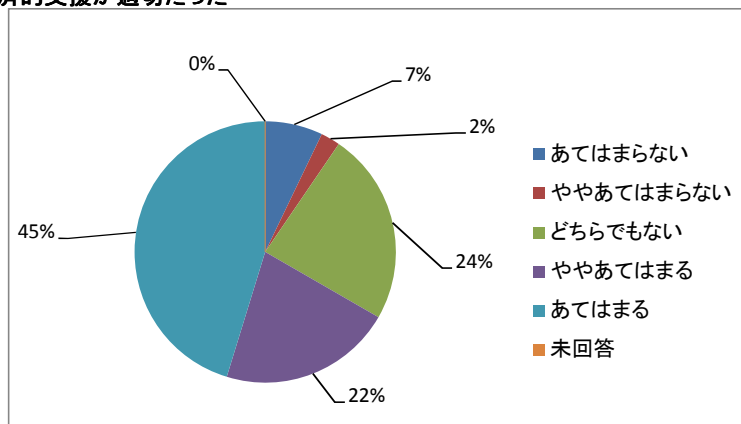
4-12 学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	5
ややあてはまらない	1
どちらでもない	12
ややあてはまる	9
あてはまる	15
未回答	0



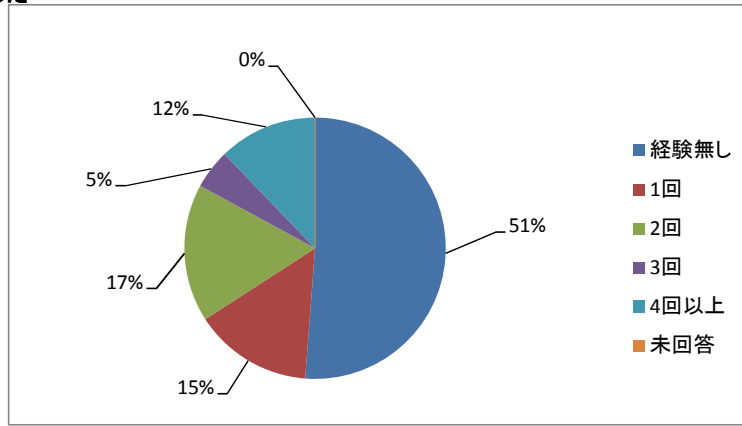
4-13 論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	3
ややあてはまらない	1
どちらでもない	10
ややあてはまる	9
あてはまる	19
未回答	0



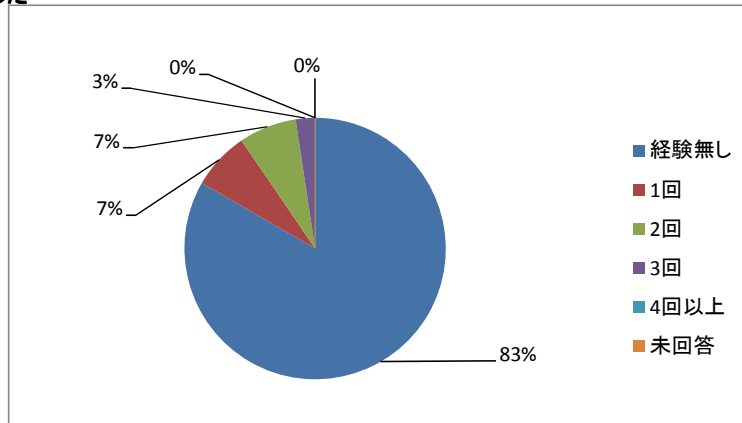
4-14 大学院在学中に国内学会で発表した

選択肢	回答
経験無し	21
1回	6
2回	7
3回	2
4回以上	5
未回答	0



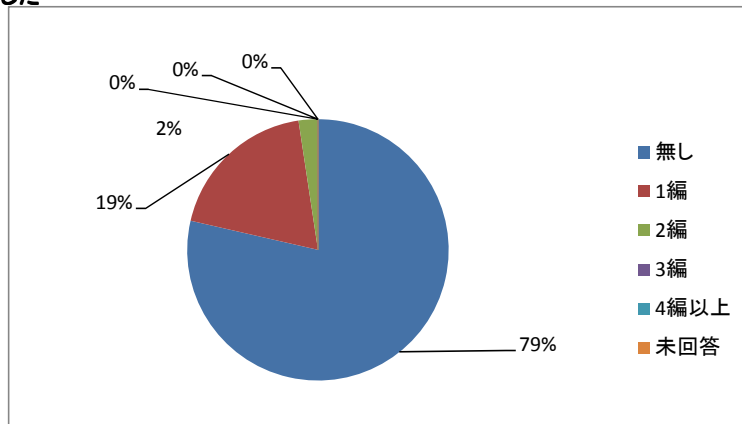
4-15 大学院在学中に国際学会で発表した

選択肢	回答
経験無し	35
1回	3
2回	3
3回	1
4回以上	0
未回答	0



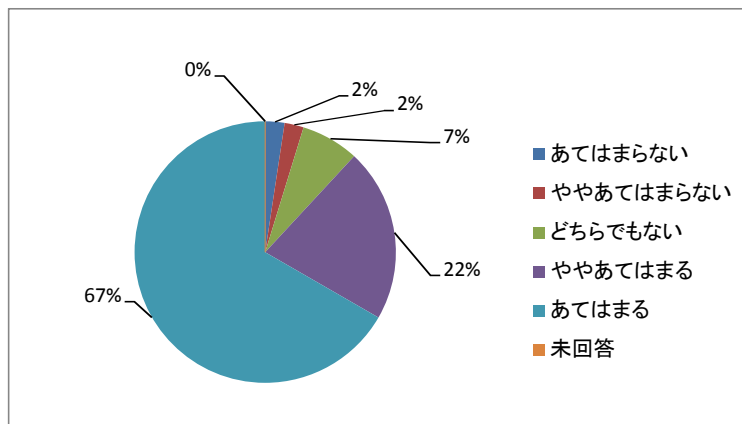
4-16 論文を執筆し(共著も含めて)出版した

選択肢	回答
無し	33
1編	8
2編	1
3編	0
4編以上	0
未回答	0



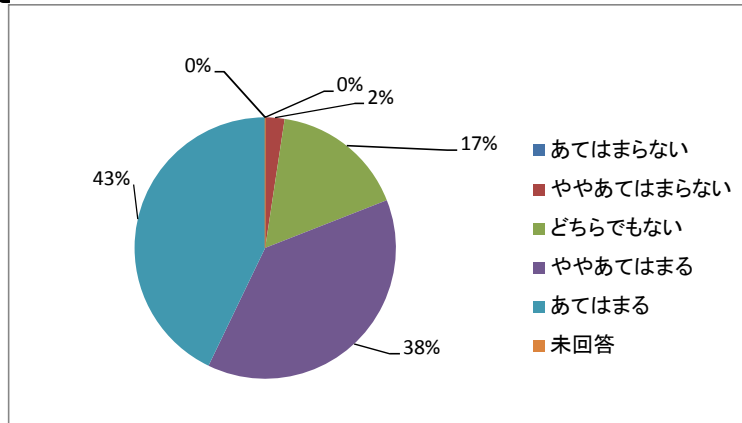
問6 大学院での学生生活についてお尋ねします。  
6-1教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
ややあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	9
あてはまる	28
未回答	0



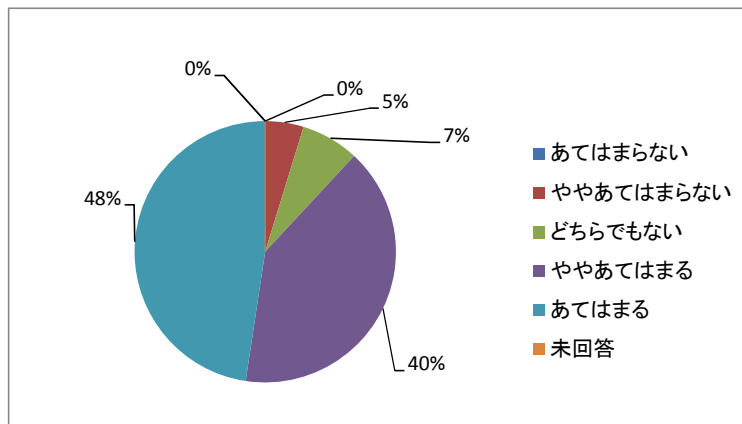
6-2 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	1
どちらでもない	7
ややあてはまる	16
あてはまる	18
未回答	0



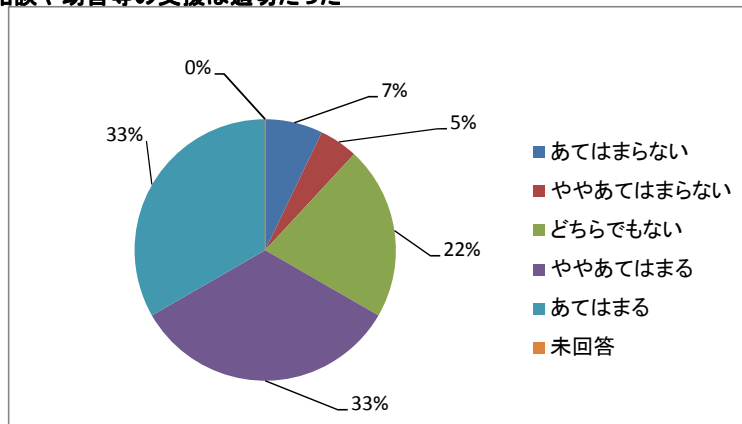
6-3 友人関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
ややあてはまらない	2
どちらでもない	3
ややあてはまる	17
あてはまる	20
未回答	0



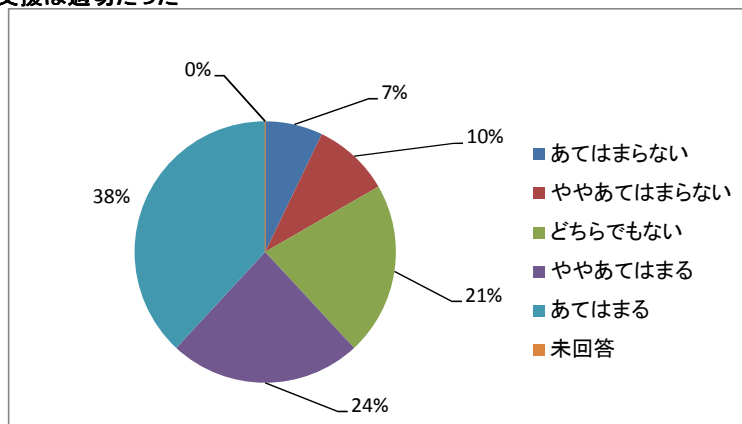
6-4 教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	3
ややあてはまらない	2
どちらでもない	9
ややあてはまる	14
あてはまる	14
未回答	0



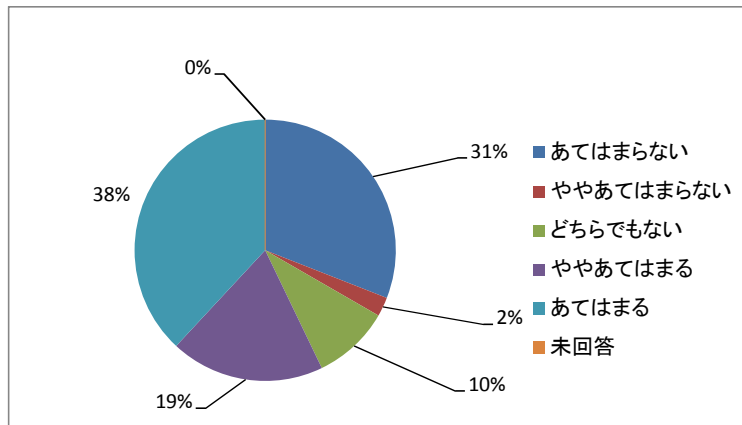
6-5 教職員による経済相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	3
ややあてはまらない	4
どちらでもない	9
ややあてはまる	10
あてはまる	16
未回答	0



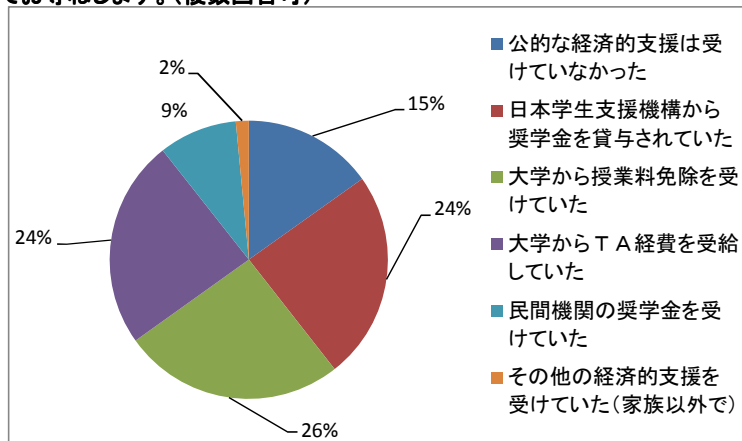
6-6 院生室は良く利用した

選択肢	回答
あてはまらない	13
ややあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	8
あてはまる	16
未回答	0



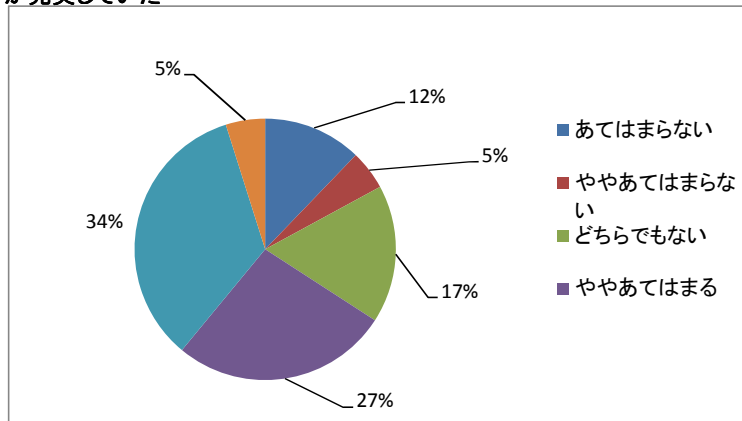
問7 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。(複数回答可)

選択肢	7集計
公的な経済的支援は受けていなかった	10
日本学生支援機構から奨学金を貸与されていた	16
大学から授業料免除を受けていた	17
大学からTA経費を受給していた	16
民間機関の奨学金を受けていた	6
その他の経済的支援を受けていた(家族以外で)	1



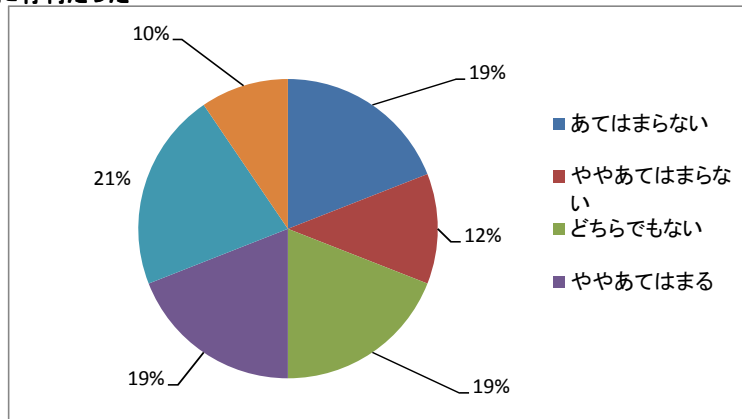
問10 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。  
10-1 指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	5
ややあてはまらない	2
どちらでもない	7
ややあてはまる	11
あてはまる	14
未回答	2



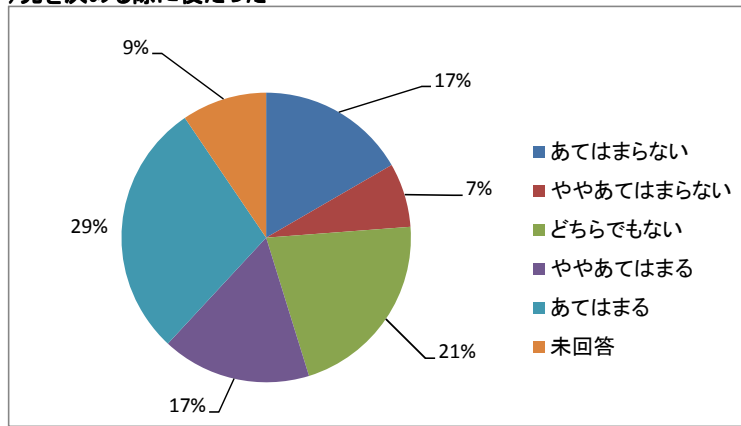
10-2 大学院で学修したことが就職活動に有利だった

選択肢	回答
あてはまらない	8
ややあてはまらない	5
どちらでもない	8
ややあてはまる	8
あてはまる	9
未回答	4



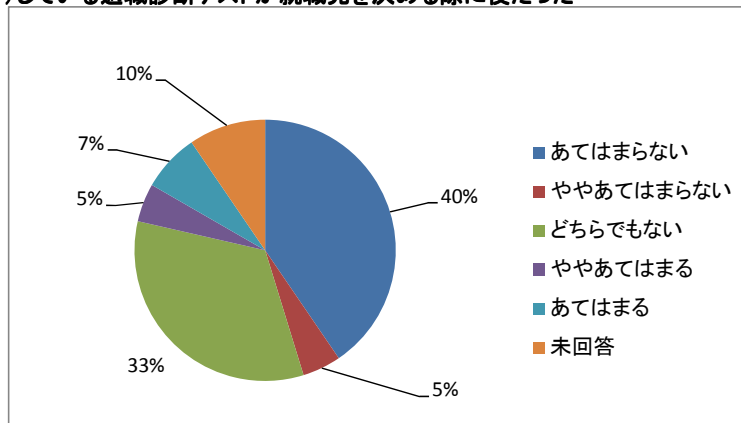
10-3 大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役立った

選択肢	回答
あてはまらない	7
ややあてはまらない	3
どちらでもない	9
ややあてはまる	7
あてはまる	12
未回答	4



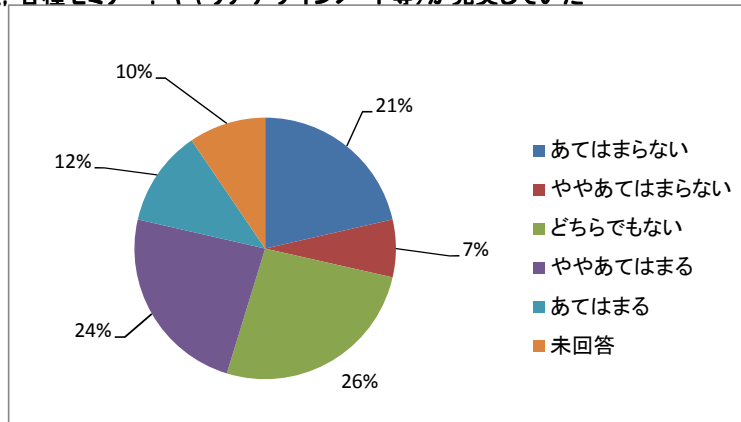
10-4 総合科学研究科が支援(6月・10月)している適職診断テストが就職先を決める際に役立った

選択肢	回答
あてはまらない	17
ややあてはまらない	2
どちらでもない	14
ややあてはまる	2
あてはまる	3
未回答	4



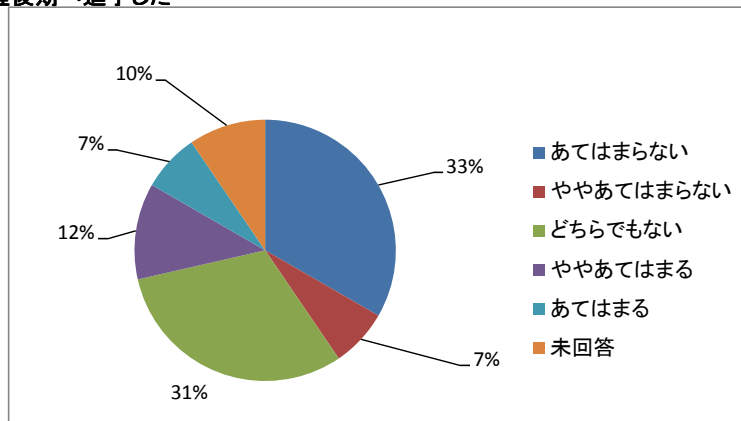
10-5 キャリアセンターの支援(進路相談, 各種セミナー, キャリアデザインノート等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	9
ややあてはまらない	3
どちらでもない	11
ややあてはまる	10
あてはまる	5
未回答	4



10-6 経済的支援が得られれば博士課程後期へ進学した

選択肢	回答
あてはまらない	14
ややあてはまらない	3
どちらでもない	13
ややあてはまる	5
あてはまる	3
未回答	4



## 研究科総評

研究科： 文学研究科

### 1. 集計結果のまとめ

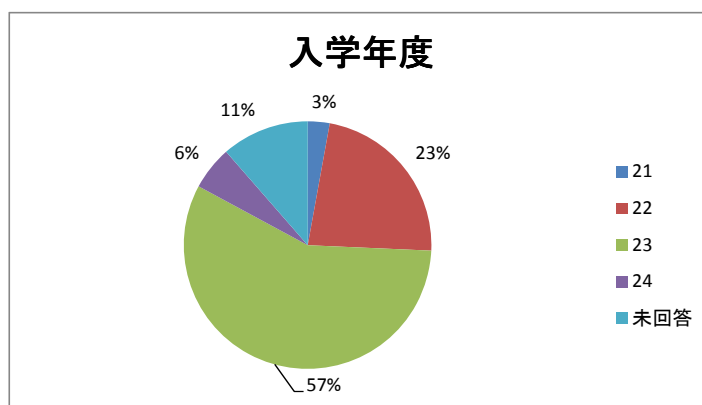
アンケートは紙媒体で実施した。それは、理学研究科の先行事例を参照し、修士論文等の提出時に回収する方式が最も回収率を高められるとの見通しがあったためである。当研究科の対象者は35名、その全員が回答した。

当研究科の著しい特徴は、教員や事務職員が学生一人一人に即して教育と事務対応を行う少人数制にある。そのため、問5の①、問6の①、②、⑦、問8などで高い満足度を示し、問7で充実した成果が得られたとした学生がほとんどを占めるに至っている。学会発表や論文刊行、資格取得に関する項目では経験なしという回答や無回答が目立つが、それは、学問の性格上、博士課程前期では口頭発表・論文ともに該当者が少なく、また教職専修免許を除いて資格取得のための教育課程ではないという特徴があるためである。

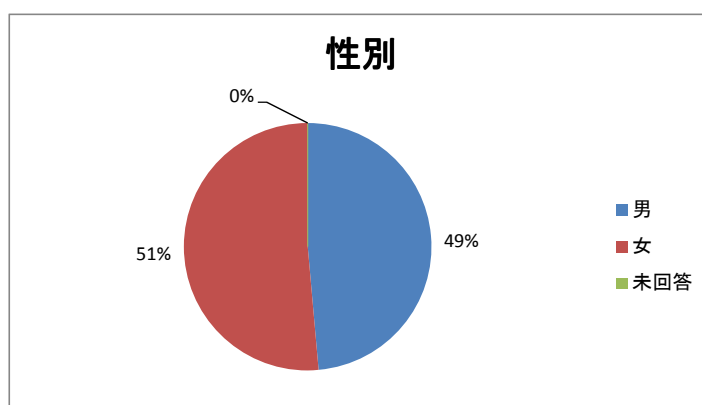
### 2. 次年度に向けた対応

文学研究科の場合、専門分野に関する知識・学力を身につけさせることに主眼を置き、学生の満足も一にその点にかかっている。次年度以降も、学生一人一人の希望する研究課題に寄り添う形で指導を丁寧に行い、汎用性が高く、あらゆる領域で活躍するための基礎となる真の学力を進路決定の多様性ととも学生に与えるような教育を施して行きたい。

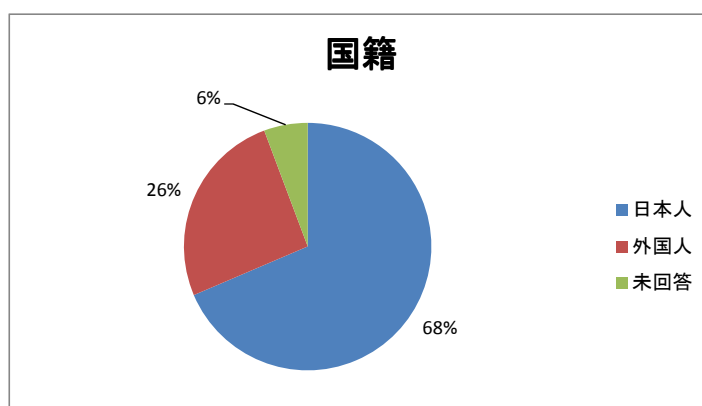
入学年度	
入学年度	入学年度集計
21	1
22	8
23	20
24	2
未回答	4



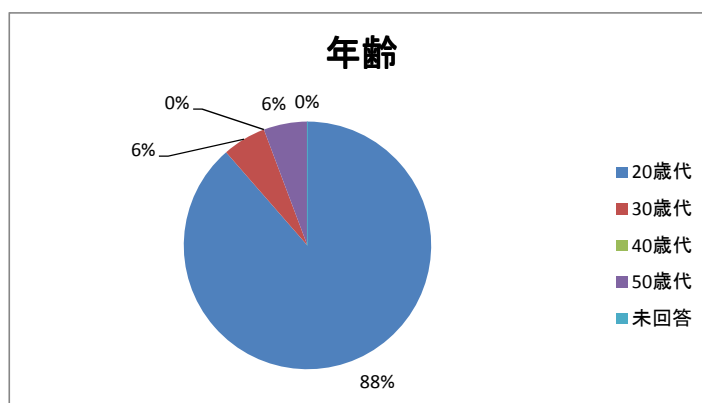
性別	
選択肢	回答
男	17
女	18
未回答	0



国籍	
選択肢	回答
日本人	24
外国人	9
未回答	2

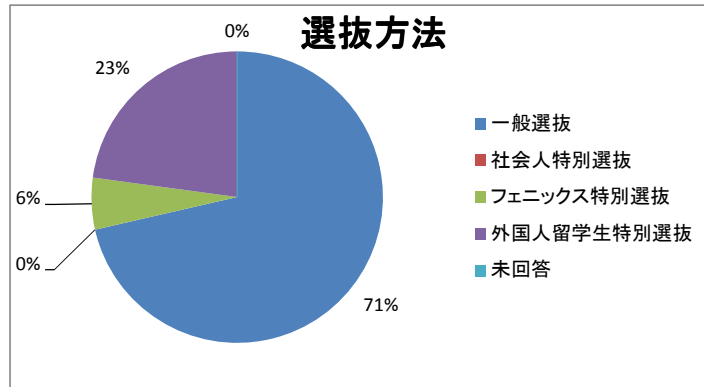


年齢	
選択肢	回答
20歳代	31
30歳代	2
40歳代	0
50歳代	2
未回答	0



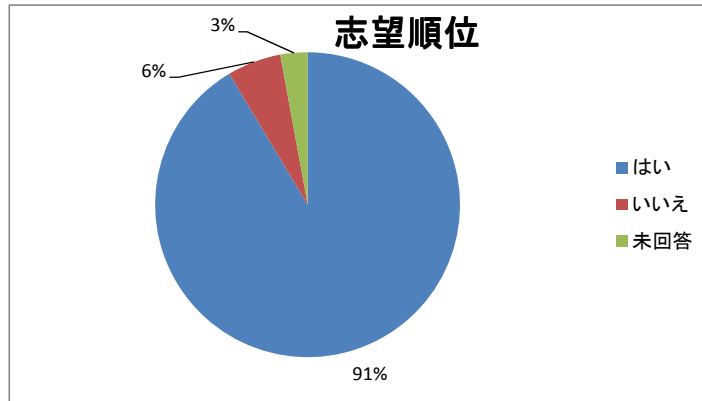
問2 文学研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般選抜	25
社会人特別選抜	0
フェニックス特別選抜	2
外国人留学生特別選抜	8
未回答	0



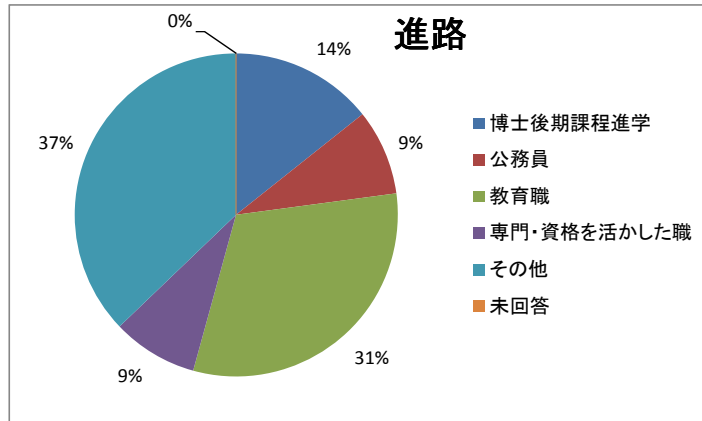
問3 文学研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	32
いいえ	2
未回答	1



問4 大学院修了後の進路についてお尋ねします。

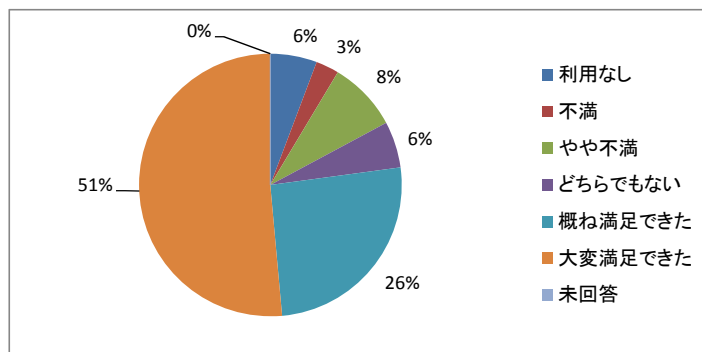
選択肢	回答
博士後期課程進学	5
公務員	3
教育職	11
専門・資格を活かした職	3
その他	13
未回答	0



問5 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

①所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

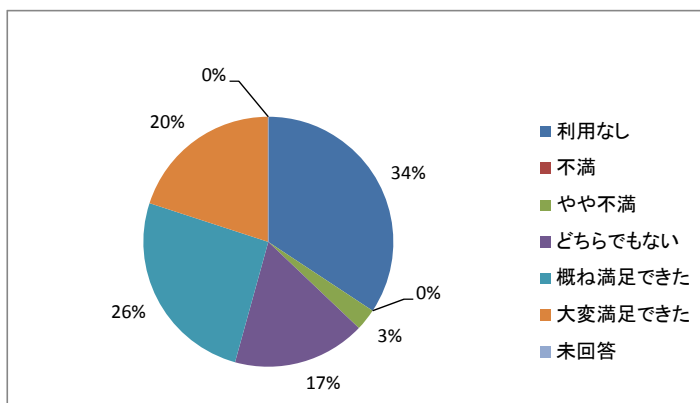
選択肢	回答
利用なし	2
不満	1
やや不満	3
どちらでもない	2
概ね満足できた	9
大変満足できた	18
未回答	0





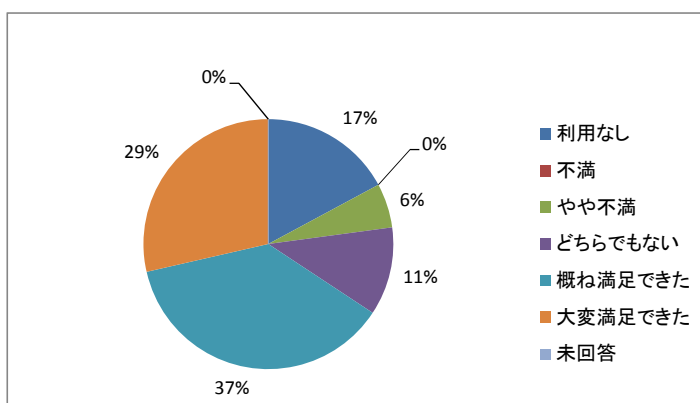
②学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	12
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	6
概ね満足できた	9
大変満足できた	7
未回答	0



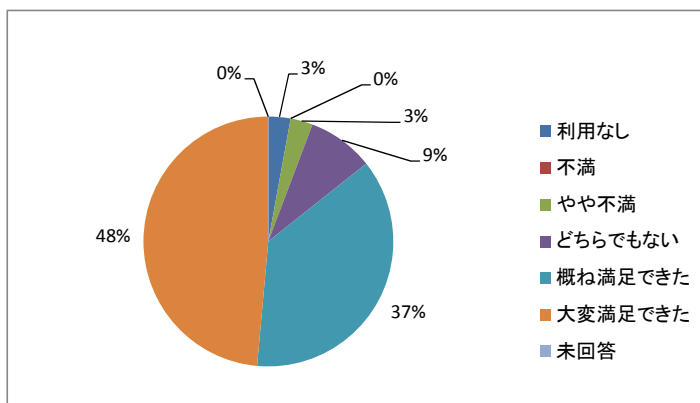
③保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	6
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	4
概ね満足できた	13
大変満足できた	10
未回答	0



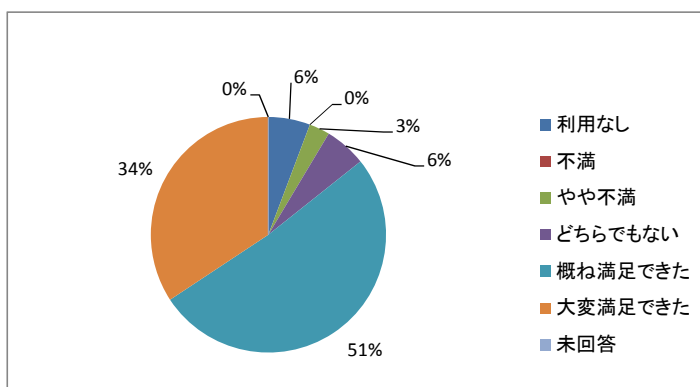
④図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	3
概ね満足できた	13
大変満足できた	17
未回答	0



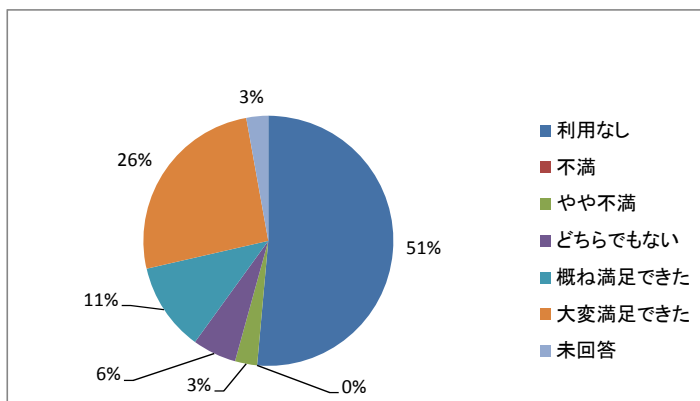
⑤福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	2
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	2
概ね満足できた	18
大変満足できた	12
未回答	0



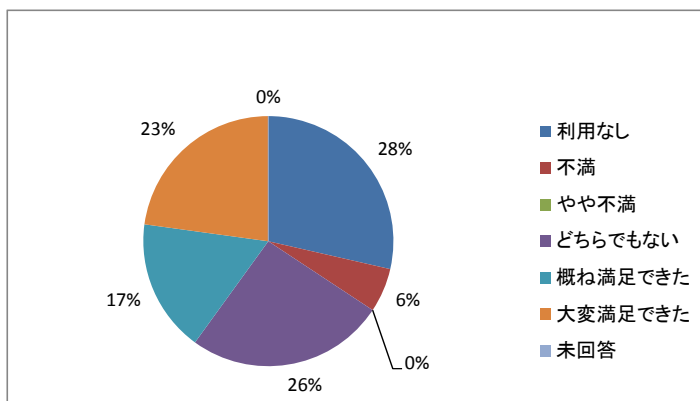
⑥課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	18
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	2
概ね満足できた	4
大変満足できた	9
未回答	1



⑦授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

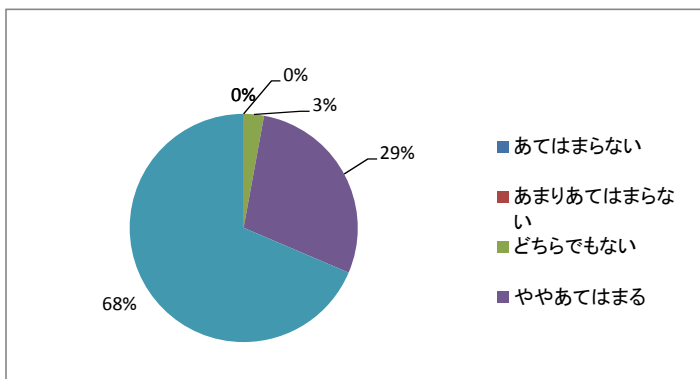
選択肢	回答
利用なし	10
不満	2
やや不満	0
どちらでもない	9
概ね満足できた	6
大変満足できた	8
未回答	0



問6 大学院で受けた教育・教育環境についてお尋ねします。

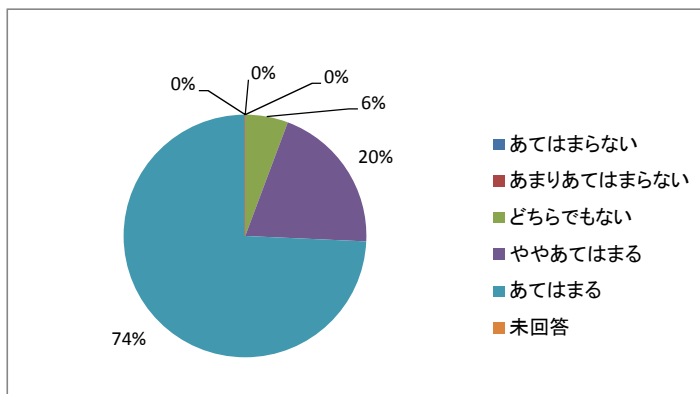
①授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	10
あてはまる	24
未回答	0



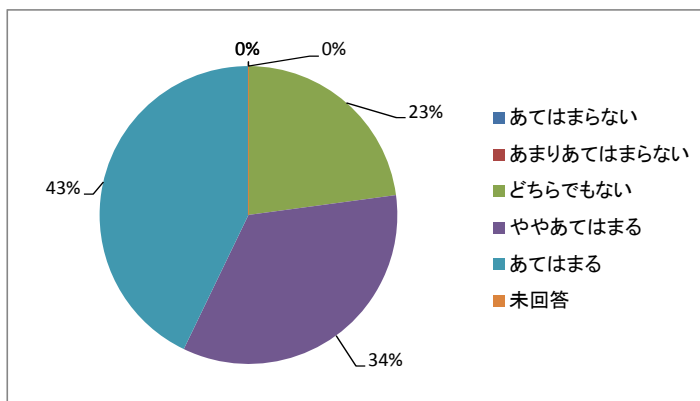
②修士論文(または特定課題研究)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	7
あてはまる	26
未回答	0



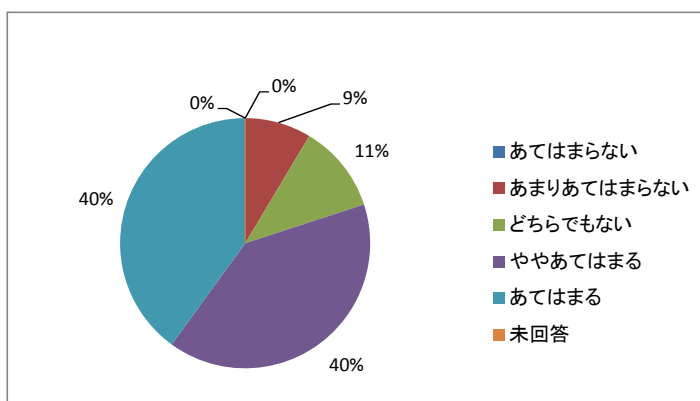
③ICT(情報端末)環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	8
ややあてはまる	12
あてはまる	15
未回答	0



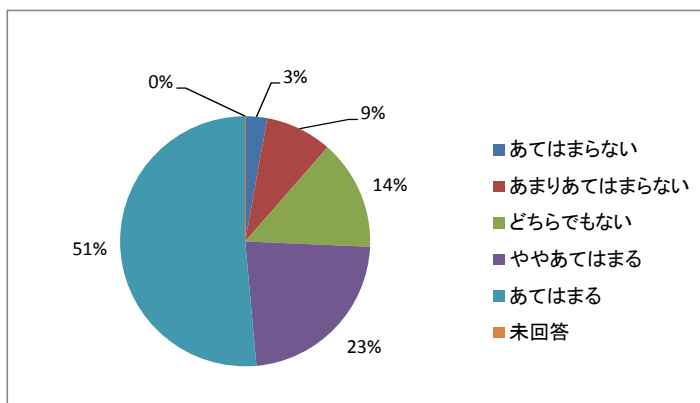
④図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	4
ややあてはまる	14
あてはまる	14
未回答	0



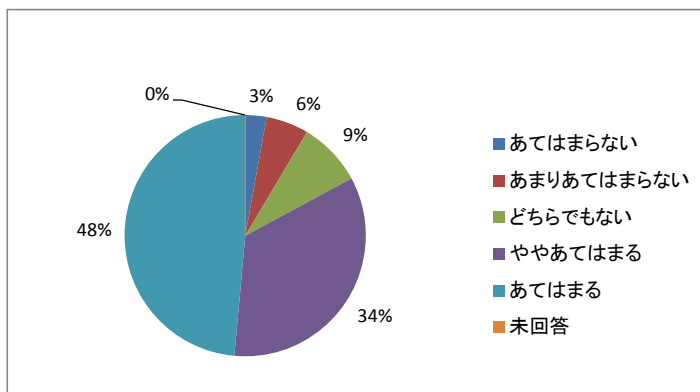
⑤全体的に教育に係る研究スペース・備品等は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	5
ややあてはまる	8
あてはまる	18
未回答	0



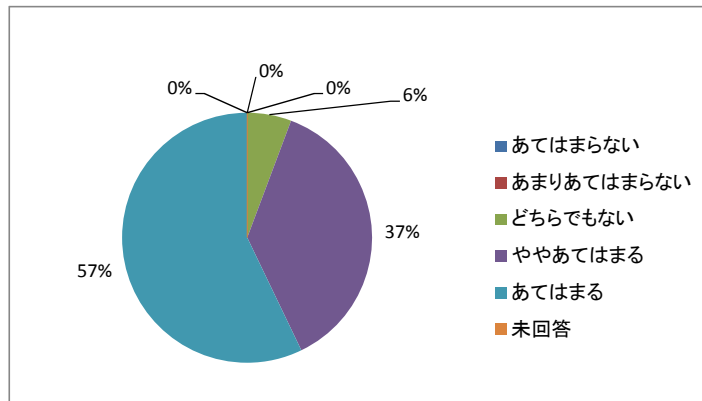
⑥研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	3
ややあてはまる	12
あてはまる	17
未回答	0



⑦専門分野の知識と技能を修得できた

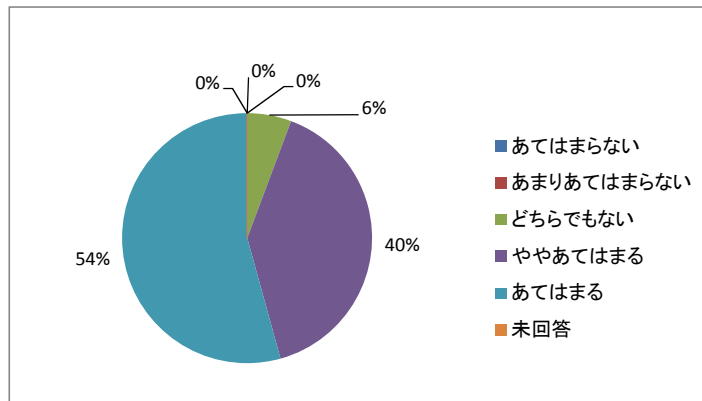
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	13
あてはまる	20
未回答	0



問7 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

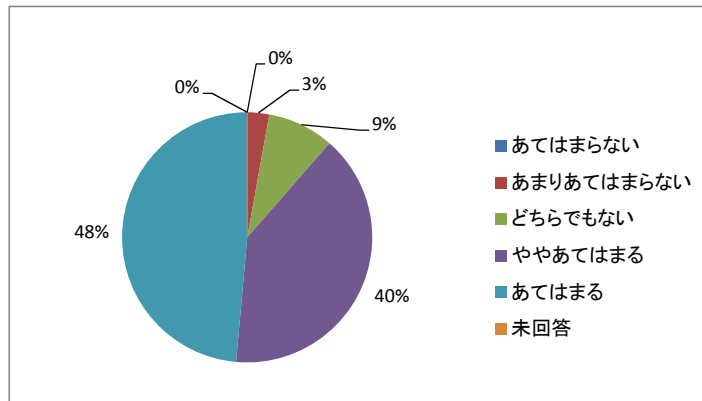
①論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	14
あてはまる	19
未回答	0



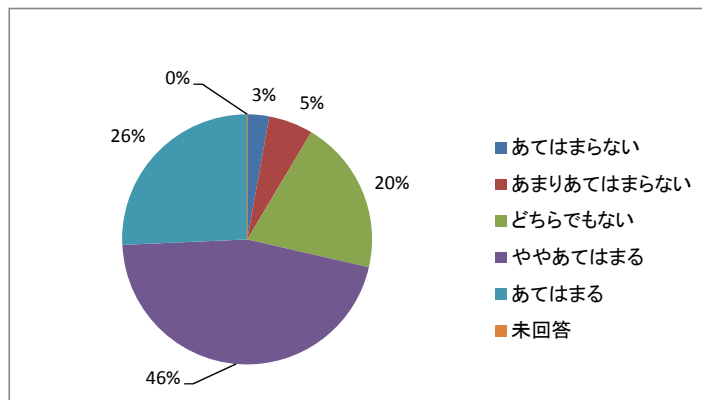
②物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	14
あてはまる	17
未回答	0



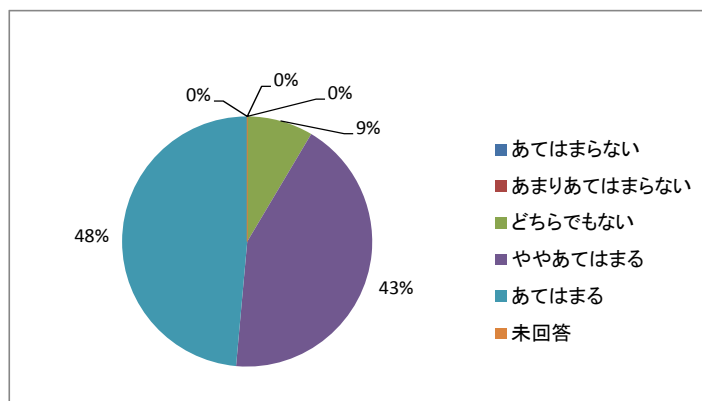
③研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	7
ややあてはまる	16
あてはまる	9
未回答	0



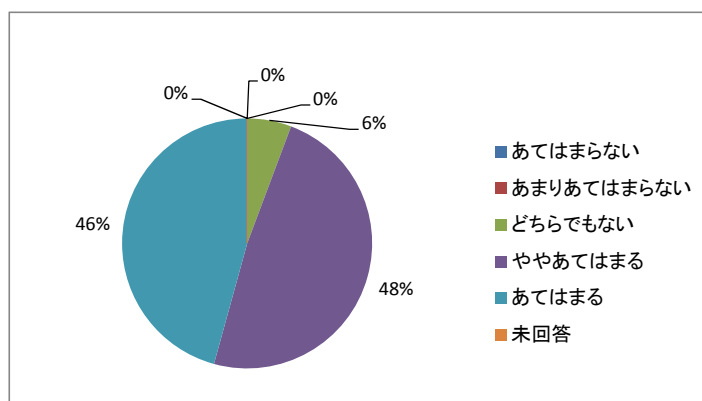
④資料読解能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	15
あてはまる	17
未回答	0



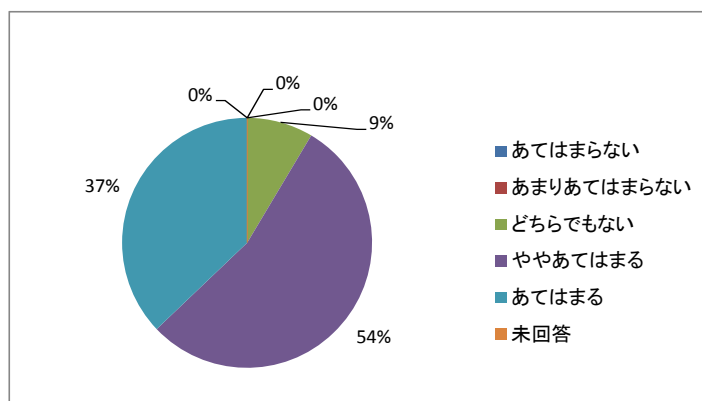
⑤研究に関する情報処理能力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	17
あてはまる	16
未回答	0



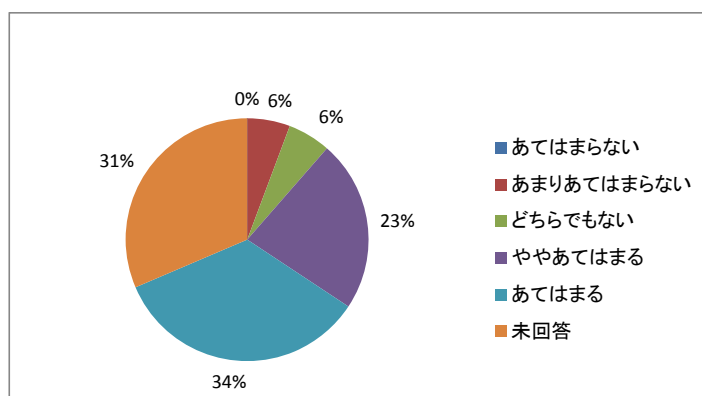
⑥研究等を通じて課題探究能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	19
あてはまる	13
未回答	0



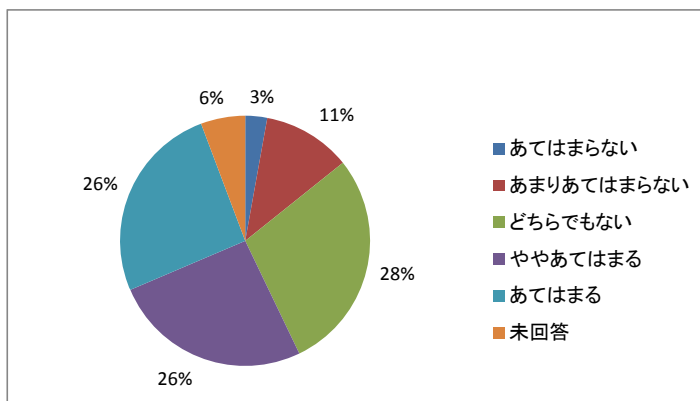
⑦入学時に希望していた資格等を取得できた(希望していない場合解答不要)

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	2
ややあてはまる	8
あてはまる	12
未回答	11



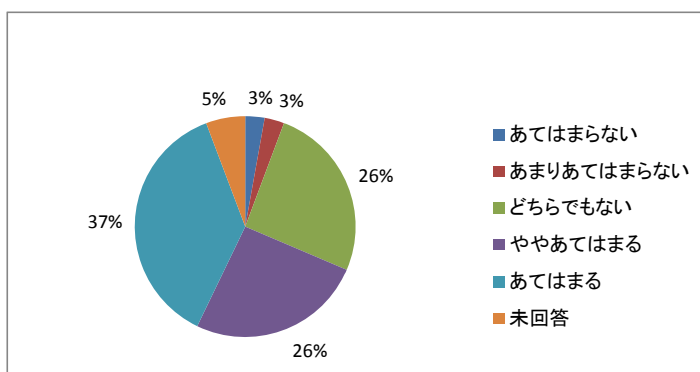
⑧学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	10
ややあてはまる	9
あてはまる	9
未回答	2



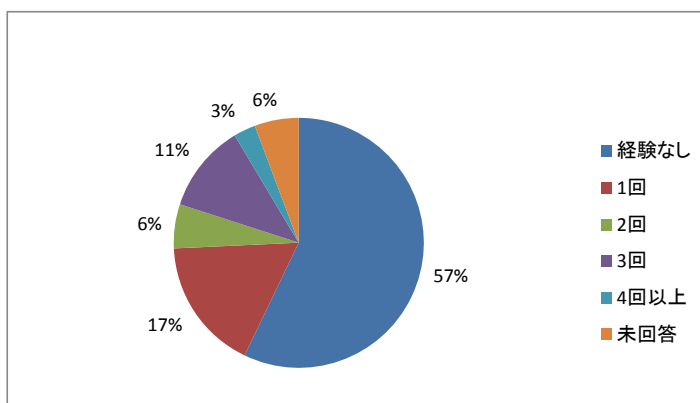
⑨論文発表に向けての助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	9
ややあてはまる	9
あてはまる	13
未回答	2



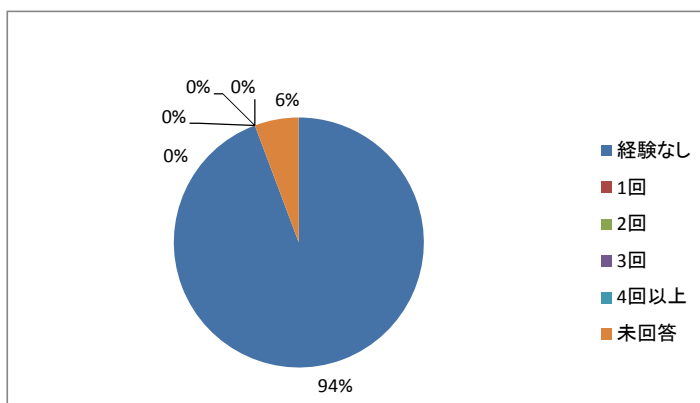
⑩大学院在学中に国内学会・研究会で発表した

選択肢	回答
経験なし	20
1回	6
2回	2
3回	4
4回以上	1
未回答	2



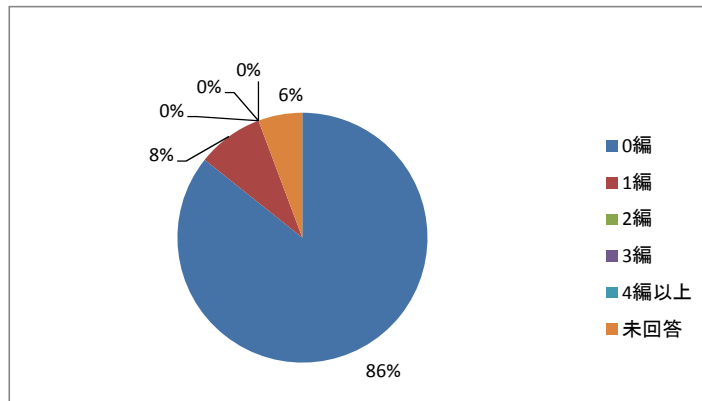
⑪大学院在学中に国際学会で発表した

選択肢	回答
経験なし	33
1回	0
2回	0
3回	0
4回以上	0
未回答	2



⑫論文を執筆し(共著も含めて)刊行した

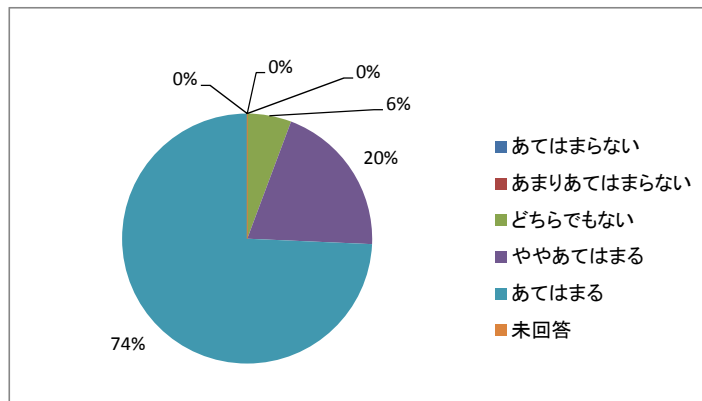
選択肢	回答
0編	30
1編	3
2編	0
3編	0
4編以上	0
未回答	2



問8 大学院での学生生活についてお尋ねします。

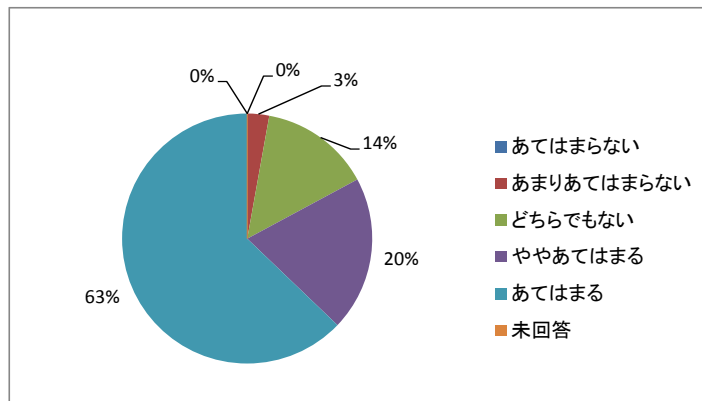
①教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	7
あてはまる	26
未回答	0



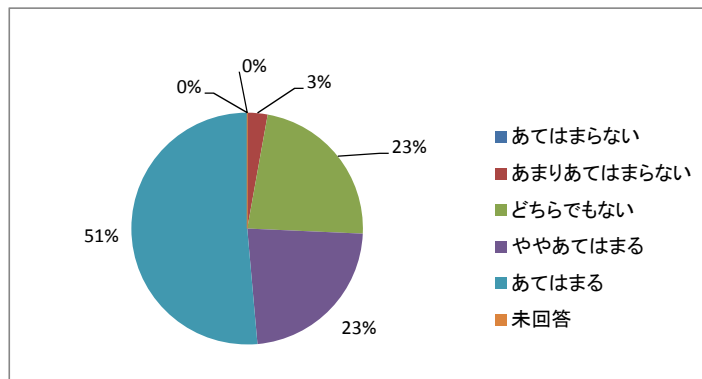
②事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	5
ややあてはまる	7
あてはまる	22
未回答	0



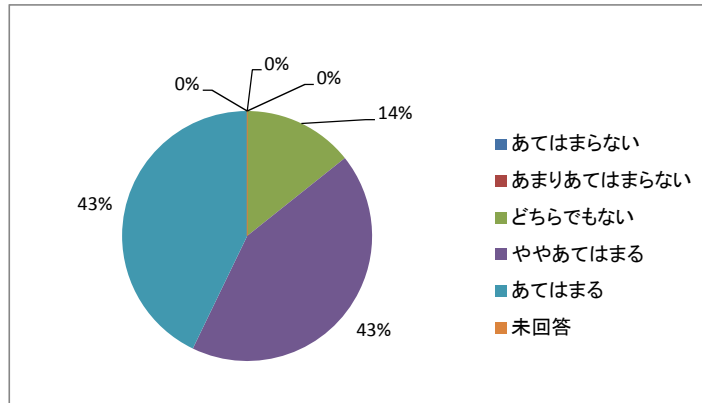
③研究上の議論をとおして友人関係が広がった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	8
ややあてはまる	8
あてはまる	18
未回答	0



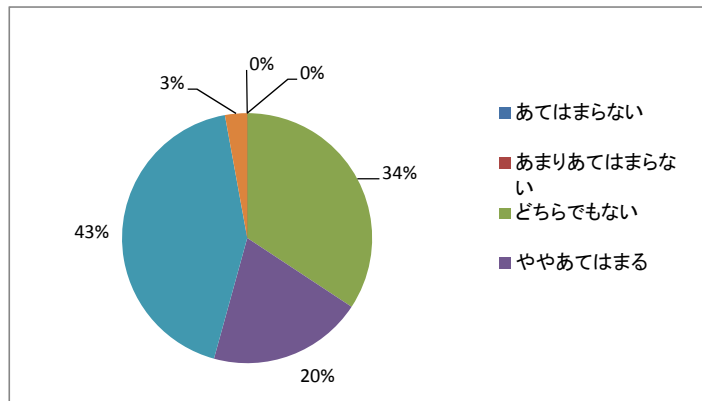
④教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	15
あてはまる	15
未回答	0



⑤教職員による経済相談や助言等の支援は適切だった

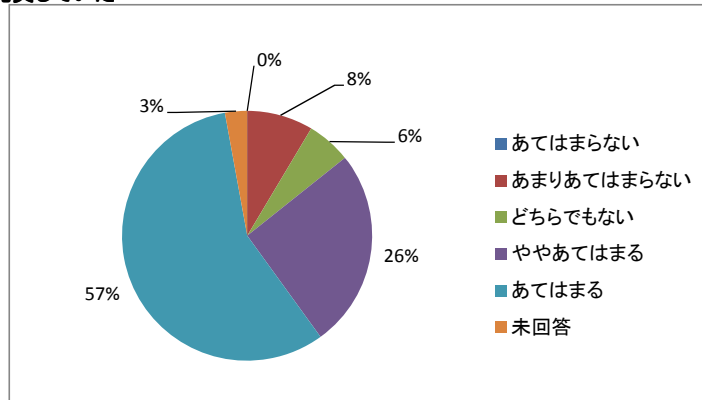
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	12
ややあてはまる	7
あてはまる	15
未回答	1



問9 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。

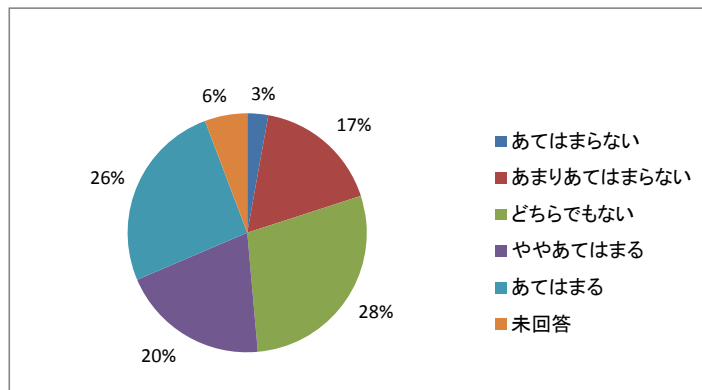
①指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	2
ややあてはまる	9
あてはまる	20
未回答	1



②就学相談室又は学生支援室における支援が充実していた

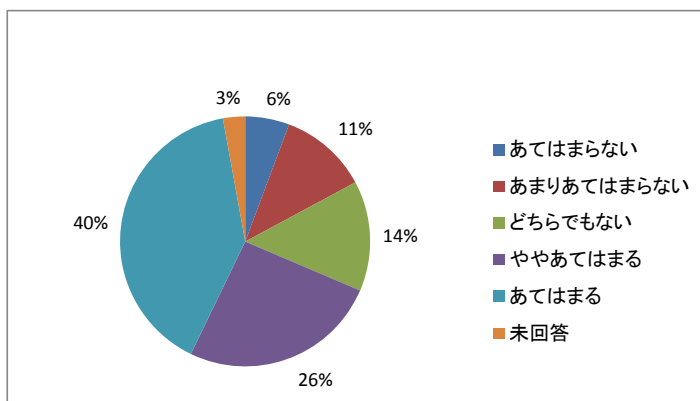
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	6
どちらでもない	10
ややあてはまる	7
あてはまる	9
未回答	2





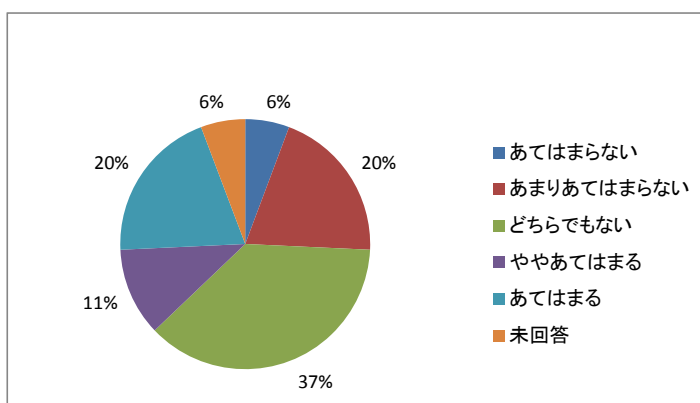
③大学院で学修したことが進路選択に役だった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	5
ややあてはまる	9
あてはまる	14
未回答	1



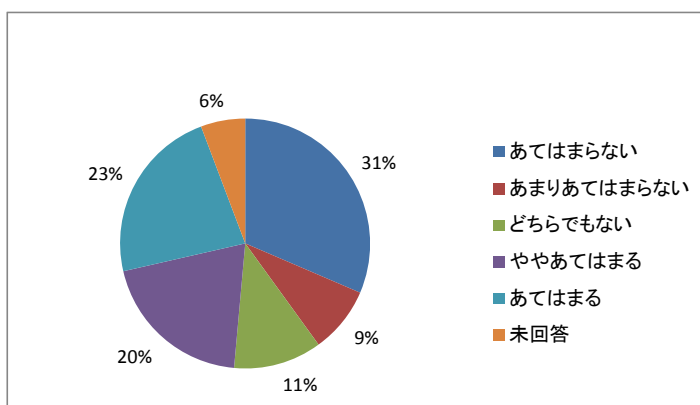
④キャリアセンターの支援(進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	7
どちらでもない	13
ややあてはまる	4
あてはまる	7
未回答	2



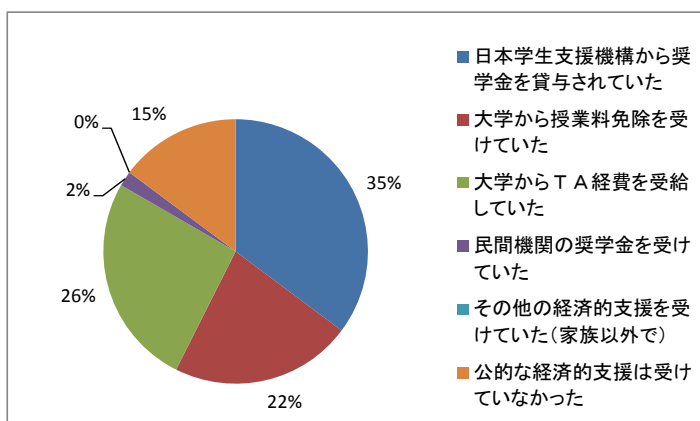
⑤後期課程に進学するかどうかは、経済的支援の有無と関係した

選択肢	回答
あてはまらない	11
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	4
ややあてはまる	7
あてはまる	8
未回答	2



問10 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

選択肢	10集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与されていた	19
大学から授業料免除を受けていた	12
大学からTA経費を受給していた	14
民間機関の奨学金を受けていた	1
その他の経済的支援を受けていた(家族以外で)	0
公的な経済的支援は受けていなかった	8



## 研究科総評

### 研究科：教育学研究科

#### 1. 集計結果のまとめ

アンケートは紙媒体で実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する 172 名で、そのうち 134 名が回答し、回答率は 78% だった。博士課程前期における全学の平均回答率 67% より高い回答率である。これは、学生支援室から一人一人に手渡し、提出をお願いしたことと、数回にわたり指導教員から提出の催促を行ったことが、理由と考えられる。

また、今回の設問の中で、設問 8、9 は、研究科の取り組みが反映されたものと考えられる。

設問 8 については、FD や研修等によって教育の質の改善・向上を図るための取り組みを継続して行っており、多くの学生は、講義、セミナー、演習の内容、研究指導について充実していた、評価や審査は適切に行われたと回答したものと考えられる。

設問 9 については、講義等の内容、研究指導について充実していたこと、教員と学生の関係も良好であったことにより、大学院での教育と研究について、知識等の修得ができた、理論的思考力等が向上したと回答したものと考えられる。

#### 2. 次年度に向けた対応

今回のアンケート結果では、研究科全体として大学院で受けた講義等の内容、研究指導、大学院での教育及び研究の成果について、多数の学生が満足している傾向があることが分かった。(設問 8、9)

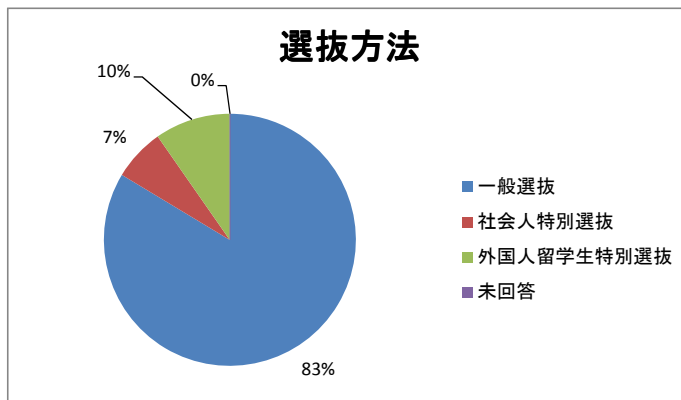
設問 8 については、FD や研修等によって教育の質の改善・向上を図るための取り組みを継続して行っているという理由から、大学院で受けた教育等について満足している結果になったと考える。

設問 9 については、講義等の内容、研究指導について充実していたこと、教員との関係も良好であったという理由から大学院での教育と研究の成果について満足している結果になったと考える。

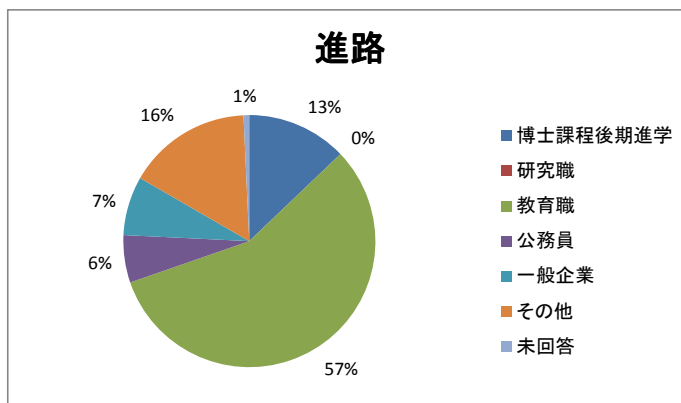
次年度も、FD や研修等によって教育の質の改善・向上を図るための取り組みを継続・発展させ、教員と学生の良好な関係を築いていくよう対応したい。



選抜方法	
選択肢	回答
一般選抜	112
社会人特別選抜	9
外国人留学生特別選抜	13
未回答	0

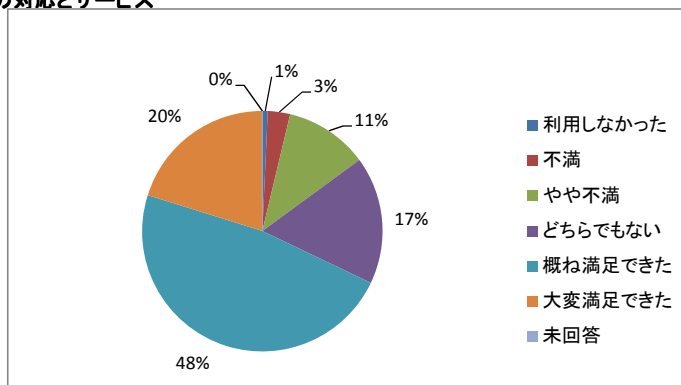


進路	
選択肢	回答
博士課程後期進学	17
研究職	0
教育職	75
公務員	8
一般企業	10
その他	21
未回答	1



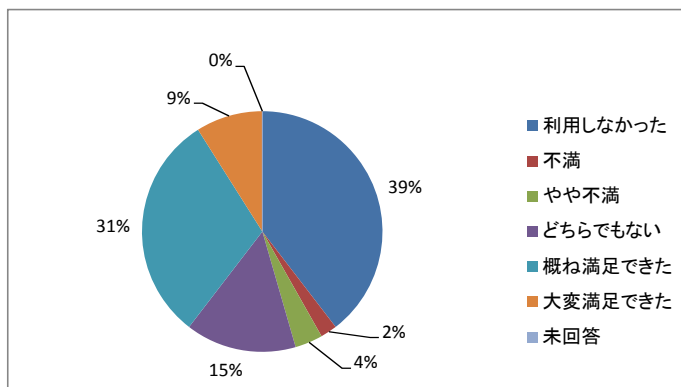
#### 問4 大学院在学中の学生生活に関する満足度について ①所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用しなかった	1
不満	4
やや不満	15
どちらでもない	23
概ね満足できた	64
大変満足できた	27
未回答	0



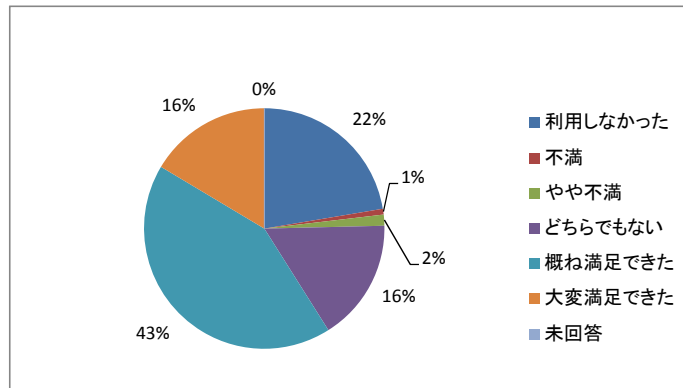
#### ②学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用しなかった	53
不満	3
やや不満	5
どちらでもない	20
概ね満足できた	41
大変満足できた	12
未回答	0



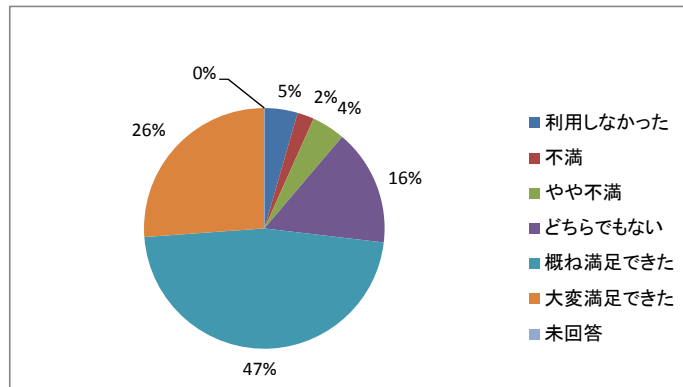
③保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用しなかった	30
不満	1
やや不満	2
どちらでもない	22
概ね満足できた	57
大変満足できた	22
未回答	0



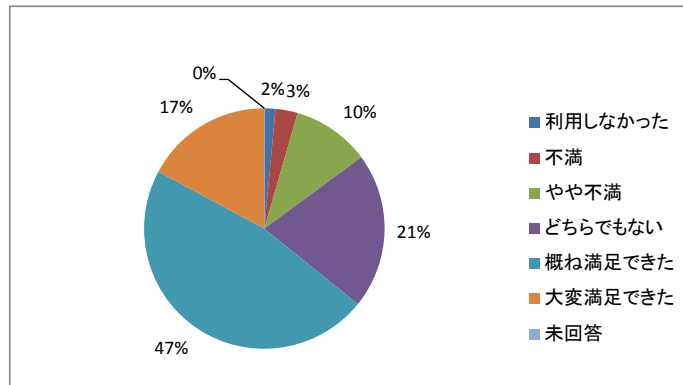
④図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用しなかった	6
不満	3
やや不満	6
どちらでもない	21
概ね満足できた	63
大変満足できた	35
未回答	0



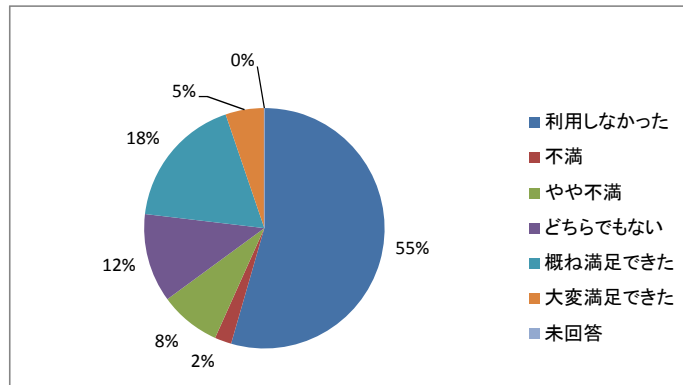
⑤福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用しなかった	2
不満	4
やや不満	14
どちらでもない	28
概ね満足できた	63
大変満足できた	23
未回答	0



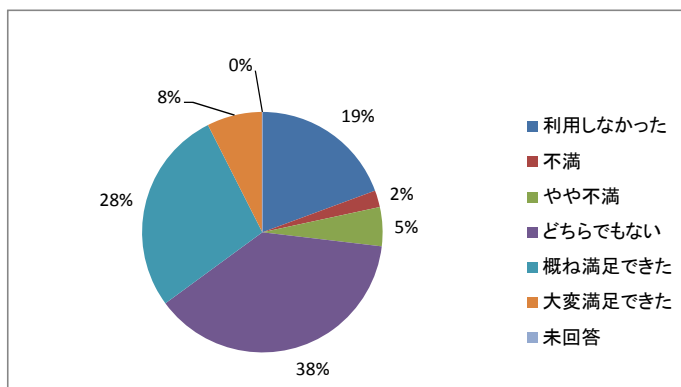
⑥課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用しなかった	73
不満	3
やや不満	11
どちらでもない	16
概ね満足できた	24
大変満足できた	7
未回答	0



⑦授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

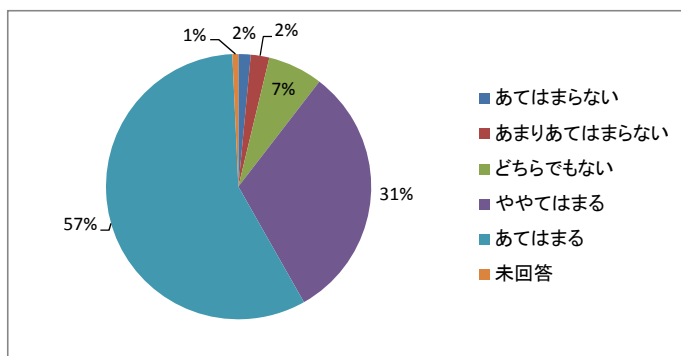
選択肢	回答
利用しなかった	26
不満	3
やや不満	7
どちらでもない	51
概ね満足できた	37
大変満足できた	10
未回答	0



問5 大学院在学中の学生生活について

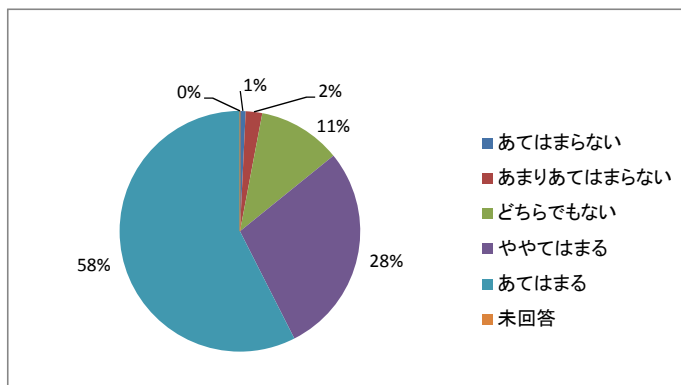
①教員との関係は良好だった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	9
ややてはまる	42
あてはまる	77
未回答	1



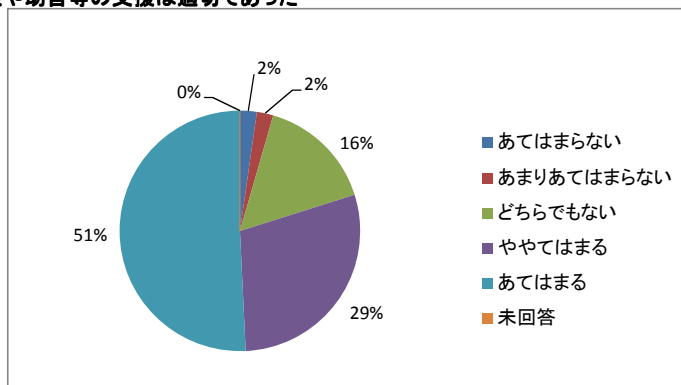
②事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	15
ややてはまる	38
あてはまる	77
未回答	0



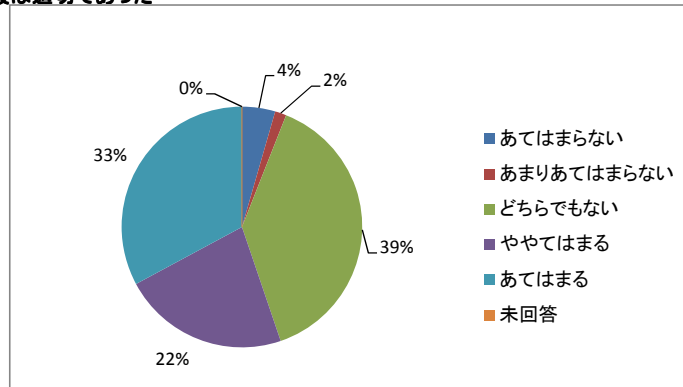
③教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	21
ややてはまる	39
あてはまる	68
未回答	0



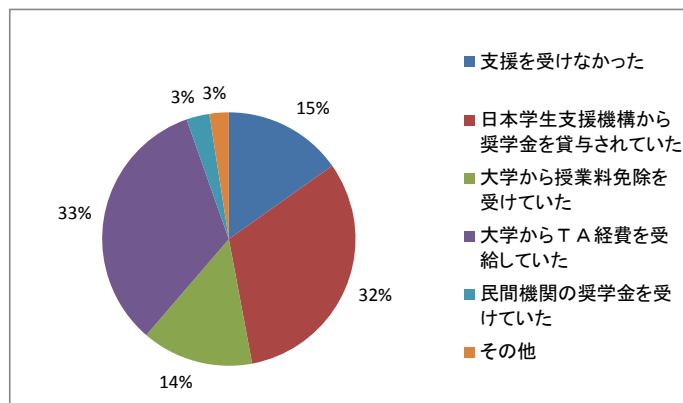
④教職員による経済相談や助言等の支援は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	52
ややあてはまる	30
あてはまる	44
未回答	0



問6 大学院在学中の経済的支援について

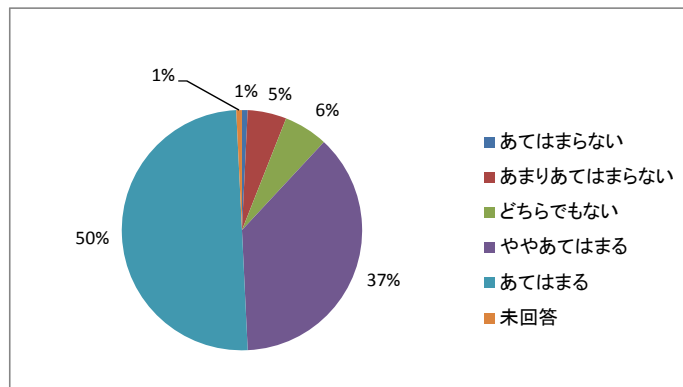
選択肢	6集計
支援を受けなかった	31
日本学生支援機構から奨学金を貸与されていた	65
大学から授業料免除を受けていた	29
大学からTA経費を受給していた	68
民間機関の奨学金を受けていた	6
その他	5



問8 大学院で受けた教育について

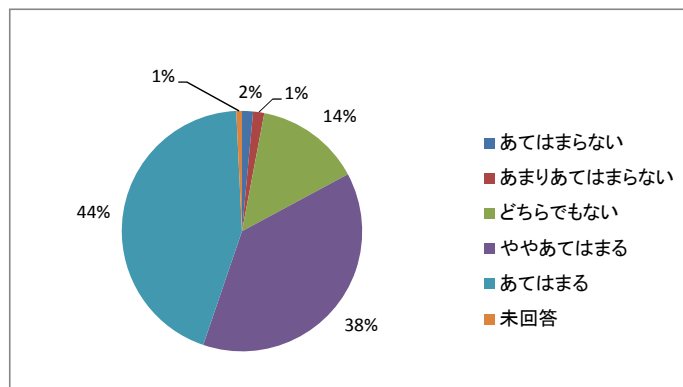
①講義の内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	7
どちらでもない	8
ややあてはまる	50
あてはまる	67
未回答	1



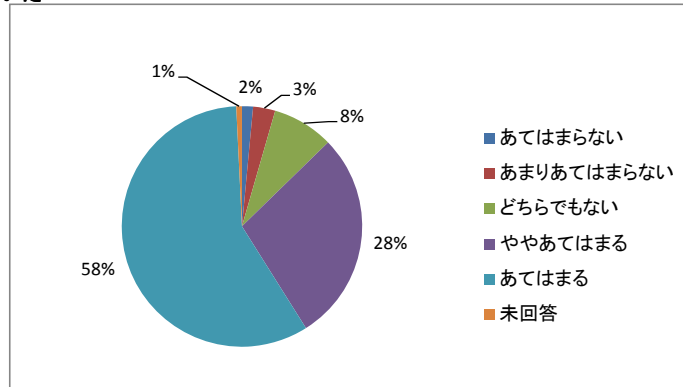
②セミナーや演習の内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	19
ややあてはまる	51
あてはまる	59
未回答	1



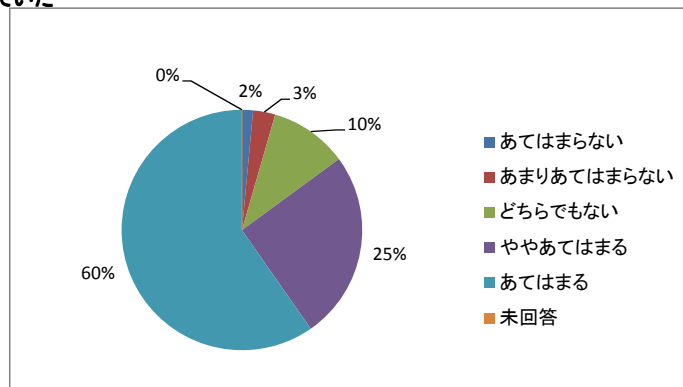
③特別研究(修士論文)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	11
ややあてはまる	38
あてはまる	78
未回答	1



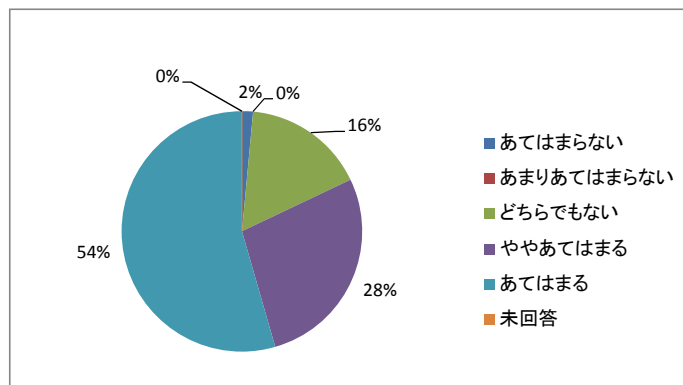
④成績評価や単位認定は適切に行われていた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	14
ややあてはまる	34
あてはまる	80
未回答	0



⑤学位審査は適切に行われていた

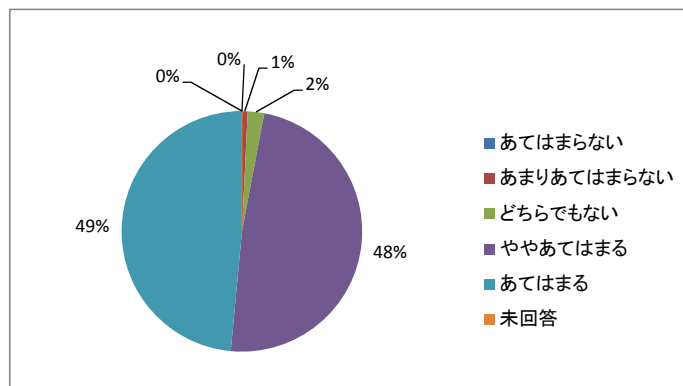
選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	22
ややあてはまる	37
あてはまる	73
未回答	0



問9 大学院での教育と研究の生活について

①専門分野の知識と技能を修得できた

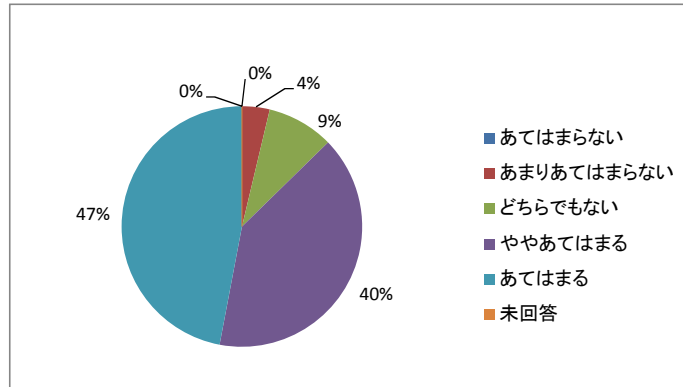
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	65
あてはまる	65
未回答	0





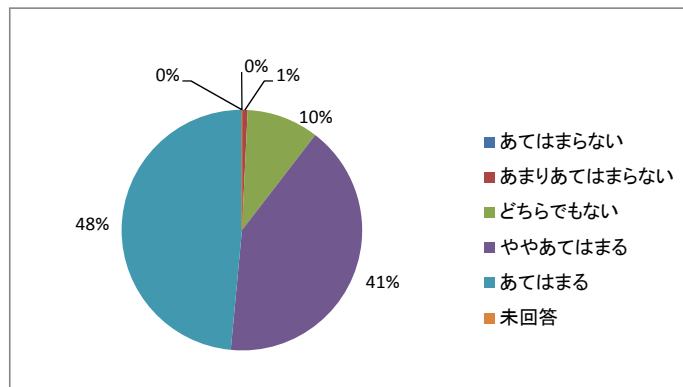
②論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	12
ややあてはまる	54
あてはまる	63
未回答	0



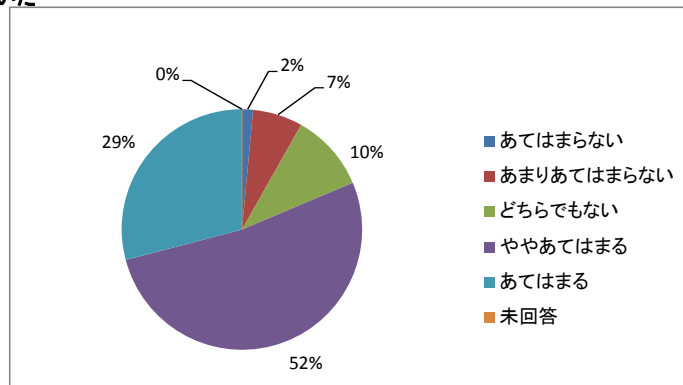
③物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	13
ややあてはまる	55
あてはまる	65
未回答	0



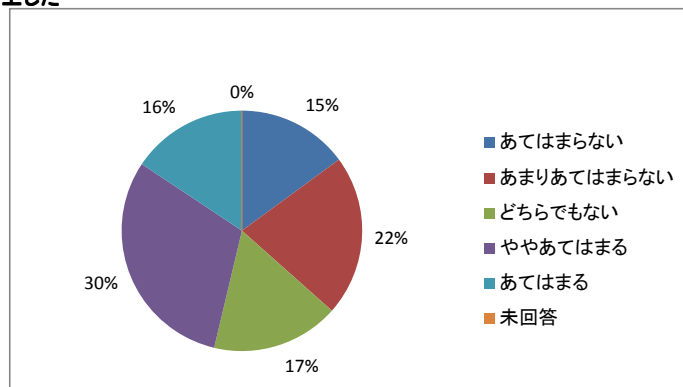
④研究成果を分かり易く発表する力が付いた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	9
どちらでもない	14
ややあてはまる	70
あてはまる	39
未回答	0



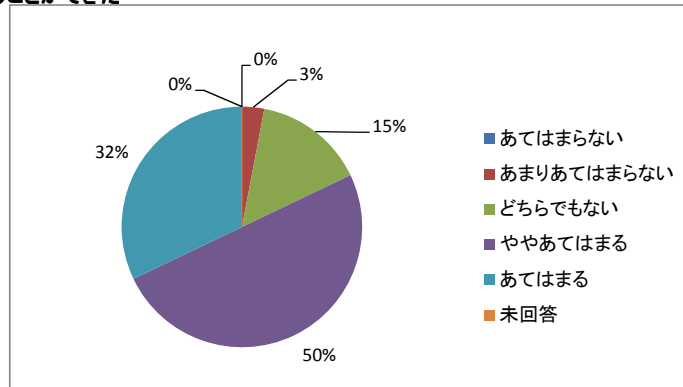
⑤外国語(英語、日本語)の運用能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	20
あまりあてはまらない	29
どちらでもない	23
ややあてはまる	41
あてはまる	21
未回答	0



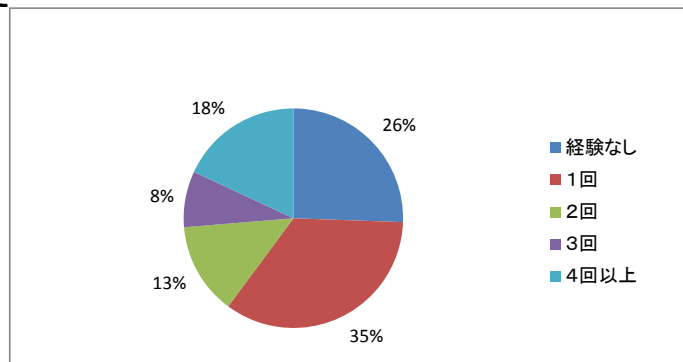
⑥ 課題探究能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	20
ややあてはまる	67
あてはまる	43
未回答	0



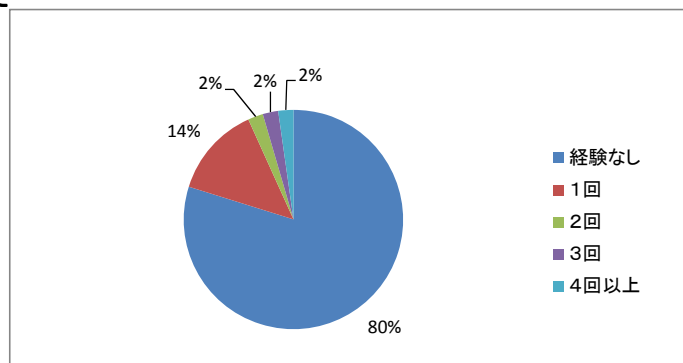
⑦ 国内学会・演奏会・展覧会等で発表した

選択肢	回答
経験なし	34
1回	46
2回	18
3回	11
4回以上	24



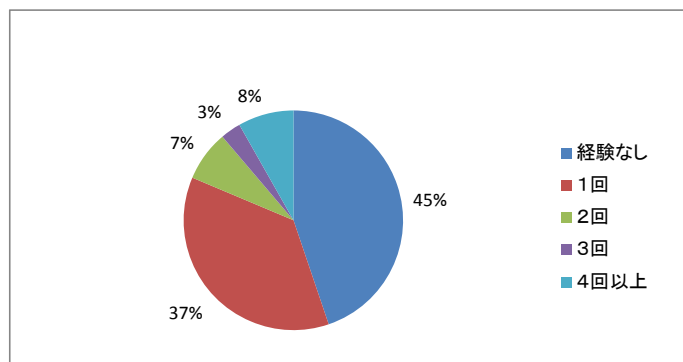
⑧ 国際学会・演奏会・展覧会等で発表した

選択肢	回答
経験なし	107
1回	18
2回	3
3回	3
4回以上	3



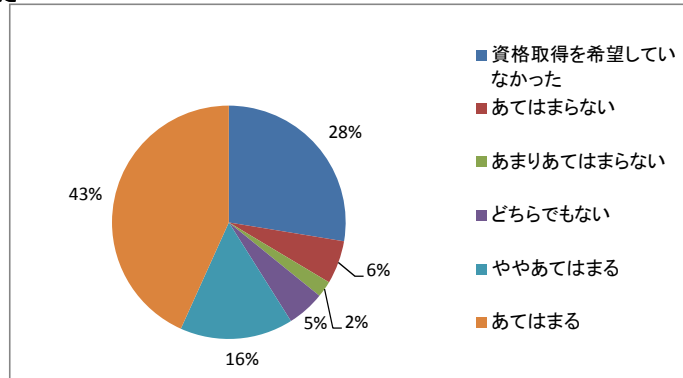
⑨ 論文を執筆し(共著も含めて)発表した

選択肢	回答
経験なし	60
1回	49
2回	10
3回	4
4回以上	11



⑩入学時に希望していた資格を取得できた

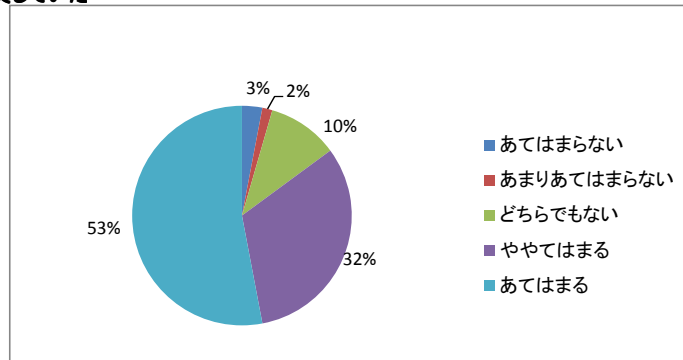
選択肢	回答
資格取得を希望していなかった	37
あてはまらない	8
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	7
ややあてはまる	21
あてはまる	58



問10 大学院(博士前期課程)修了後の進路選択について

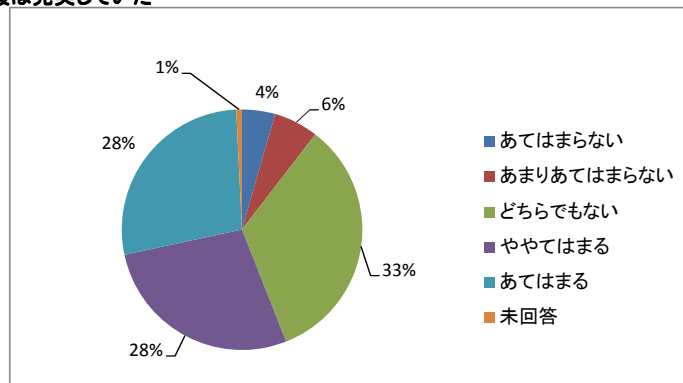
①指導教員(正・副)の支援(相談等)は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	14
ややあてはまる	43
あてはまる	71



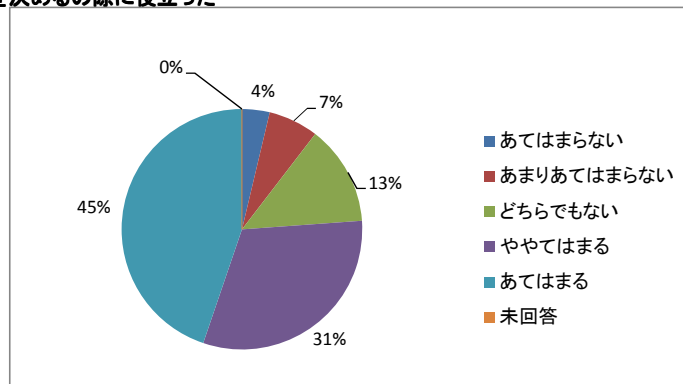
②就職指導教員又は各専攻における支援は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	8
どちらでもない	45
ややあてはまる	37
あてはまる	37
未回答	1



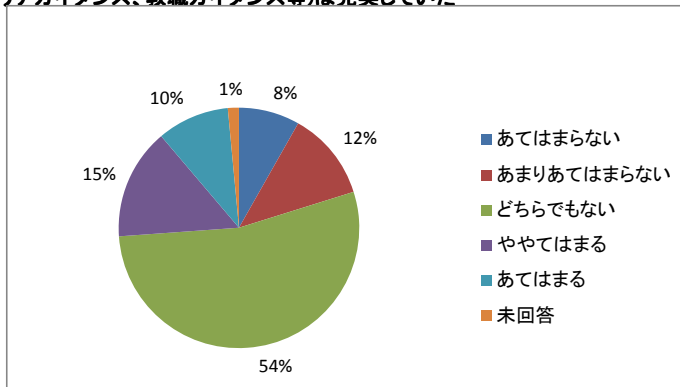
③大学院で学修したことは就職(進学)先を決めるの役に立った

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	9
どちらでもない	18
ややあてはまる	42
あてはまる	60
未回答	0



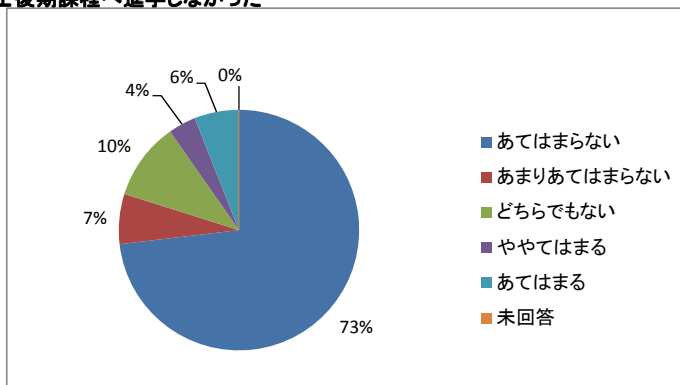
④教育学研究科の支援(6月、10月のキャリアガイダンス、教職ガイダンス等)は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	11
あまりあてはまらない	16
どちらでもない	72
ややてはまる	20
あてはまる	13
未回答	2



⑤経済的支援が得られなかったため、博士後期課程へ進学しなかった

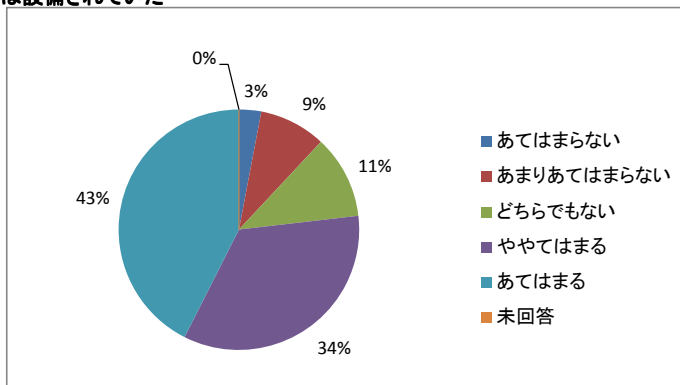
選択肢	回答
あてはまらない	98
あまりあてはまらない	9
どちらでもない	14
ややてはまる	5
あてはまる	8
未回答	0



大学院の施設・設備及び研究支援について

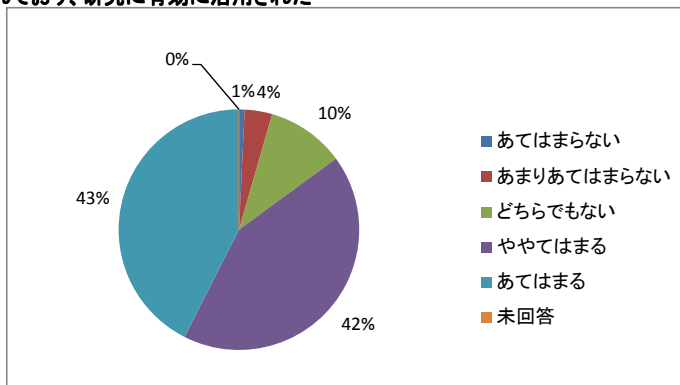
①情報機器やインターネット等のICT環境は設備されていた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	12
どちらでもない	15
ややてはまる	46
あてはまる	57
未回答	0



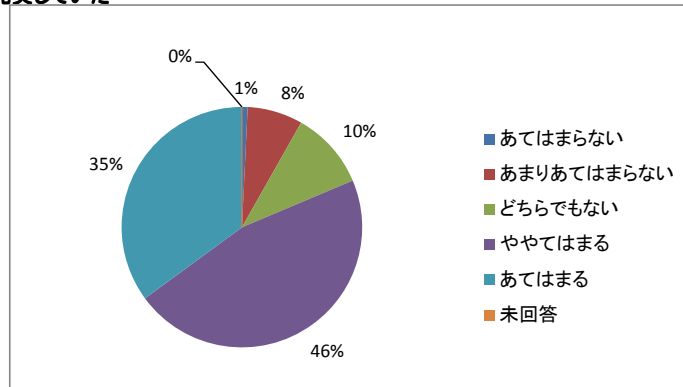
②図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	14
ややてはまる	57
あてはまる	57
未回答	0



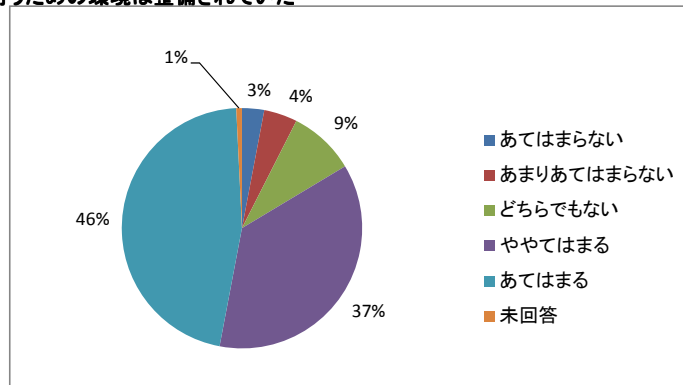
③全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	14
ややてはまる	62
あてはまる	47
未回答	0



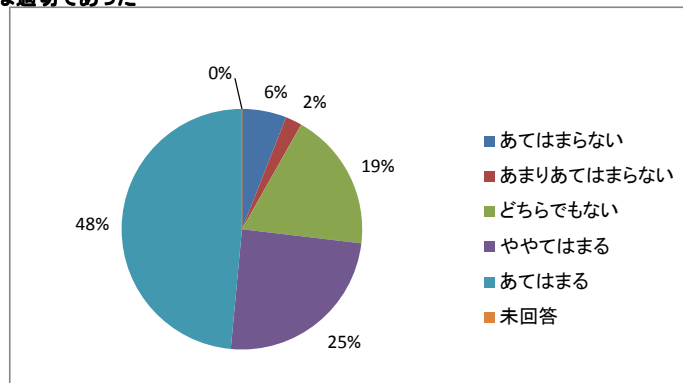
④所属研究室では意欲的な研究活動を行うための環境は整備されていた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	6
どちらでもない	12
ややてはまる	49
あてはまる	62
未回答	1



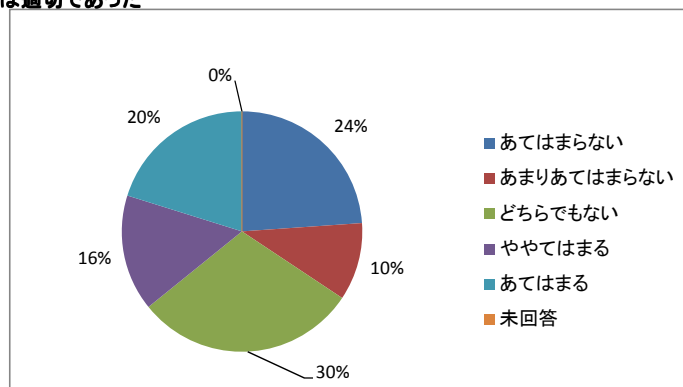
⑤学会等での発表に際して、助言と指導は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	8
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	25
ややてはまる	33
あてはまる	65
未回答	0



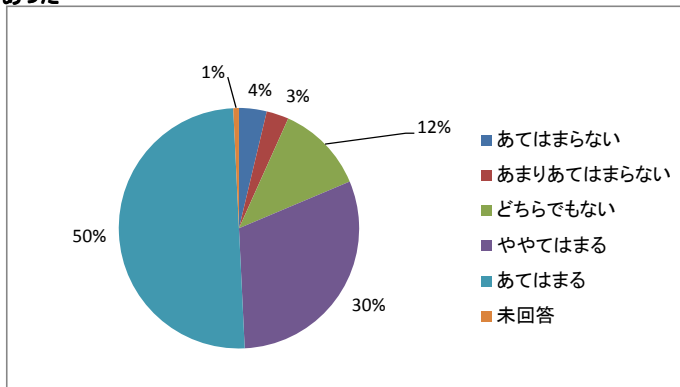
⑥学会等での発表に際して、経済的支援は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	32
あまりあてはまらない	14
どちらでもない	40
ややてはまる	21
あてはまる	27
未回答	0



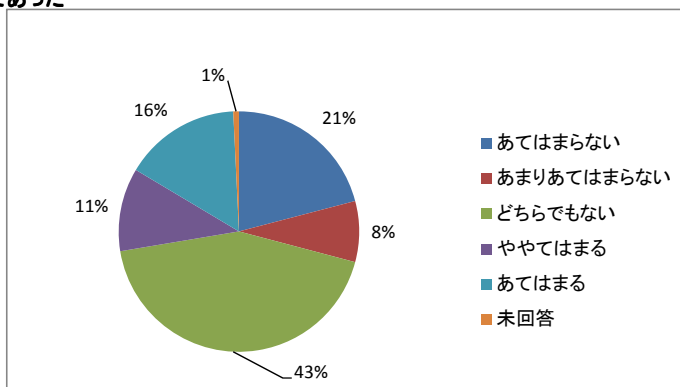
⑦論文発表に関する助言と指導は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	16
ややてはまる	41
あてはまる	67
未回答	1



⑧論文発表に関する経済的支援は適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	28
あまりあてはまらない	11
どちらでもない	58
ややてはまる	15
あてはまる	21
未回答	1



## 研究科総評

### 研究科：社会科学研究科

#### 1. 集計結果のまとめ

(法政システム専攻)

アンケートはWebで実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する25名で、そのうち、9名が回答し、回答率は36%であった。これは博士課程前期における全学の平均回答率よりかなり低かったが、これについては、修了予定者に対するアンケート実施の周知が不十分であったことが主な理由として考えられる。

今回の設問の中で、設問18, 19, 24において評価が極めて高かったことは、大学院教育で重要な各教員の授業内容、研究指導(修士論文)について本専攻の教員による教育上の取り組みが非常に充実していたことが証明されたと言える。特に研究指導については全員が充実していたと回答している

設問25, 26, 27, 31, 32での高い評価については、本専攻の教育プログラムによる教育研究の成果である論理的思考力、批判的考察力、プレゼンテーション能力、課題解決能力が十分修得されたことが理解される。

設問39は、業務上の意思決定に関して従来の職務上の経験に加え理論的裏付けが可能になったこと、また学習・思考能力の向上という成果が述べられていることは、この点で本専攻の教育上の重要な目的が達成されていることを示している。

設問40, 41, 42は、教育研究をめぐる教員、事務職員、友人との関係が良好であり、とりわけ教員との関係が良好であったことを全員が回答している。設問43, 48は、教員による進路や就職に対する相談・助言態勢が充実していたことが回答されている。設問55では、本専攻のミッションである高度専門職業人の養成やフェニックス入学制度について評価が得られていると考えられる。

教育研究の環境面では、設問11, 20, 21が、学生支援室による対応・サービス、情報通信環境、資料の整備等について満足していることを示している。

(社会経済システム専攻)

アンケートは紙媒体で実施し、調査対象学生数は、博士課程前期課程に所属し、課程を修了予定の20人で、そのうち11人が回答し、回答率は55%であった。これは博士課程前期に関する全学の平均回答率67%より低い。ただし、本専攻単独の結果が分かる形式の調査を実施したのは今回が最初であり、公開されている調査の最初の年度が平成21年度であったが、それ以来今回まで調査対象は社会科学研究科全体の大学院生であった。研究科全体の場合の回答率は平成21年度が20.7%、22年度が23.9%、23年度が26.6%であった。今回の研究科の全体平均値が56.14%となっており、これまでの研究科の回答率に大幅な上

昇があり、本専攻の回答率にも全体平均並みの上昇があったことが想像される。今後は修士論文の提出と同時のアンケート票の回収、等いっそうの回収率の向上を計る予定である。

今回の設問のうち問1の①～⑦については、「大変満足できた」と「概ね満足できた」を併せた回答がほぼ70～80%を占めており、本専攻の取り組みが反映されているものと考えられる。同じことが問2の全設問と問3の①～⑧までにもあてはまる。ただし、⑨の「資格取得：54%」、「学会発表の際の各種支援：27%」、「国内・国際学会での発表：0%」、「英文論文執筆：0%」において問題が存在することが明らかになっている。これらの数字では、経済学の領域において修士論文に関する報告を学会発表という形式で行うことは全国的にもまれであるという事情も作用している様に思われるが、同時に後期課程への進学を意図する大学院生が少ないことも一因と考えられるため、この問題への対策は後期課程の定員充足策と同時に検討していく必要がある。問5の学生生活への各設問においてはほぼ良好な回答が多数を占めている。ただし、問6の「経済的支援」に関しては、TA経費と授業料免除の比重が高く、大学院生の多数が外国人留学生によって占められていることが反映されている様に思われる。問8の進路選択に関する設問への回答は概ね良好である。

#### (マネジメント専攻)

アンケートは紙媒体で実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する14名で、そのうち13名が回答し、回答率は93%だった。これは、博士課程前期における全学の平均回答率67%より高い。このように高い回答率は、学位授与式の直後に実施するという実施方法上の工夫が奏功していると考えられる。

また、今回の設問の中で、設問3の③「特別研究（修士論文）の指導は充実していた」、⑦「研究室では意欲的な研究活動を行うことができた」の回答結果は、専攻の取り組みが成果となって反映されたものと考えられる。③については、回答者全員が「あてまはる」と回答しており、⑦については、「あてはまる」と「ややあてはまる」で100%である。今後も引き続き、博士課程前期の研究指導体制の維持・改善を図っていきたい。

## 2. 次年度に向けた対応

#### (法政システム専攻)

今回のアンケート結果では、本専攻としては、所期の教育研究の目標が概ね達成されていることが分かった。

設問36, 37, 38について、本専攻の博士課程前期の学生の多くは民間企業、その他への就職を目指すため、業績発表等の経験がないという結果になったと考えられる。

今後の課題としては、今回の修了生の回答率がかなり低かったことについて、修了生が確実にアンケートに回答することが必要であり、次年度は、事前にアンケートへの協力依頼文書を修了予定者へ配付し周知徹底した上で、Web（もみじ）でアンケート実施について通知するかたちにし、回答率を上げていきたい。



(社会経済システム専攻)

今回のアンケート結果では、専攻全体として学会報告と英文論文の作成という面で問題があることが分かった。

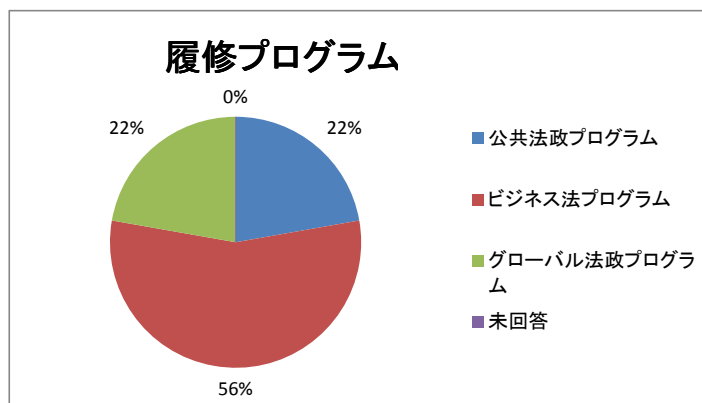
設問 3 の項目④の資格取得については、もともと経済学領域では就職等実務的な面で意義のある資格が少ないという事情もあり、大学院教育において特に資格取得を促す指導を行っていないことも原因である。問 3 の⑩⑫⑬⑭は学会報告と英文論文作成に関する設問であるが、回答における現状はきわめて良くないことを示している。これに関しては、大学院生の国籍の多様化と、現在後期課程で実施している英語のみによる学位取得プログラムを前期課程でも実施することを計画しており、その実現の中で改善を図っていく予定である。

(マネジメント専攻)

今回のアンケート結果では、設備・備品や図書・学術雑誌の整備の面では修了生全員が必ずしも満足しているわけではないことが分かった（設問2の⑤，⑥）。⑤「図書や学術雑誌，AV資料等が整備されており，研究に有効に活用された」については，東千田図書館の所蔵スペースに限りがあるものの，専攻予算での選書の機会などを活用し，学生のニーズにあった図書の充実に努めたい。⑥「全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた」については，教務委員会で毎年開催している意見交換の場である院生懇談会を学生ニーズや要望の把握の場として引き続き活用し，平成24年度に対応した院生控室の研究環境整備，および東千田キャンパス全体の研究・学習環境の向上に次年度も専攻として取り組んでいきたい。

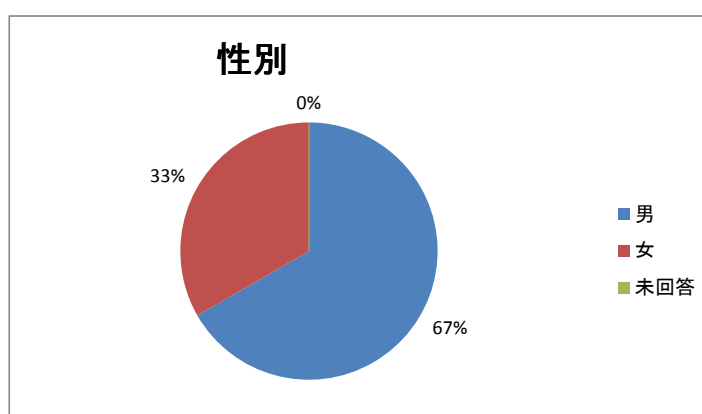
## 1 履修プログラム

選択肢	回答
公共法政プログラム	2
ビジネス法プログラム	5
グローバル法政プログラム	2
未回答	0



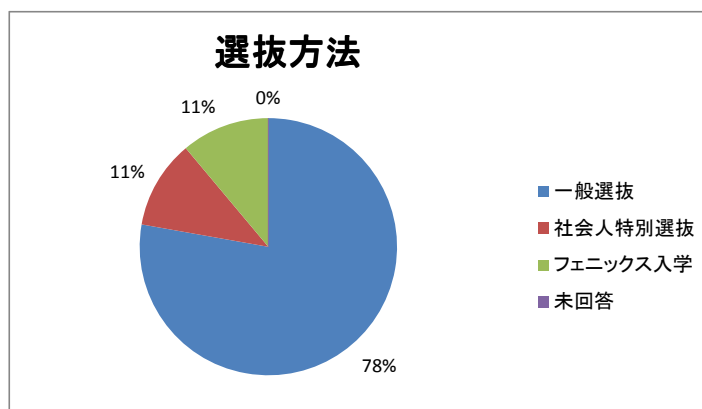
## 2 性別

選択肢	回答
男	6
女	3
未回答	0



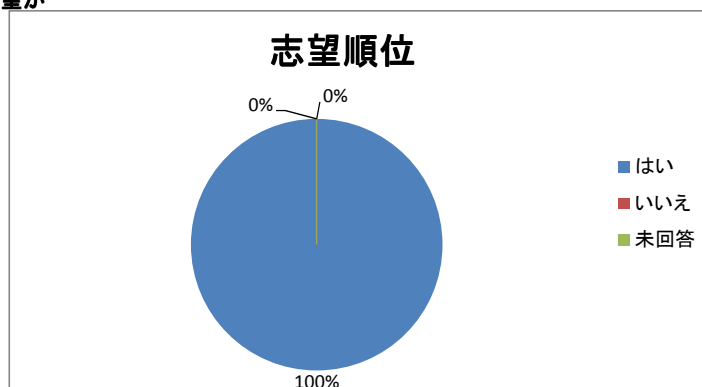
## 3 選抜方法

選択肢	回答
一般選抜	7
社会人特別選抜	1
フェニックス入学	1
未回答	0



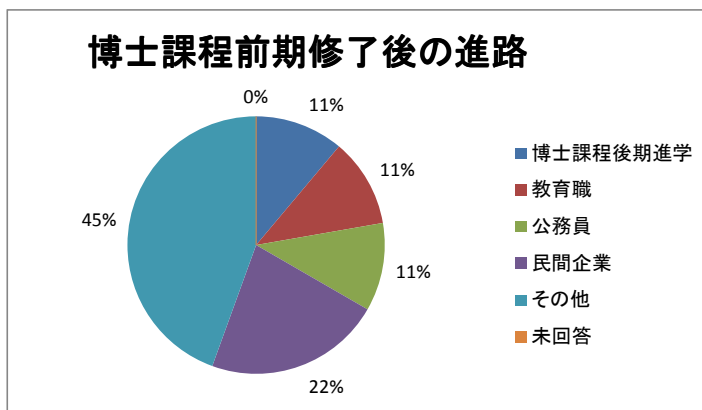
## 5 法政システム専攻への進学は第一志望か

選択肢	回答
はい	9
いいえ	0
未回答	0



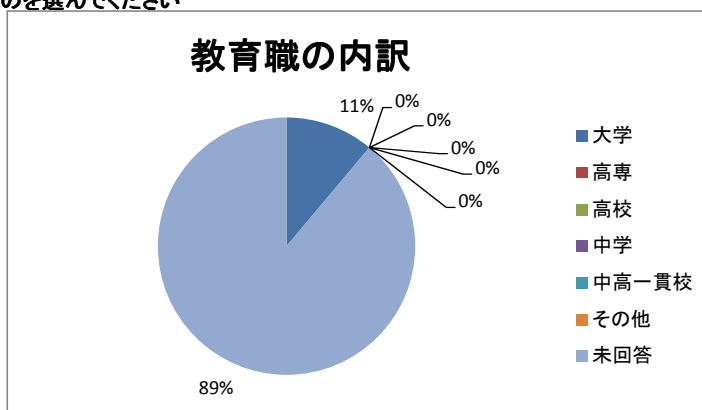
7 博士課程前期修了後の進路

選択肢	回答
博士課程後期進学	1
教育職	1
公務員	1
民間企業	2
その他	4
未回答	0



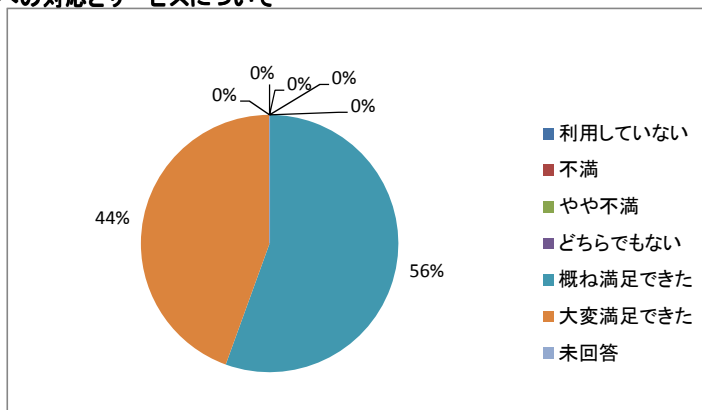
9 7で(教育職)と答えた方で該当するものを選んでください

選択肢	回答
大学	1
高専	0
高校	0
中学	0
中高一貫校	0
その他	0
未回答	8



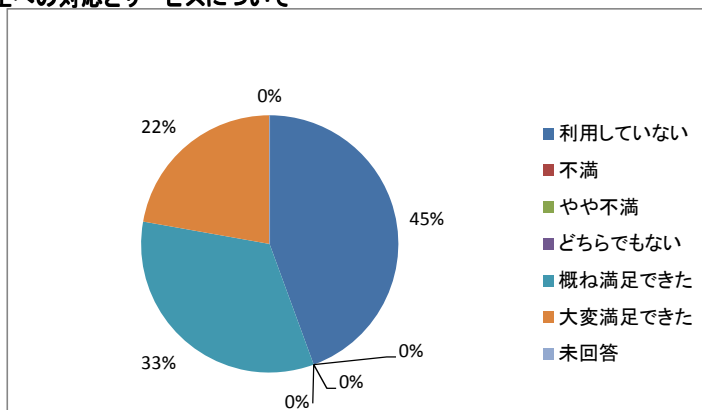
(11~17) 在学期間中の施設サービスに関する満足度について  
11 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービスについて

選択肢	回答
利用していない	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	5
大変満足できた	4
未回答	0



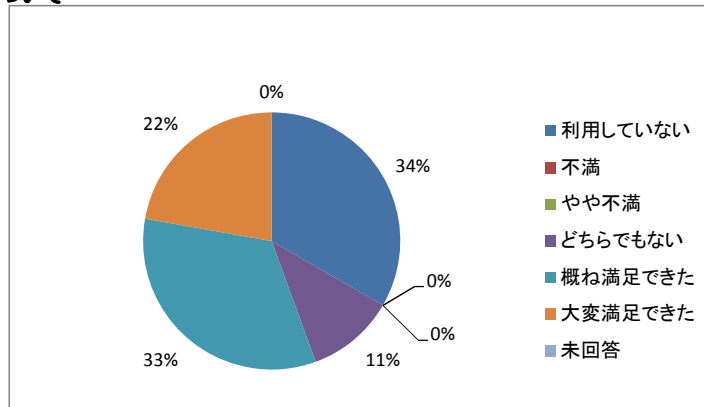
12 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービスについて

選択肢	回答
利用していない	4
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	3
大変満足できた	2
未回答	0



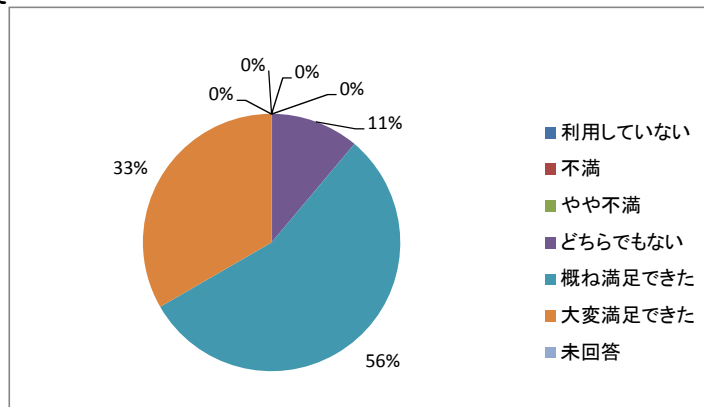
### 13 保健管理センターでの対応とケアについて

選択肢	回答
利用していない	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	3
大変満足できた	2
未回答	0



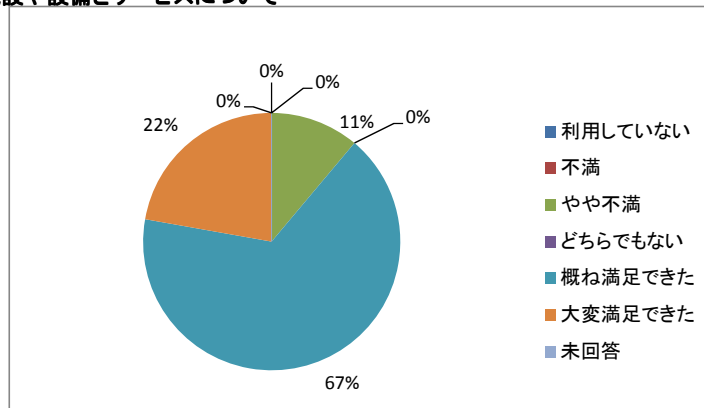
### 14 図書館での対応やサービスについて

選択肢	回答
利用していない	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	5
大変満足できた	3
未回答	0



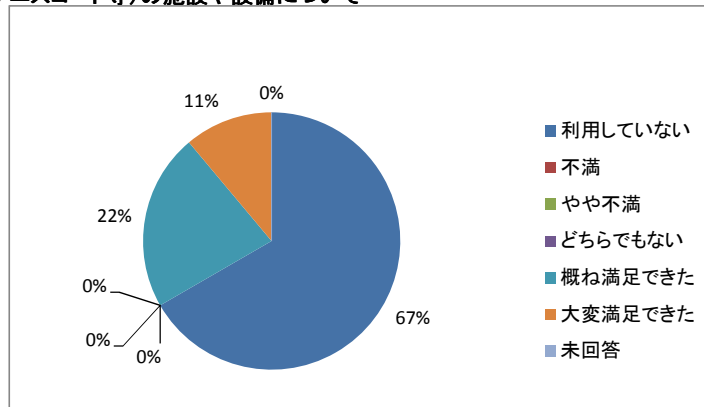
### 15 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービスについて

選択肢	回答
利用していない	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	0
概ね満足できた	6
大変満足できた	2
未回答	0



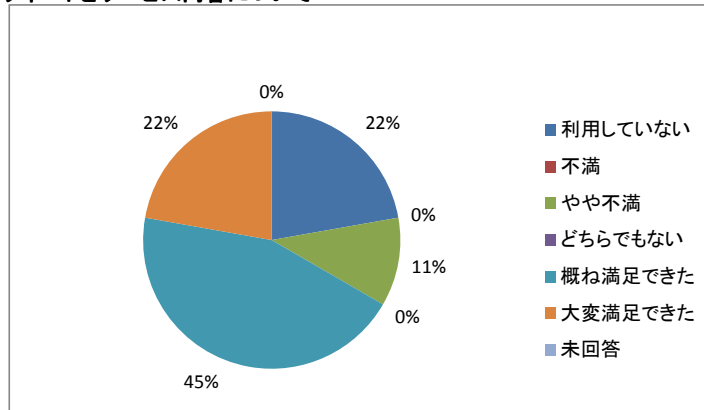
### 16 課題活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備について

選択肢	回答
利用していない	6
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	2
大変満足できた	1
未回答	0



17 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容について

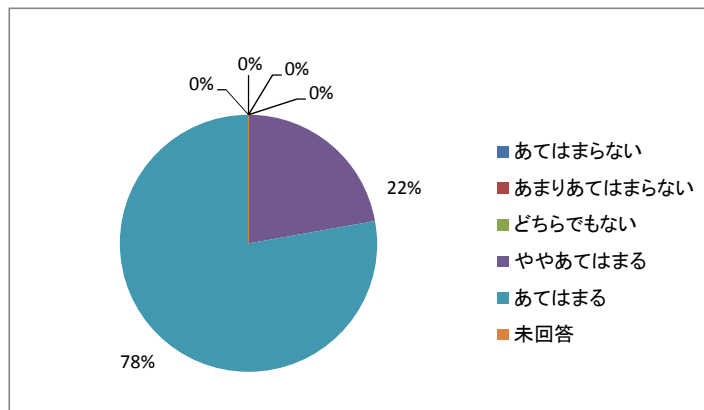
選択肢	回答
利用していない	2
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	0
概ね満足できた	4
大変満足できた	2
未回答	0



(18~24) 大学院で受けた教育についてお尋ねします。

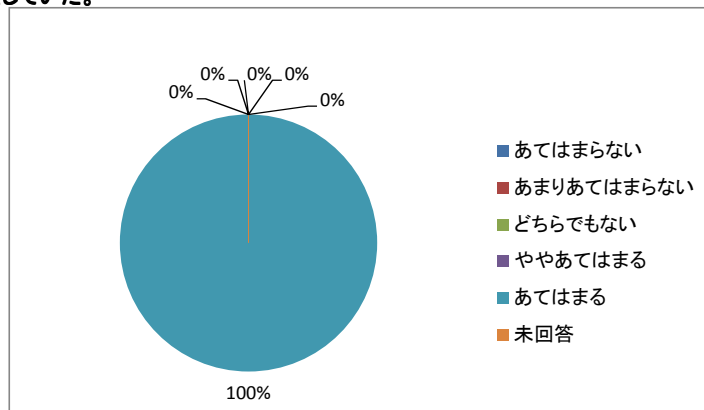
18 授業内容は充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	2
あてはまる	7
未回答	0



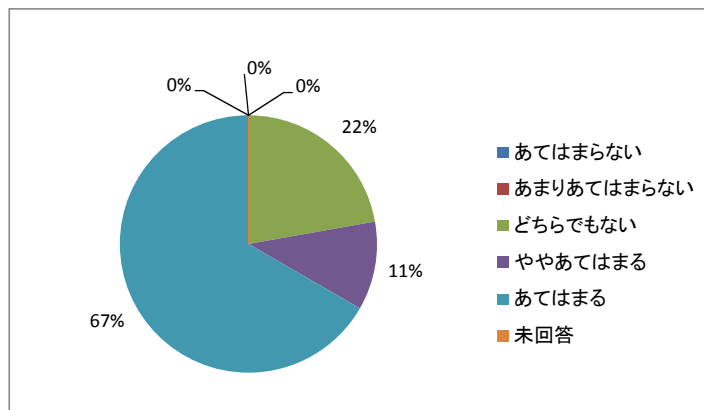
19 特別研究(修士論文)の指導は充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	0
あてはまる	9
未回答	0



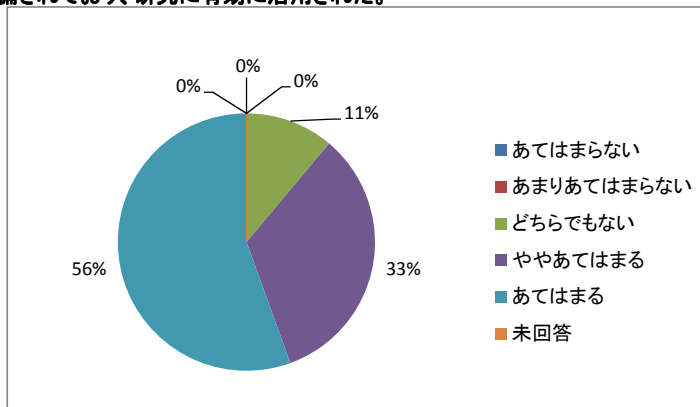
20 情報通信環境は整っていた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	6
未回答	0



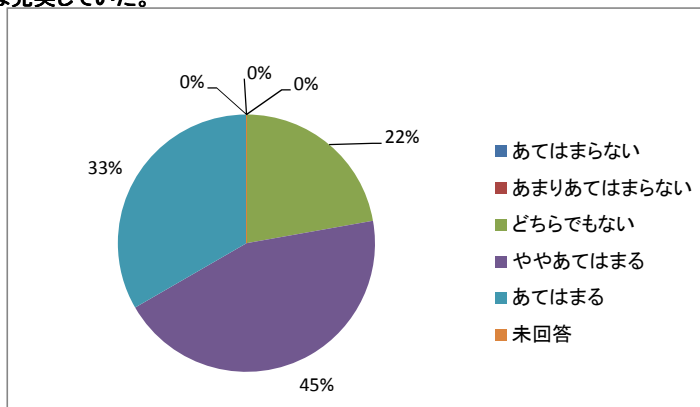
21 図書や学術雑誌、AV資料などが整備されており、研究に有効に活用された。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	5
未回答	0



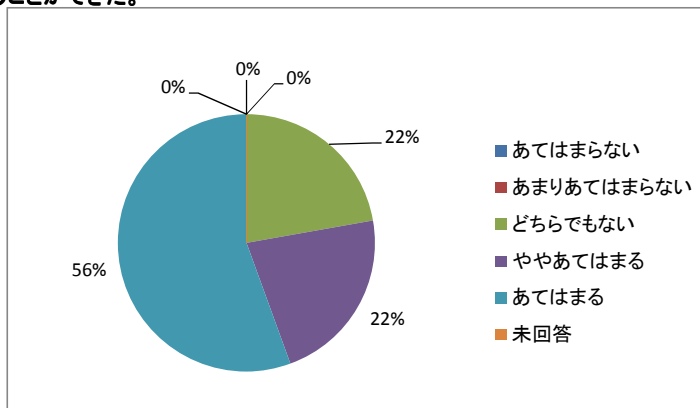
22 その他研究に係る設備や備品などは充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	4
あてはまる	3
未回答	0



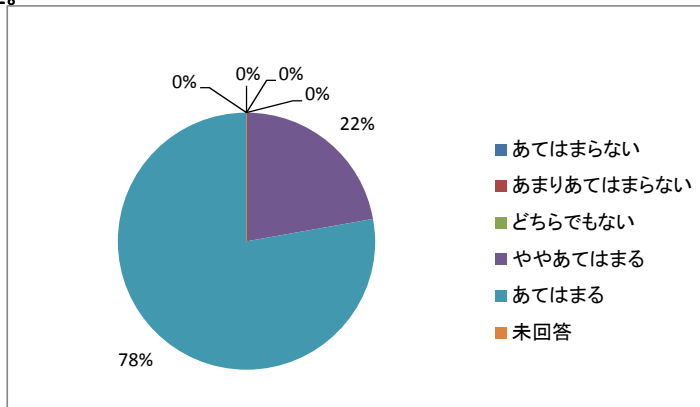
23 研究室では意欲的な研究活動を行うことができた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	5
未回答	0



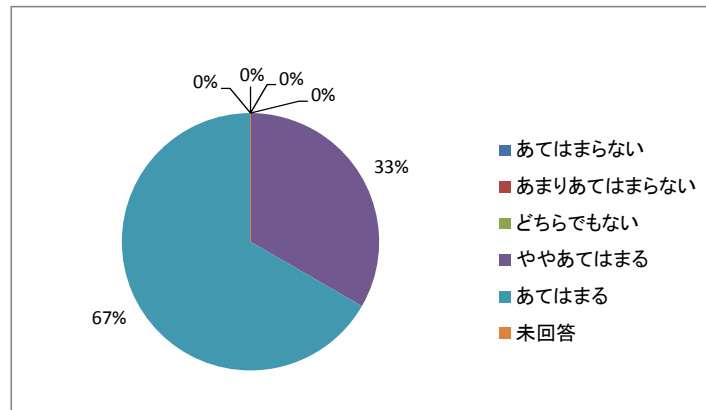
24 専門分野の知識と技能を修得できた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	2
あてはまる	7
未回答	0



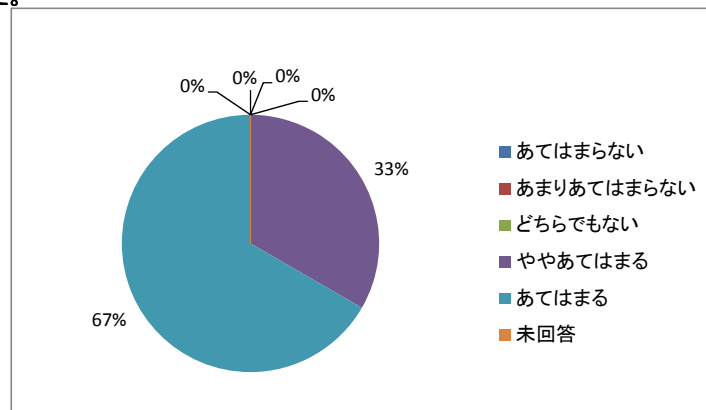
(25~38)大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。  
25 論理的思考力が向上した。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	3
あてはまる	6
未回答	0



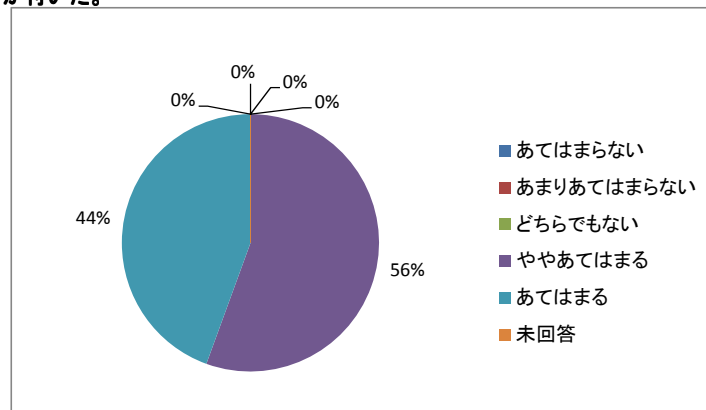
26 物事を批判的に考える力が向上した。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	3
あてはまる	6
未回答	0



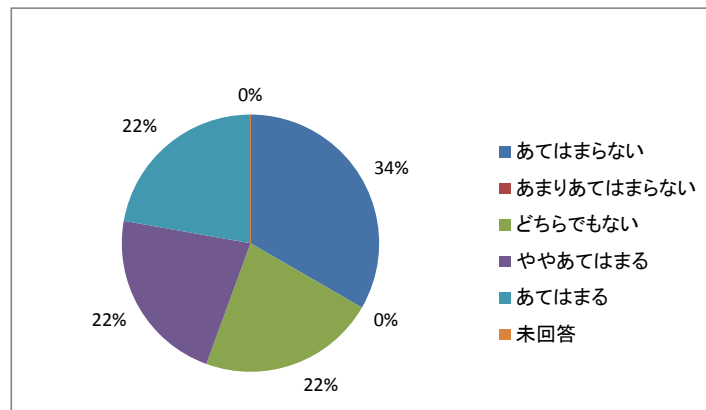
27 研究成果を分かりやすく発表する力が付いた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	5
あてはまる	4
未回答	0



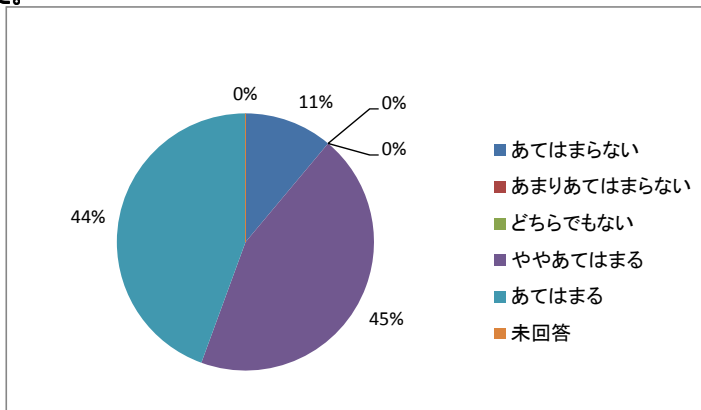
28 外国語運用能力が向上した。

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	2
未回答	0



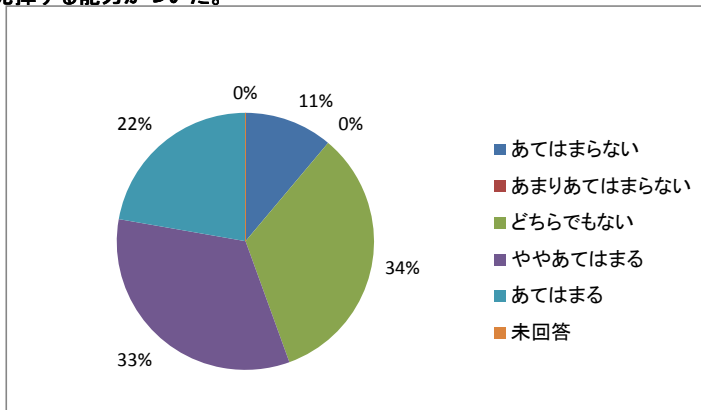
29 研究に関するマネジメント力が付いた。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	4
未回答	0



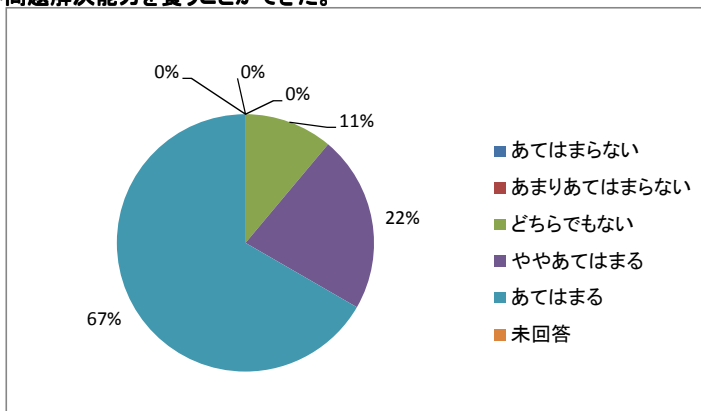
30 研究推進においてリーダーシップを発揮する能力がついた。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



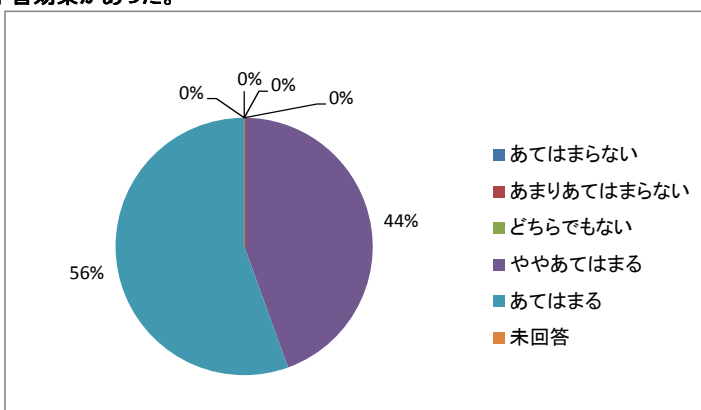
31 研究などを通じて課題探究能力及び問題解決能力を養うことができた。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	6
未回答	0



32 専門分野で必要なスキルの修得で学習効果があった。

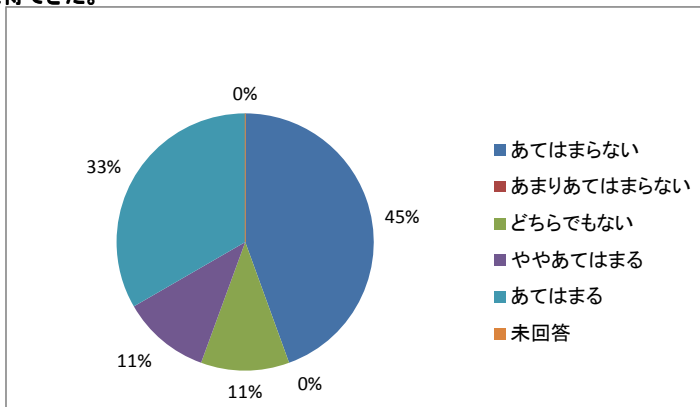
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	5
未回答	0





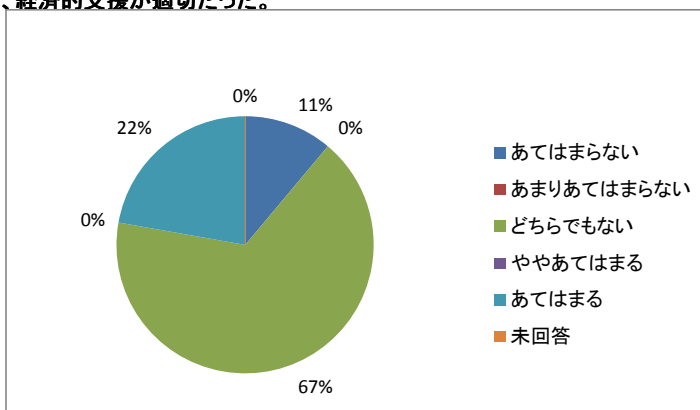
33 入学時に希望していた資格などを取得できた。

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	1
あてはまる	3
未回答	0



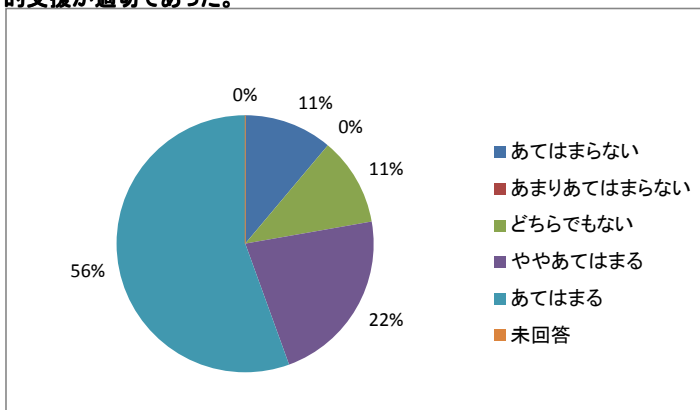
34 学会等の発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切だった。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	6
ややあてはまる	0
あてはまる	2
未回答	0



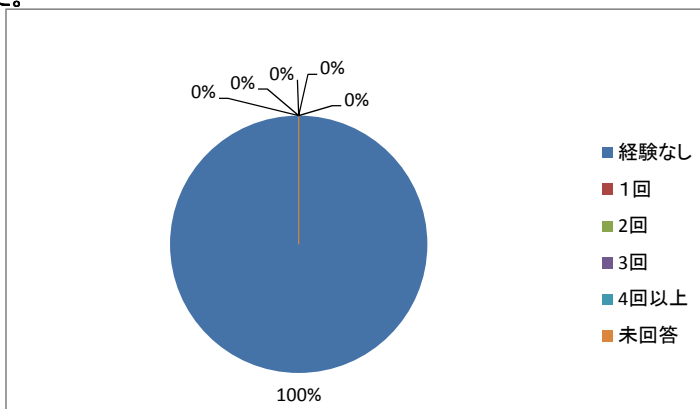
35 論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切であった。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	5
未回答	0



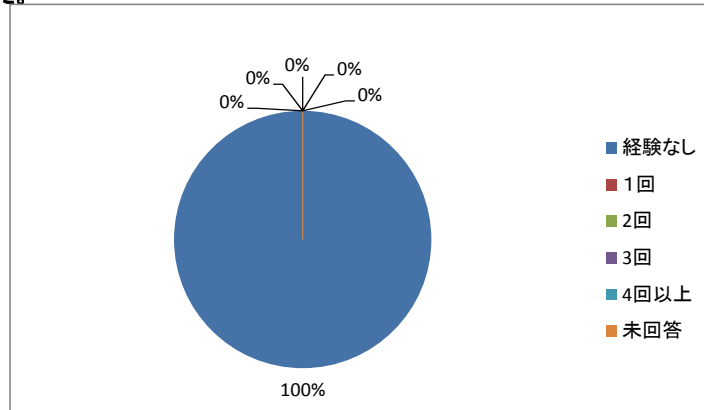
36 大学院在学中に国内学会で発表した。

選択肢	回答
経験なし	9
1回	0
2回	0
3回	0
4回以上	0
未回答	0



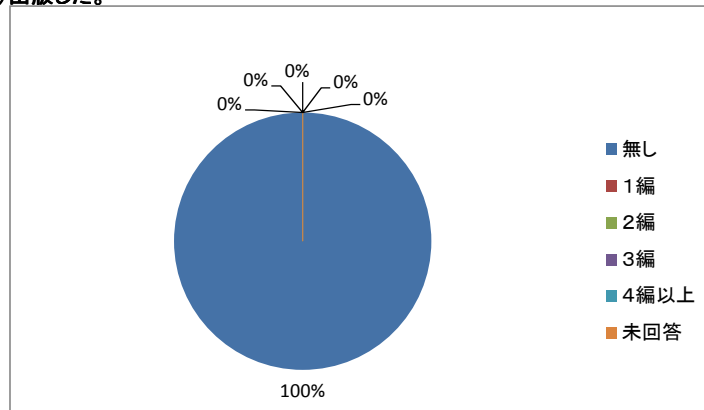
37 大学院在学中に国際学会で発表した。

選択肢	回答
経験なし	9
1回	0
2回	0
3回	0
4回以上	0
未回答	0



38 英語で論文を執筆し(共著も含めて)出版した。

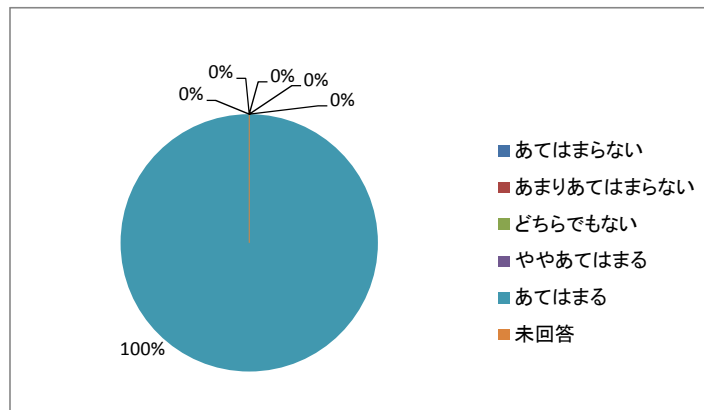
選択肢	回答
無し	9
1編	0
2編	0
3編	0
4編以上	0
未回答	0



(40~44) 大学院での学生生活についてお尋ねします。

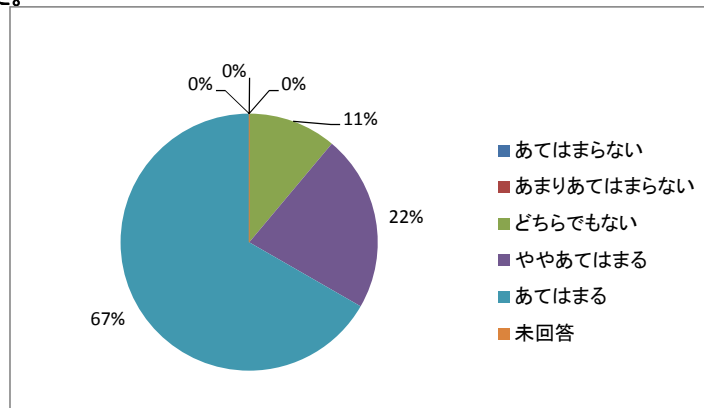
40 教員との関係は良好であった。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	0
あてはまる	9
未回答	0



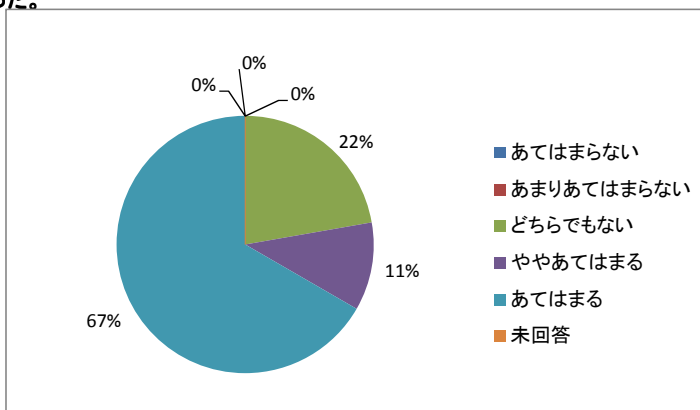
41 事務系職員との関係は良好であった。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	6
未回答	0



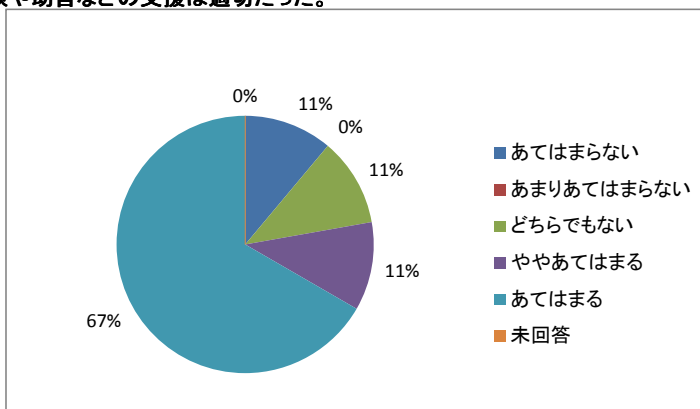
42 研究活動を通じて友人関係が広がった。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	6
未回答	0



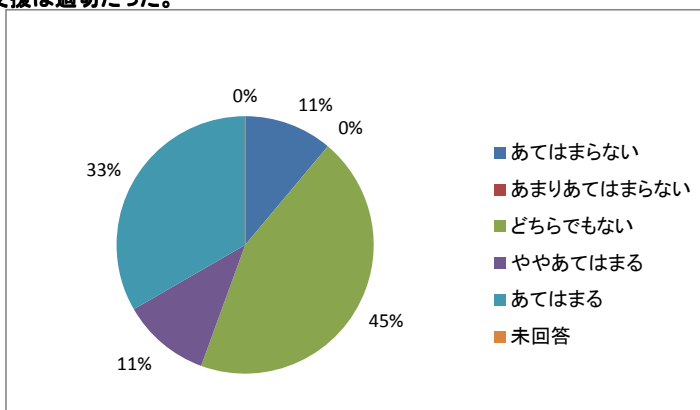
43 教員による進路や就職に関する相談や助言などの支援は適切だった。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	1
あてはまる	6
未回答	0



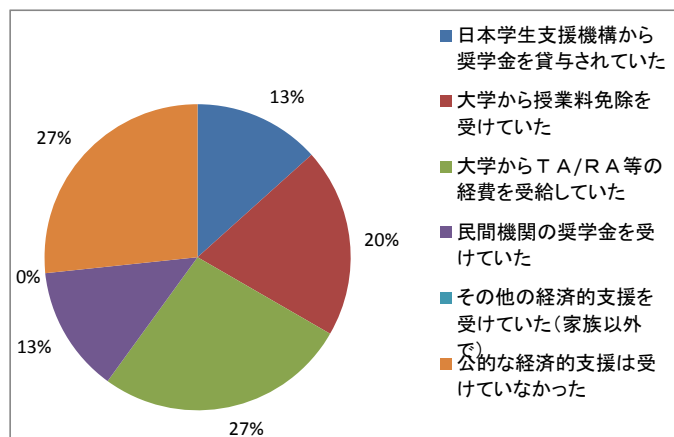
44 職員による経済相談や助言などの支援は適切だった。

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	1
あてはまる	3
未回答	0



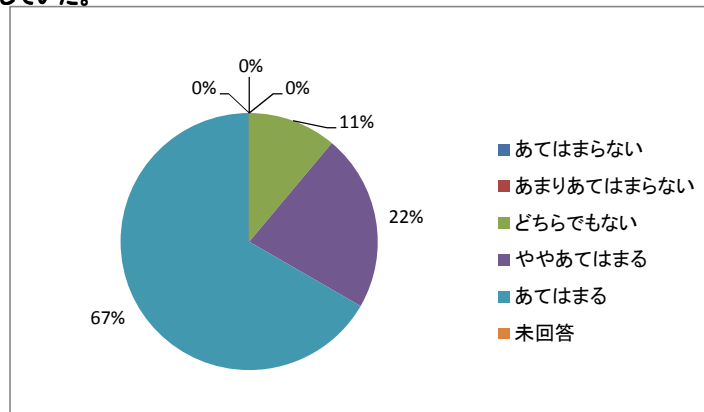
45 大学院在学中に受けていた経済支援であてはまるものを選んでください。

選択肢	45集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与されていた	2
大学から授業料免除を受けていた	3
大学からTA/RA等の経費を受給していた	4
民間機関の奨学金を受けていた	2
その他の経済的支援を受けていた(家族以外)	0
公的な経済的支援は受けていなかった	4



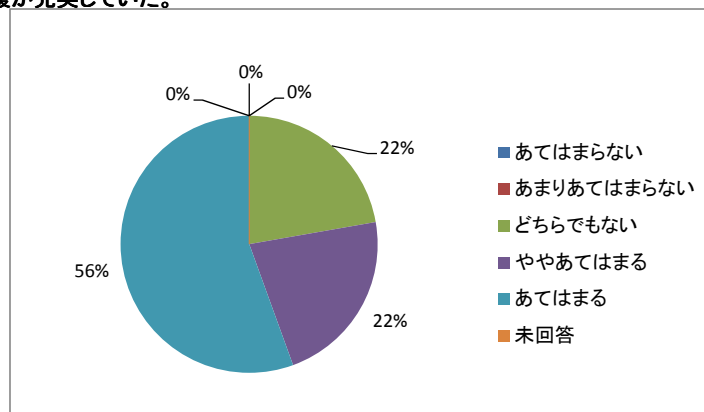
(48～53)大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。  
 48 指導教員の支援(相談など)が充実していた。

選択肢	45集計
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	6
未回答	0



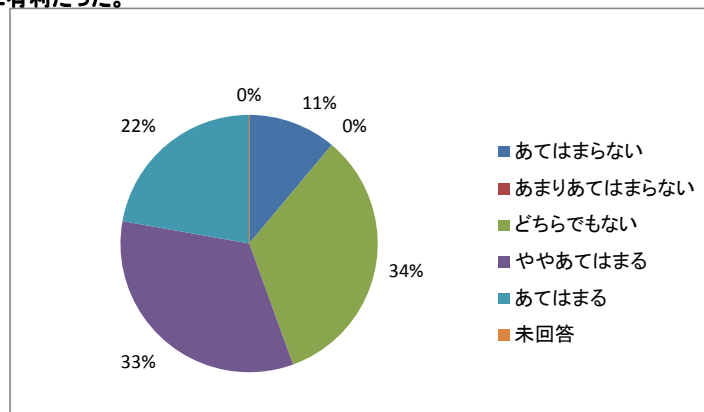
49 法政システム専攻全体における支援が充実していた。

選択肢	45集計
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	5
未回答	0



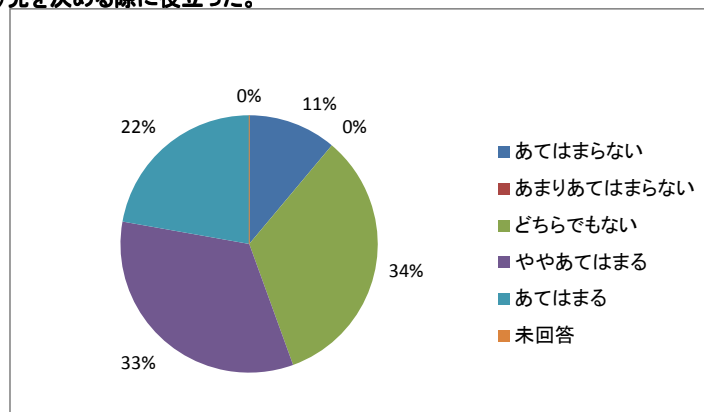
50 大学院で学修したことが就職活動に有利だった。

選択肢	45集計
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



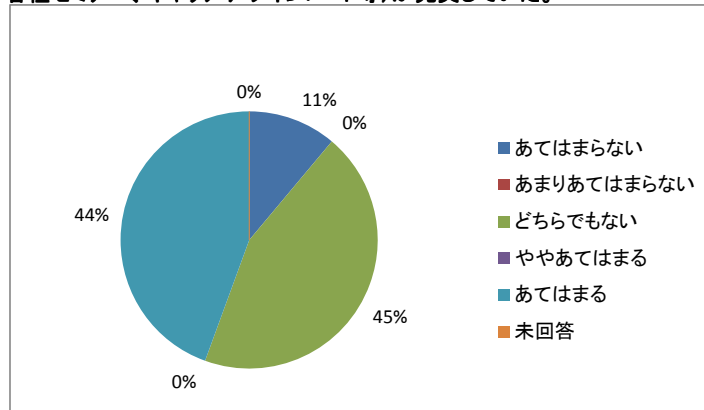
51 大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役立った。

選択肢	45集計
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



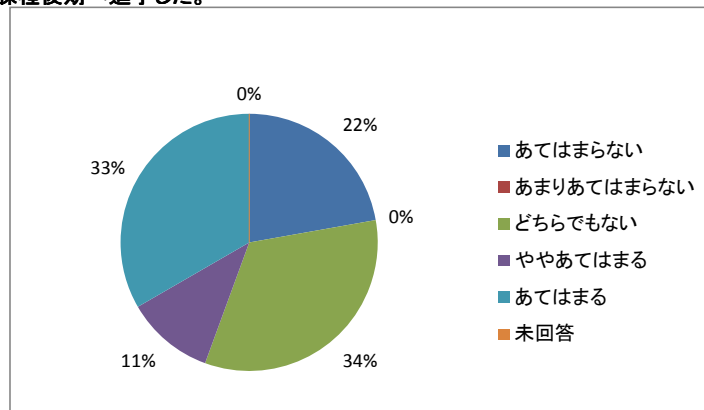
52 キャリアセンターの支援(進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等)が充実していた。

選択肢	45集計
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	0
あてはまる	4
未回答	0



53 経済的支援が得られていれば博士課程後期へ進学した。

選択肢	45集計
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	1
あてはまる	3
未回答	0

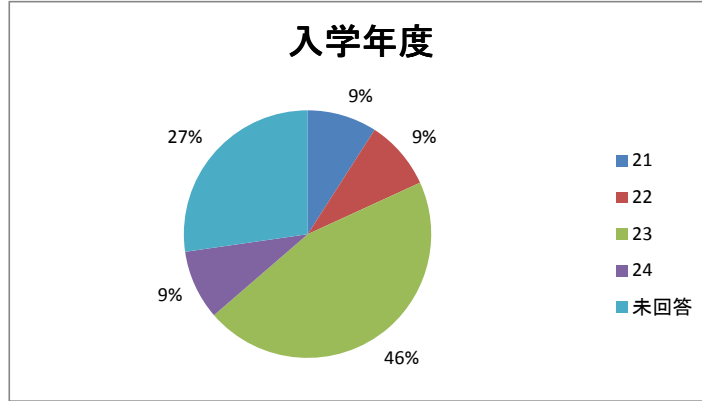


アンケート集計結果(博士課程前期)

研究科: 社会科学研究科(社会経済システム学専攻)

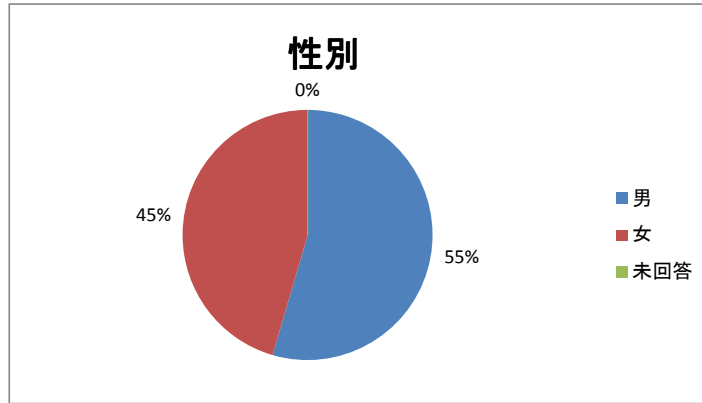
入学年度

入学年度	入学年度集計
21	1
22	1
23	5
24	1
未回答	3



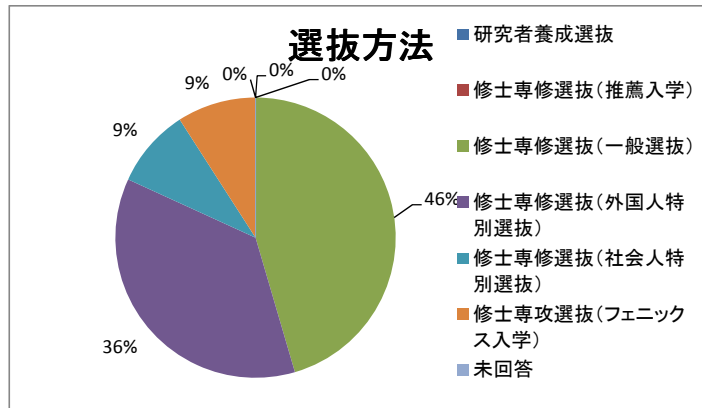
性別

選択肢	回答
男	6
女	5
未回答	0



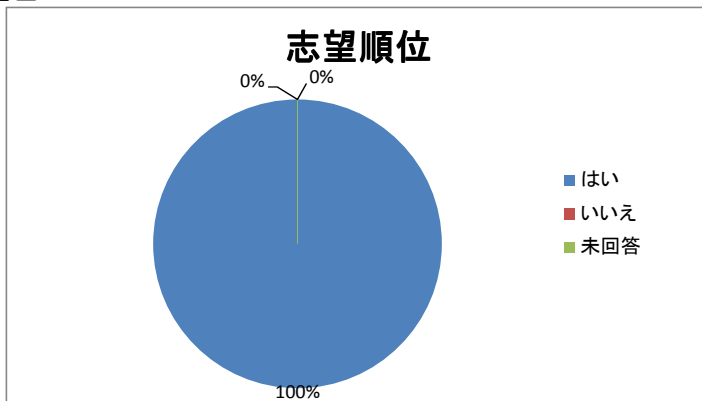
選抜方法

選択肢	回答
研究者養成選抜	0
修士専修選抜(推薦入学)	0
修士専修選抜(一般選抜)	5
修士専修選抜(外国人特別選抜)	4
修士専修選抜(社会人特別選抜)	1
修士専攻選抜(フェニックス入学)	1
未回答	0



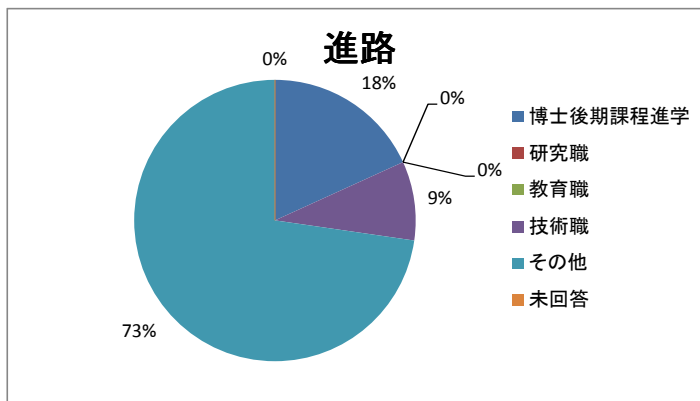
社会経済システム専攻への進学は第一志望か

選択肢	回答
はい	11
いいえ	0
未回答	0



## 大学院修了後の進路

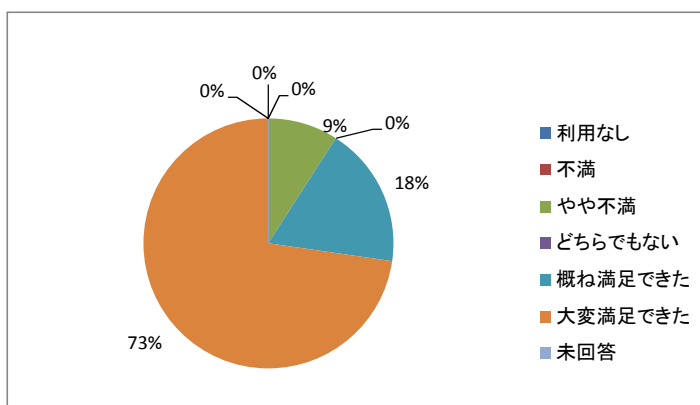
選択肢	回答
博士後期課程進学	2
研究職	0
教育職	0
技術職	1
その他	8
未回答	0



問1 在学期間中の施設サービスに関する満足度についてお尋ねします。

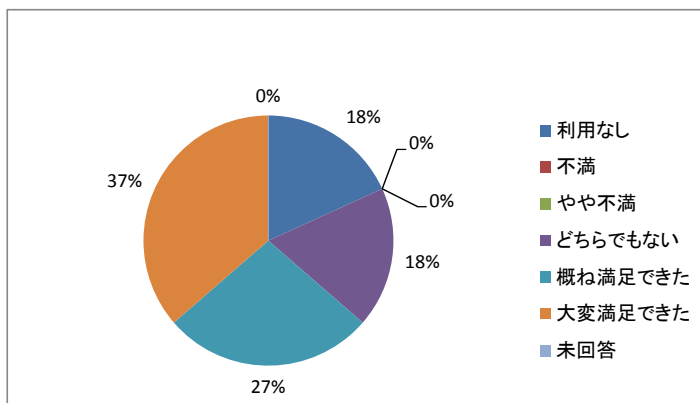
### ①所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	0
概ね満足できた	2
大変満足できた	8
未回答	0



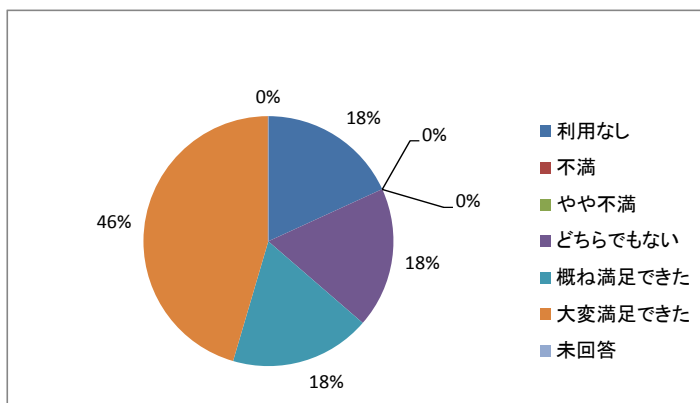
### ②学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	2
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	3
大変満足できた	4
未回答	0



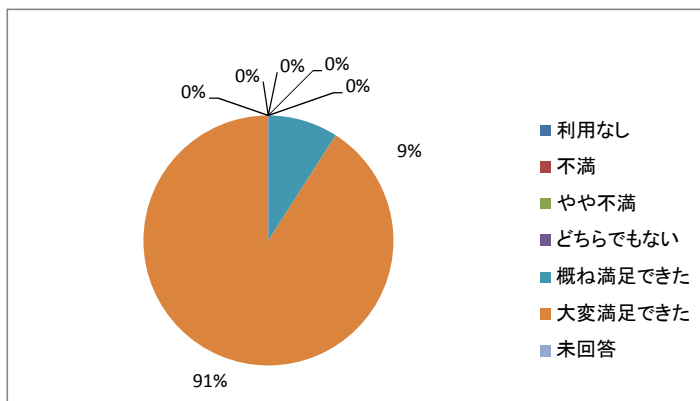
### ③保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	2
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	2
大変満足できた	5
未回答	0



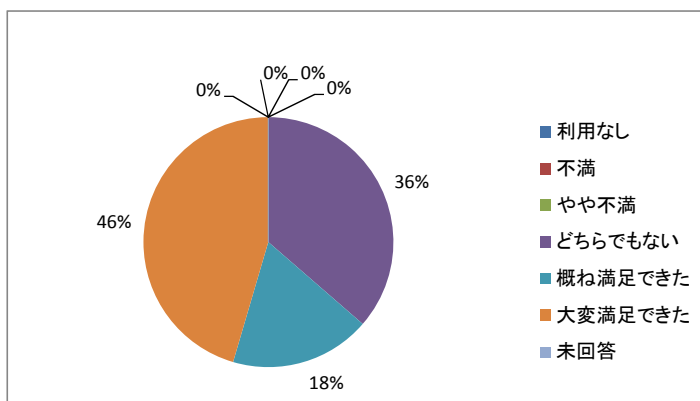
④図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	1
大変満足できた	10
未回答	0



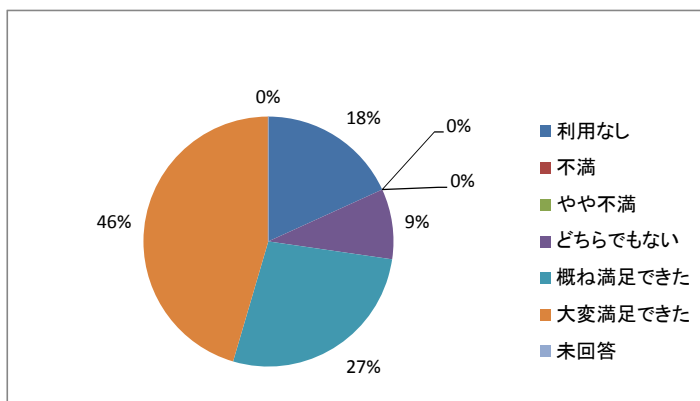
⑤福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	4
概ね満足できた	2
大変満足できた	5
未回答	0



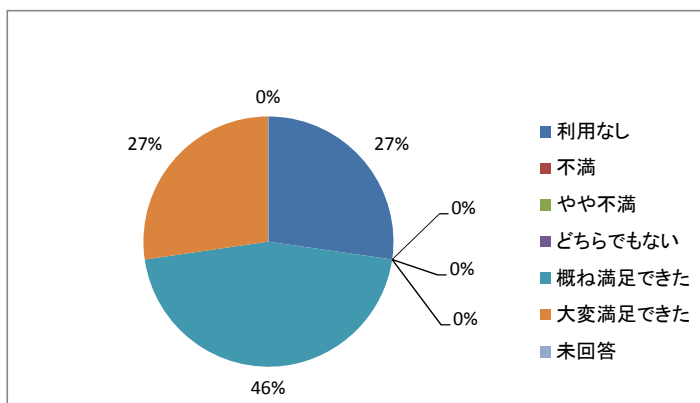
⑥課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	2
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	3
大変満足できた	5
未回答	0



⑦授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	5
大変満足できた	3
未回答	0

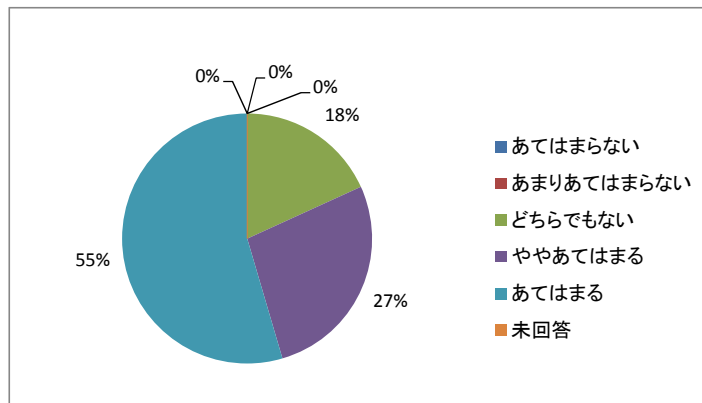




問2 大学院で受けた教育についてお尋ねします。

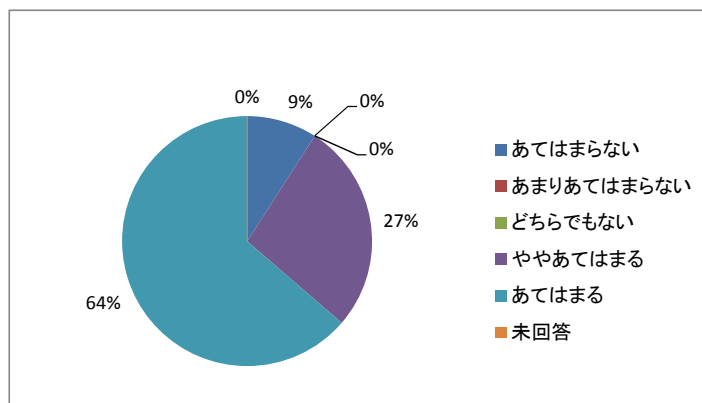
①授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	6
未回答	0



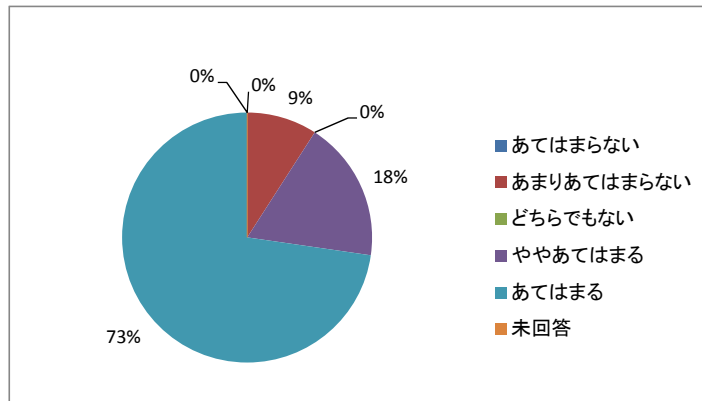
②セミナーは充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	3
あてはまる	7
未回答	0



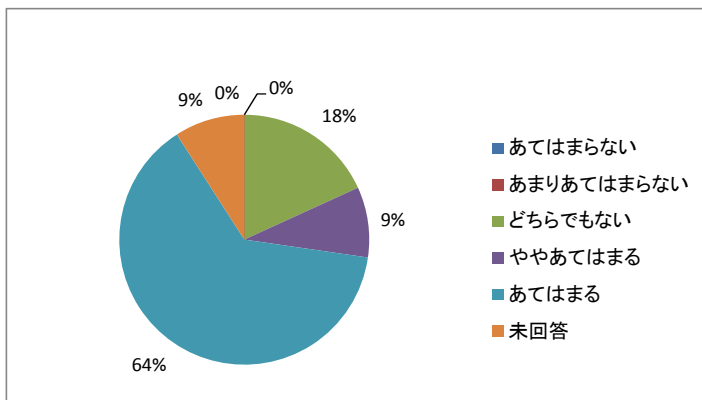
③特別研究(修士論文)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	2
あてはまる	8
未回答	0



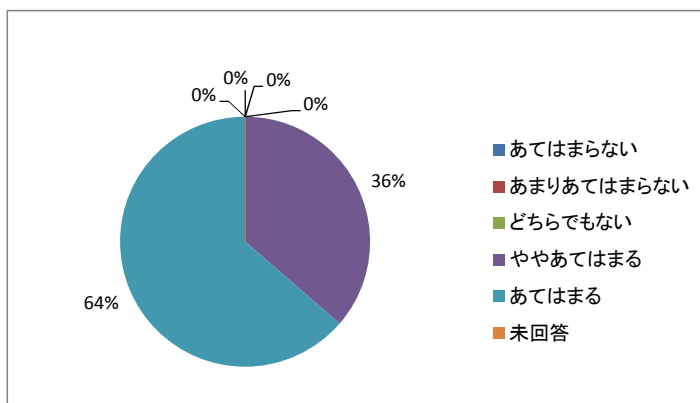
④ICT環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	7
未回答	1



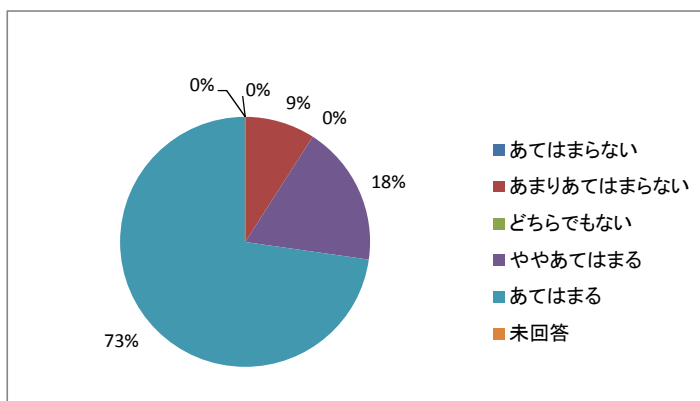
⑤図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	7
未回答	0



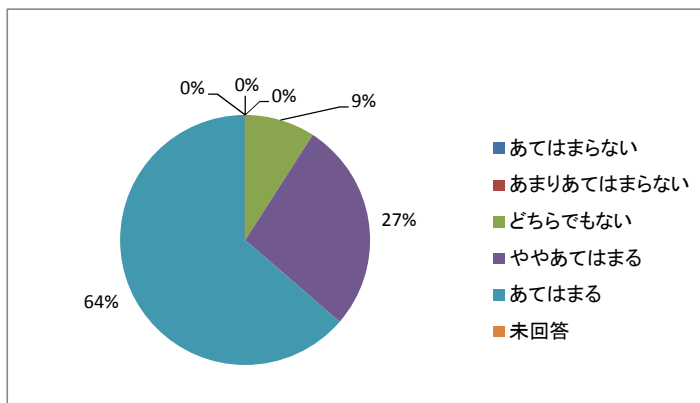
⑥全体的に教育に係る整備や備品等は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	2
あてはまる	8
未回答	0



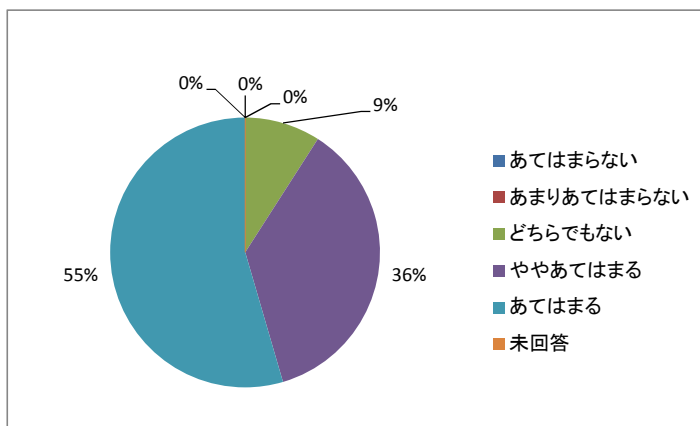
⑦研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	7
未回答	0



⑧専門分野の知識と技能を修得できた

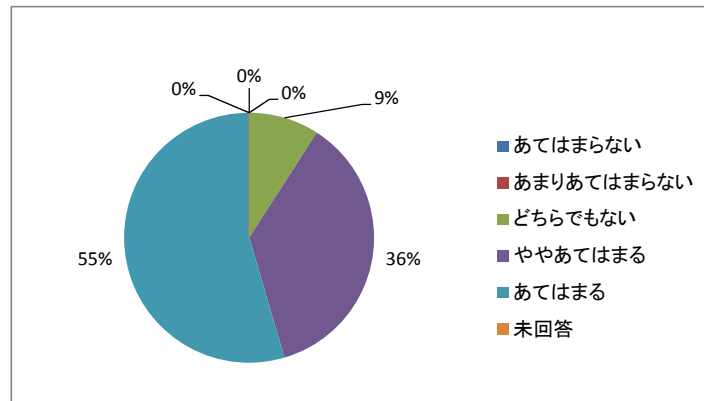
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	6
未回答	0



問3 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

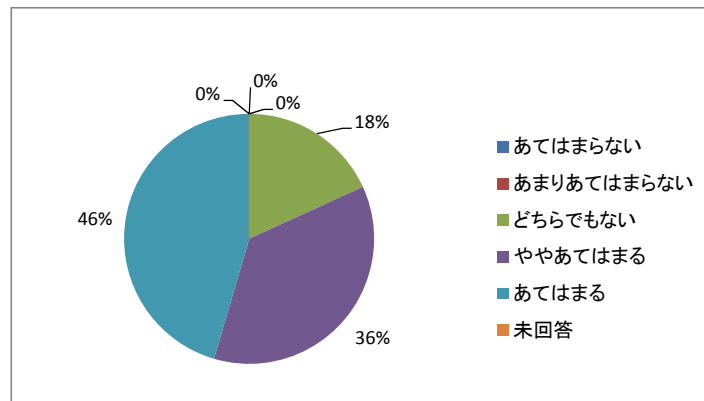
①論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	6
未回答	0



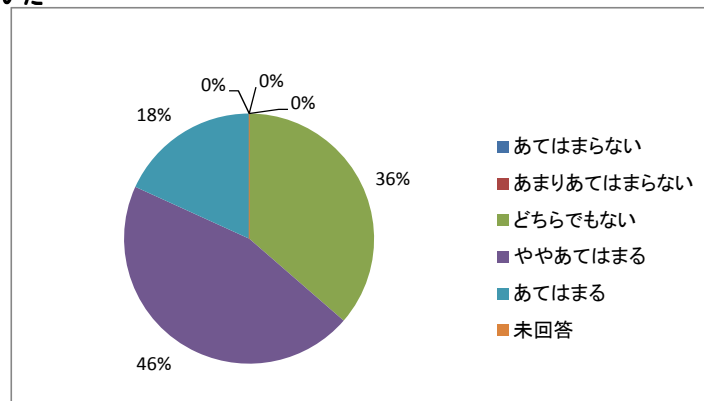
②物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	4
あてはまる	5
未回答	0



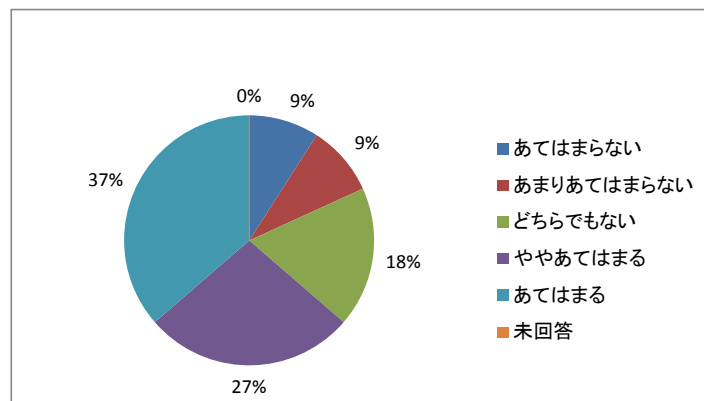
③研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	5
あてはまる	2
未回答	0



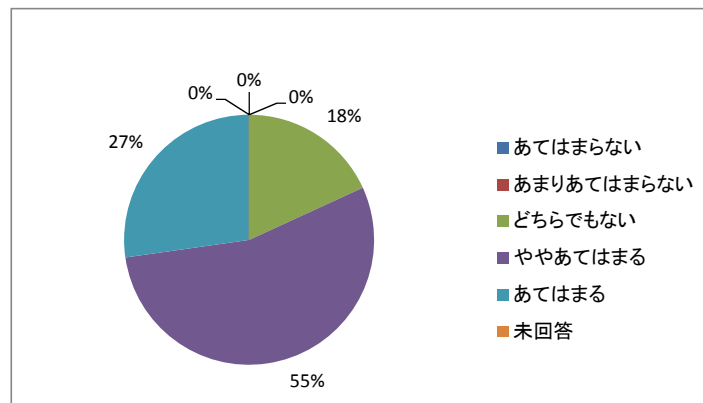
④外国語(英語)運用能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	4
未回答	0



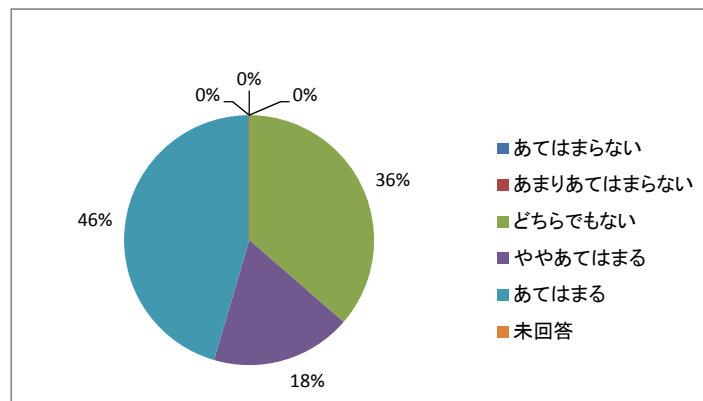
⑤ 研究に関するマネジメント力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	6
あてはまる	3
未回答	0



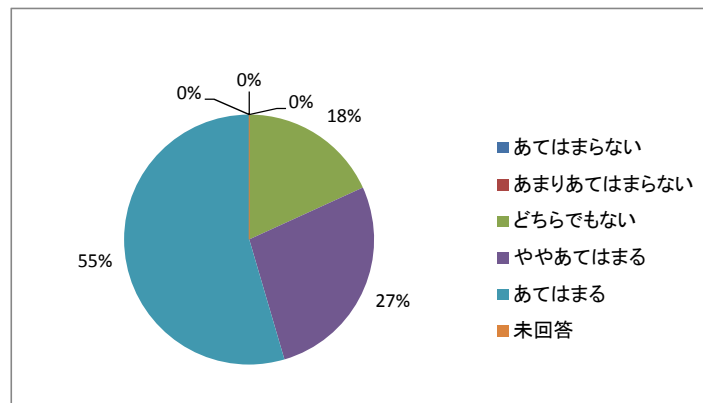
⑥ 研究推進においてリーダーシップを発揮する能力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	2
あてはまる	5
未回答	0



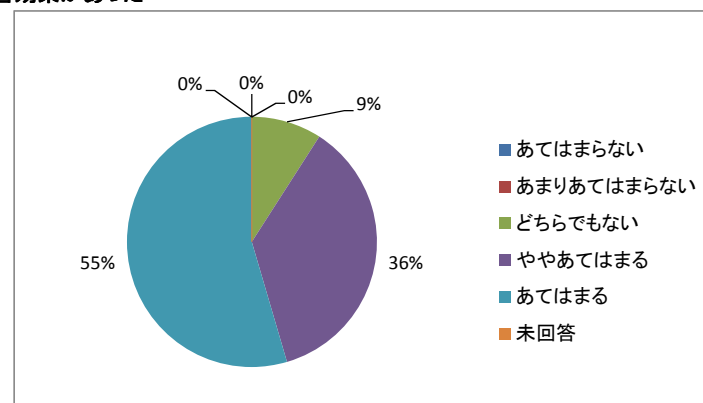
⑦ 研究等を通じて課題探究能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	6
未回答	0



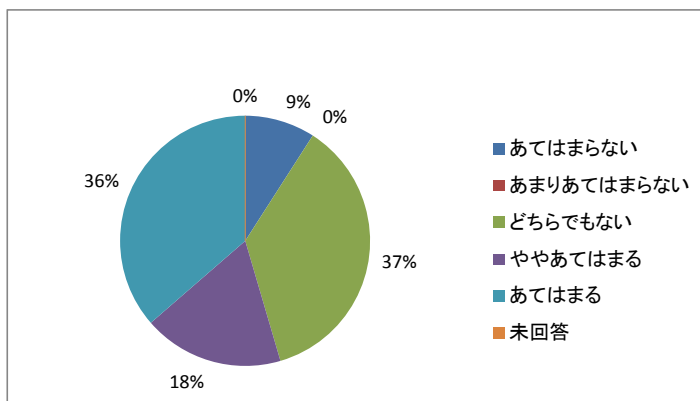
⑧ 専門分野で必要なスキルの修得で学習効果があった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	6
未回答	0



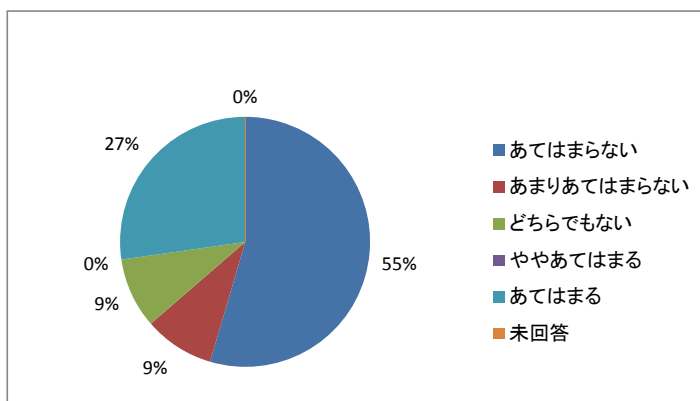
⑨入学時に希望していた資格等が取得できた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	2
あてはまる	4
未回答	0



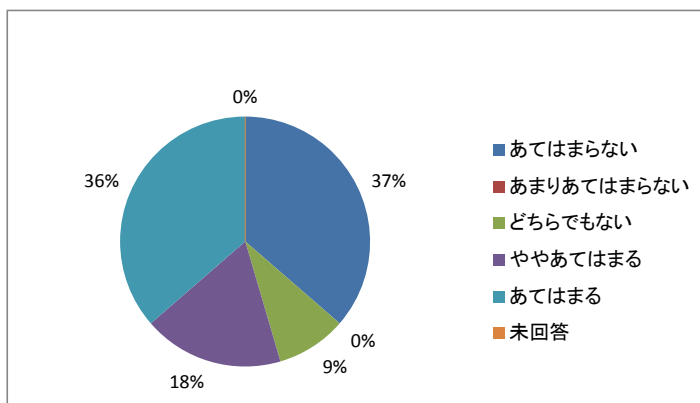
⑩学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	0
あてはまる	3
未回答	0



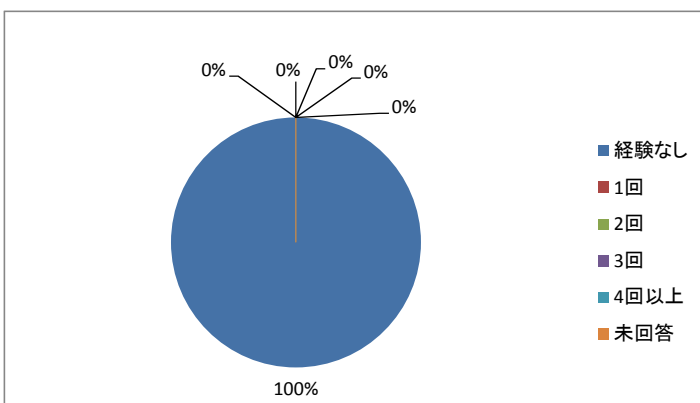
⑪論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	4
未回答	0



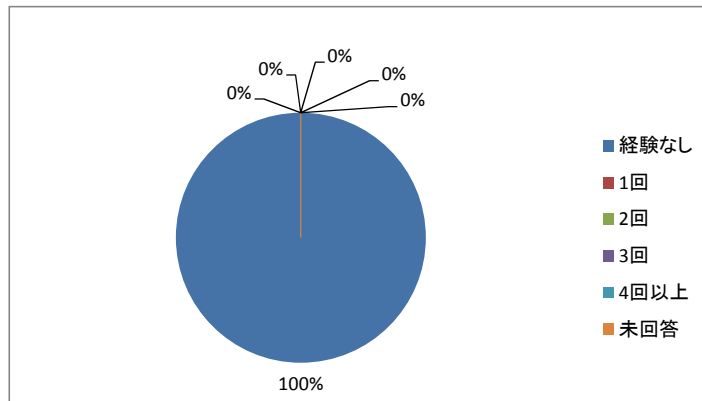
⑫大学院在学中に国内学会で発表した

選択肢	回答
経験なし	11
1回	0
2回	0
3回	0
4回以上	0
未回答	0



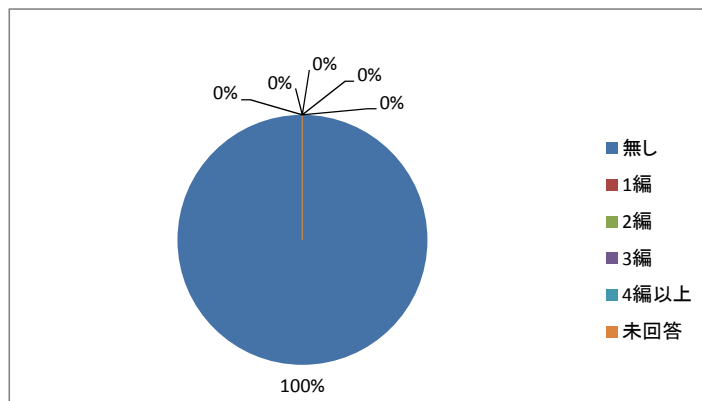
⑬大学院在学中に国際学会で発表した

選択肢	回答
経験なし	11
1回	0
2回	0
3回	0
4回以上	0
未回答	0



⑭英語で論文を執筆し(共著も含めて)出版した

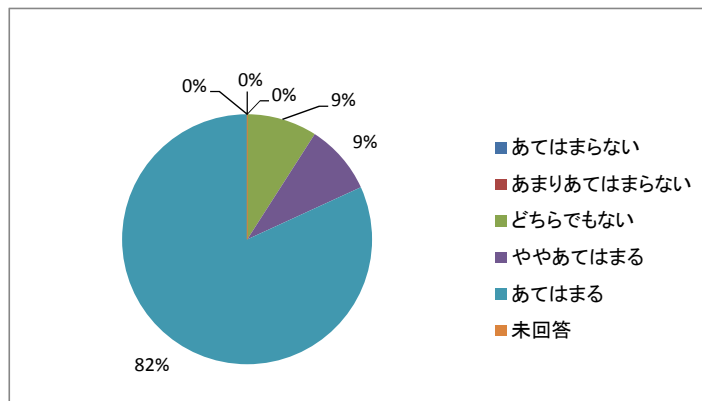
選択肢	回答
無し	11
1編	0
2編	0
3編	0
4編以上	0
未回答	0



問5 大学院での学生生活についてお尋ねします。

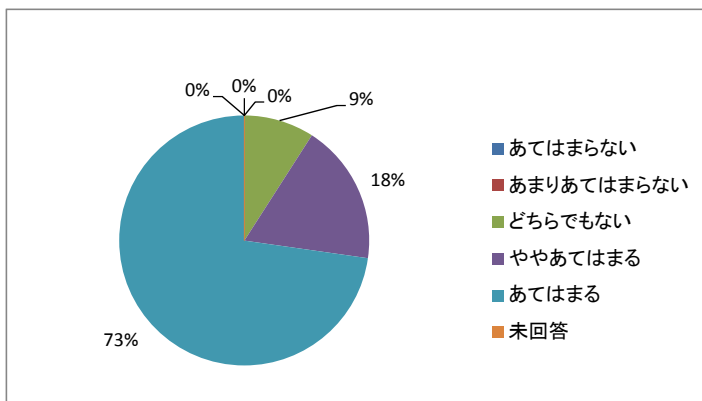
①教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	1
あてはまる	9
未回答	0



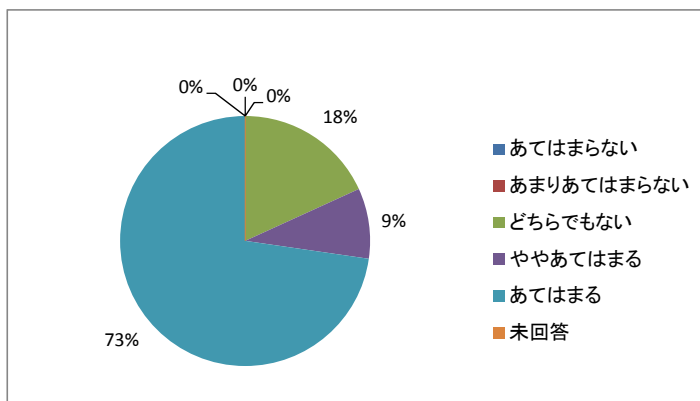
②事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	2
あてはまる	8
未回答	0



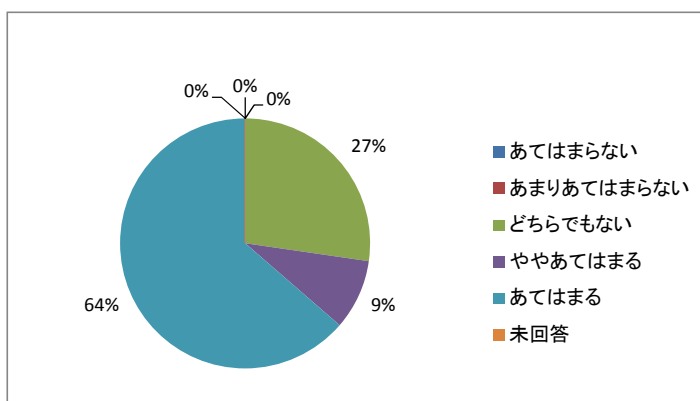
③共同研究等の活動をとおして友人関係が広がった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	8
未回答	0



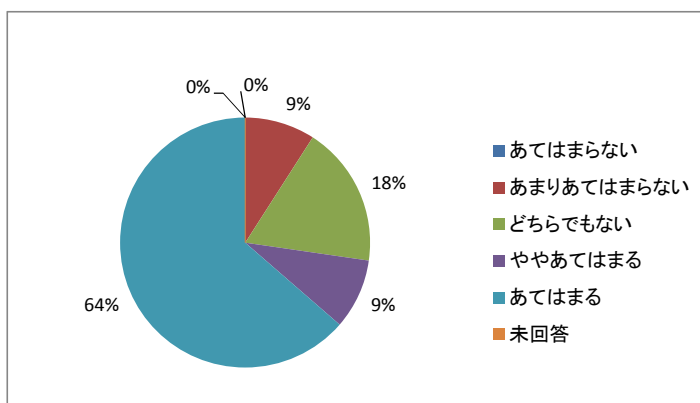
④教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	1
あてはまる	7
未回答	0



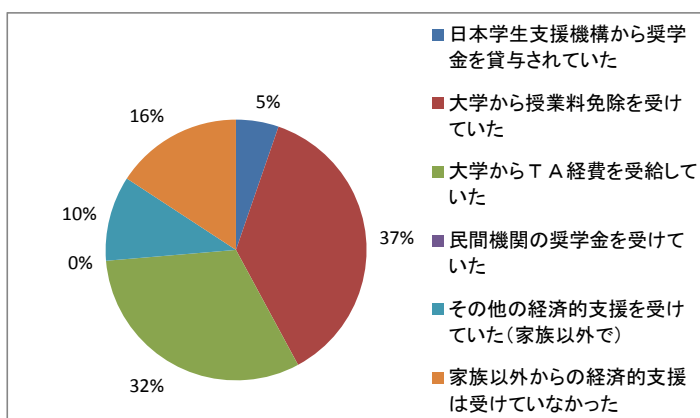
⑤教職員による経済相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	7
未回答	0



問6 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします

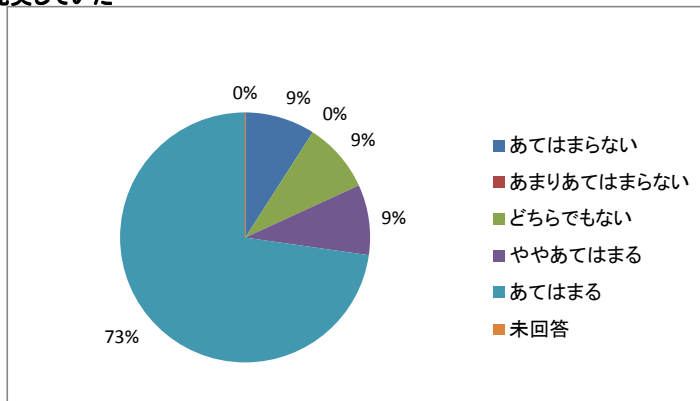
選択肢	6集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与されていた	1
大学から授業料免除を受けていた	7
大学からTA経費を受給していた	6
民間機関の奨学金を受けていた	0
その他の経済的支援を受けていた(家族以外で)	2
家族以外からの経済的支援は受けていなかった	3



問8 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします

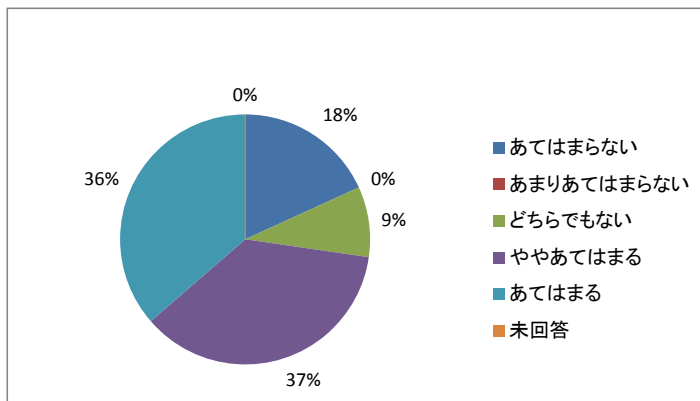
①指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	1
あてはまる	8
未回答	0



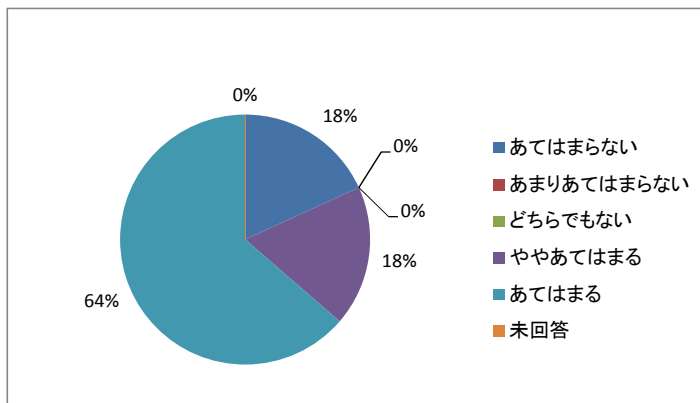
②就職指導教員または各専攻における支援が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	4
未回答	0



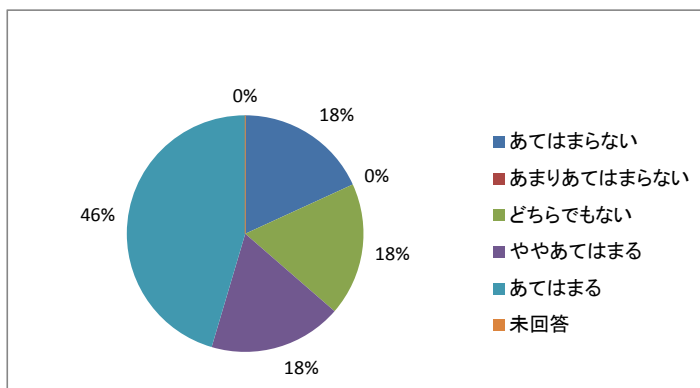
③大学院で学修したことが就職活動に有利だった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	2
あてはまる	7
未回答	0



④大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役立った

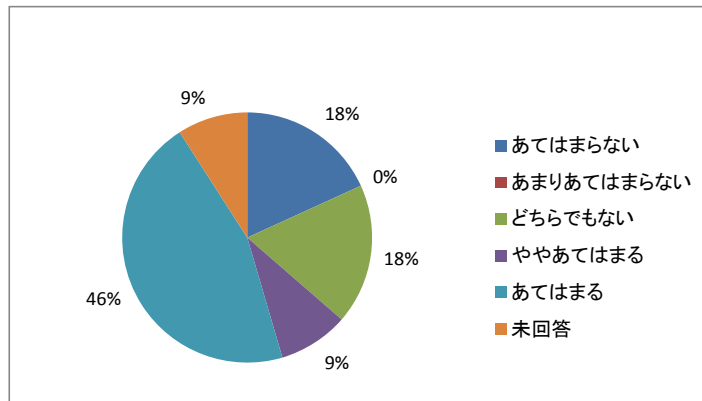
選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	5
未回答	0





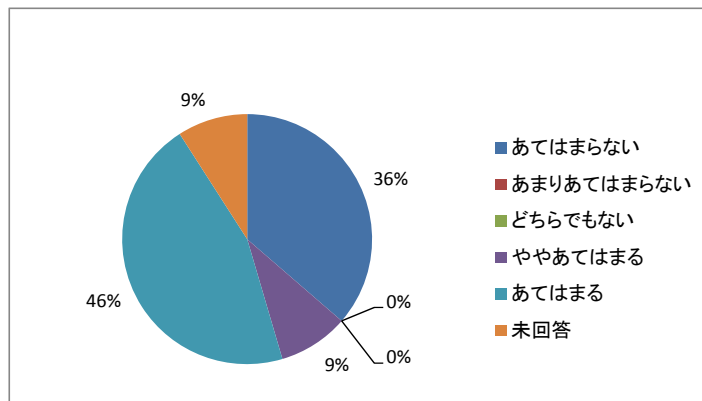
⑤キャリアセンターの支援(進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	5
未回答	1



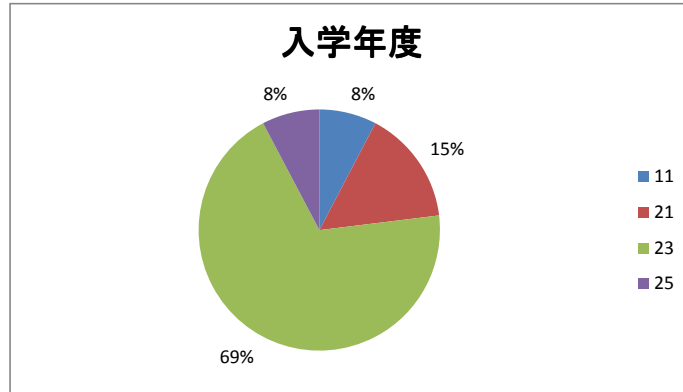
⑥経済的支援が得られれば後期課程へ進学した

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	1
あてはまる	5
未回答	1



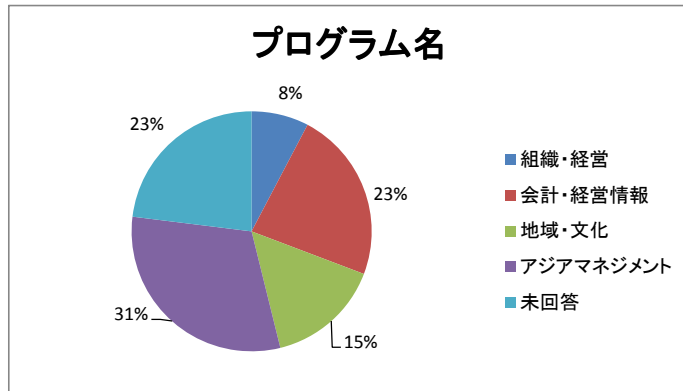
入学年度

入学年度	入学年度集計
11	1
21	2
23	9
25	1



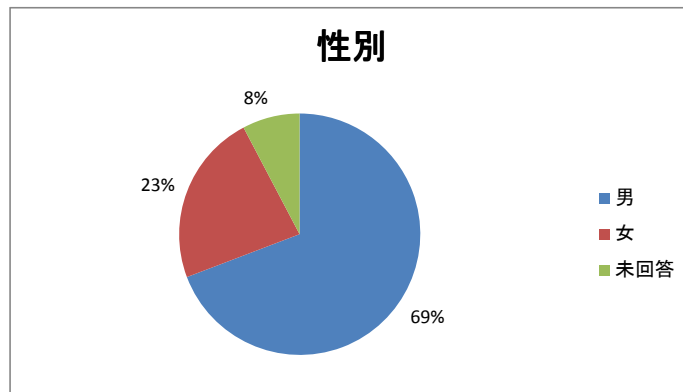
プログラム名

選択肢	回答
組織・経営	1
会計・経営情報	3
地域・文化	2
アジアマネジメント	4
未回答	3



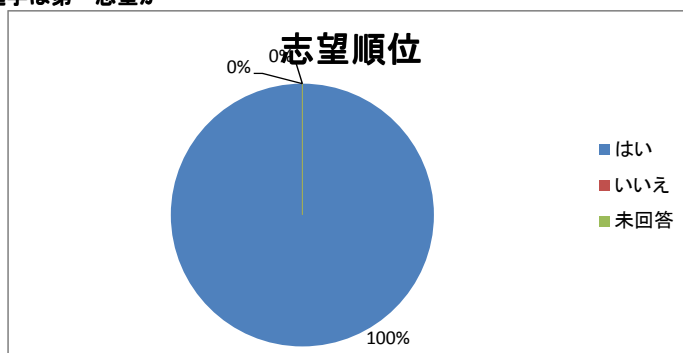
性別

選択肢	回答
男	9
女	3
未回答	1



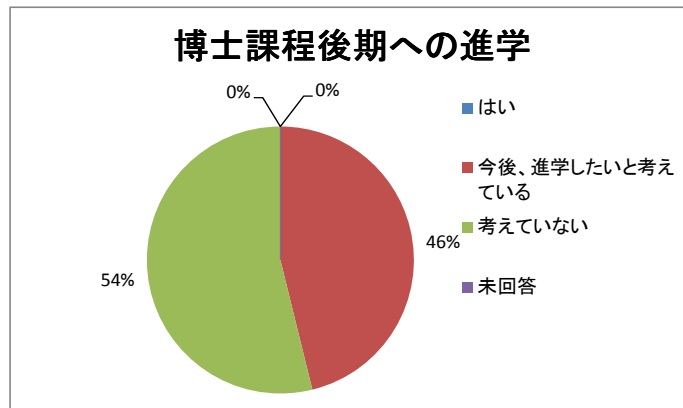
社会科学研究科マネジメント専攻への進学は第一志望か

選択肢	回答
はい	13
いいえ	0
未回答	0



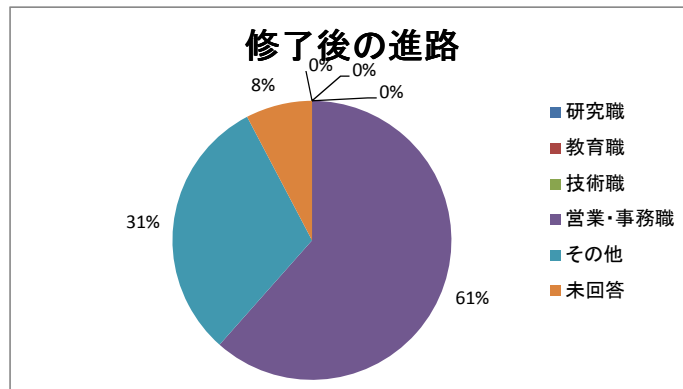
修了後に博士課程後期に進学しますか

選択肢	回答
はい	0
今後、進学したいと考えている	6
考えていない	7
未回答	0



修了後の職業についてお尋ねします

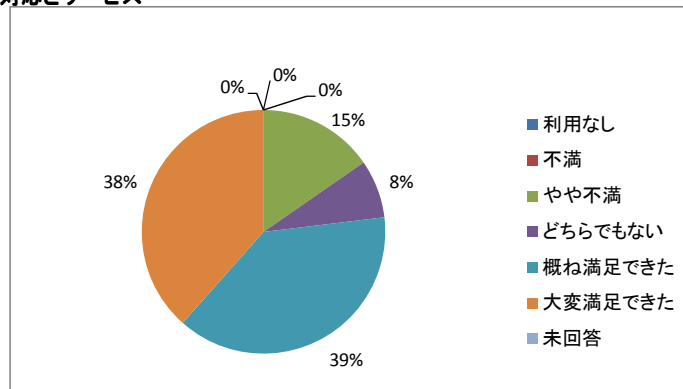
選択肢	回答
研究職	0
教育職	0
技術職	0
営業・事務職	8
その他	4
未回答	1



問1 在学期間中の施設サービスに関する満足度についてお尋ねします。

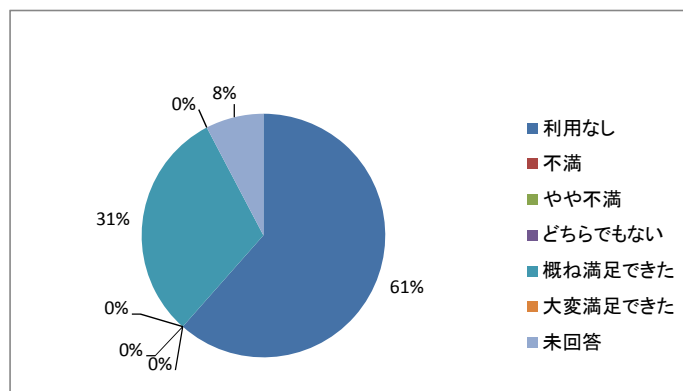
①所属研究科の学生支援での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	1
概ね満足できた	5
大変満足できた	5
未回答	0



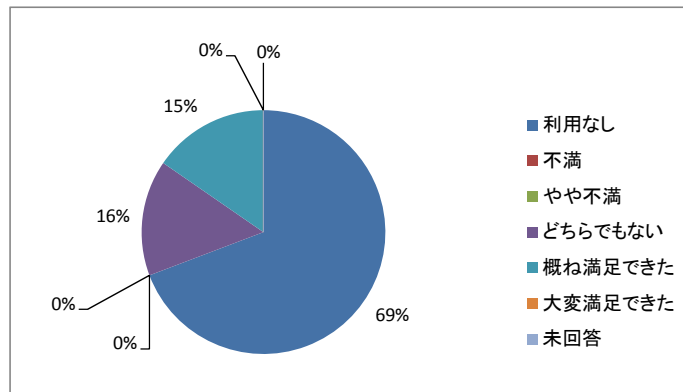
②学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	8
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	4
大変満足できた	0
未回答	1



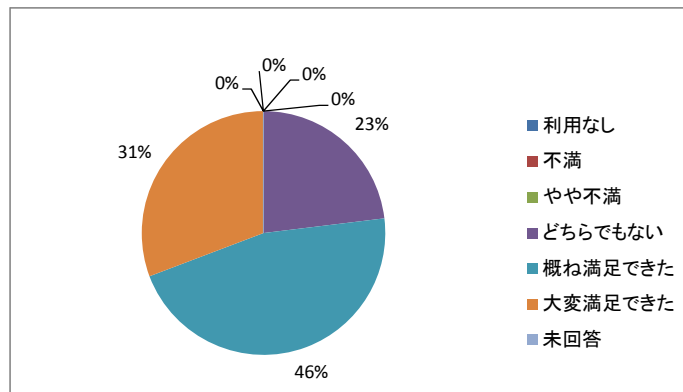
③保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	9
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	2
大変満足できた	0
未回答	0



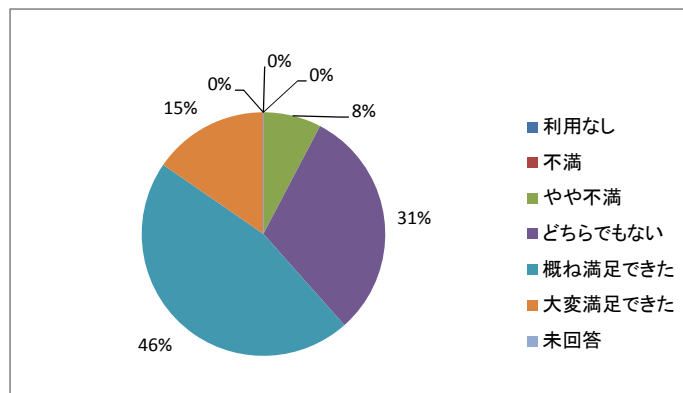
④図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	3
概ね満足できた	6
大変満足できた	4
未回答	0



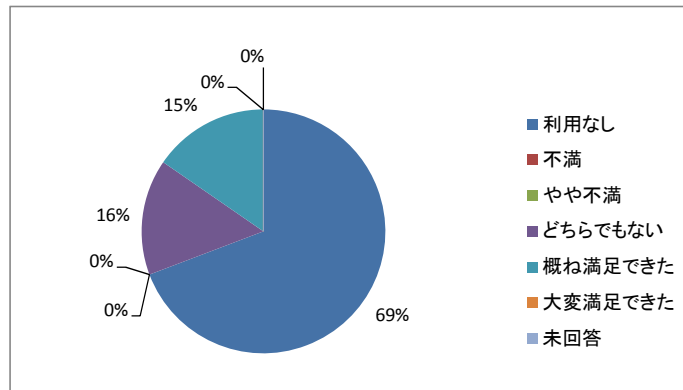
⑤福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	4
概ね満足できた	6
大変満足できた	2
未回答	0



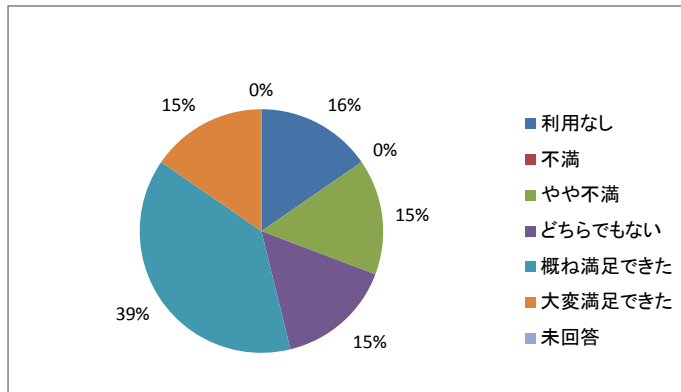
⑥課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	9
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	2
大変満足できた	0
未回答	0



⑦授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

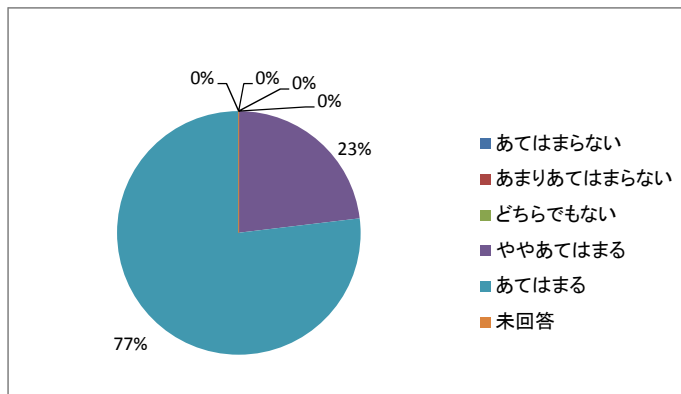
選択肢	回答
利用なし	2
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	2
概ね満足できた	5
大変満足できた	2
未回答	0



問2 大学院で受けた教育内容や研究環境についてお尋ねします。

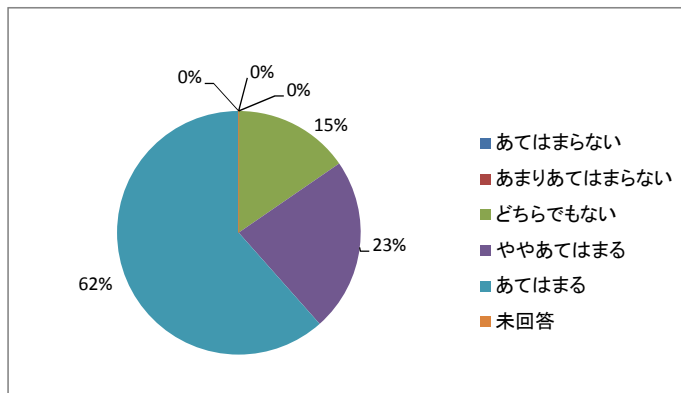
①授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	3
あてはまる	10
未回答	0



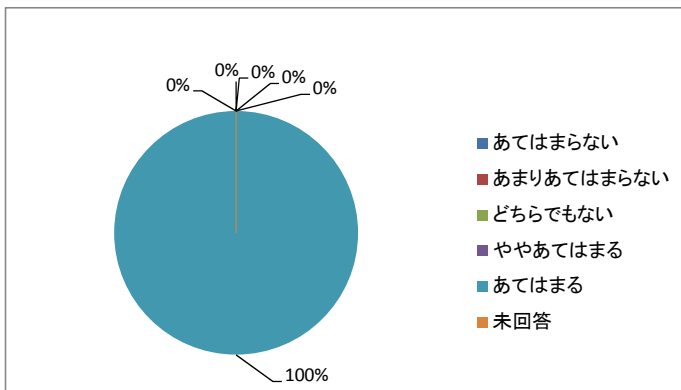
②セミナー、研究会は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	8
未回答	0



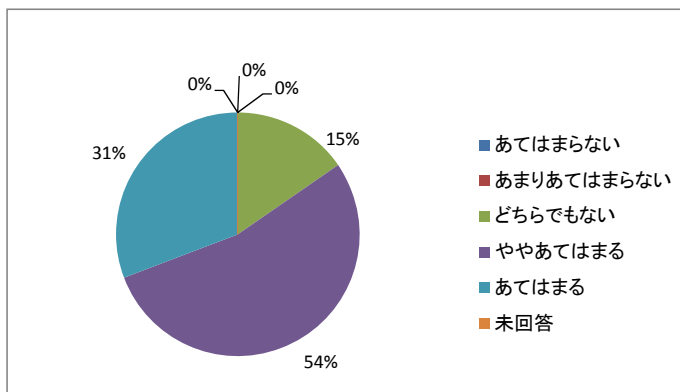
③特別研究(修士論文)の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	0
あてはまる	13
未回答	0



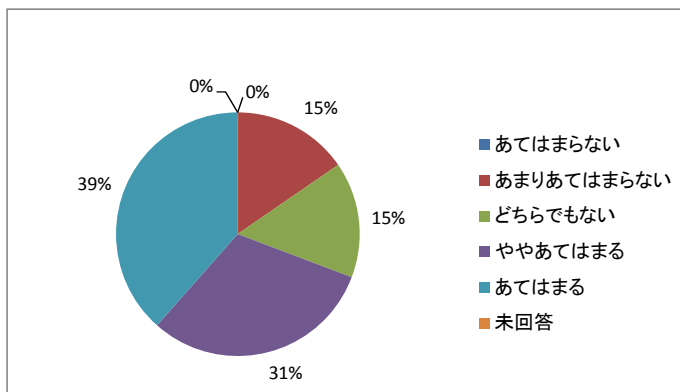
④ICT環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	7
あてはまる	4
未回答	0



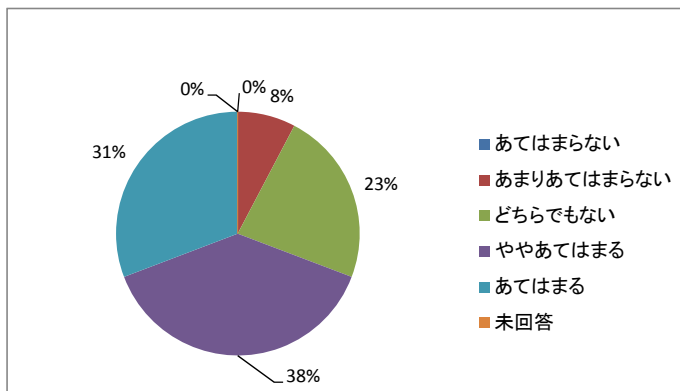
⑤図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	2
ややあてはまる	4
あてはまる	5
未回答	0



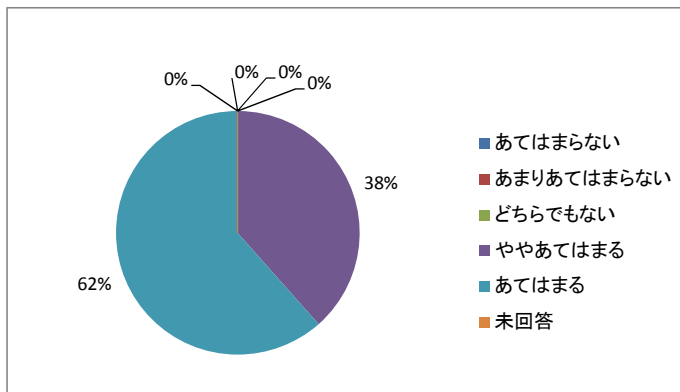
⑥全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	5
あてはまる	4
未回答	0



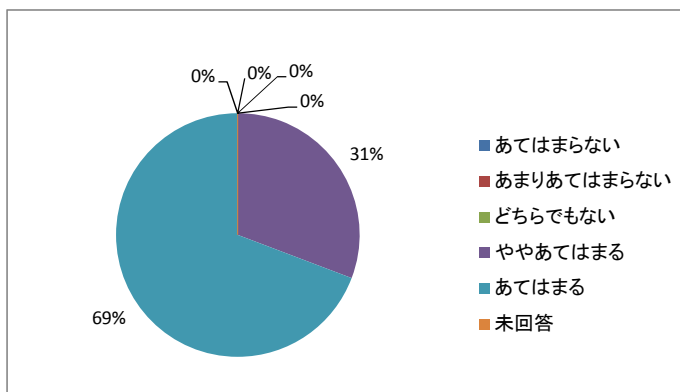
⑦研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	5
あてはまる	8
未回答	0



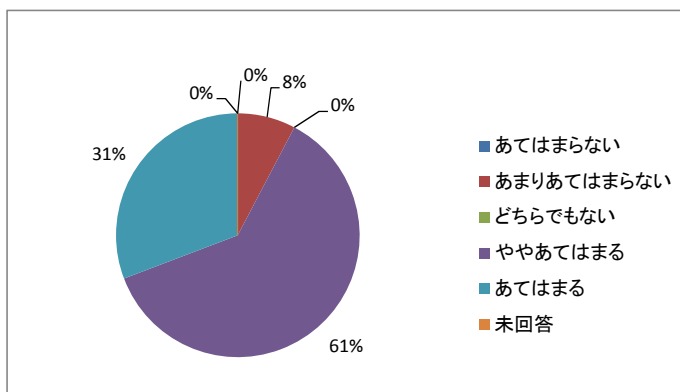
⑧専門分野の知識と技能を修得できた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	9
未回答	0



⑨自習室等の研究環境は充実していた

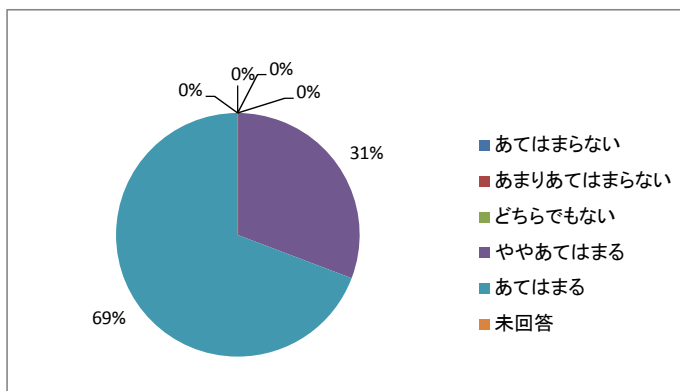
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	8
あてはまる	4
未回答	0



問3 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

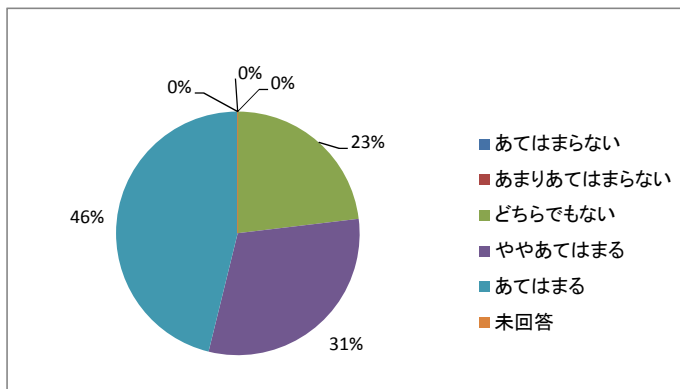
①論理的思考力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	9
未回答	0



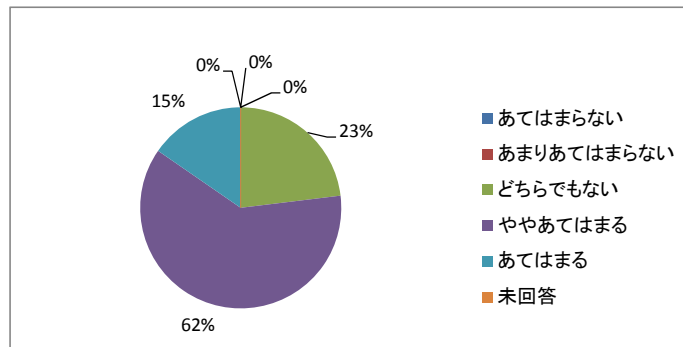
②物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	4
あてはまる	6
未回答	0



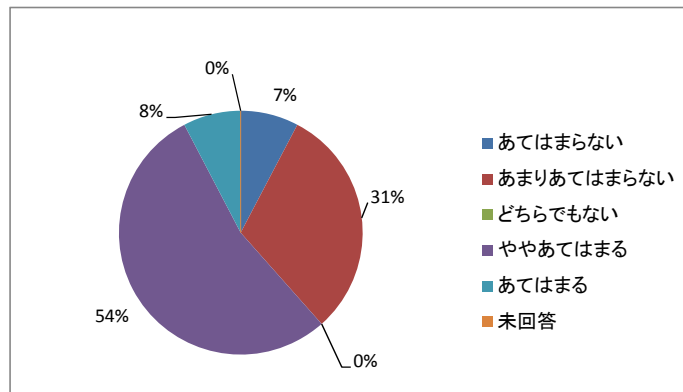
③研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	8
あてはまる	2
未回答	0



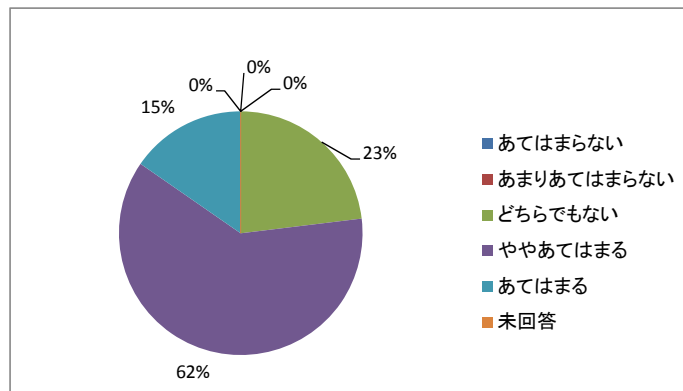
④外国語運用能力を向上した

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	0
ややあてはまる	7
あてはまる	1
未回答	0



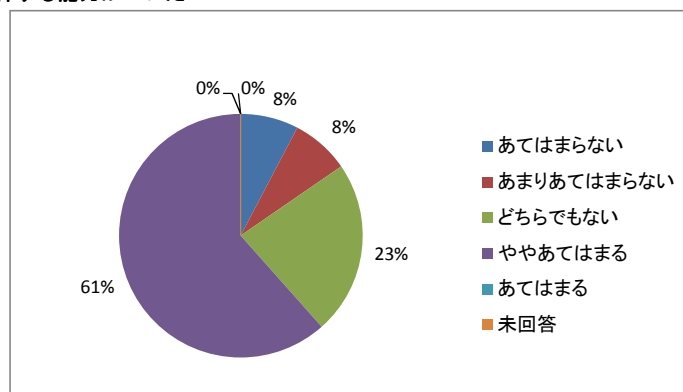
⑤研究に関するマネジメント力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	8
あてはまる	2
未回答	0



⑥研究推進においてリーダーシップを発揮する能力がついた

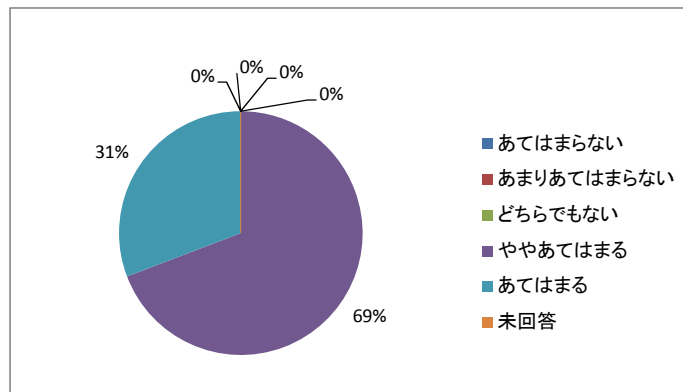
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	8
あてはまる	0
未回答	0





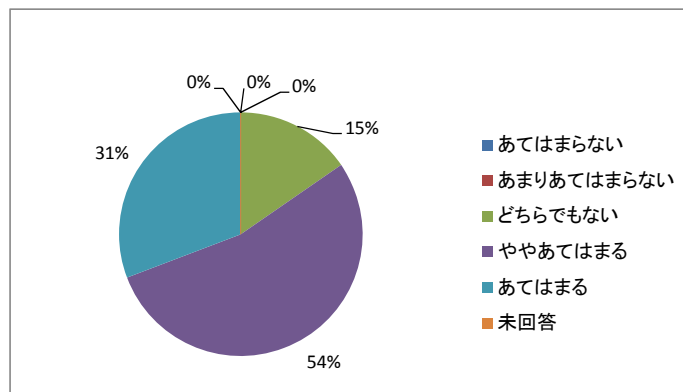
⑦研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	9
あてはまる	4
未回答	0



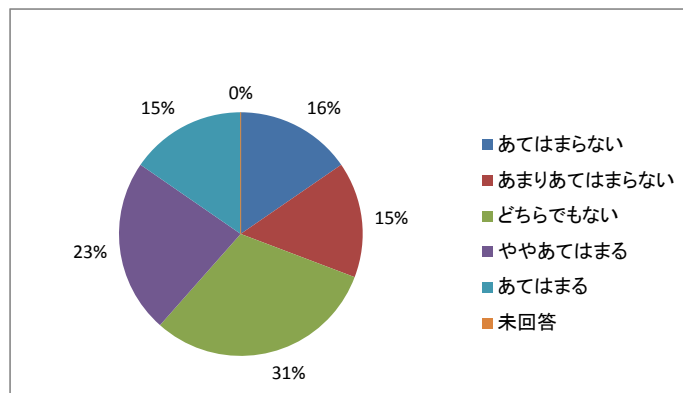
⑧専門分野で必要なスキルの修得で学習効果があった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	7
あてはまる	4
未回答	0



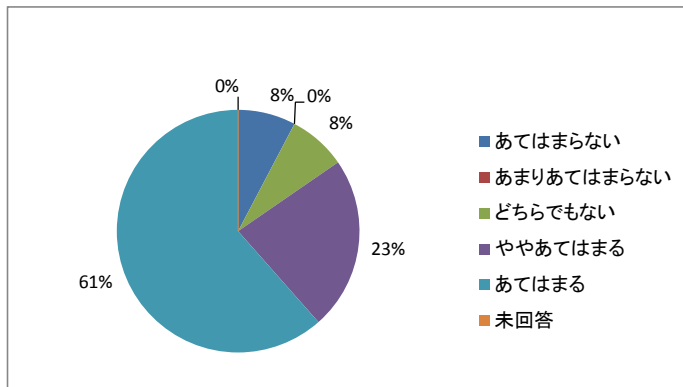
⑨学会等での発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	4
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



⑩論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切であった

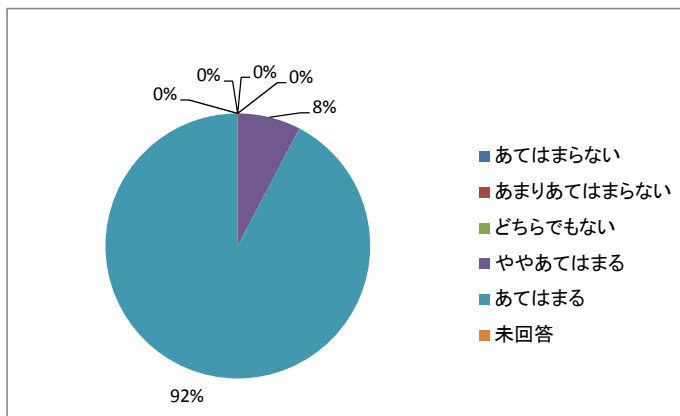
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	8
未回答	0



問5 大学院での学生生活についてお尋ねします。

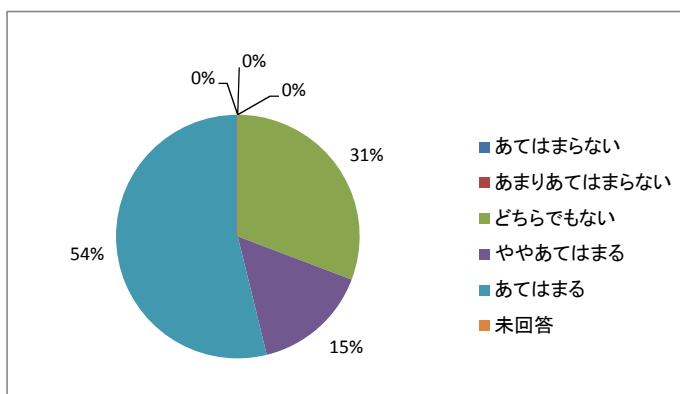
①教員との関係は良好であった。

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	1
あてはまる	12
未回答	0



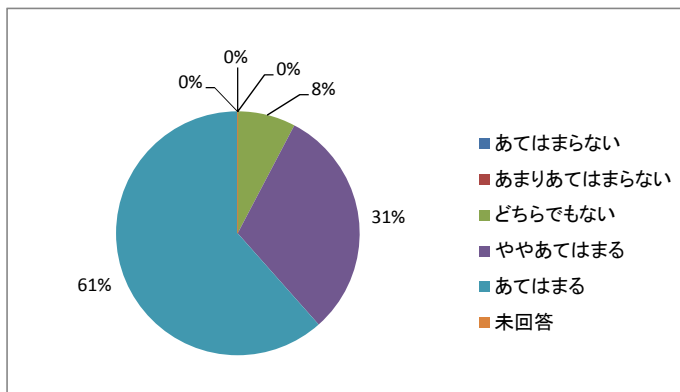
②事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	2
あてはまる	7
未回答	0



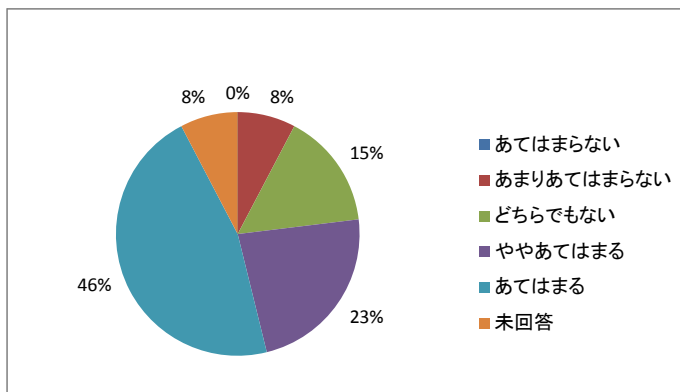
③共同研究等の活動を通して友人関係が広がった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	8
未回答	0



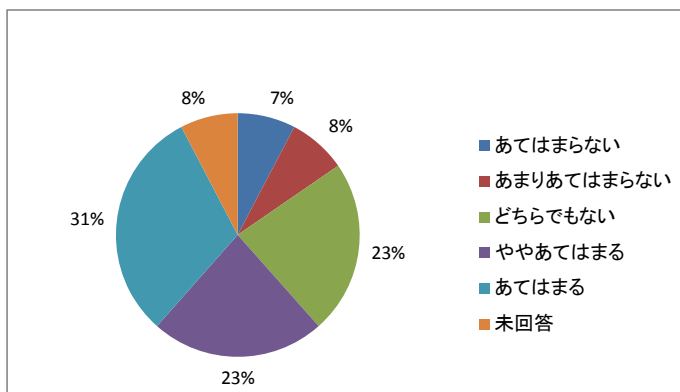
④教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	6
未回答	1



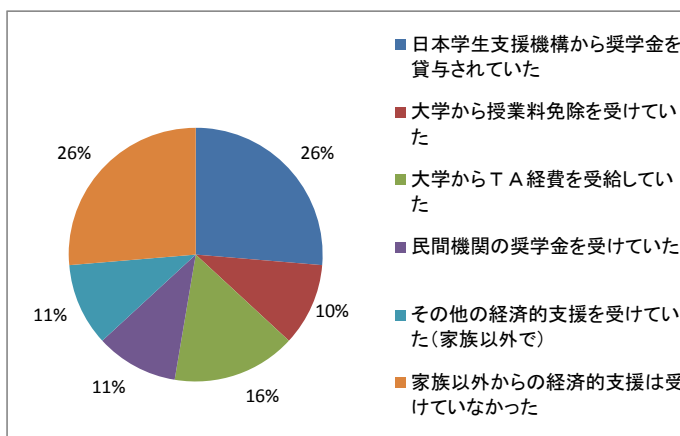
⑤教職員による経済相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	3
あてはまる	4
未回答	1



問6 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

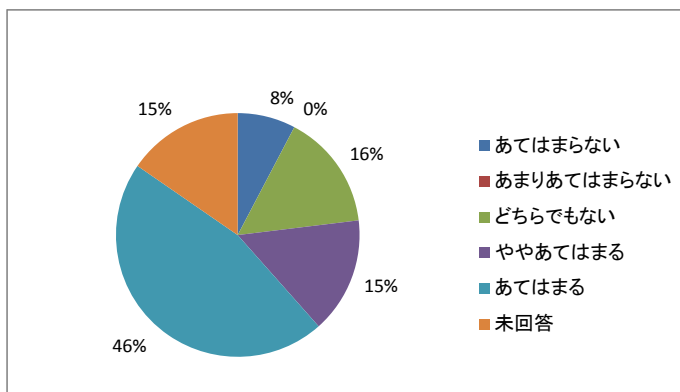
選択肢	6集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与されていた	5
大学から授業料免除を受けていた	2
大学からTA経費を受給していた	3
民間機関の奨学金を受けていた	2
その他の経済的支援を受けていた(家族以外で)	2
家族以外からの経済的支援は受けていなかった	5



問8 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。

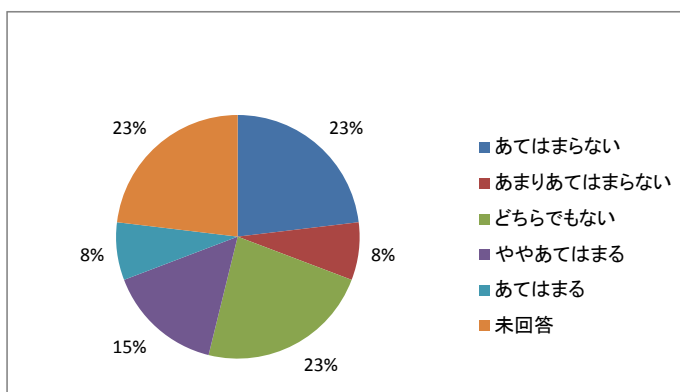
①指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	2
あてはまる	6
未回答	2



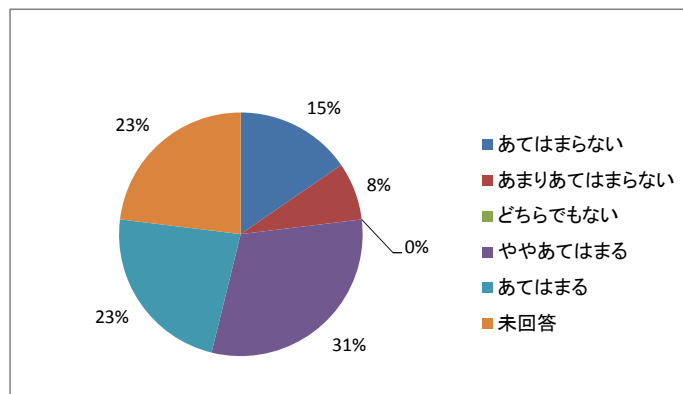
②専攻における就職支援が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	2
あてはまる	1
未回答	3



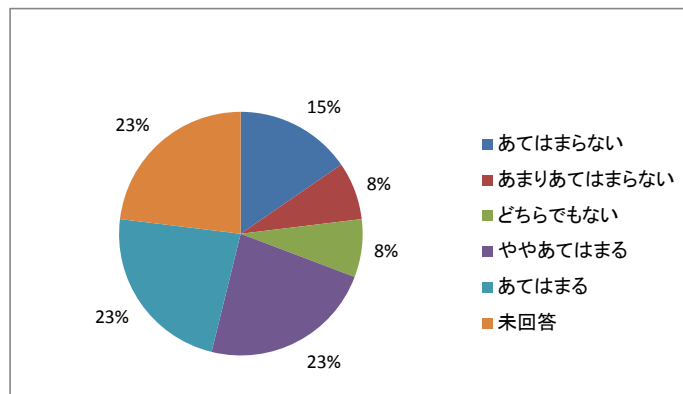
③大学院で学修したことが就職活動に有利だった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	3
未回答	3



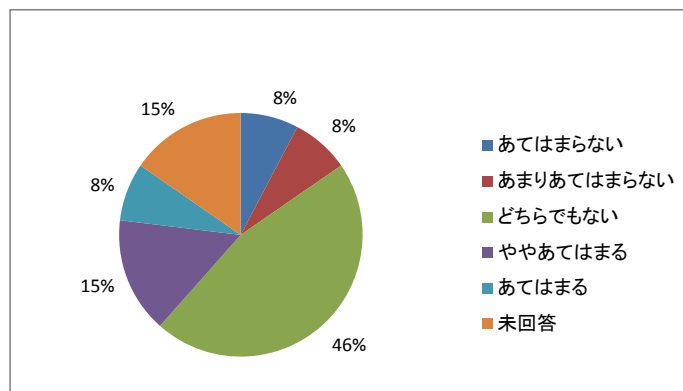
④大学院で学修したことが就職(進学)先を決める際に役だった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	3
未回答	3



⑤経済的支援が得られれば博士課程後期へ進学した

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	6
ややあてはまる	2
あてはまる	1
未回答	2



## 研究科総評

### 研究科：理学研究科

#### 1. 集計結果のまとめ

本修了時アンケートは、平成 25 年 3 月に修了予定の大学院生 140 名に対して、修士論文題目届けの提出に合わせて紙媒体で実施された。これは、博士課程前期を修了するに当たって、学生自身が受けた教育とその効果・成果を評価する時宜に適ったものと言える。また、回収率が 100%であったことから、学生の率直な意見と感想が反映された信頼度の高い評価と考えられる。

本アンケートでは、教育内容(問 5)、教育と研究の成果(問 6, 7)、学生生活(問 8)、満足度(問 9)、学生生活支援や施設(問 10)、経済的支援(問 11,12)、進路選択(問 13, 14)に関する設問を通して、理学研究科および各専攻の取組みの全般に亘る評価となっている。特に、設問 5～設問 9 では、教育内容とその効果・成果を通した満足度が問われている。その結果、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計が 60～80%と概ね良好の評価であった。これと対照的に、設問 11 と設問 13 で問われている経済的支援と進路選択における支援については、20～40%と比較的厳しい評価となっている。自由記述欄では率直な意見が多数述べられており、今後の改善に向けて参考にすべき指摘が多い。

#### 2. 次年度に向けた対応

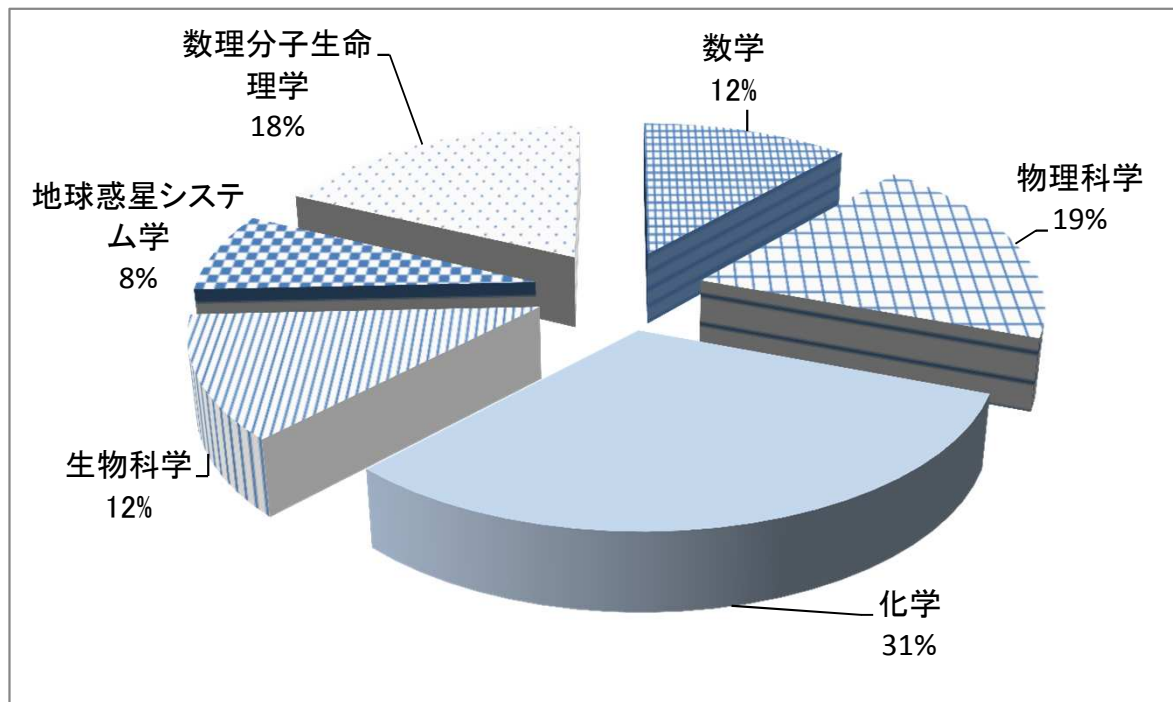
研究科全体としては良好な評価となっているが、評価項目の詳細をみると、改善が望まれる以下の様な傾向がみられる。

- (1) 分野（専攻）によって評価のバラつきが大きい。これは、分野の教育方針における独自性と研究手法における特色の現れと考えると、好ましい評価と言える。しかし、「あてはまる」とする評価の割合が低い項目については、教育内容の見直しや教員の意識改革など改善に向けた検討とその実行が望まれる。
- (2) 教育の効果・成果について、英語運用能力、マネジメント力、リーダーシップを発揮する能力などの向上が低調と評価されている。研究が主体となる大学院課程では、これらの能力の定着度は学生の日々の研究活動に如実に表れる。したがって、学生は自分が受けた教育の効果に敏感かつ厳しく評価する傾向にある。上記能力の向上を目指して、今後、研究科附属の理学融合教育研究センターを起点とする異分野交流を活発にして、研究発表等の実践の機会を増加させたい。
- (3) 研究およびキャリア形成に関する支援について、多くの自由記述が寄せられた。支援内容とその広報の充実を求める具体的な提案は大変有難い。進路選択の中でも、特に、博士課程後期への進学意欲の向上を図る取組みの参考としたい。

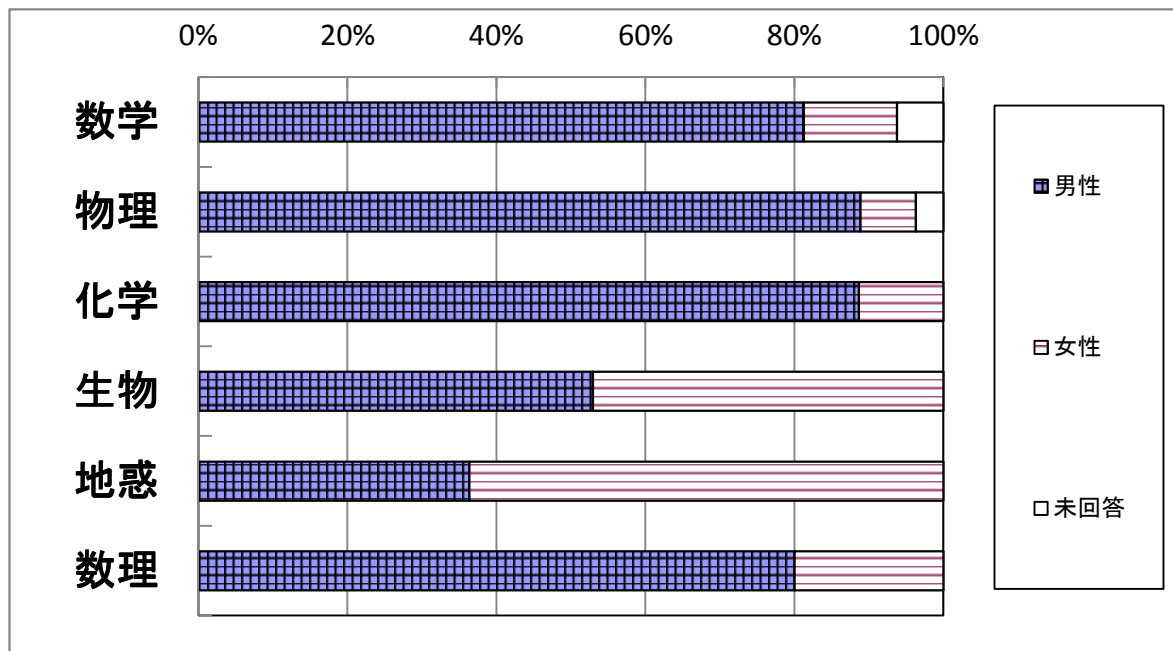
# 広島大学理学研究科の大学院教育の 成果・効果に関する調査 博士課程前期 アンケートの集計結果 グラフ編(所属専攻別)

## 所属専攻・性別について

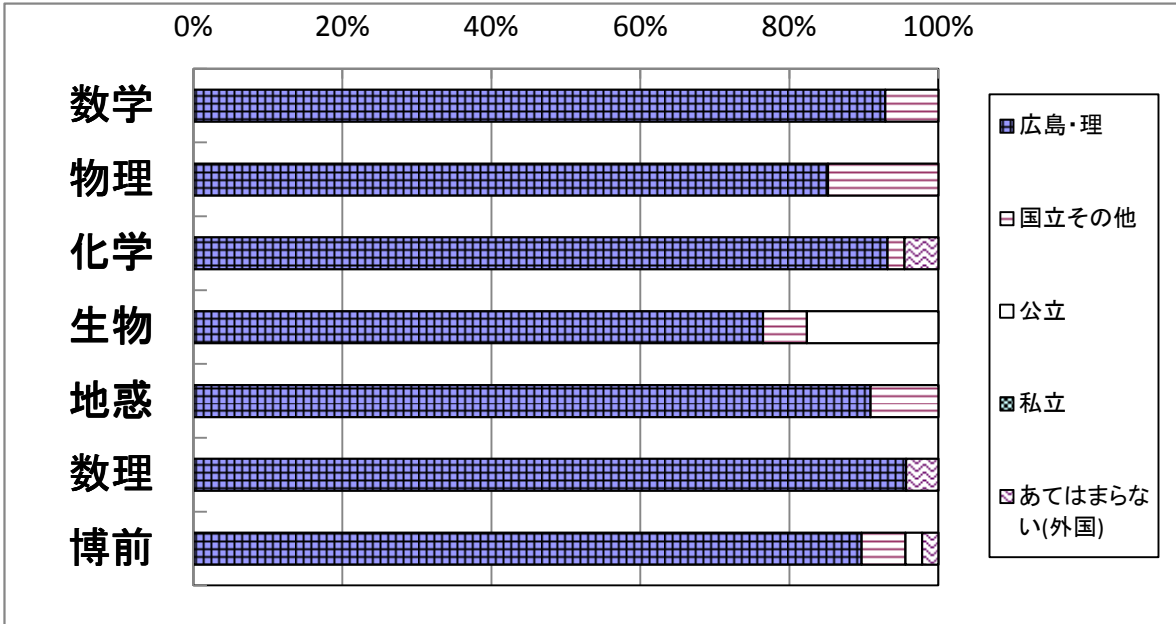
所属専攻別



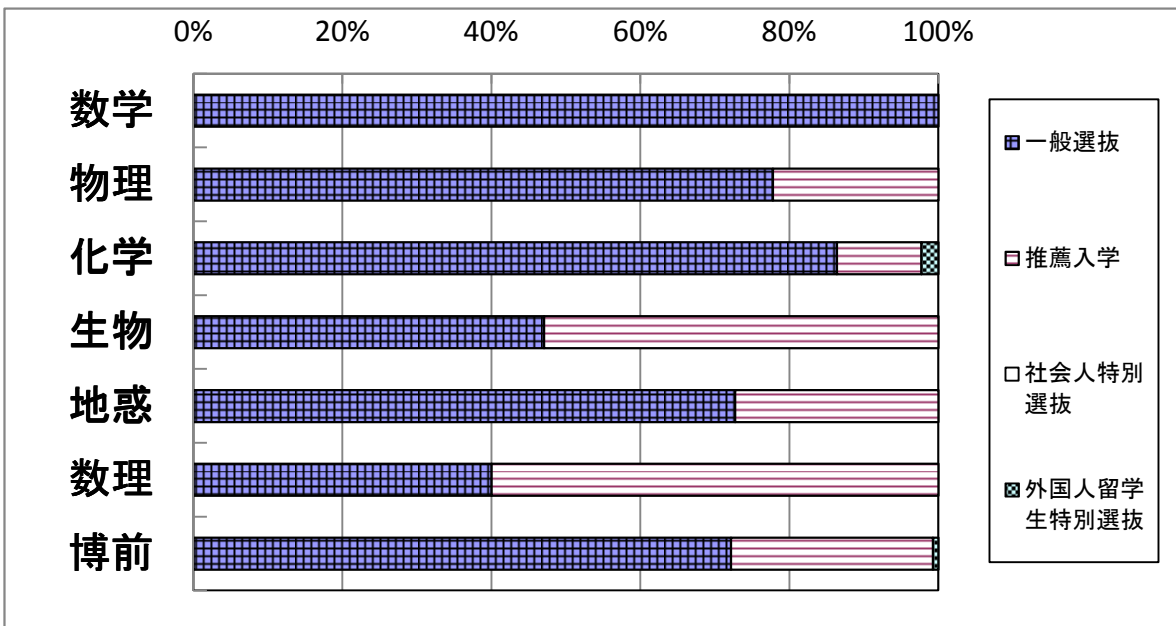
性別



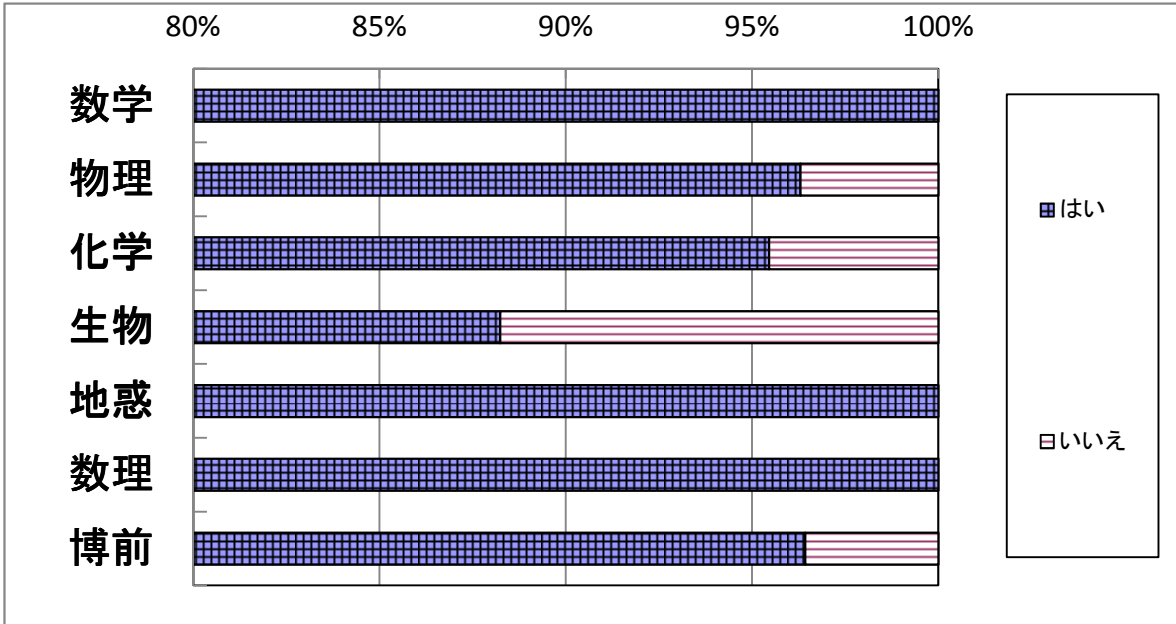
問1 理学研究科へ入学する前に、卒業・修了した大学学部・研究科名を記入してください。



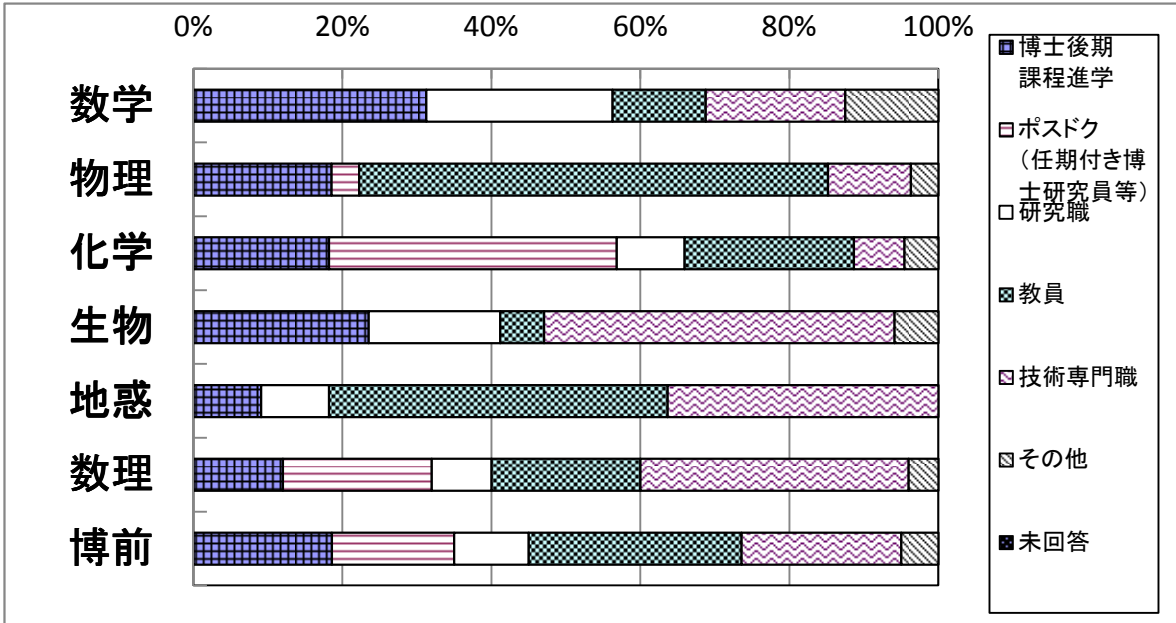
問2 理学研究科へはどのような選抜方法で入学されましたか。



問3 理学研究科への進学は第一志望でしたか。該当する数字を○で囲んでください。



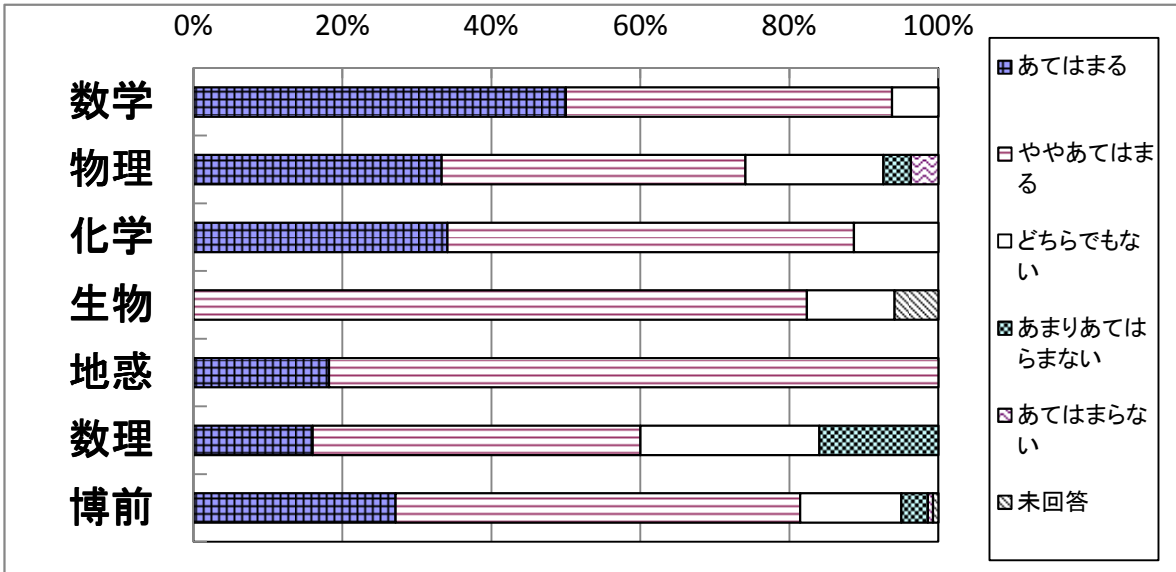
問4 大学院修了後の進路について、該当する数字を○で囲んでください。



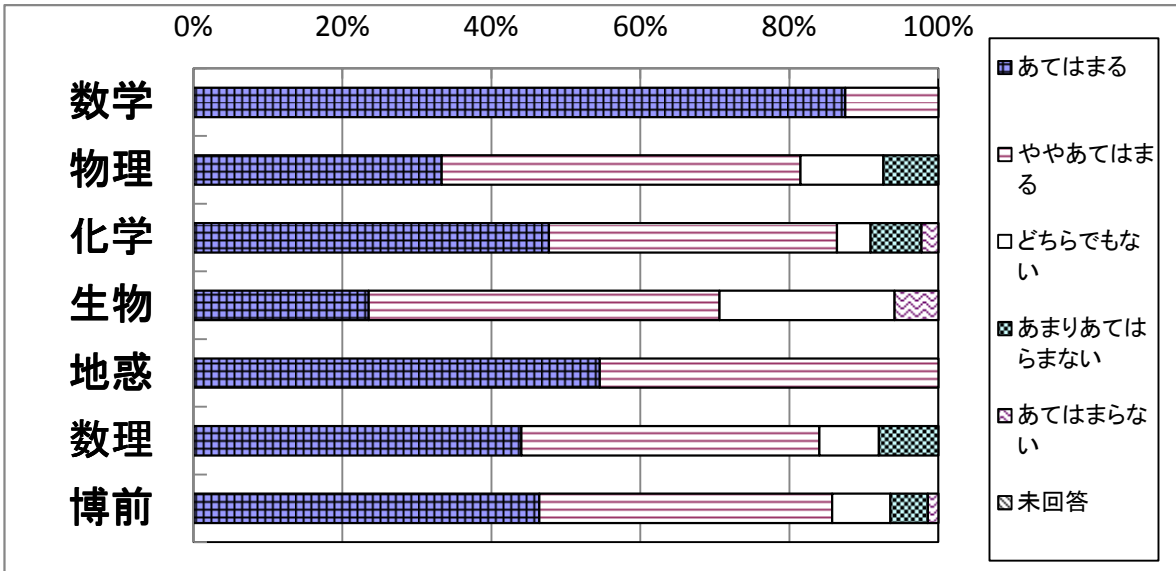


問5 大学院で受けた教育についてお尋ねします。

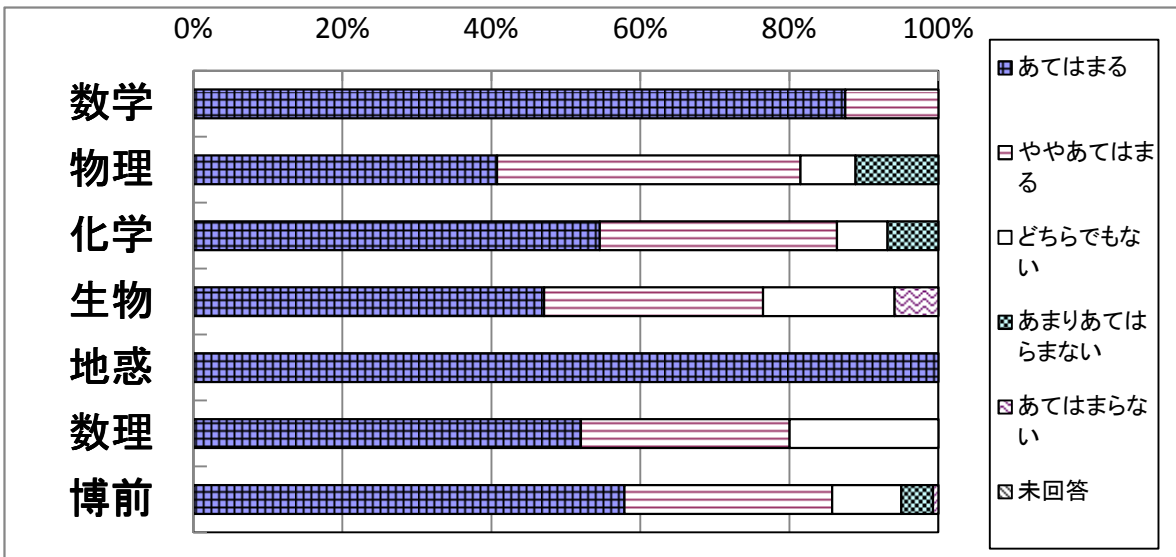
授業内容は充実していた



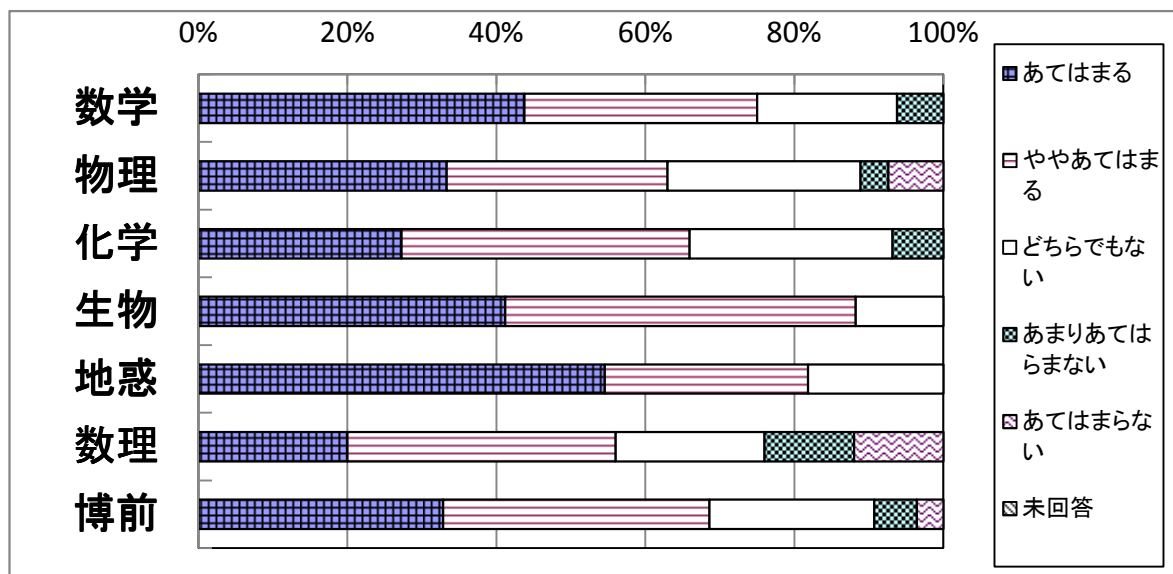
セミナーが充実していた



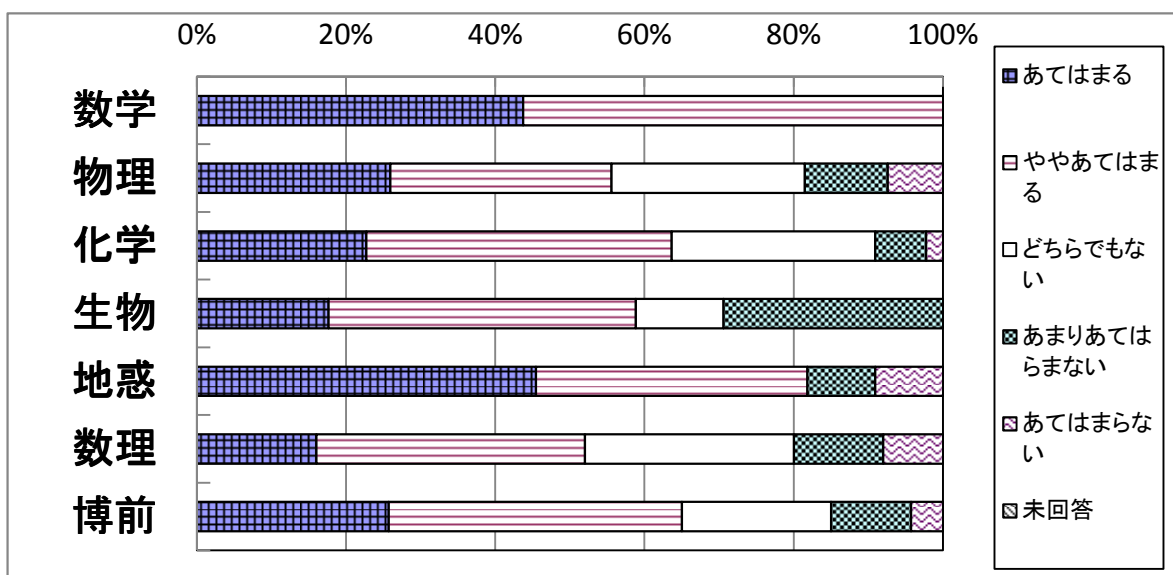
特別研究（修士論文）の指導は充実していた



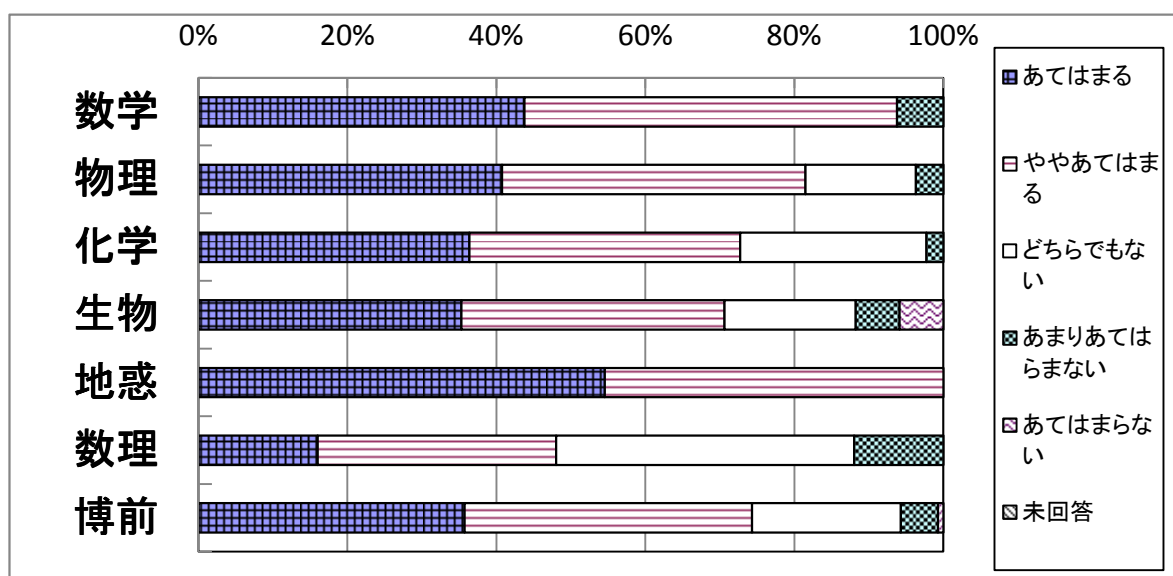
ICT（情報端末）環境は整っていた



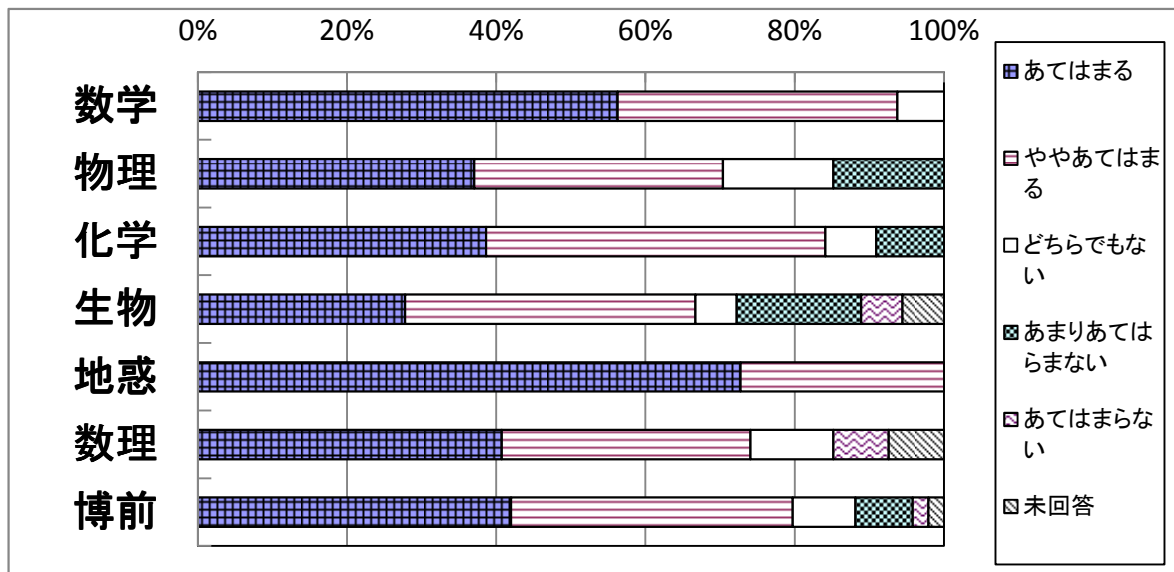
図書や学術雑誌，AV資料等が整備されており，研究に有効に活用された



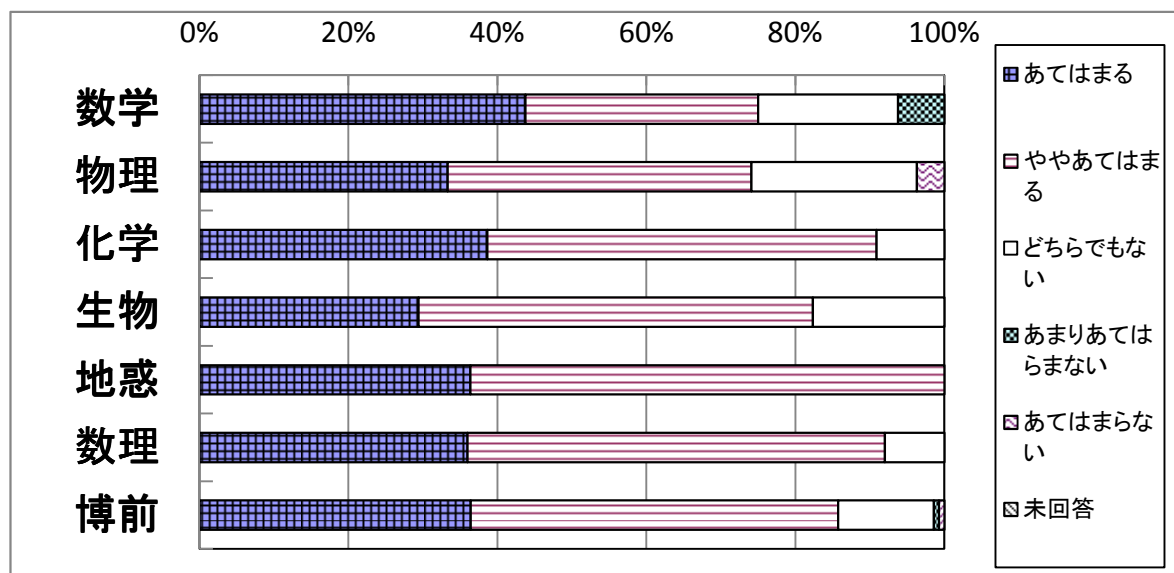
全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた



研究室では意欲的な研究活動を行うことができた



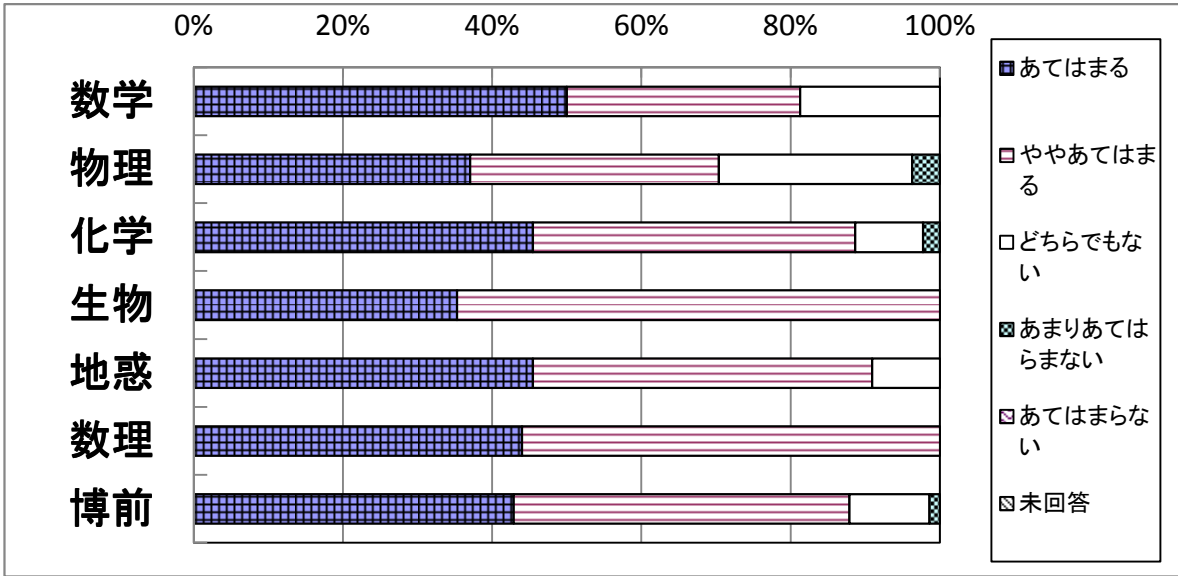
専門分野の知識と技能を修得できた



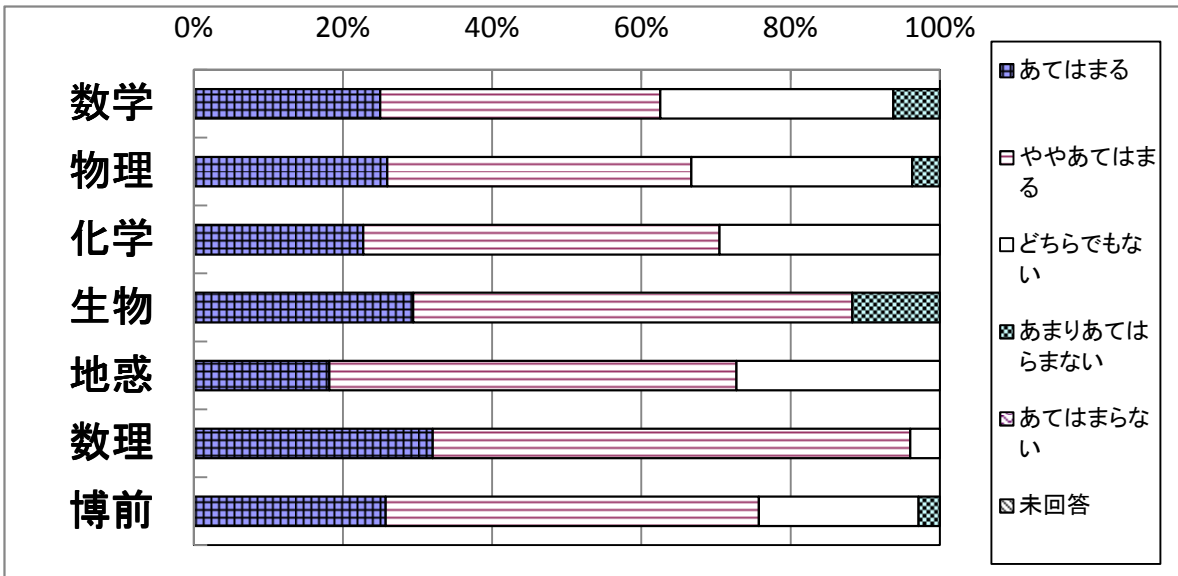
問6 大学院での教育と研究の成果についてお尋ねします。

該当する欄あるいは数字を○で囲んでください。

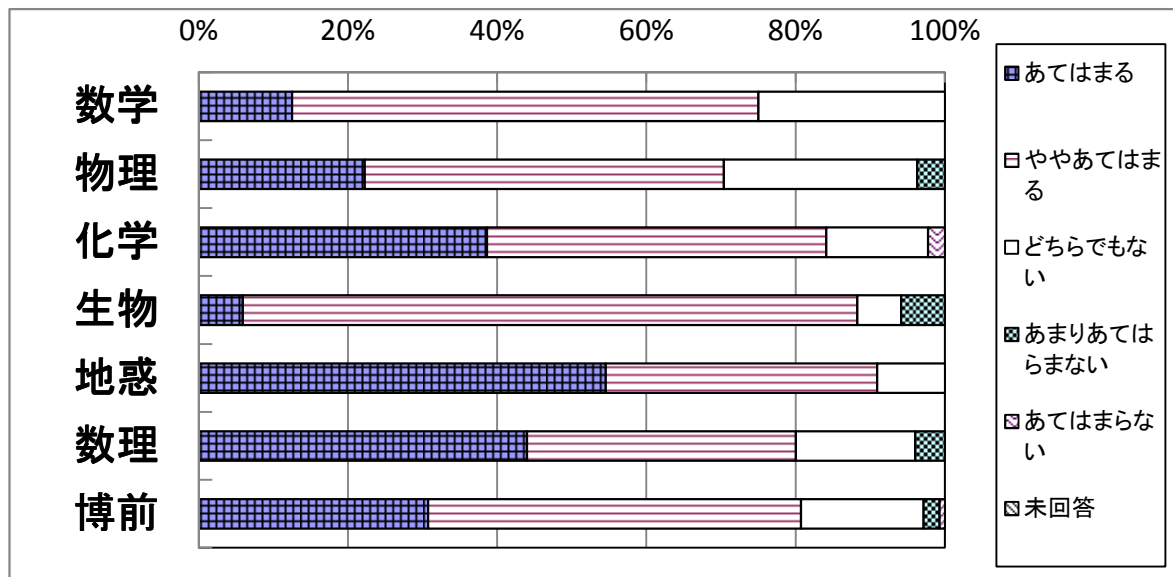
論理的思考力が向上した



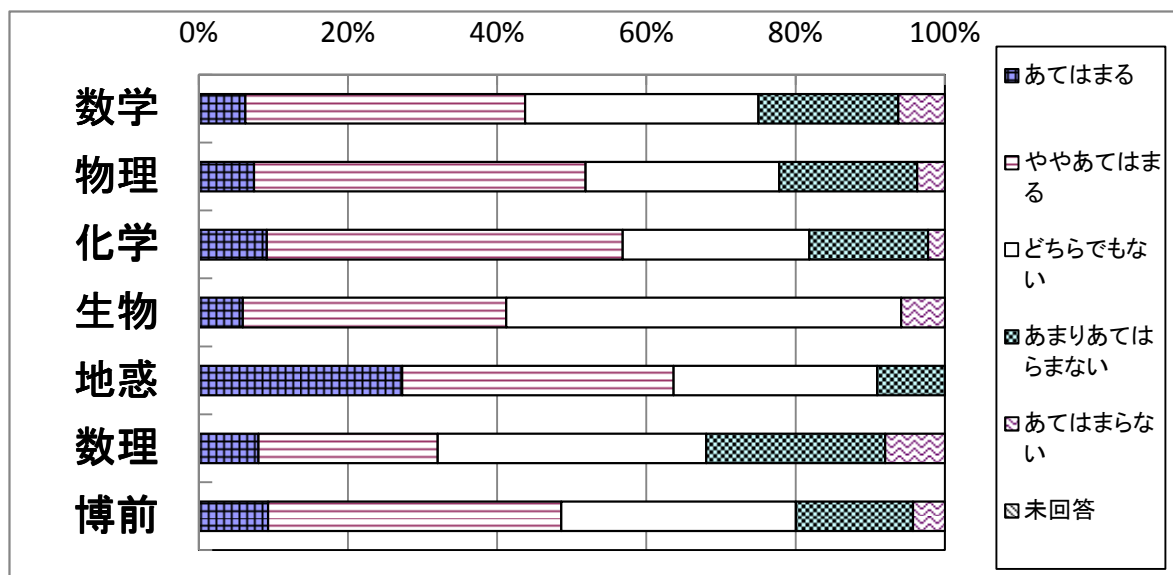
物事を批判的に考える力が向上した



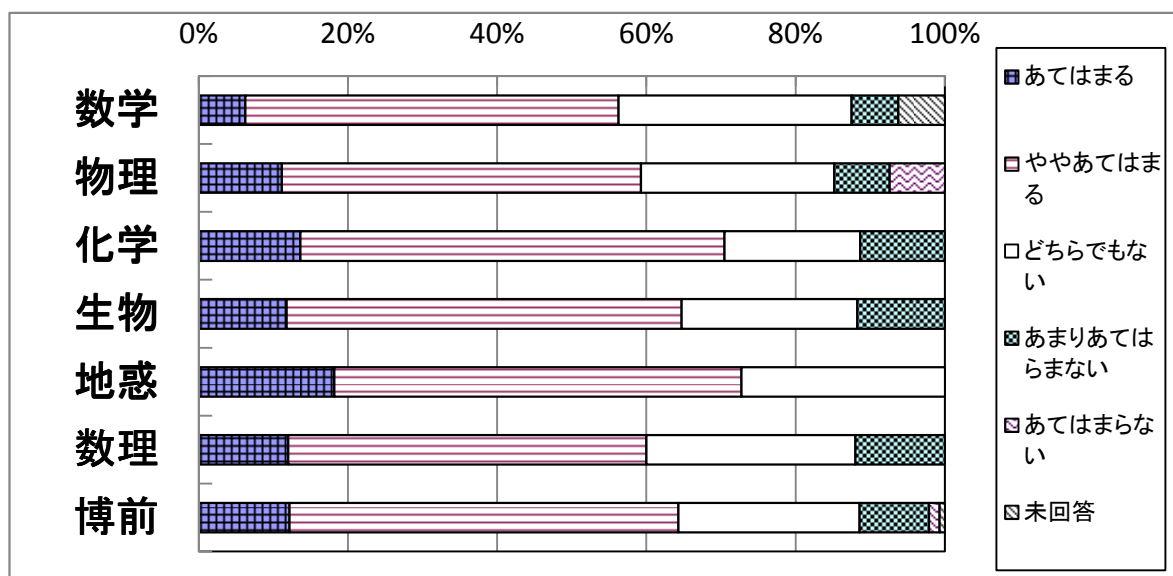
研究成果をわかりやすく発表する力がついた



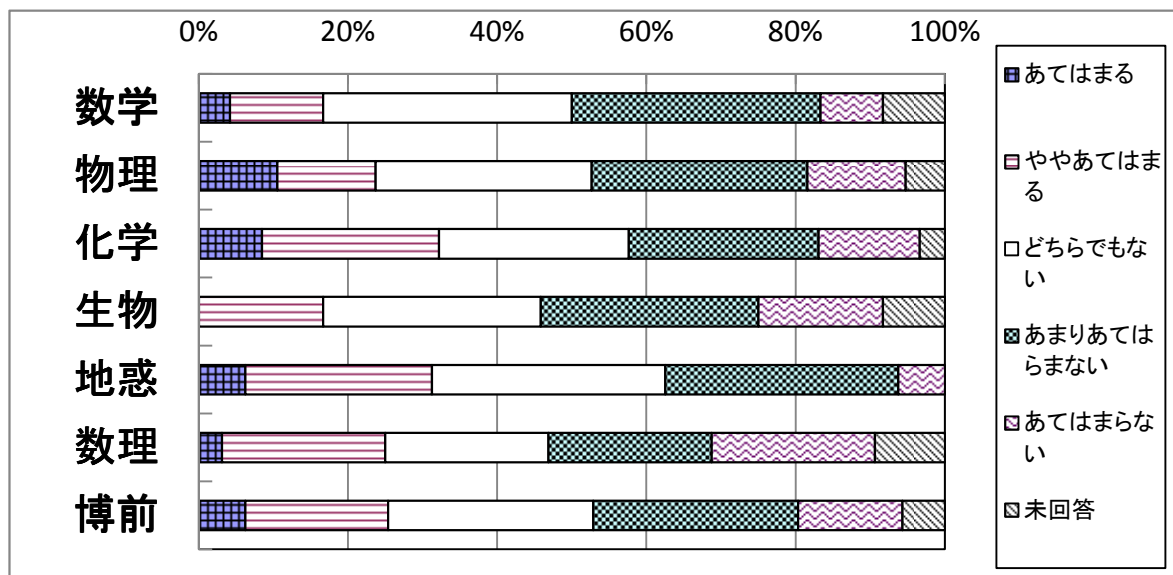
外国語（英語）運用能力が向上した



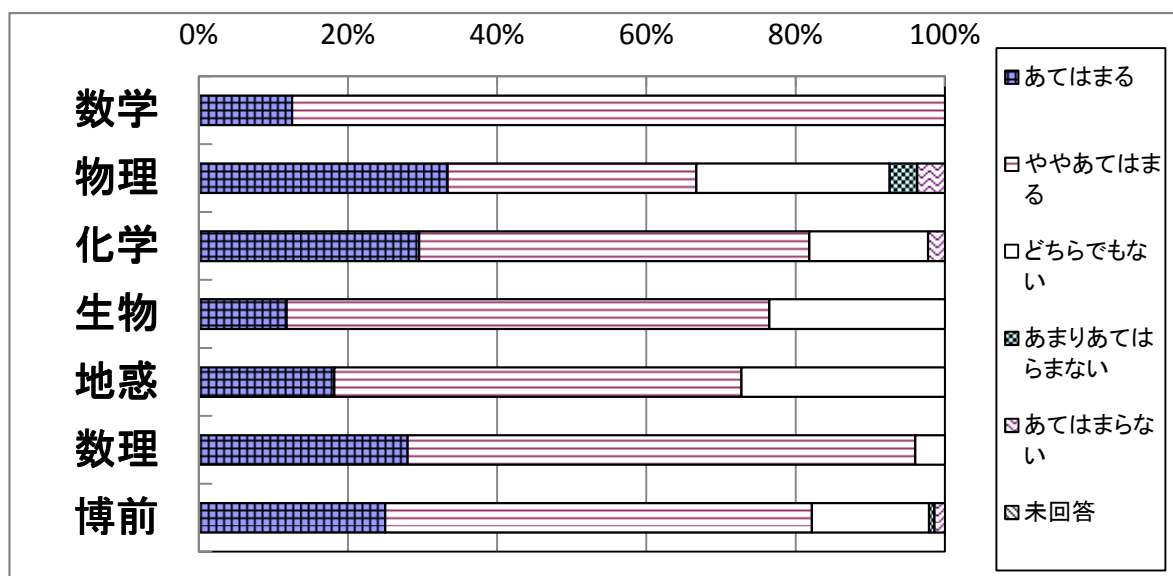
研究に関するマネジメント力がついた



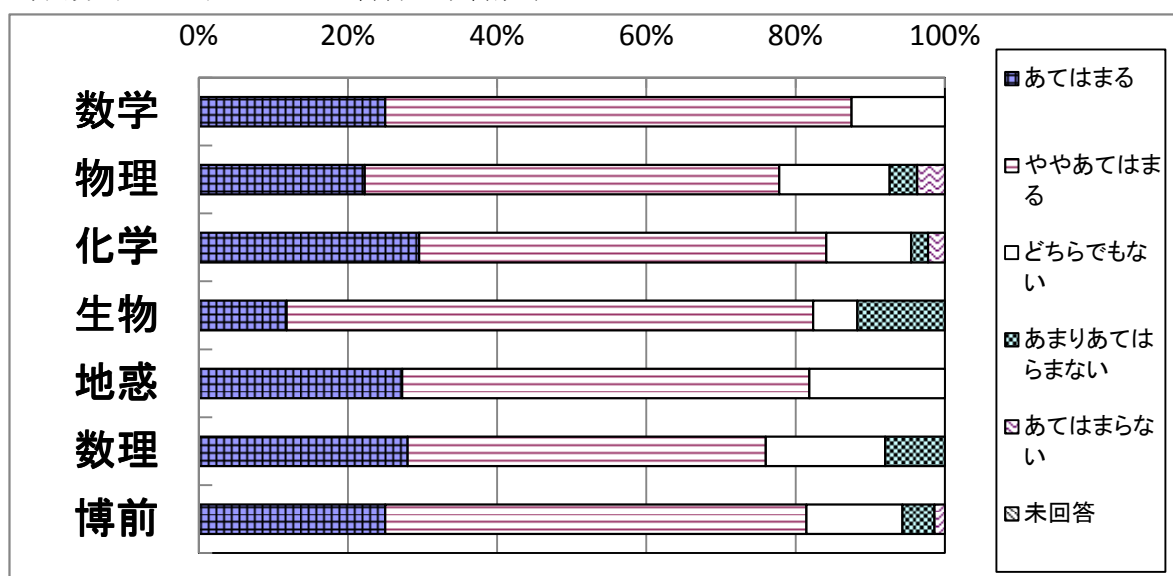
研究推進においてリーダーシップを発揮する能力がついた



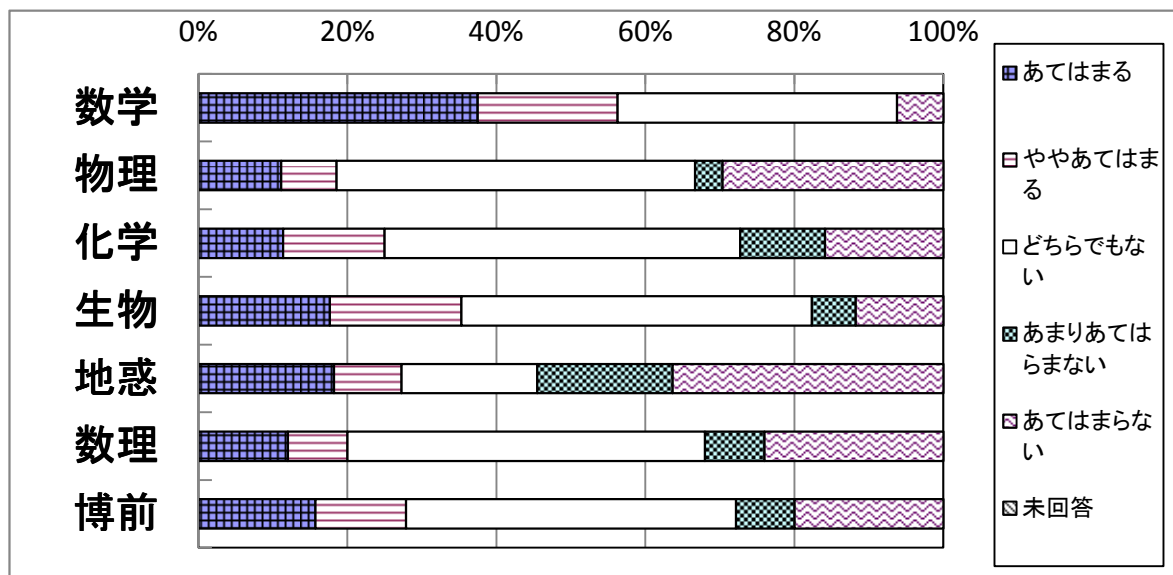
研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた



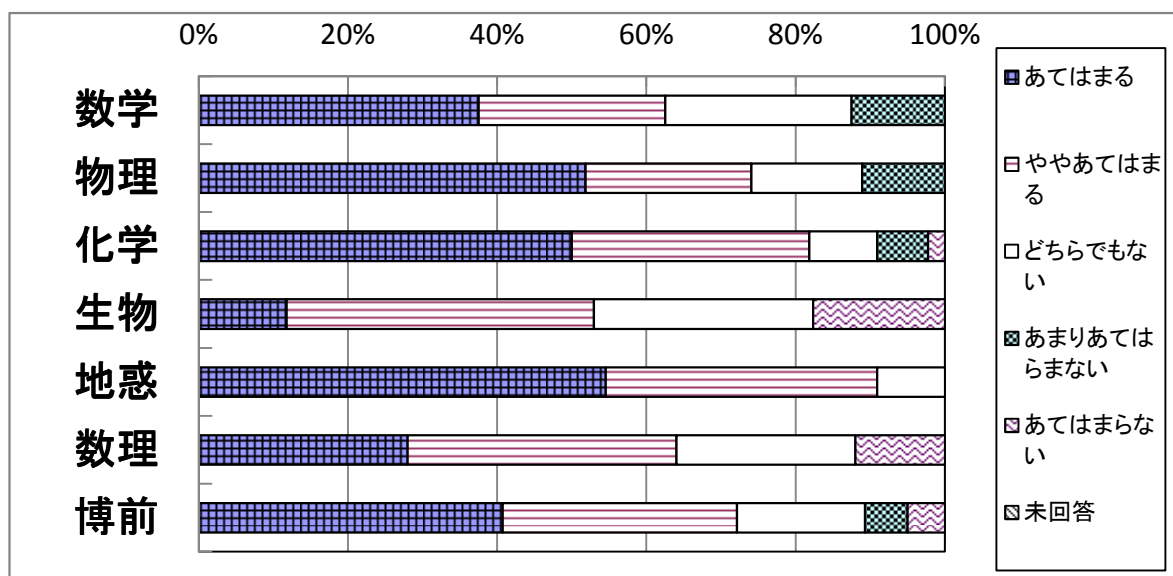
専門分野で必要なスキルの習得で学習効果があった



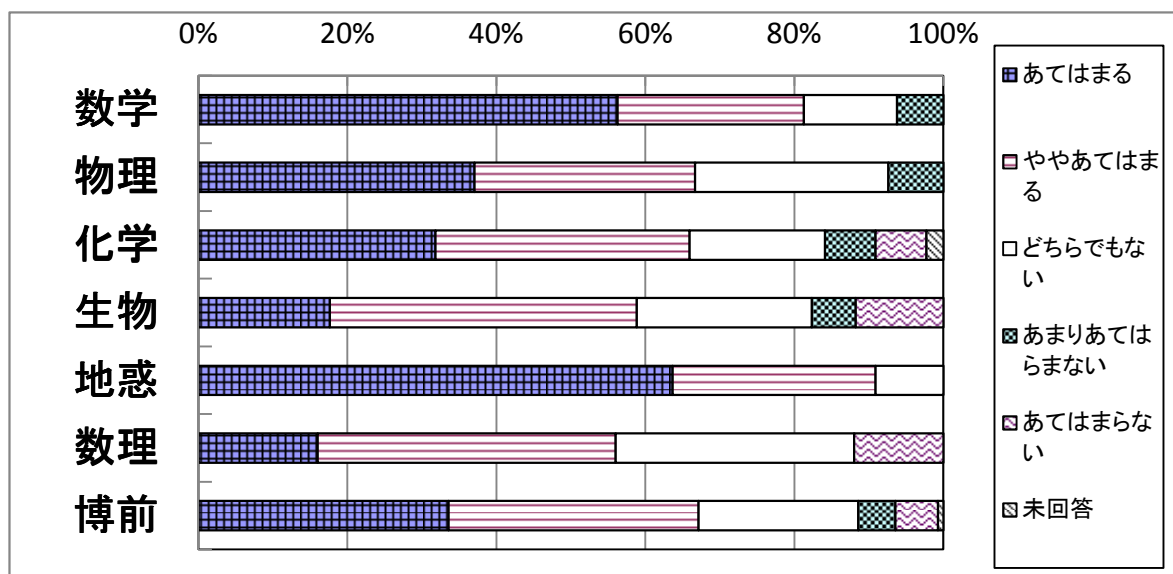
入学時に希望していた資格等を取得できた



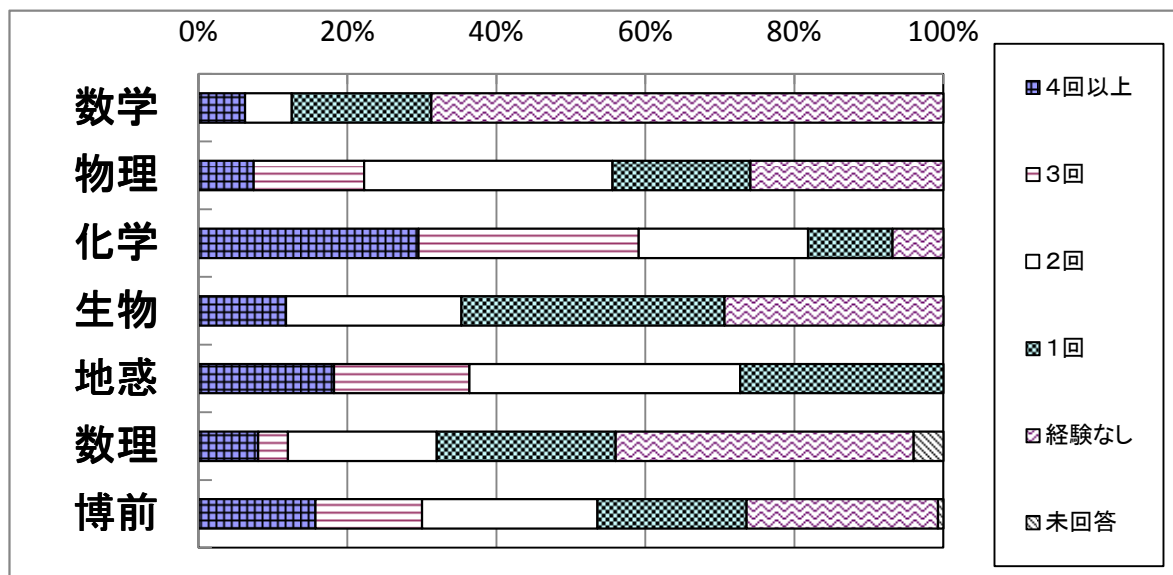
学会等で発表に際して、助言と指導、経済的支援が適切であった



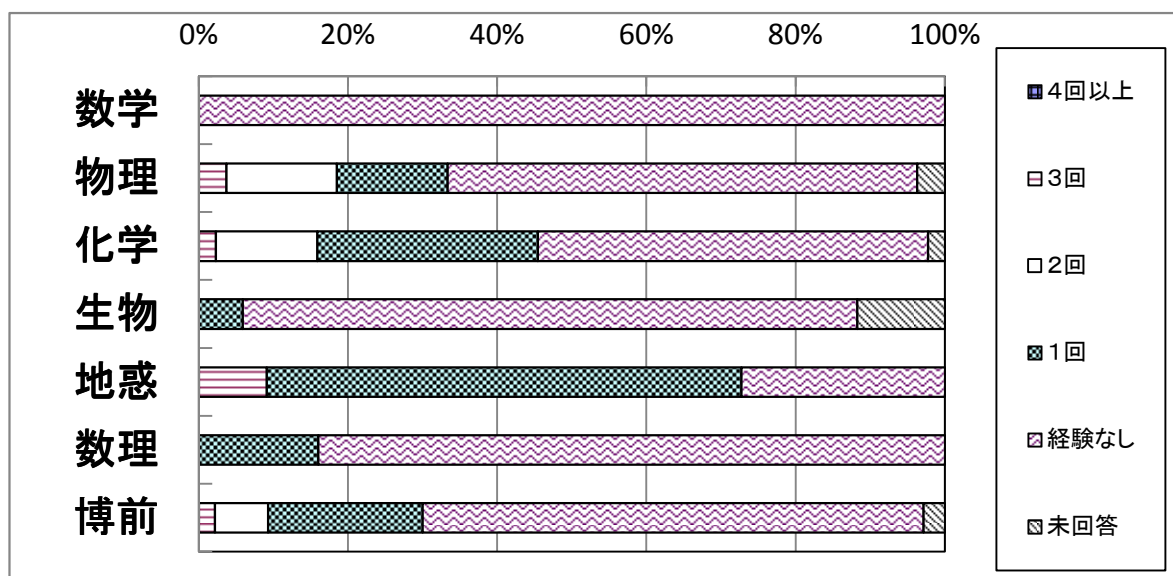
論文発表に関する助言と指導、経済的支援が適切であった



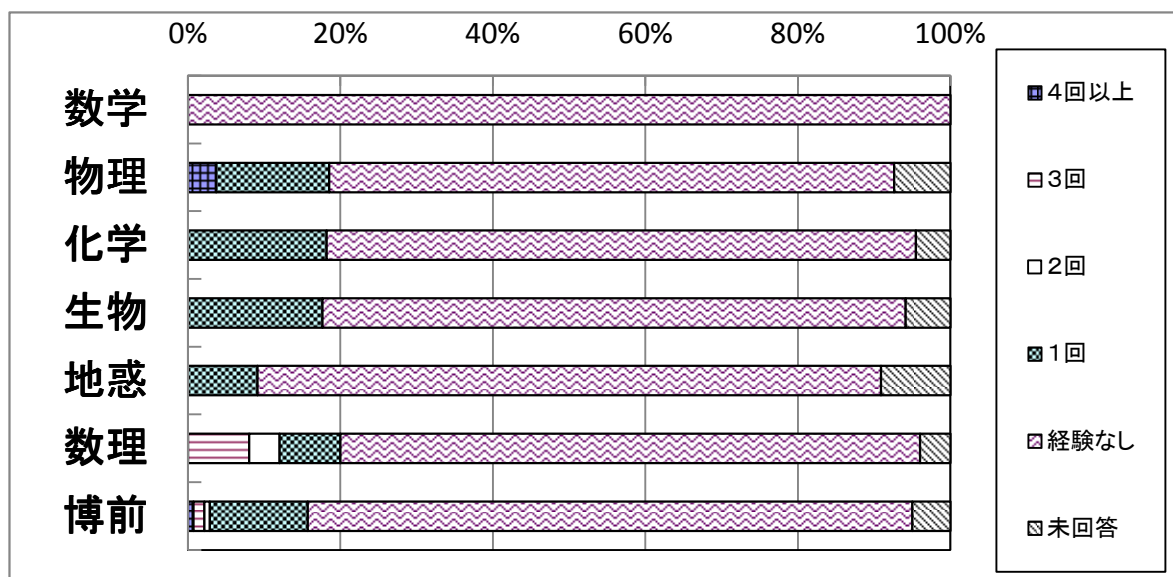
大学院在学中に国内学会で発表した



大学院在学中に国際学会で発表した



英語で論文を執筆し（共著も含めて）出版した

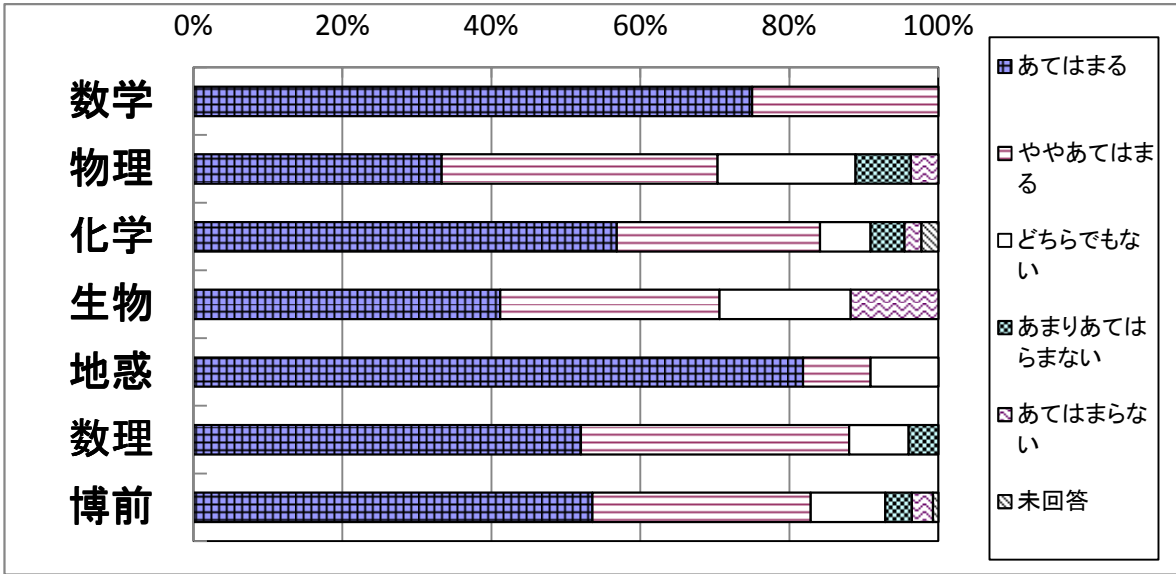




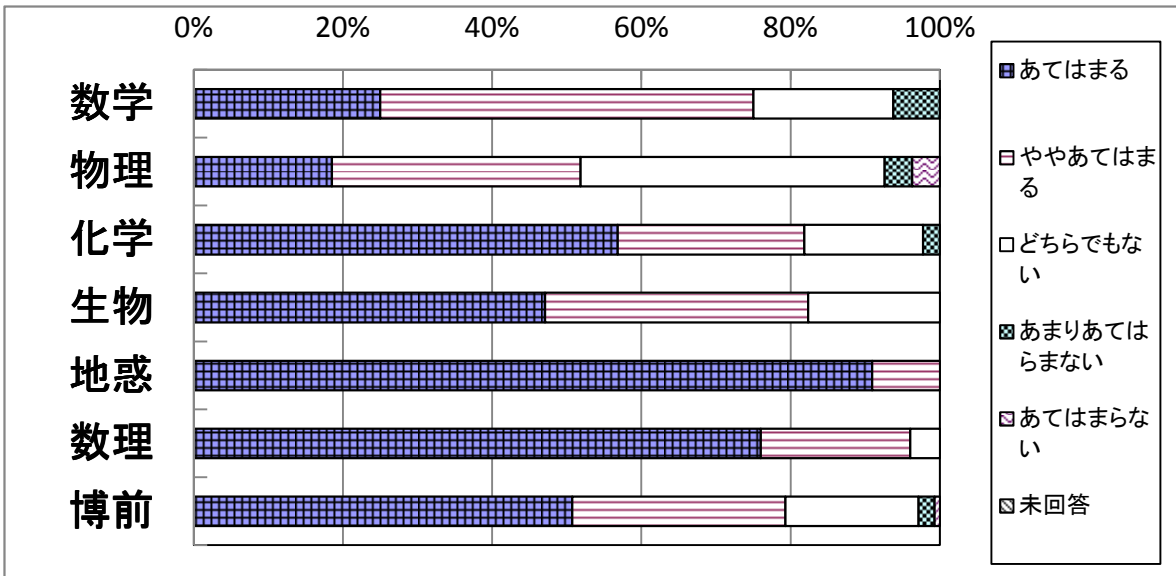
問8 大学院での学生生活についてお尋ねします。

各項目の該当する数字を○で囲んでください。

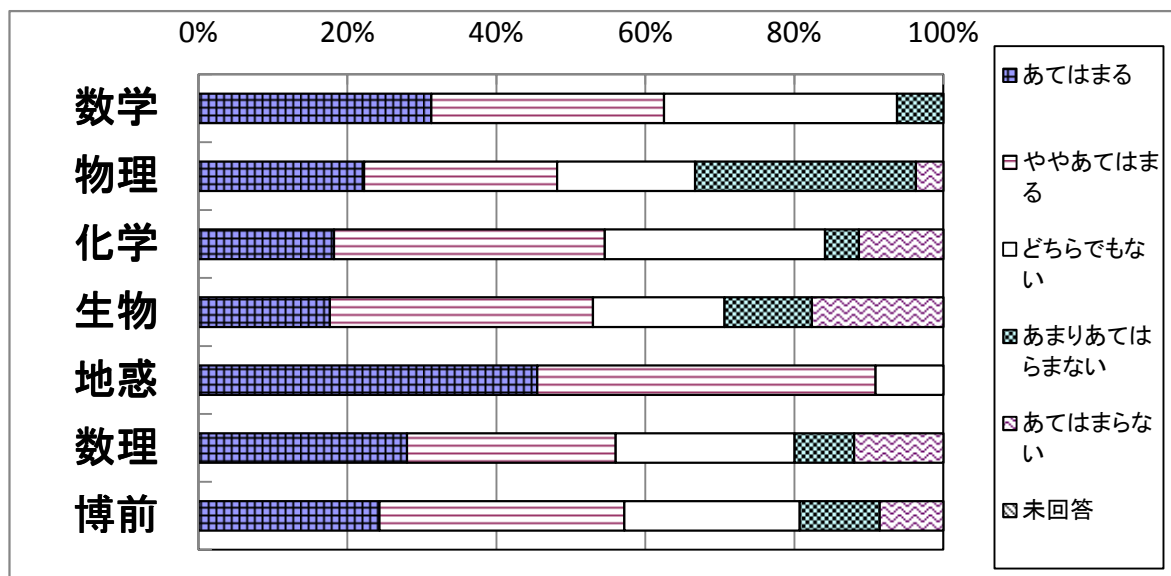
教員との関係は良好であった



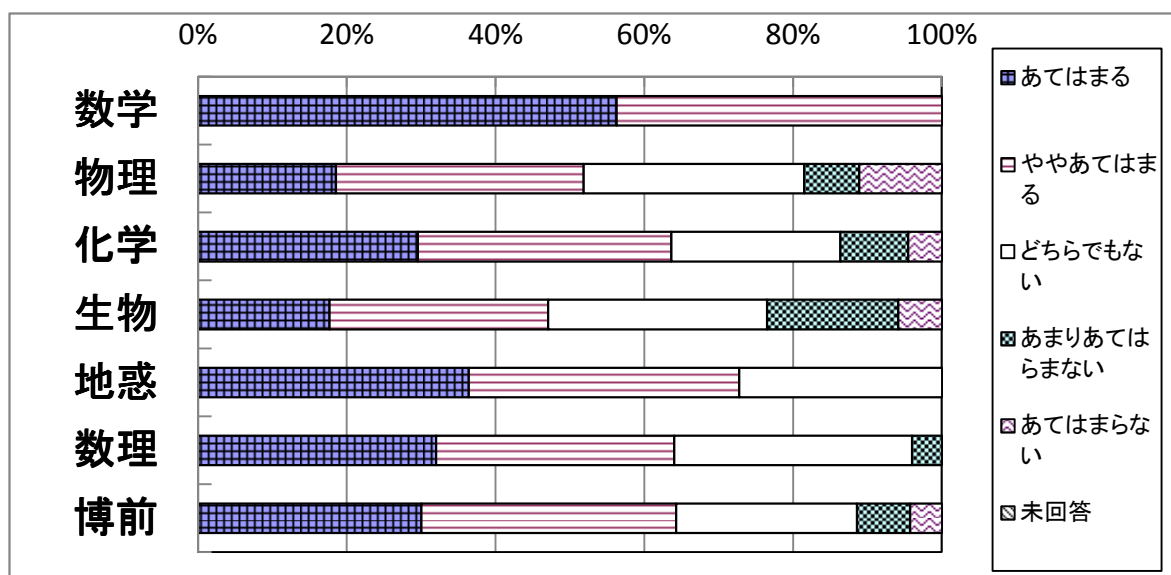
事務系職員との関係は良好であった



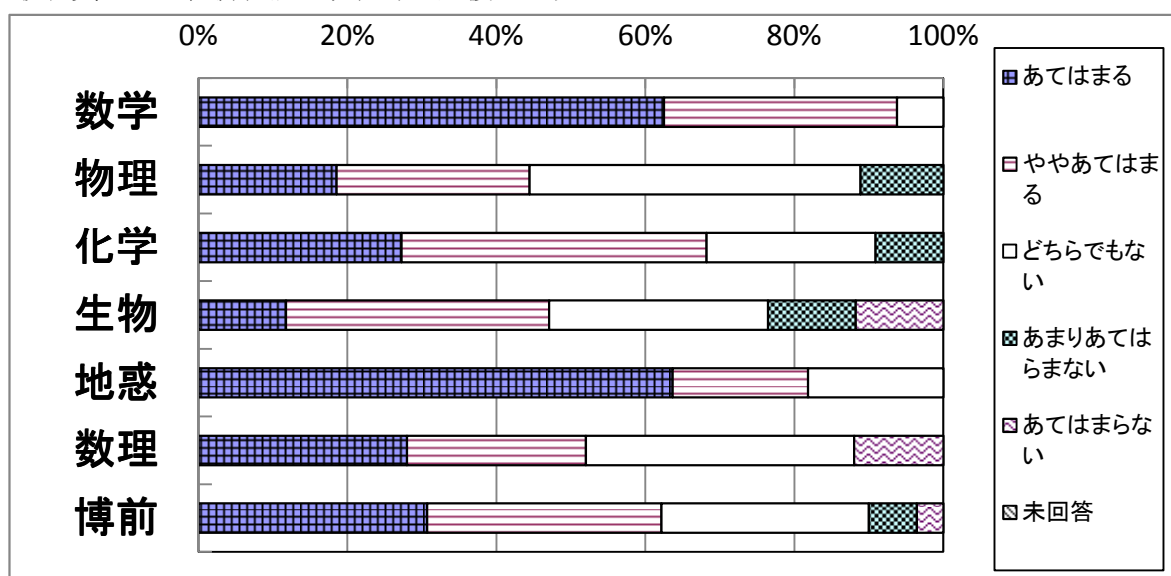
共同研究者の活動をとおして友人関係が広がった



教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった



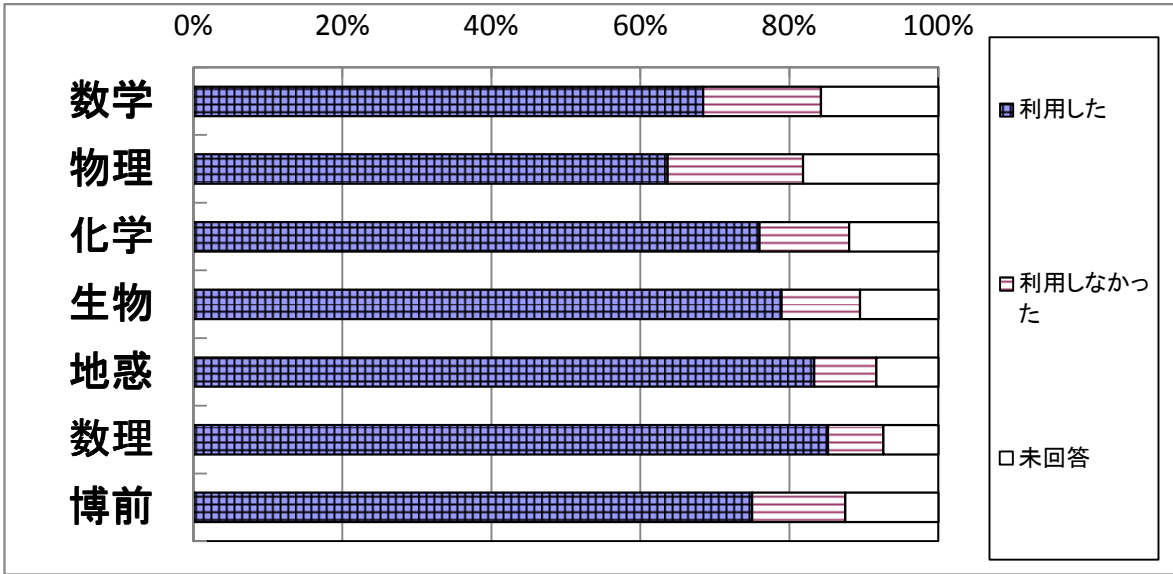
教職員による経済相談や助言等の支援は適切だった



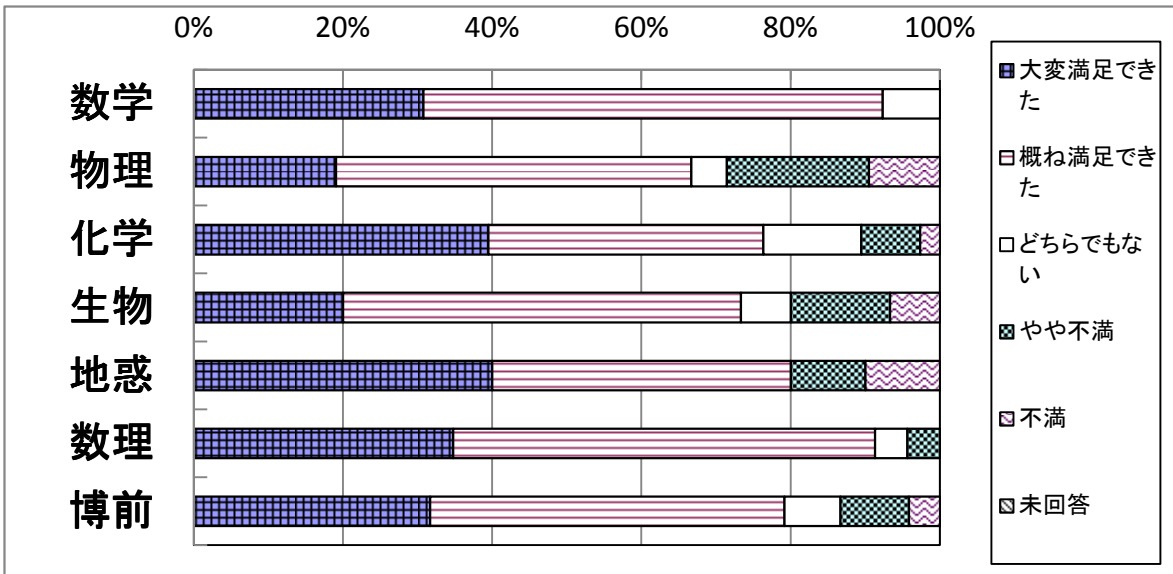
問9 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

各施設について、「利用あり」に○をした場合は、満足度該当数字を○で囲んでください。

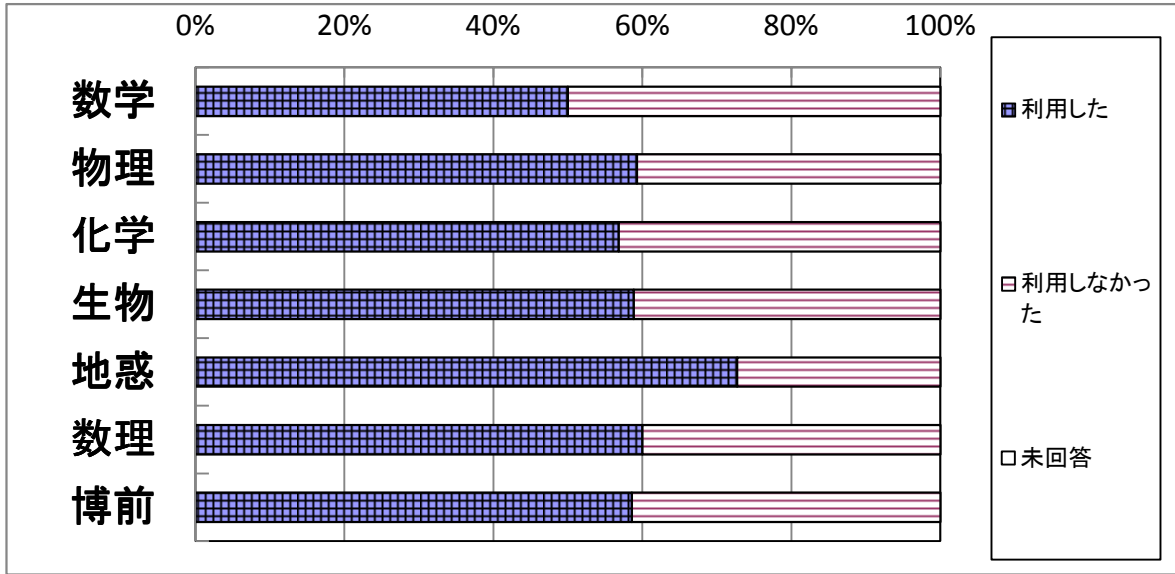
所属研究科の学生支援質での学生への対応とサービス（利用の有無）



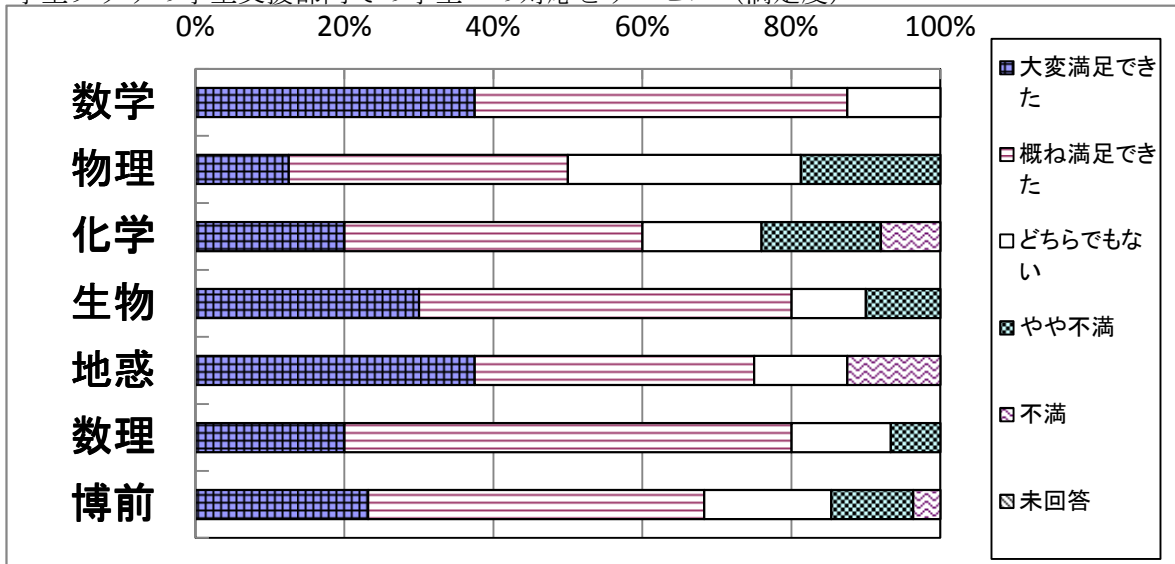
所属研究科の学生支援質での学生への対応とサービス（満足度）



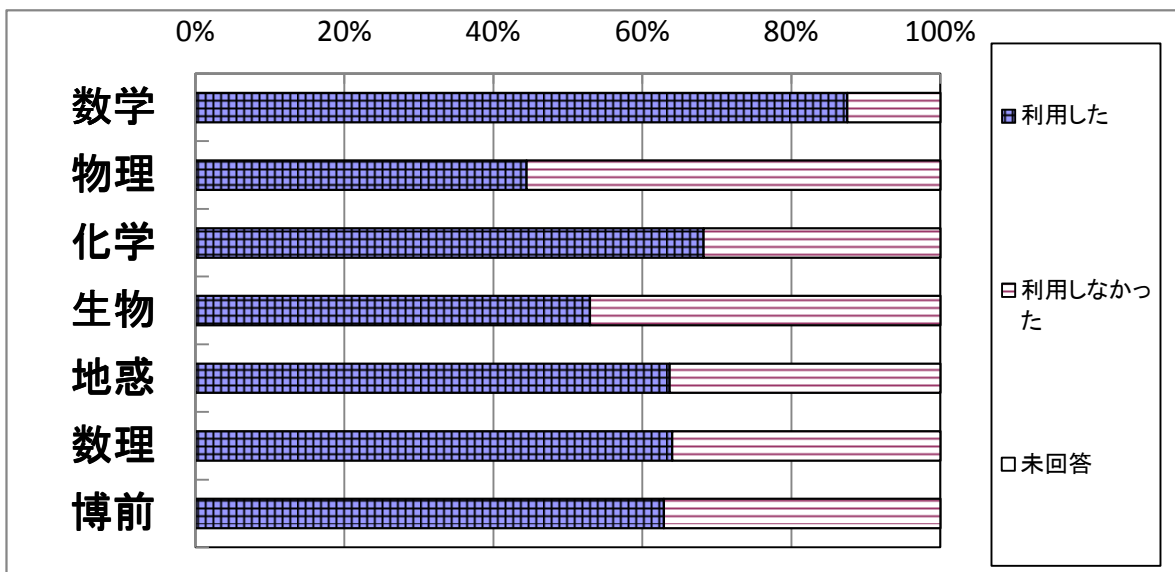
学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス（利用の有無）



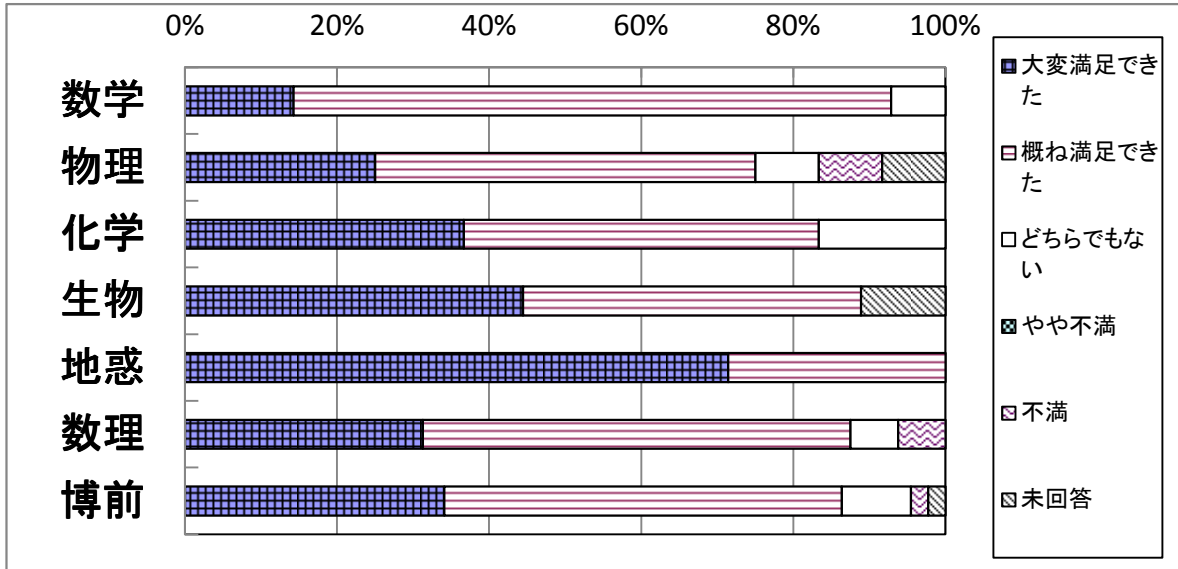
学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス（満足度）



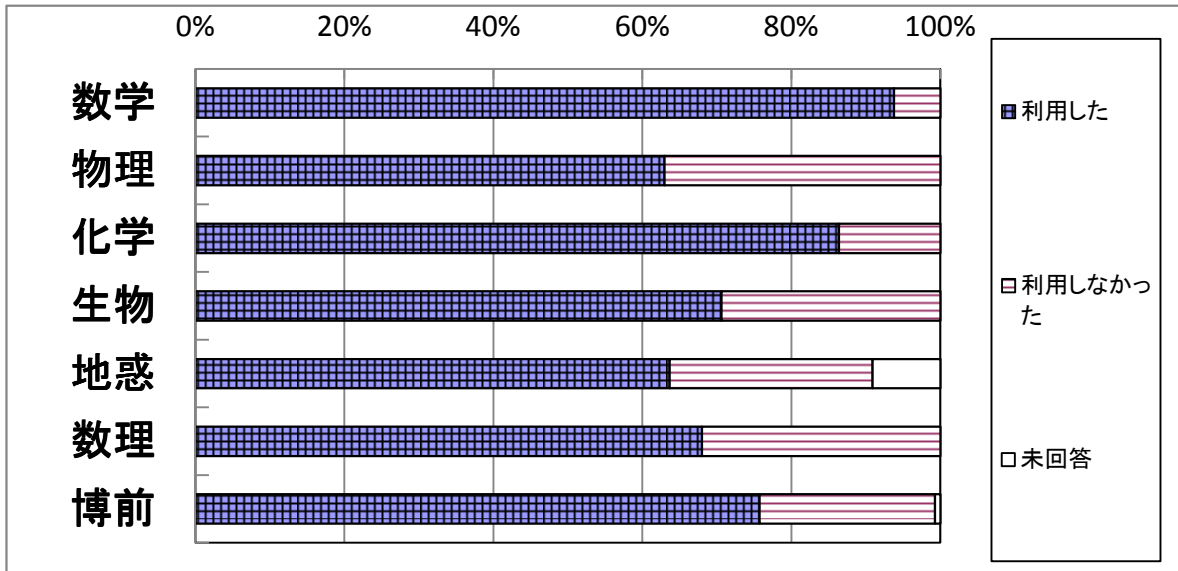
保健管理センターでの対応とケア（利用の有無）



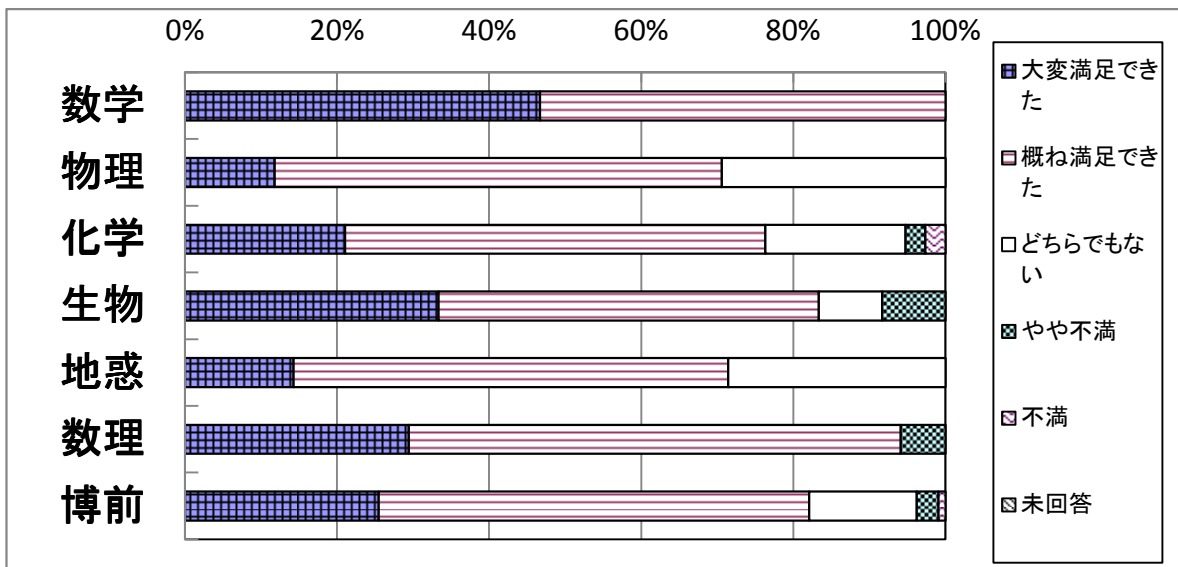
保健管理センターでの対応とケア（満足度）



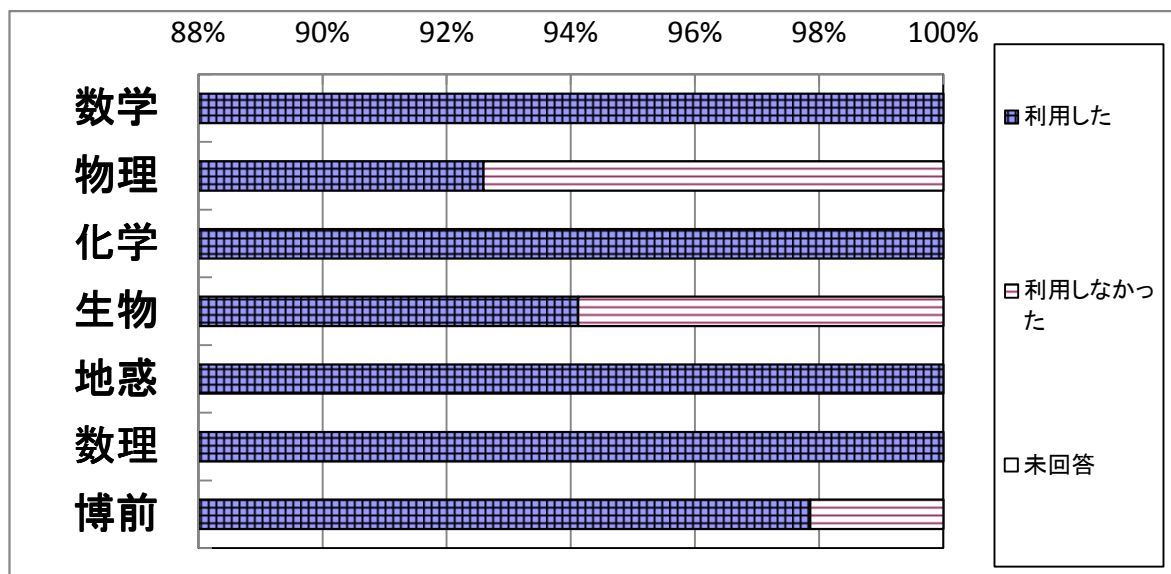
図書館での対応やサービス（利用の有無）



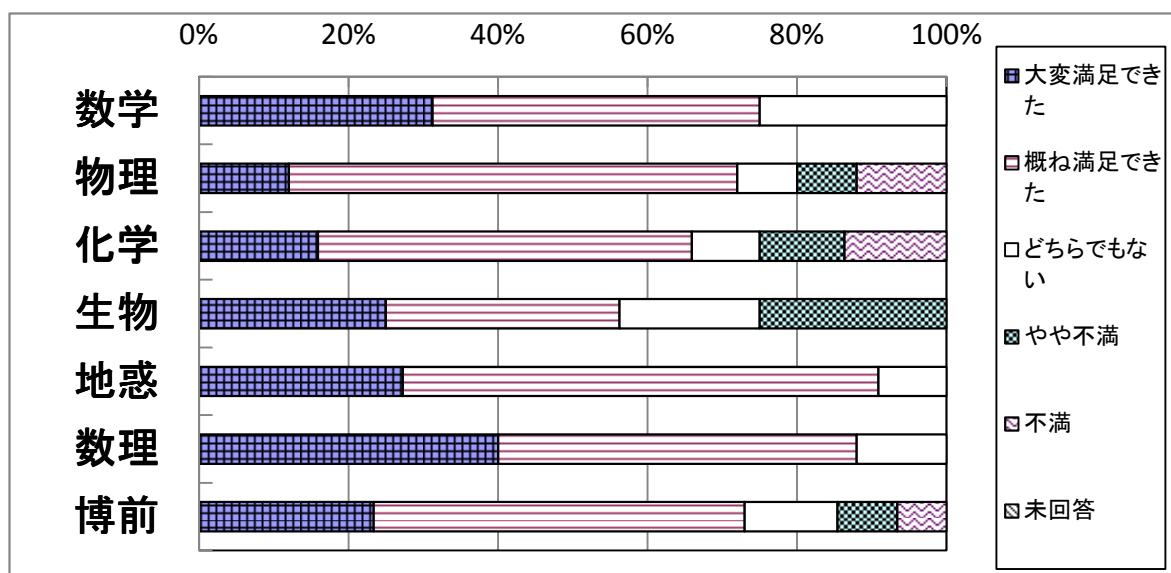
図書館での対応やサービス（満足度）



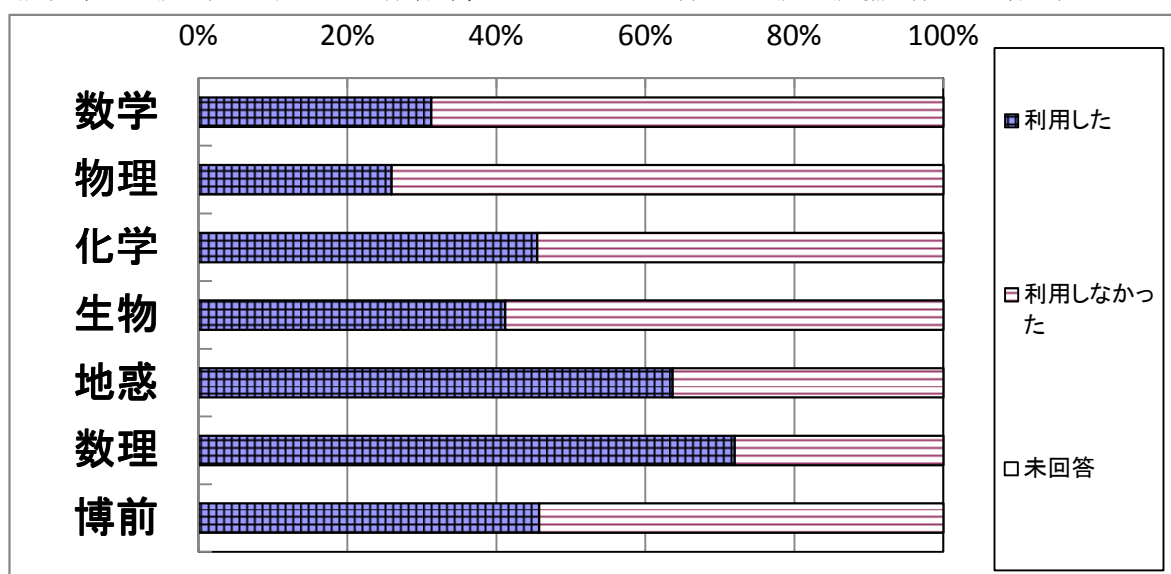
福利厚生施設（食堂や売店等）の施設や設備とサービス（利用の有無）



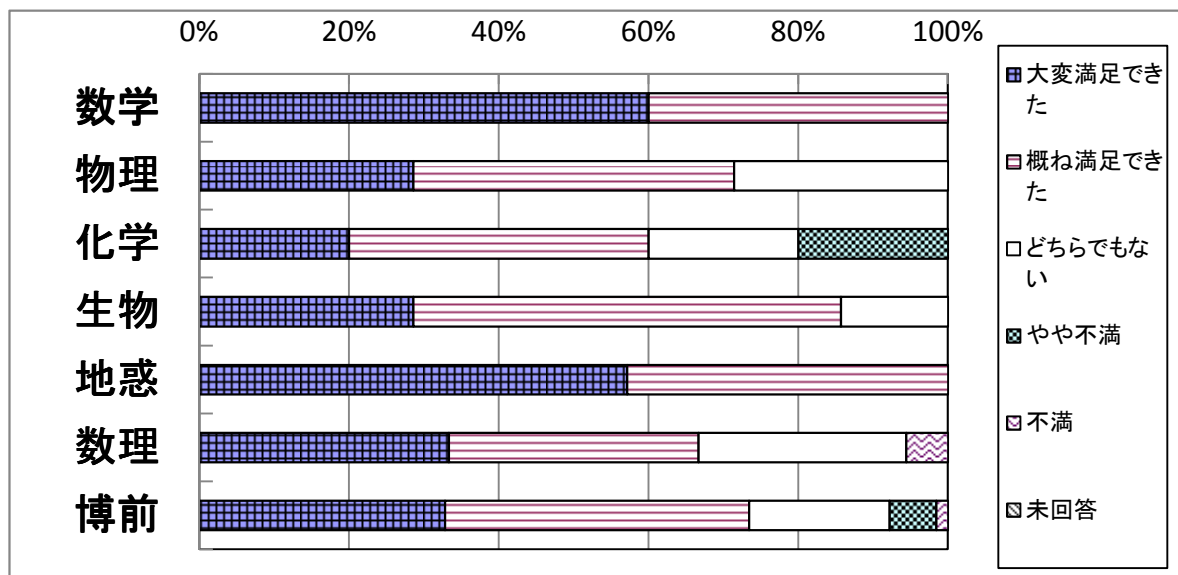
福利厚生施設（食堂や売店等）の施設や設備とサービス（満足度）



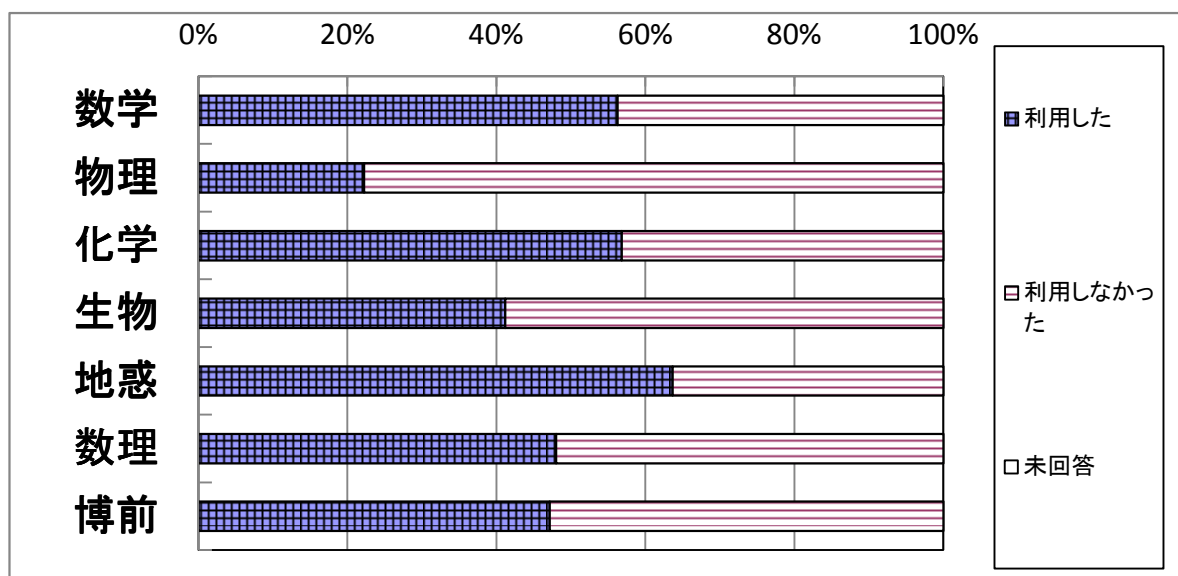
福利厚生施設（グラウンドや体育館，テニスコート等）の施設や設備（利用の有無）



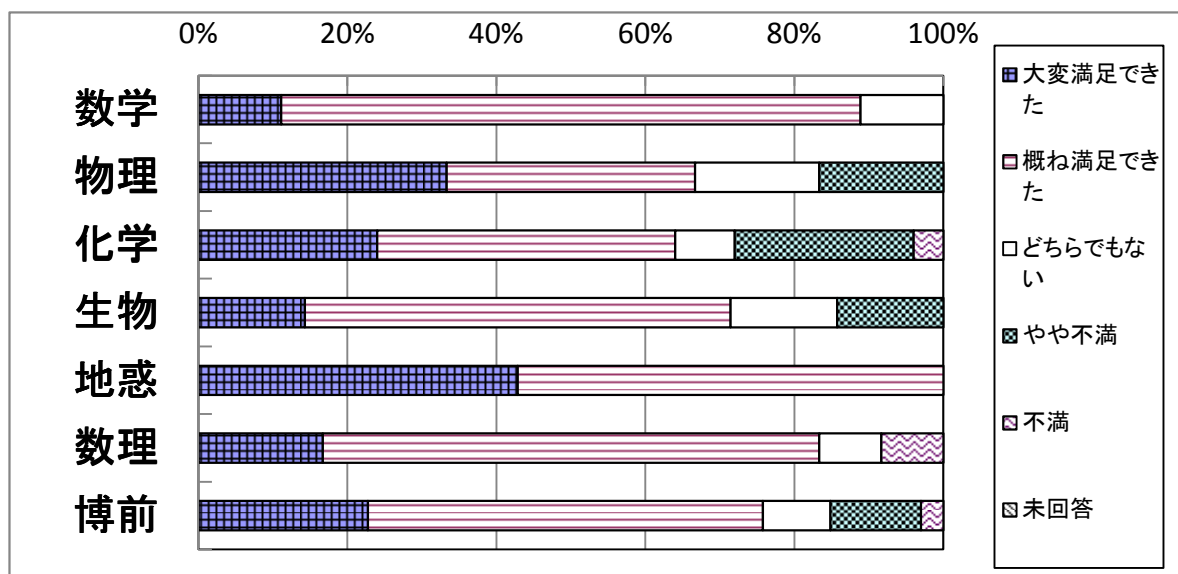
福利厚生施設（グラウンドや体育館、テニスコート等）の施設や設備（満足度）



授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービスの内容（利用の有無）

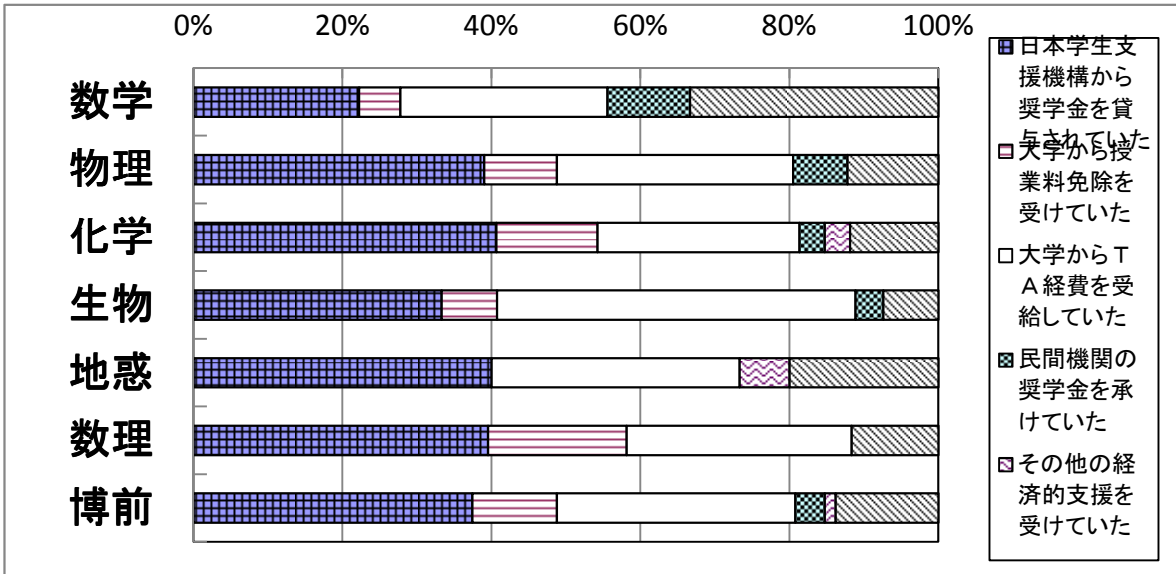


授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービスの内容（満足度）



問11 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします。

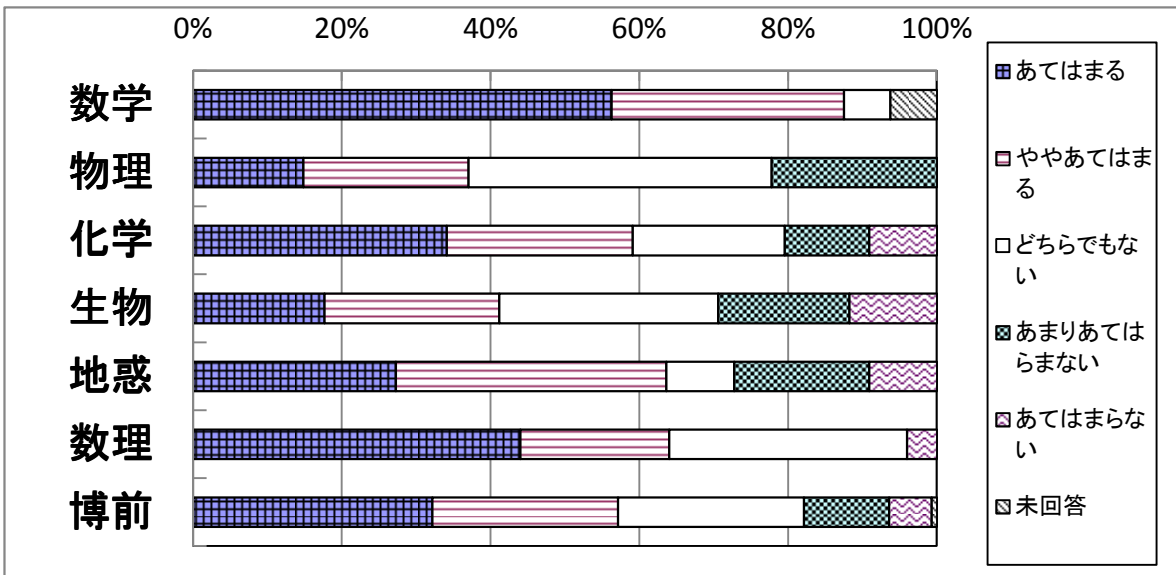
次の中からあてはまる欄に○印を記入してください(複数記入可)。



問13 大学院修了後の進路選択についてお尋ねします。

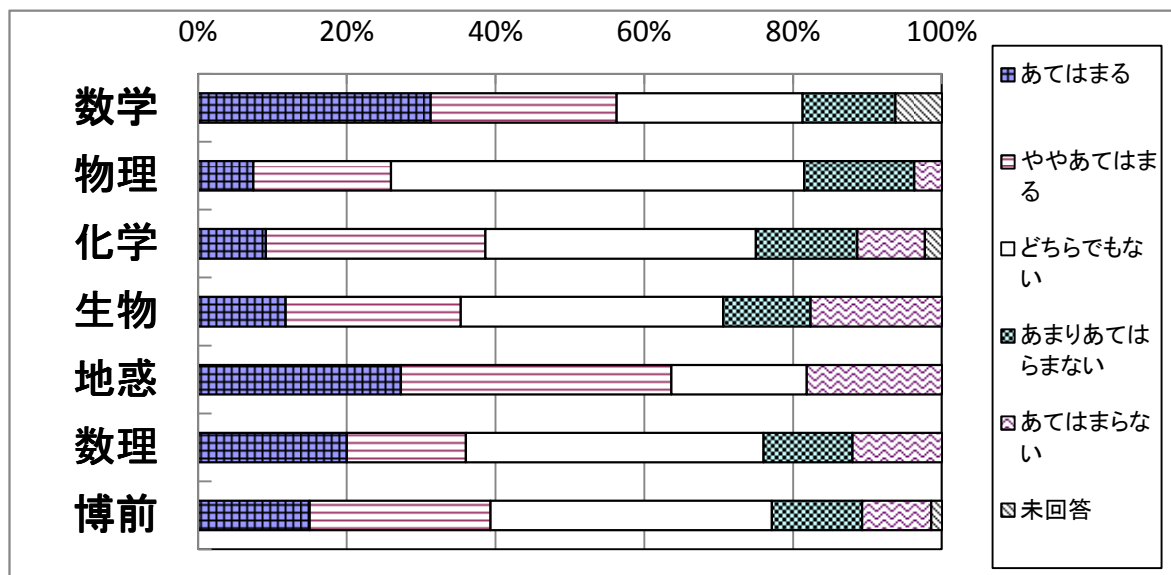
進路選択を考えるに当たって、以下の項目をどの程度考慮したのか、該当する数字を○で囲んでください。

指導教員（正・副）の支援（相談等）が充実していた

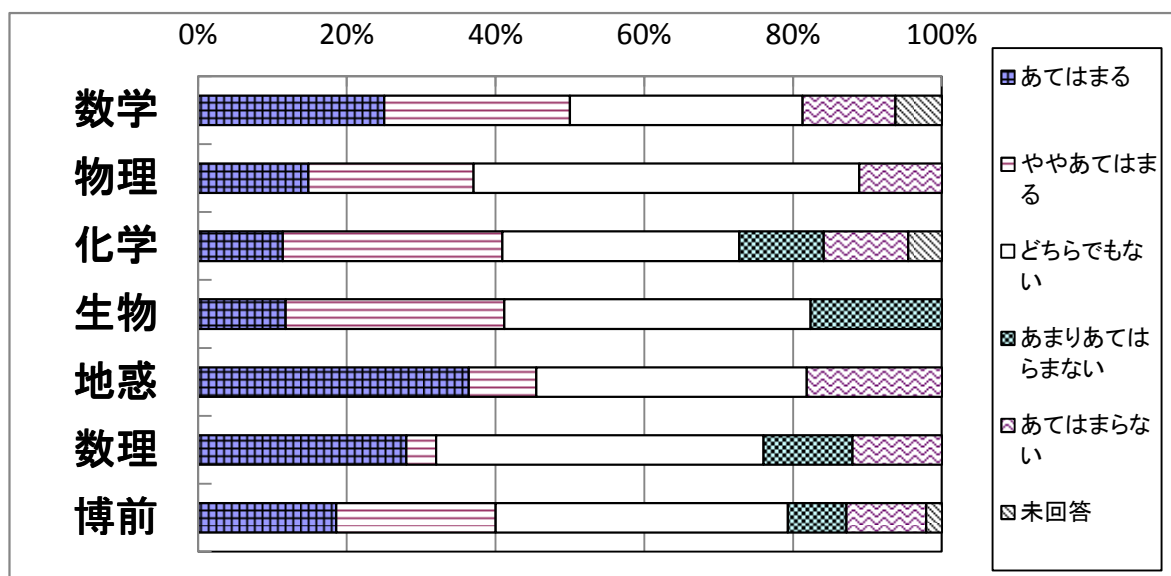




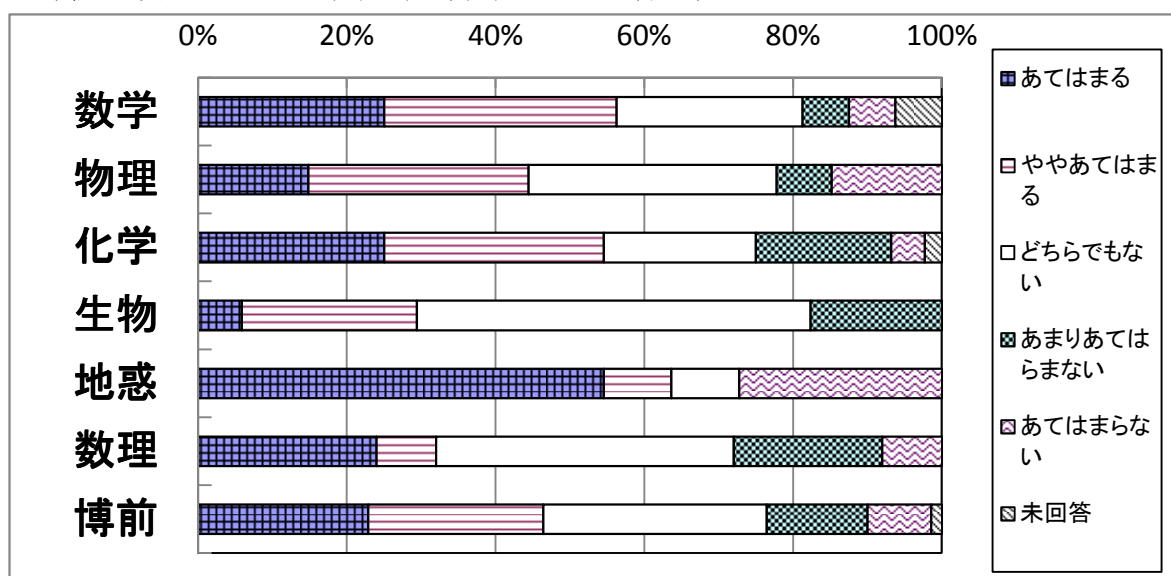
就職指導教員又は各専攻における支援が充実していた



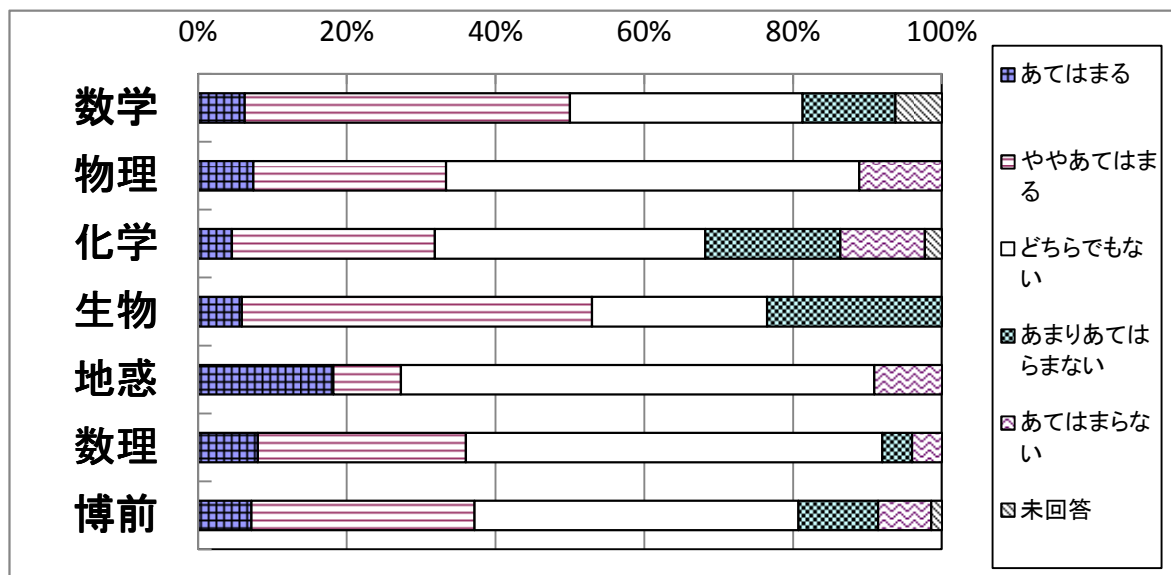
大学院で学修したことが就職活動で有利だった



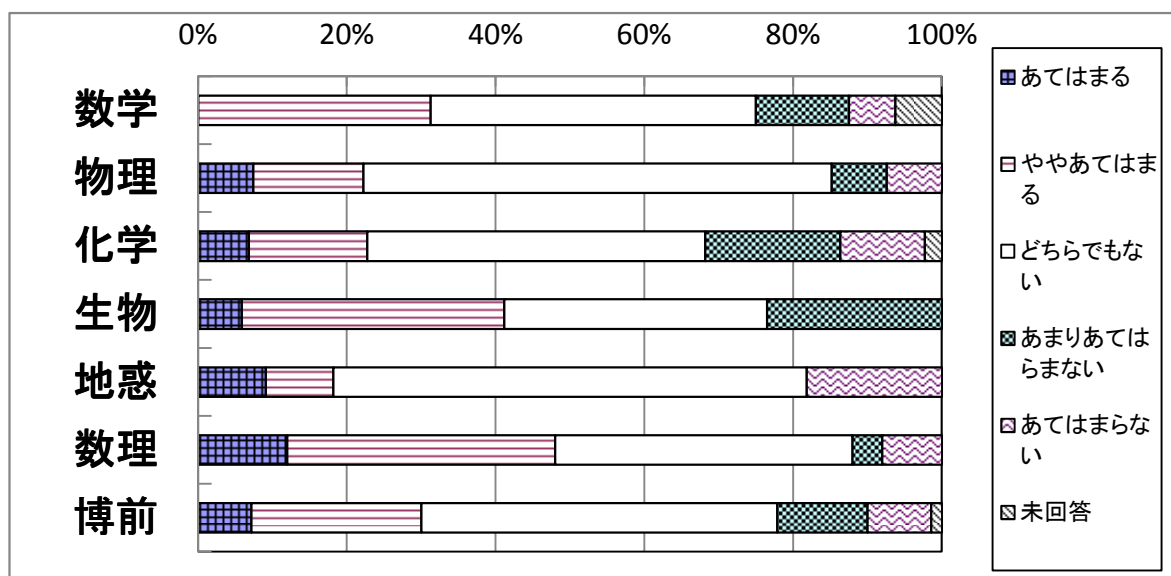
大学院で学修したことが就職（進学）先を決める際に役だった



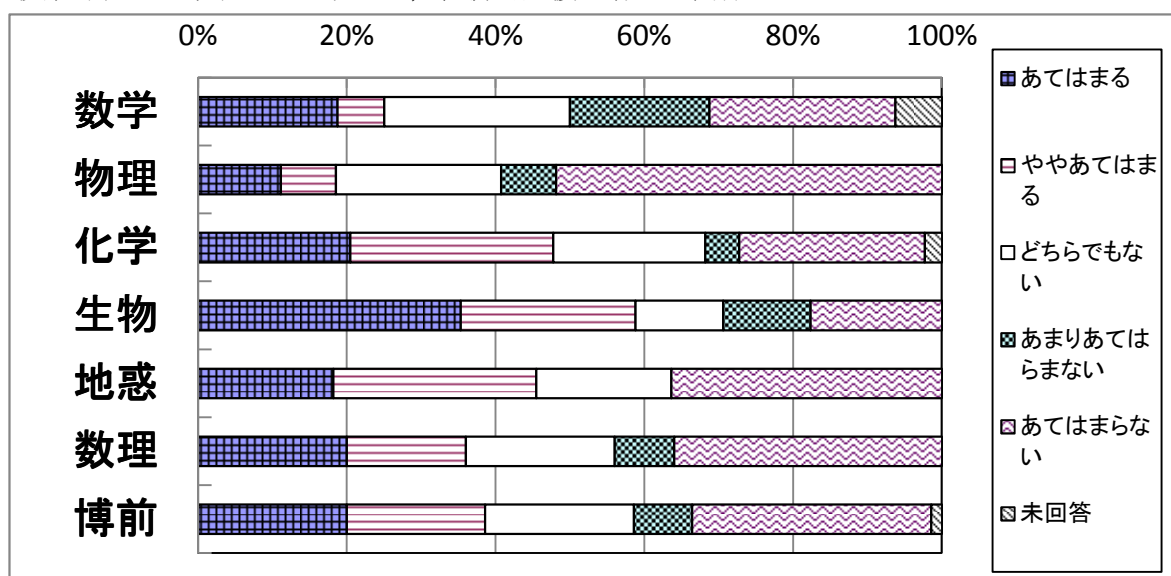
研究科の支援（キャリアガイダンス、教職ガイダンス等）が充実していた



キャリアセンターの支援（進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等）が充実していた



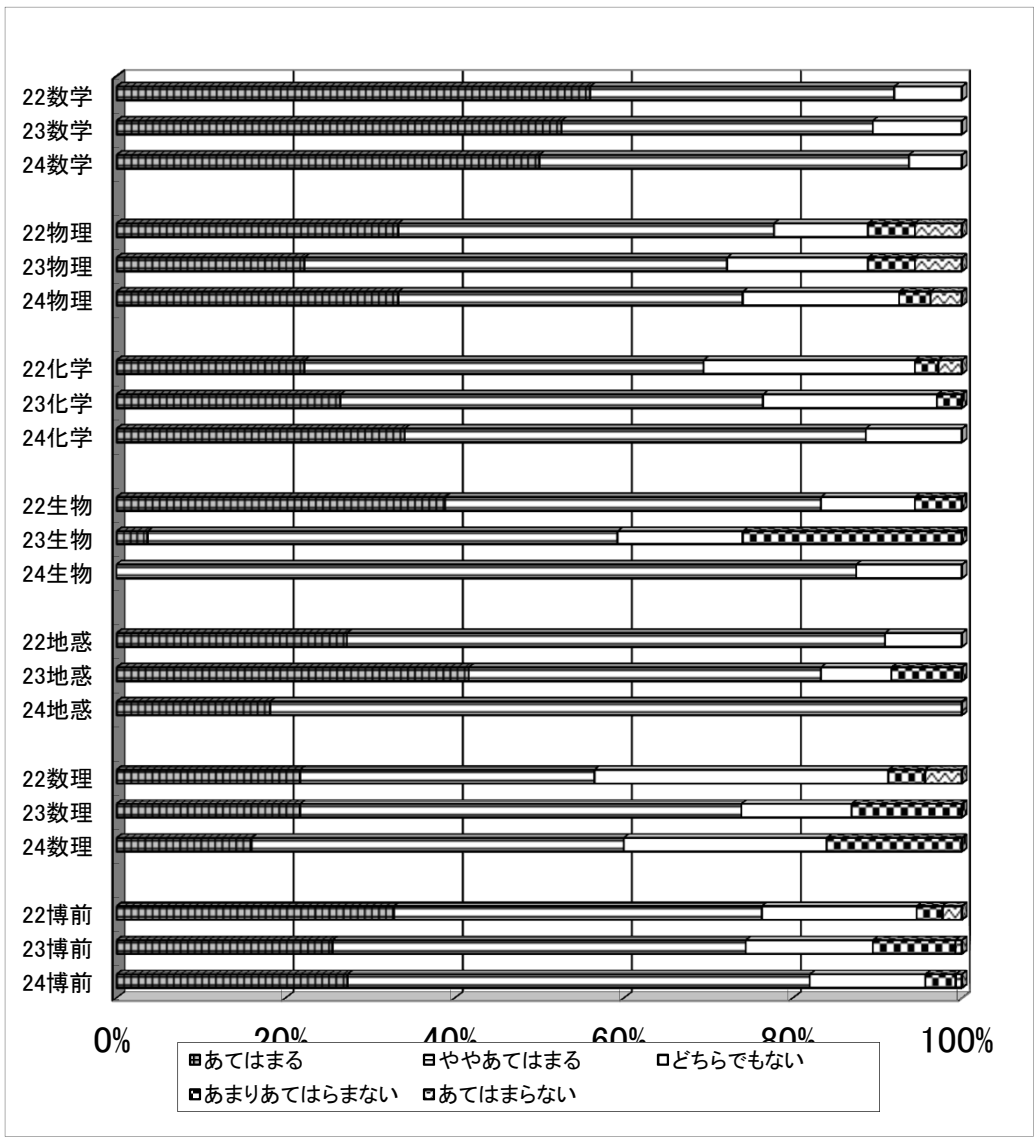
後期課程に進学するかどうかは、経済的支援の有無と関係した



# 広島大学理学研究科の大学院教育の 成果・効果に関する調査 博士課程前期 アンケート集計結果 グラフ編(年度・専攻別 問5抜粋)

問5 以下の項目についてお尋ねします。該当する箇所の数字を○で囲んでください。

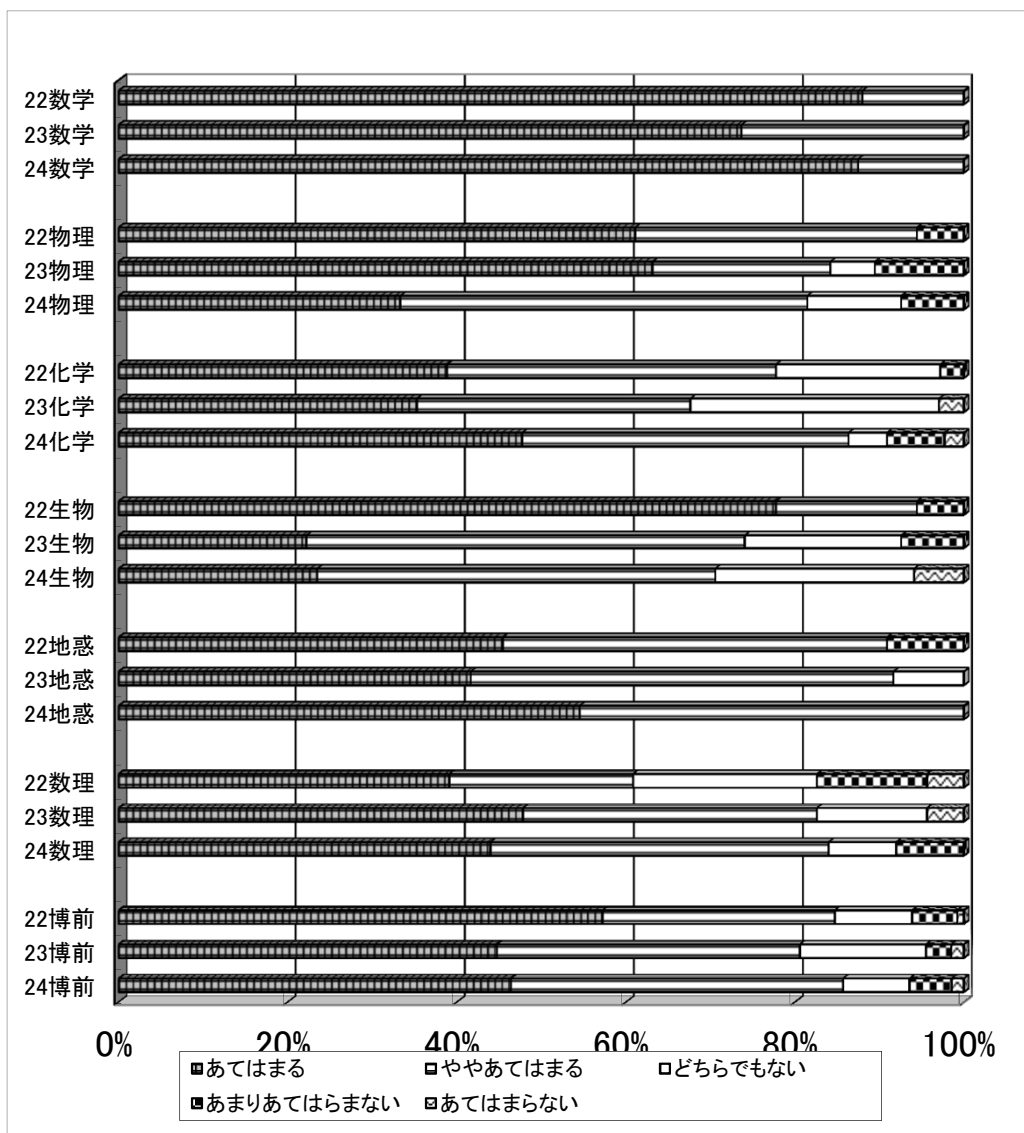
授業内容は充実していた



	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
数学	8	7	1			16
物理科学	9	11	5	1	1	27
化学	15	24	5			44
生物科学		14	2			16
地球惑星システム学	2	9	2			11
数理分子生命理学	4	11	6	4		25
博士課程前期	38	76	19	5	1	139

平成24年度回答数

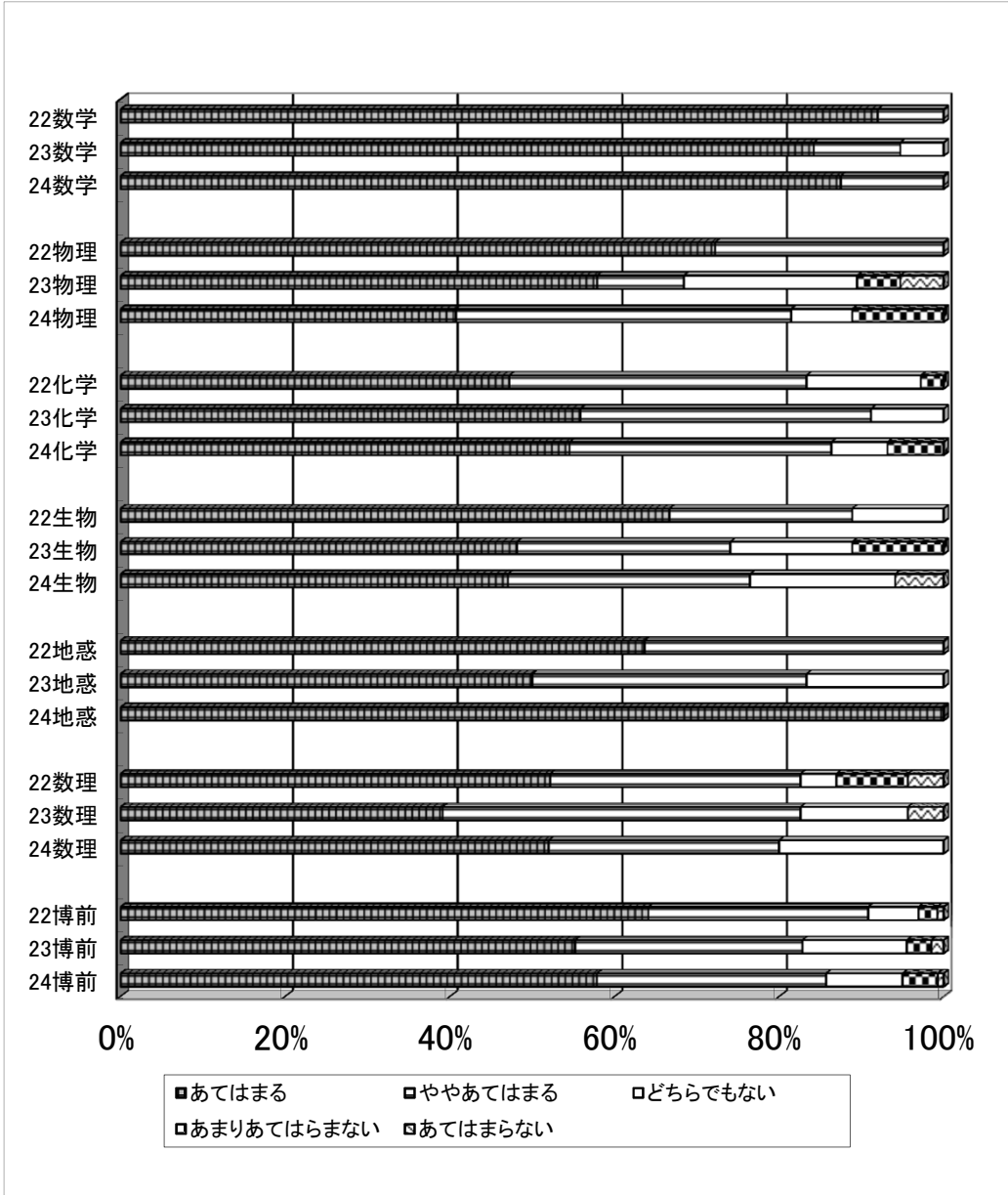
セミナーは充実していた



	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
数学	14	2	0	0	0	16
物理科学	9	13	3	2	0	27
化学	21	17	2	3	1	44
生物科学	4	8	4	0	1	17
地球惑星システム学	6	5	0	0	0	11
教理分子生命理学	11	10	2	2	0	25
博士課程前期	65	55	11	7	2	140

平成24年度回答数

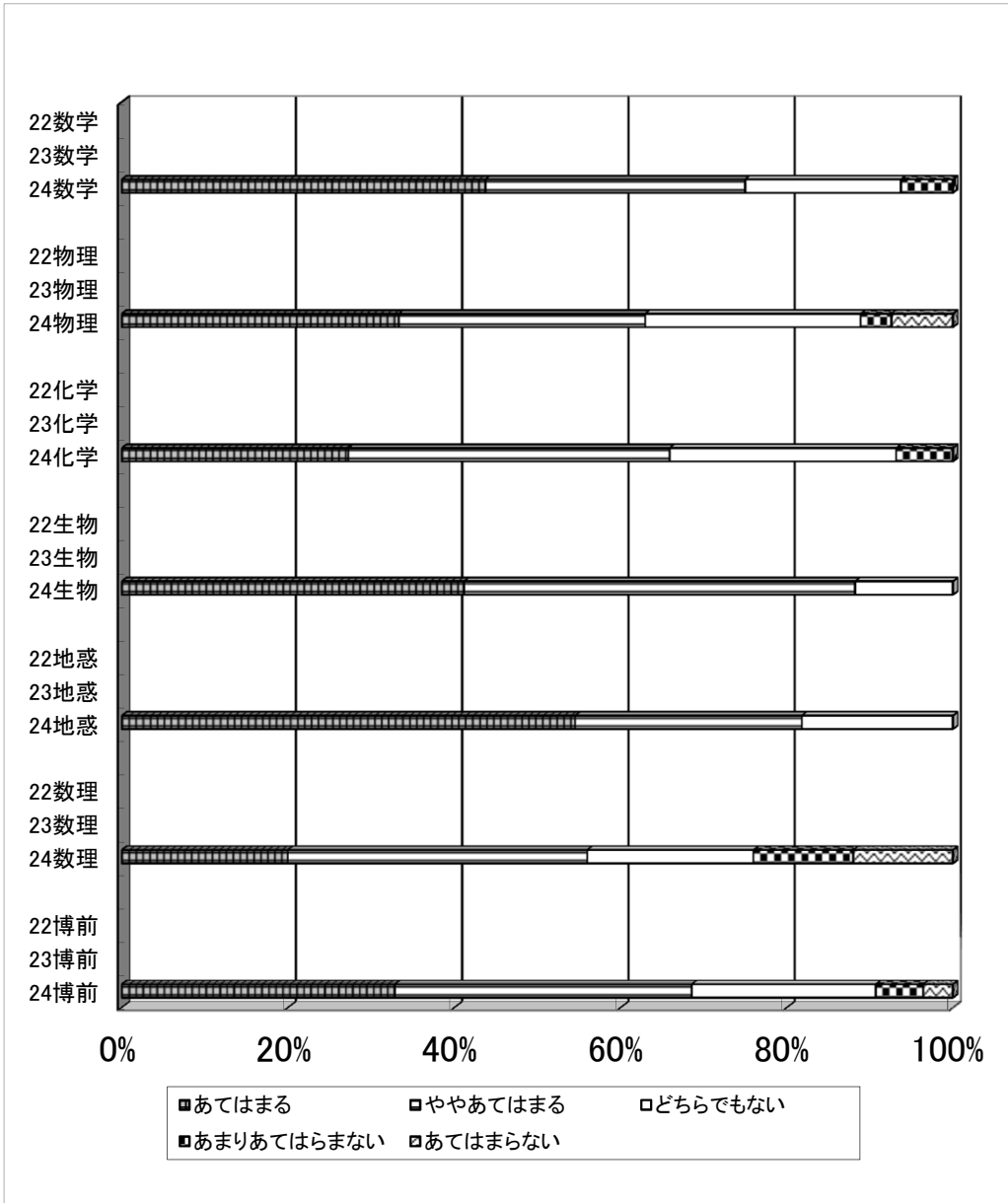
特別研究（修士論文）の指導は充実していた



	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
数学	14	2				16
物理科学	11	11	2	3		27
化学	24	14	3	3		44
生物科学	8	5	3		1	17
地球惑星システム学	11					11
数理分子生命理学	13	7	5			25
博士課程前期	81	39	13	6	1	140

平成24年度回答数

ICT（情報端末）環境は整っていた

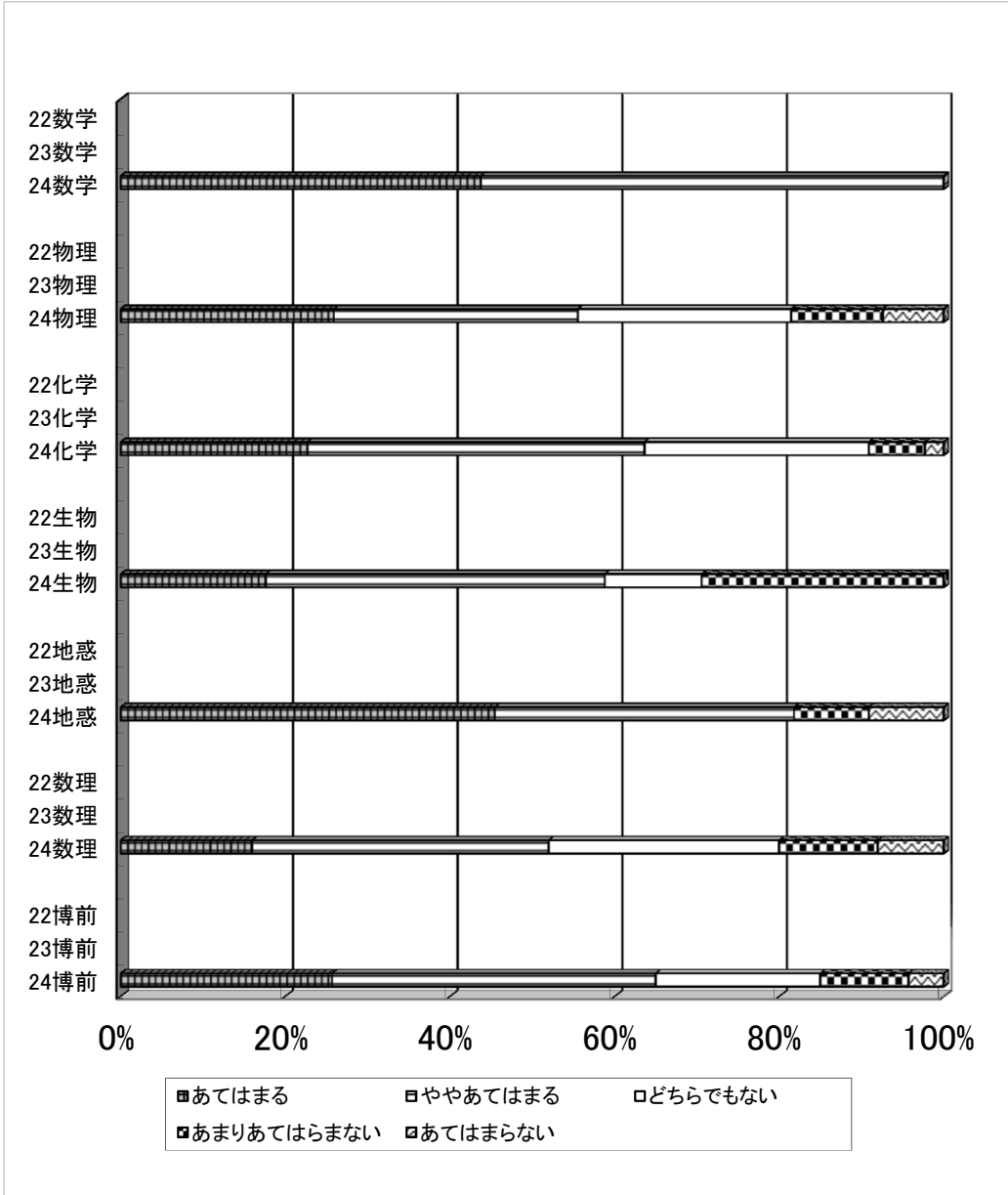


※平成24年度から調査項目に追加

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
数学	7	5	3	1		16
物理学	9	8	7	1	2	27
化学	12	17	12	3		44
生物科学	7	8	2			17
地球惑星システム学	6	3	2			11
数理分子生命学	5	9	5	3	3	25
博士課程前期	46	50	31	8	5	140

平成24年度回答数

図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用された

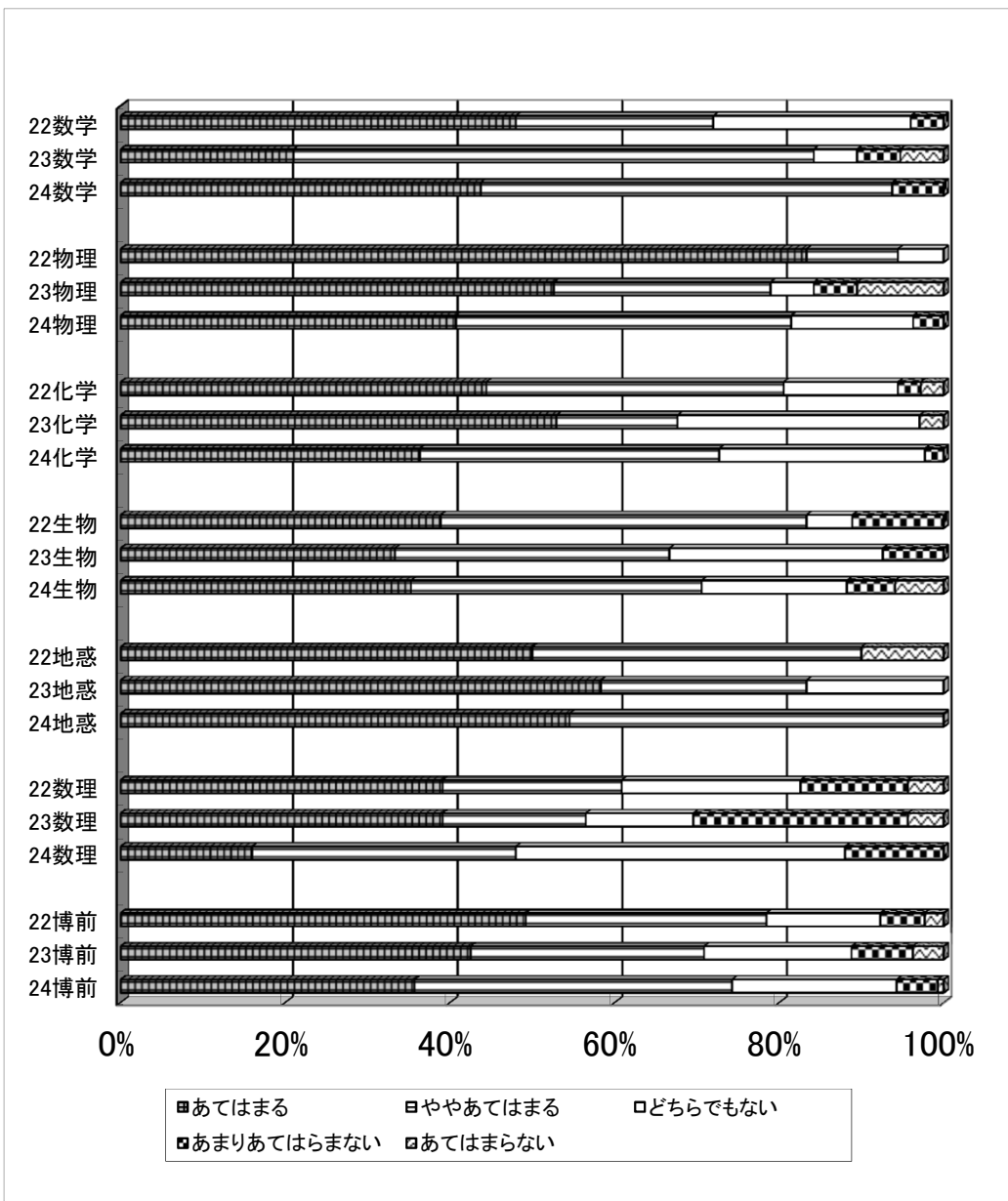


※平成24年度から調査項目に追加

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
数学	7	9	0	0	0	16
物理学	7	8	7	3	2	27
化学	10	18	12	3	1	44
生物科学	3	7	2	5	0	17
地球惑星システム学	5	4	0	1	1	11
数理分子生命学	4	9	7	3	2	25
博士課程前期	36	55	28	15	6	140

平成24年度回答数

全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた



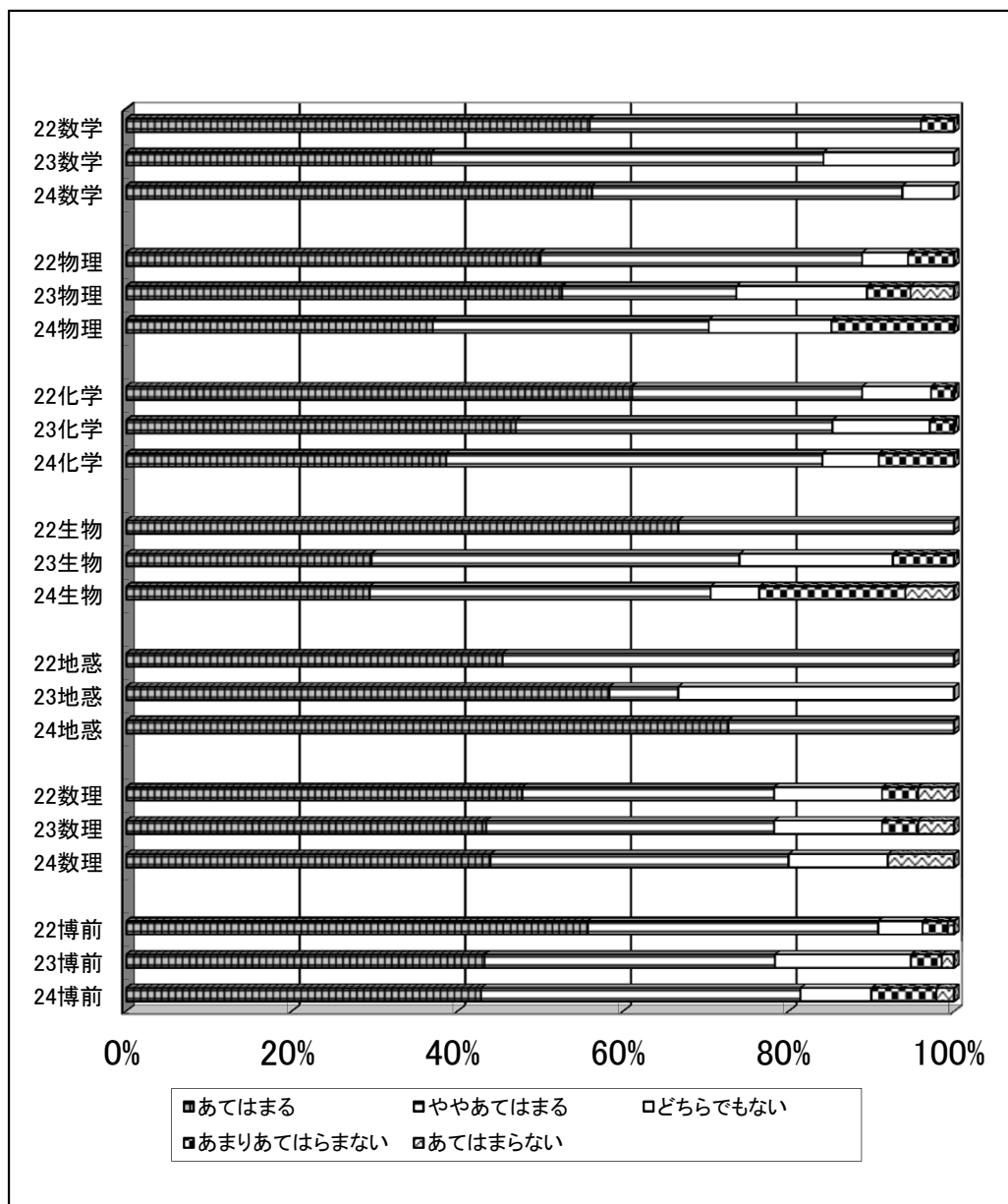
※23年度以前の設問は「教育研究設備や経費は充実していた」

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
数学	7	8		1		16
物理科学	11	11	4	1		27
化学	16	16	11	1		44
生物科学	6	6	3	1	1	17
地球惑星システム学	6	5				11
数理分子生命理学	4	8	10	3		25
博士課程前期	50	54	28	7	1	140

平成24年度回答数



研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

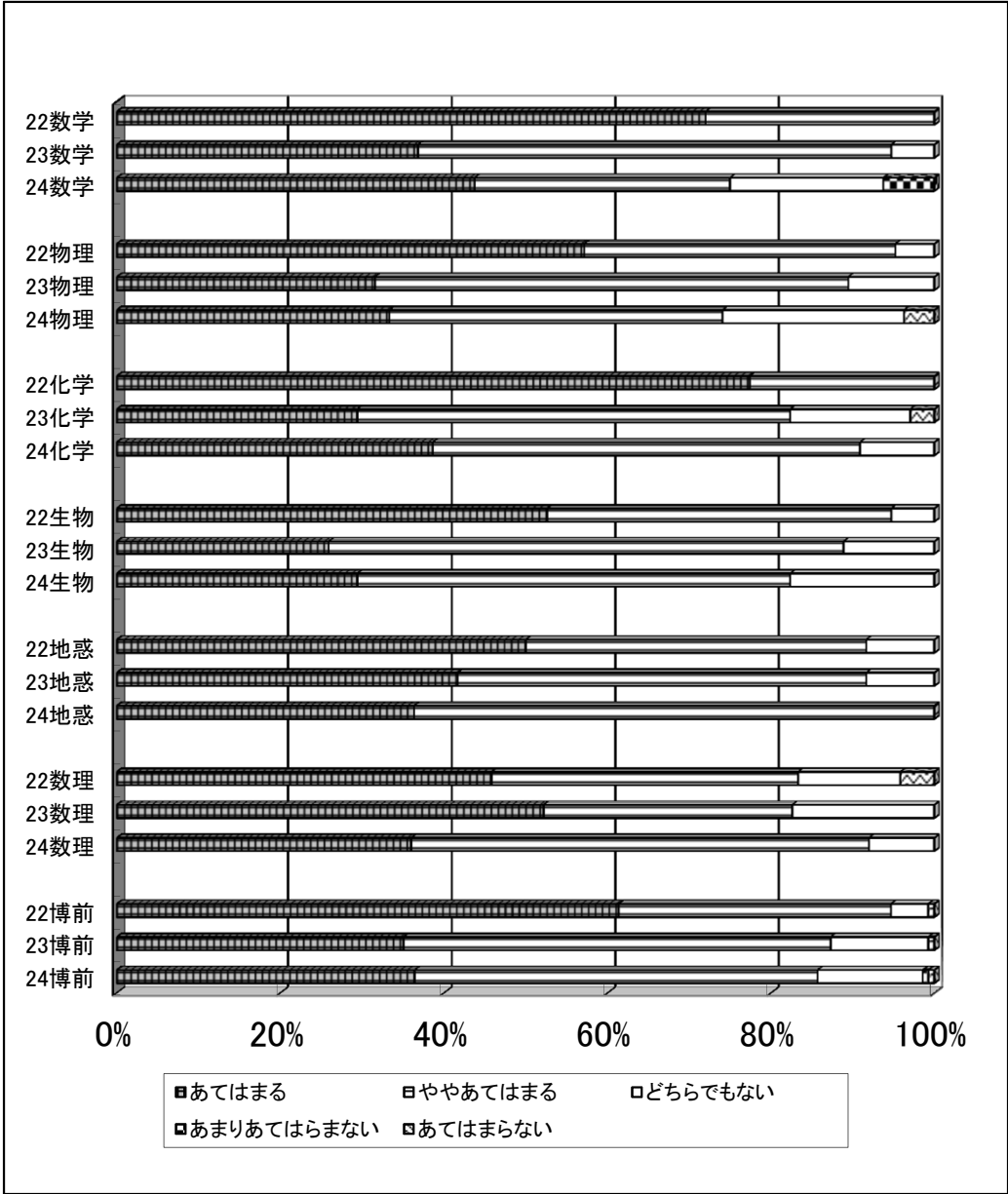


※23年度以前の設問は「研究室では意欲的な研究が行われていた」

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
数学	9	6	1			16
物理科学	10	9	4	4		27
化学	17	20	3	4		44
生物科学	5	7	1	3	1	17
地球惑星システム学	8	3				11
数理分子生命理学	11	9	3		2	25
博士課程前期	60	54	12	11	3	140

平成24年度回答数

専門分野の知識と技能を修得できた



※23年度以前の設問は「修士論文を作成する上で、研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができたと思いますか」

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
数学	7	5	3	1		16
物理科学	9	11	6		1	27
化学	17	23	4			44
生物科学	5	9	3			17
地球惑星システム学	4	7				11
数理分子生命理学	9	14	2			25
博士課程前期	51	69	18	1	1	140

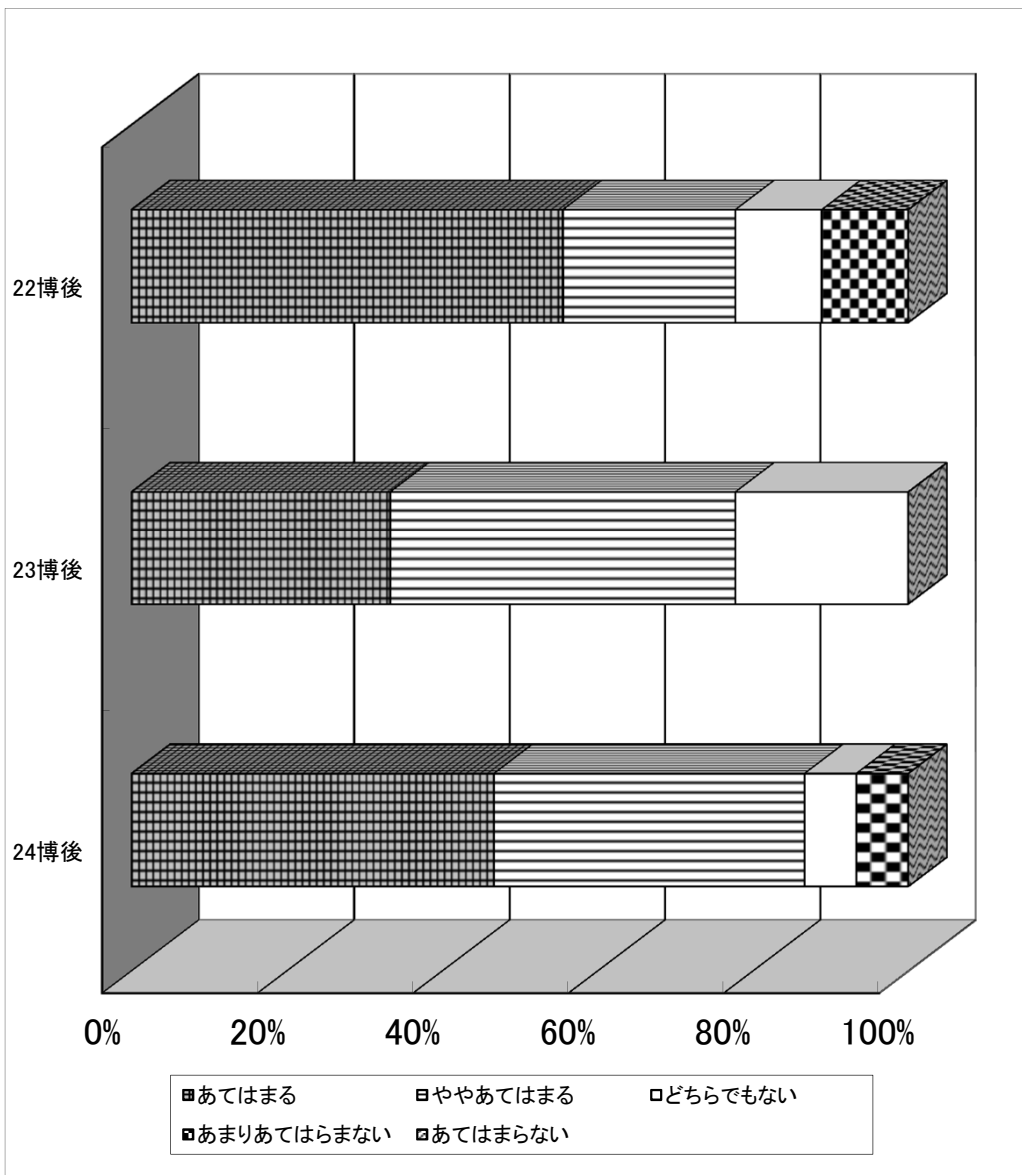
平成24年度回答数

# 広島大学理学研究科の大学院教育の 成果・効果に関する調査 博士課程後期 アンケート集計結果 グラフ編(年度別 問5抜粋)

Q6 後期課程を修了される方に、下記項目についてお尋ねします。

各項目の該当する数字を○で囲んでください。

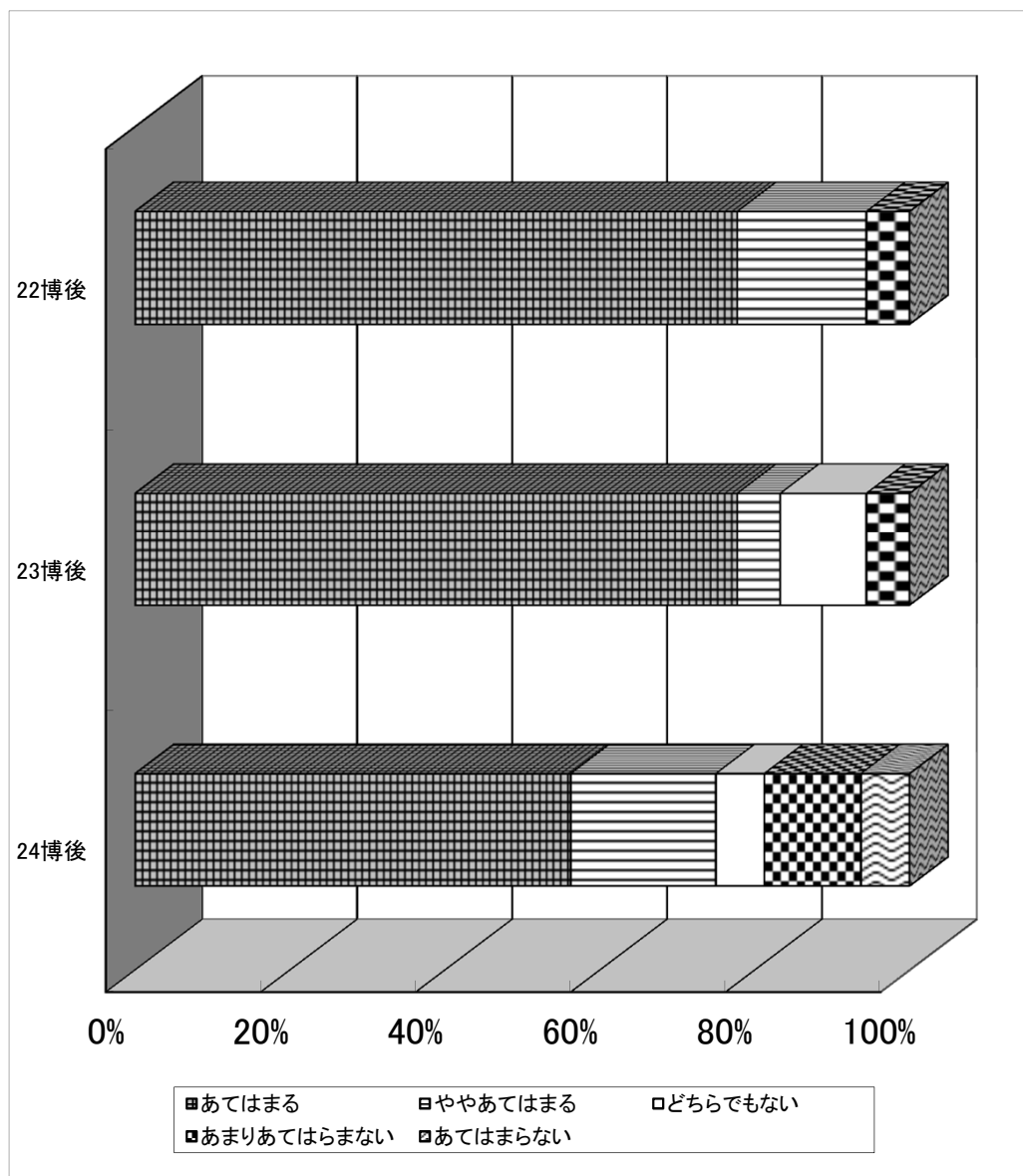
セミナーは充実していた



	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
博士課程後期	7	6	1	1		15

平成24年度回答数

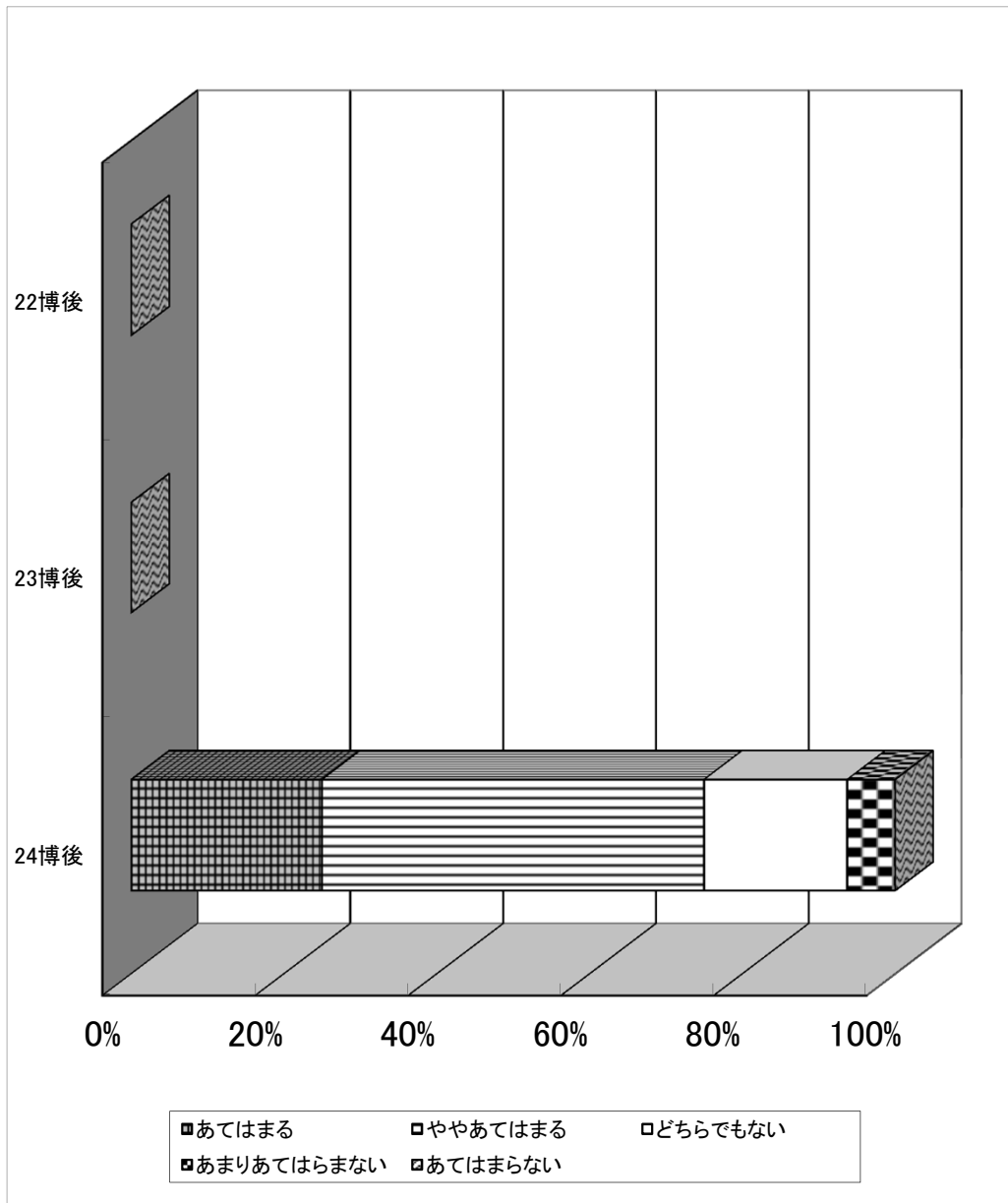
特別研究(博士論文)の指導は充実していた



	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
博士課程後期	9	3	1	2	1	16

平成24年度回答数

ICT（情報端末）環境は整っていた

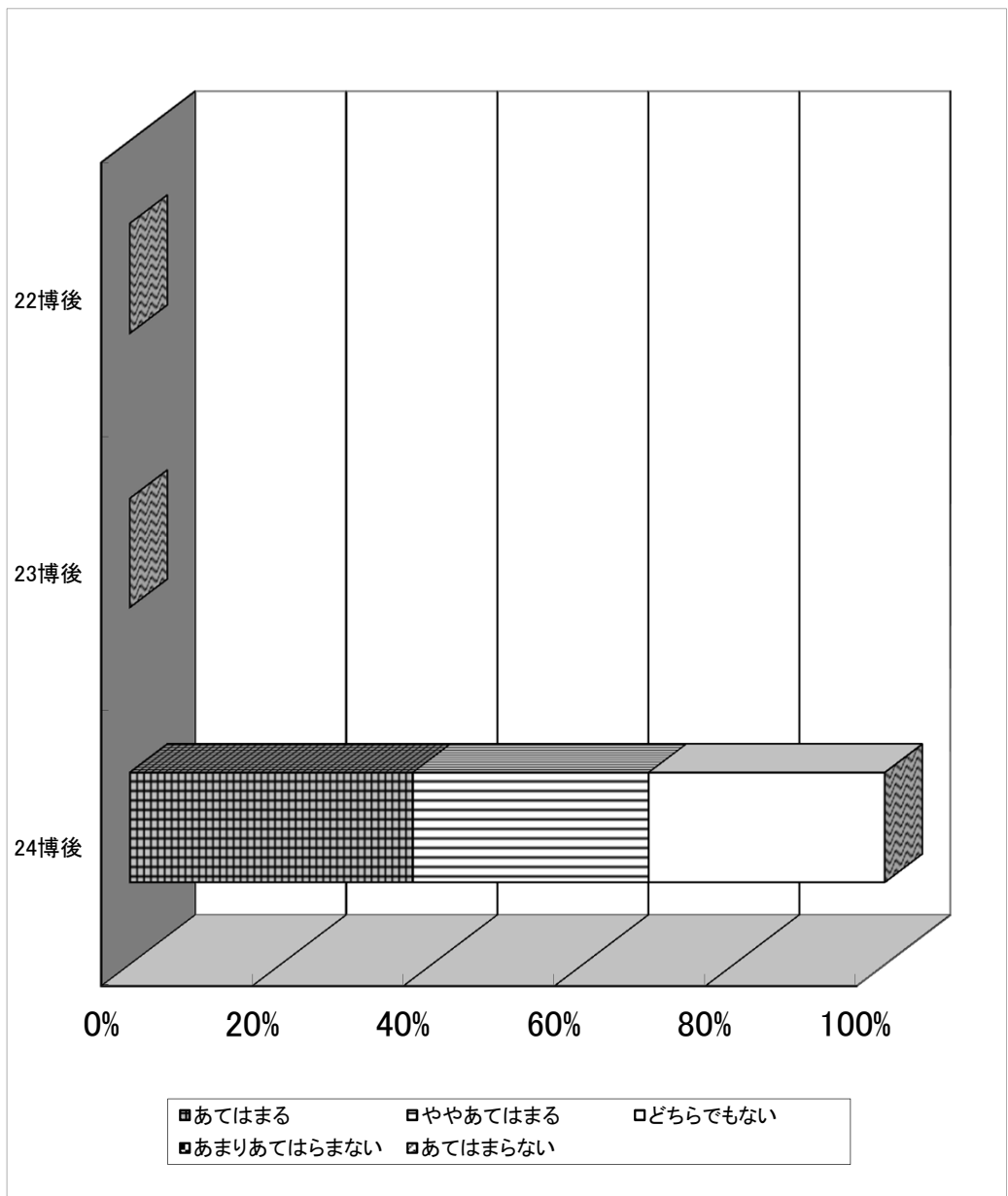


※平成24年度から調査項目に追加

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
博士課程後期	4	8	3	1		16

平成24年度回答数

図書や学術雑誌，AV資料等が整備されており，研究に有効に活用された

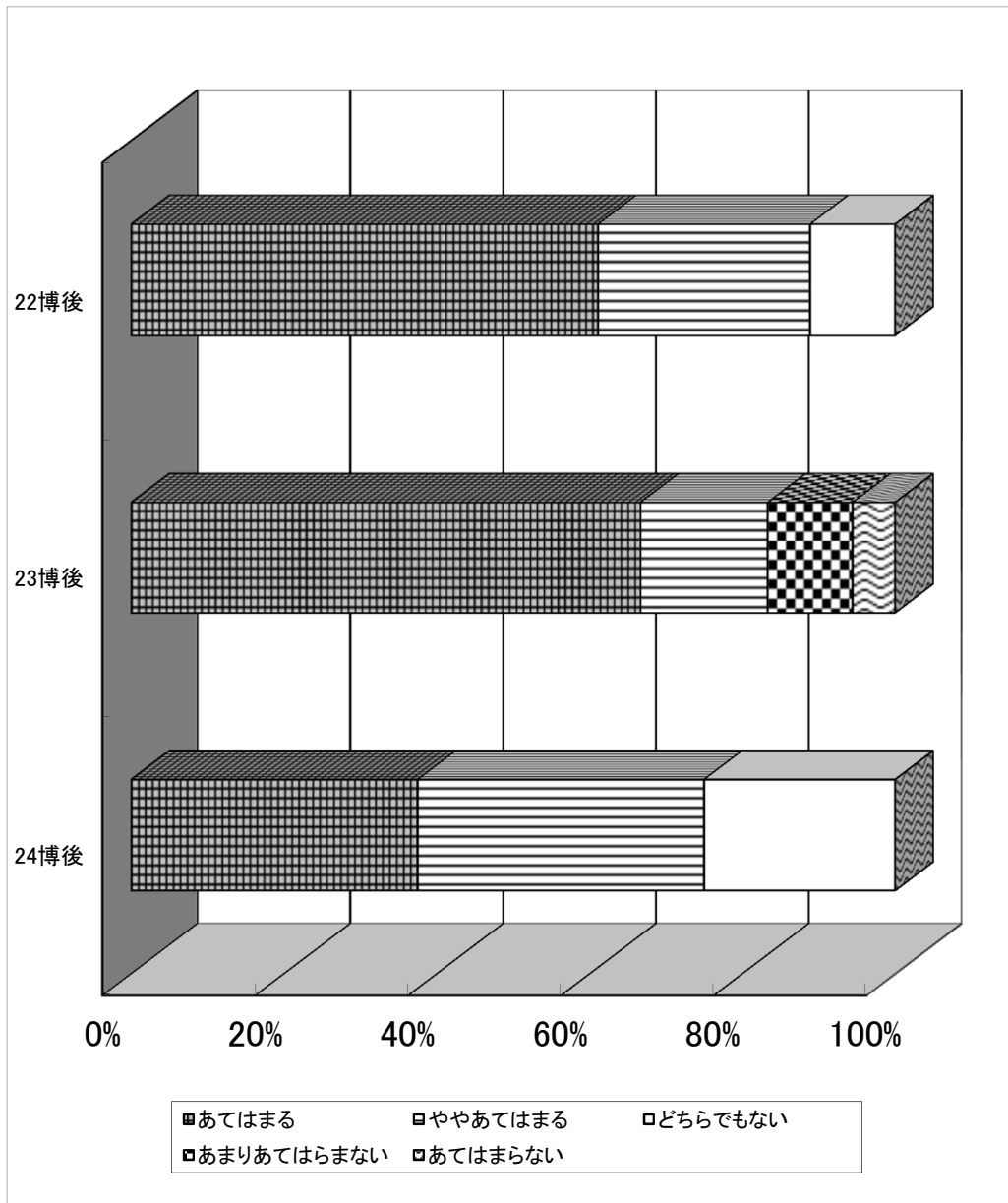


※平成24年度から調査項目に追加

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
博士課程後期	6	5	5			16

平成24年度回答数

全体的に教育に係る設備や備品等は充実していた

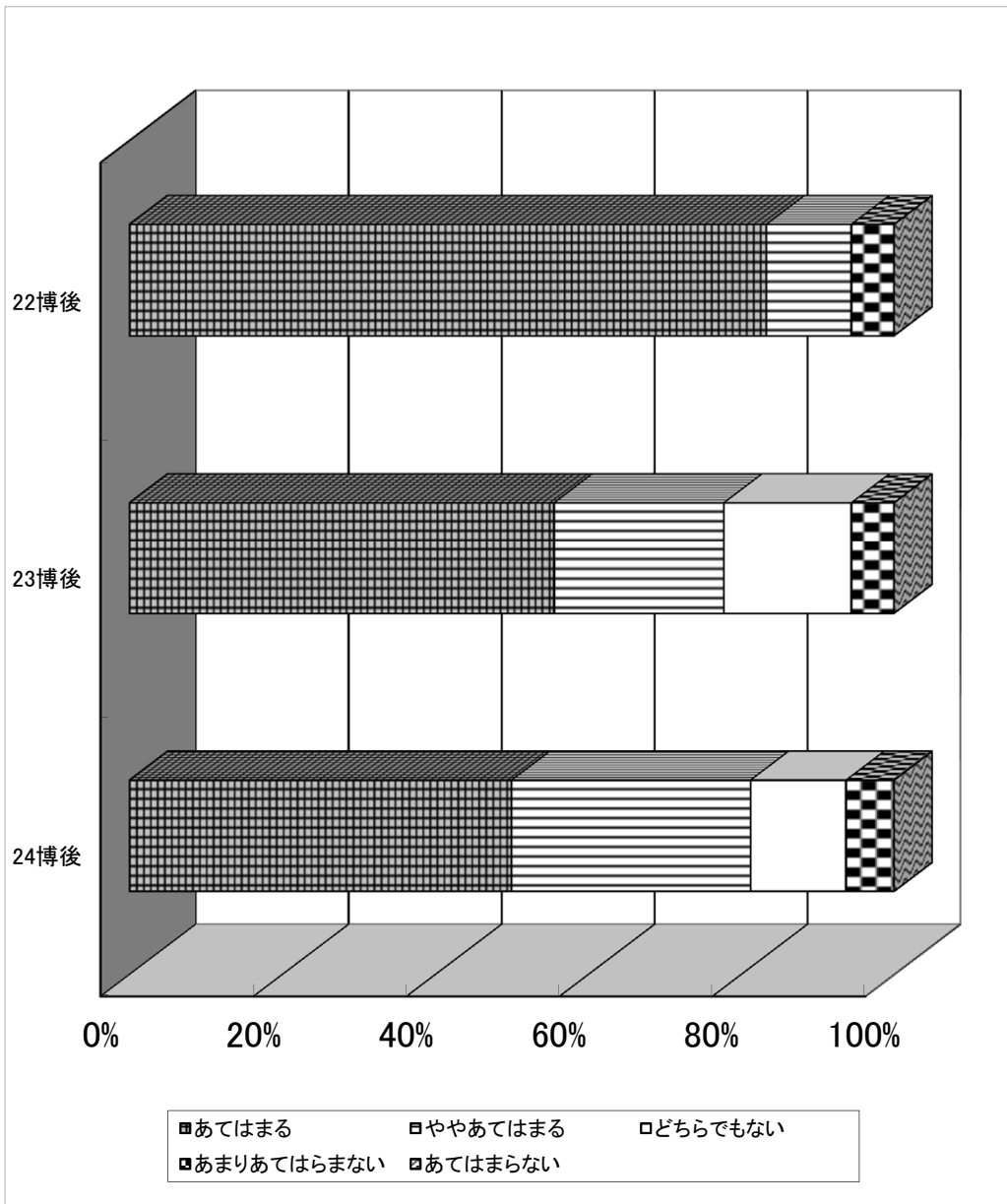


※23年度以前の設問は「教育研究設備や経費は充実していた」

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
博士課程後期	6	6	4			16

平成24年度回答数

研究室では意欲的な研究活動を行うことができた



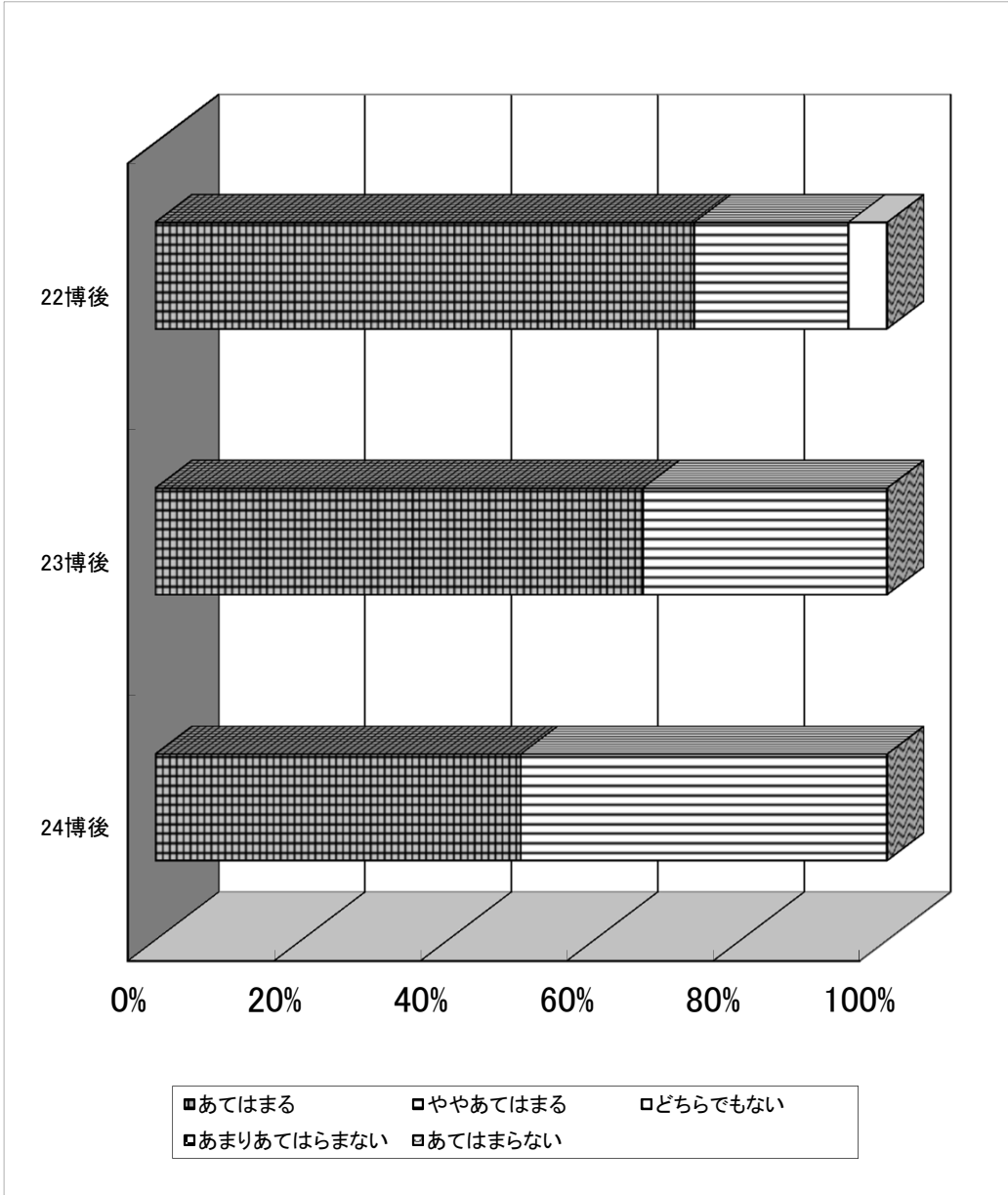
※23年度以前の設問は「研究室では意欲的な研究が行われていた」

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
博士課程後期	8	5	2	1		16

平成24年度回答数



専門分野の知識と技能を修得できた



※23年度以前の設問は「博士論文を作成する上で、研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができたと思いますか」

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない	総計
博士課程後期	8	8				16

平成24年度回答数

## 研究科総評

研究科： 先端物質科学研究科

### 1. 集計結果のまとめ

アンケートはWEBで実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する86名で、そのうち37名が回答し、回答率は43%だった。WEBで実施したため、未回答者を把握することができず、全員に向けメール等で周知を繰り返したが、回答率は全体平均を下回るものとなった。

カリキュラムに関する質問項目については、多くの設問で約80%が「強くそう思う」「そう思う」と回答しており、今回、アンケート対象学生となった平成23年度入学生から始まった新カリキュラム導入が反映されたものと考えられる。

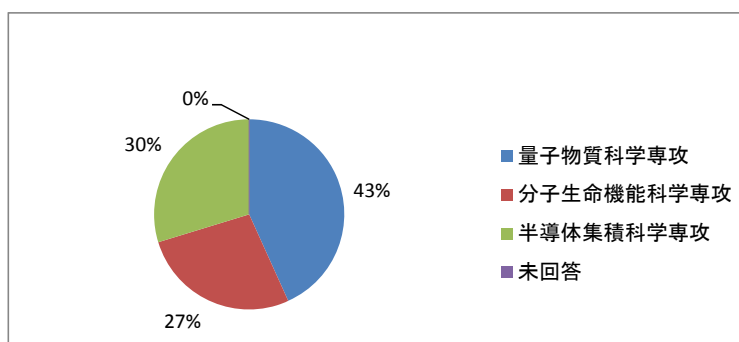
### 2. 次年度に向けた対応

次年度からは、研究科の事業・支援体制における満足度をより高めるため、「大学院学生の国内における国際学会発表支援制度」を新設、これまでは海外の国際学会発表や研究・研修活動及び国際交流にのみ、補助金を支援していたものを国内の国際学会での発表も新たに支援対象として加える。

また、回答率の改善については、アンケートの開始期間を早め、2月の修士論文提出に窓口に来る際には、一人一人回答したかどうかを確認し、未回答の学生には回答を促すよう口頭指導する。

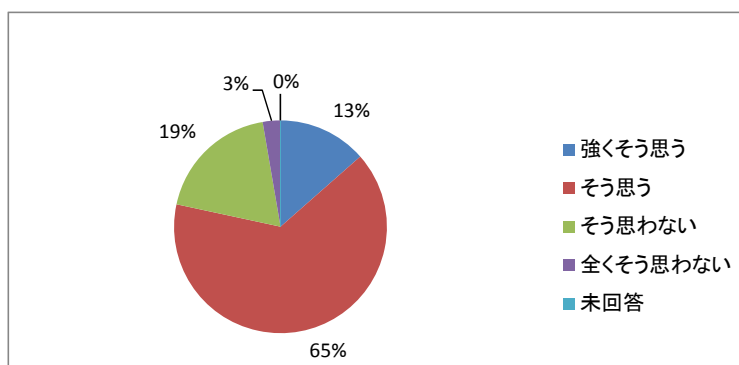
## 問1 所属専攻

選択肢	回答
量子物質科学専攻	16
分子生命機能科学専攻	10
半導体集積科学専攻	11
未回答	0



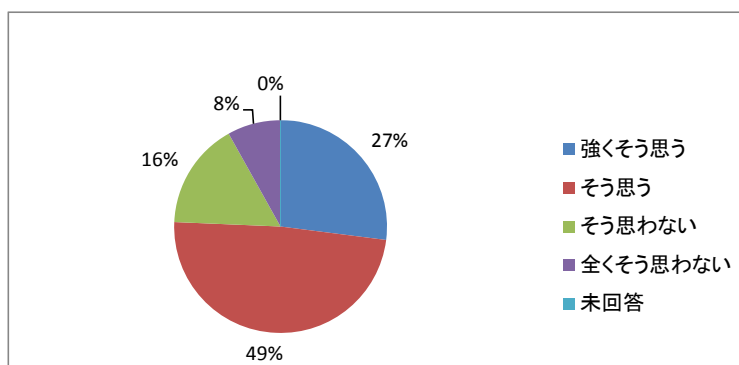
問2 必修科目「先端物質科学特別講義」は、研究科の教育研究分野全体を概観するための導入科目として有意義な内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	5
そう思う	24
そう思わない	7
全くそう思わない	1
未回答	0



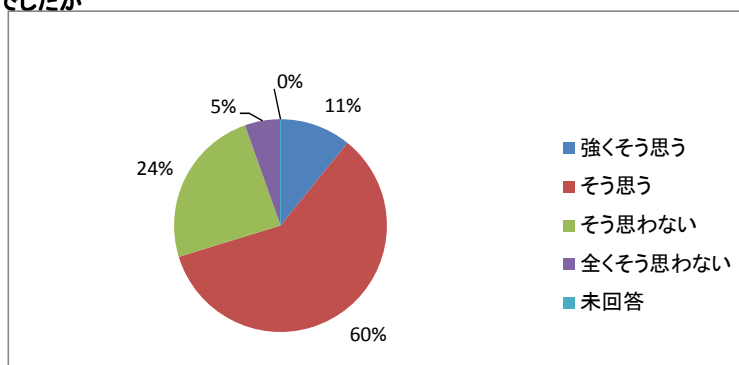
問3 必修科目「科学技術英語表現法」は、英語でのコミュニケーション能力及び論文作成能力の向上を図るために有意義な内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	10
そう思う	18
そう思わない	6
全くそう思わない	3
未回答	0



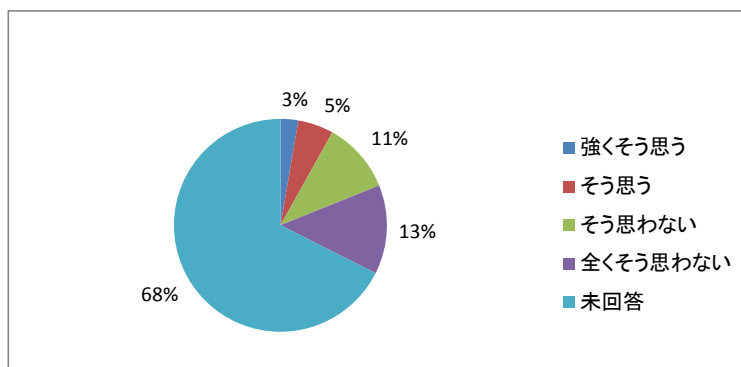
問4 選択必修科目の概論科目(「基礎物理学概論」「生命科学概論」「エレクトロニクス概論」)は、他分野の基礎を学ぶ入門科目として有意義な内容でしたか

選択肢	回答
強くそう思う	4
そう思う	22
そう思わない	9
全くそう思わない	2
未回答	0



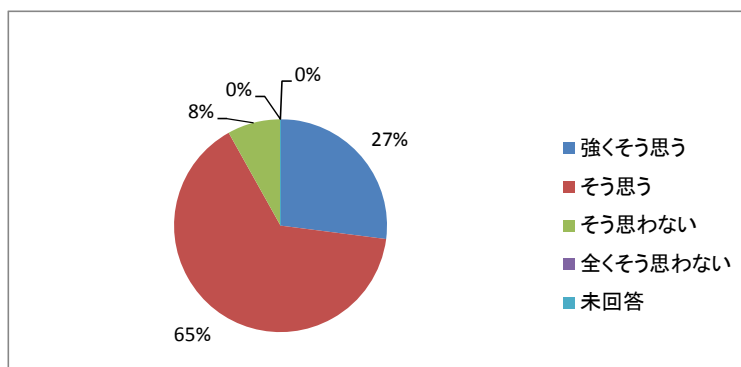
問5 「学外実習」(インターシップ)は、社会から求められる実務能力を知り、自身の研究に活かすことのできるような内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	1
そう思う	2
そう思わない	4
全くそう思わない	5
未回答	25



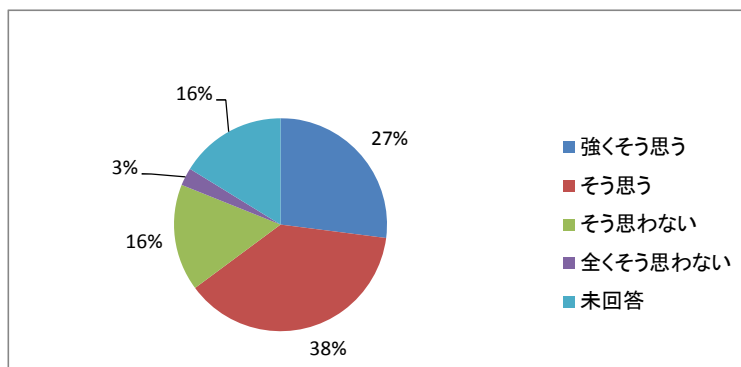
問6 専門科目は、高度な専門知識を養う科目として有意義な内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	10
そう思う	24
そう思わない	3
全くそう思わない	0
未回答	0



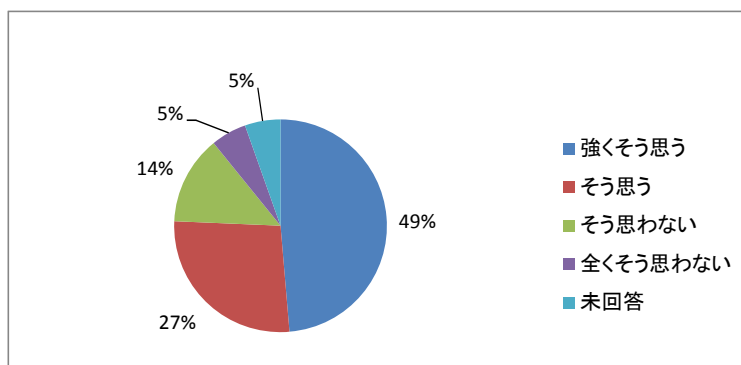
問7 セミナー・演習科目では、発表や議論などを通じて、論文作成に向けて適切な指導が行われましたか。

選択肢	回答
強くそう思う	10
そう思う	14
そう思わない	6
全くそう思わない	1
未回答	6



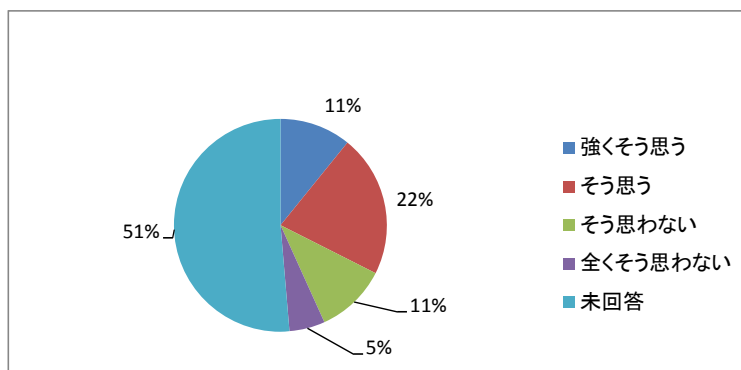
問8 研究室で行われている実験・実習では、設備及び時間が十分確保され、適切な指導が行われましたか。

選択肢	回答
強くそう思う	18
そう思う	10
そう思わない	5
全くそう思わない	2
未回答	2



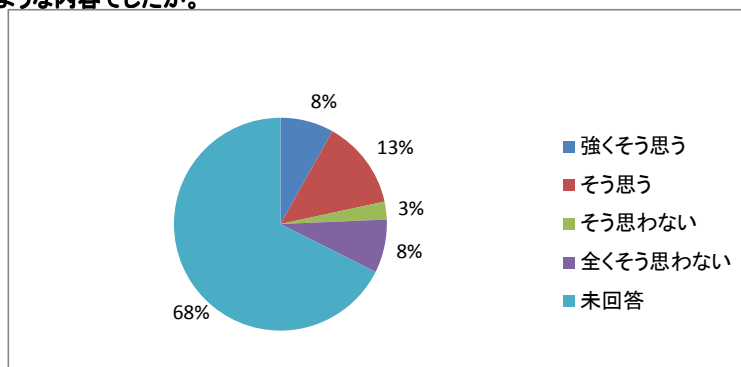
問9 社会交流事業「企業訪問」は、社会から求められる実務能力を知り、自身の研究や進路に活かすことのできるような内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	4
そう思う	8
そう思わない	4
全くそう思わない	2
未回答	19



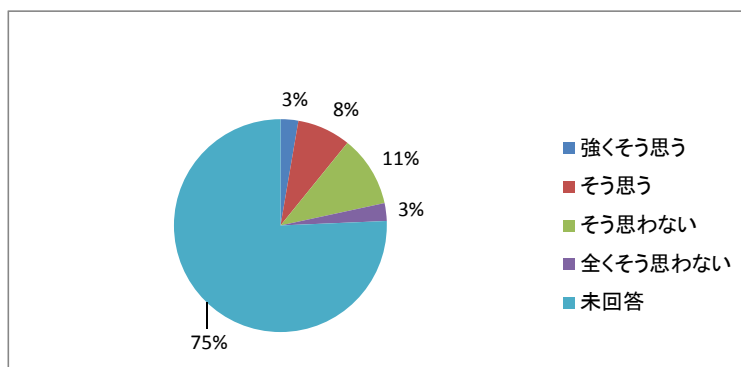
問10 社会交流事業「職業教育特別講義」(卒業生による講演会)は、社会から求められる実務能力を知り、自身の研究や進路に活かすことのできるような内容でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	3
そう思う	5
そう思わない	1
全くそう思わない	3
未回答	25



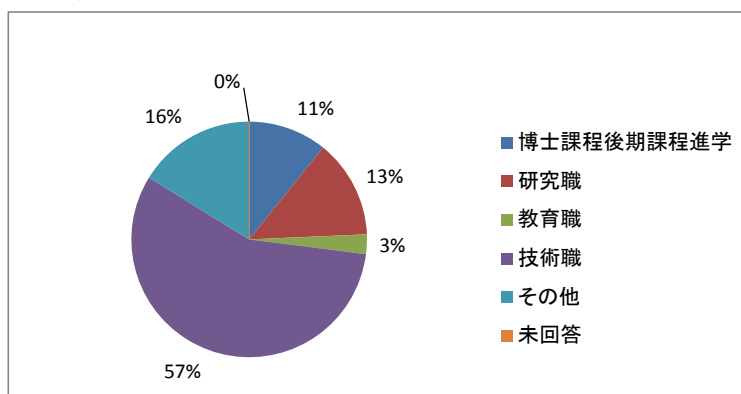
問11 大学院学生海外派遣制度による海外での学会参加に対する支援は十分でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	1
そう思う	3
そう思わない	4
全くそう思わない	1
未回答	28



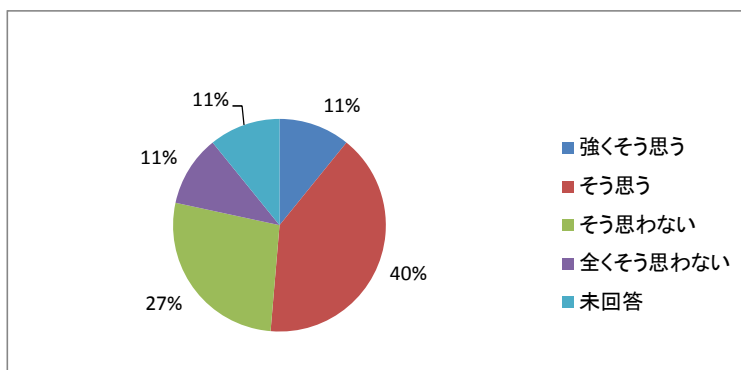
問12 大学院修了後の進路について、該当する項目

選択肢	回答
博士課程後期課程進学	4
研究職	5
教育職	1
技術職	21
その他	6
未回答	0



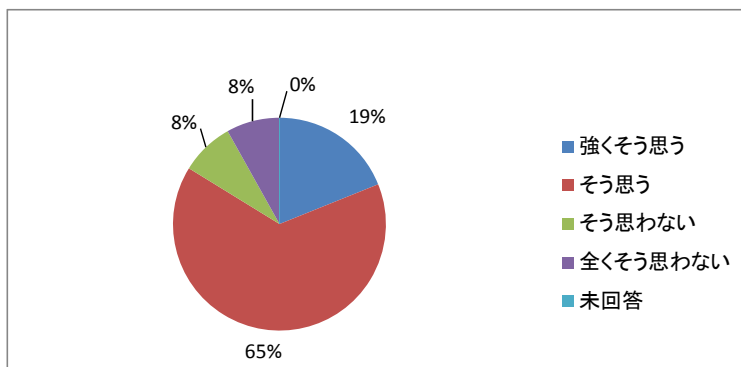
問13 各専攻における就職支援は十分でしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	4
そう思う	15
そう思わない	10
全くそう思わない	4
未回答	4



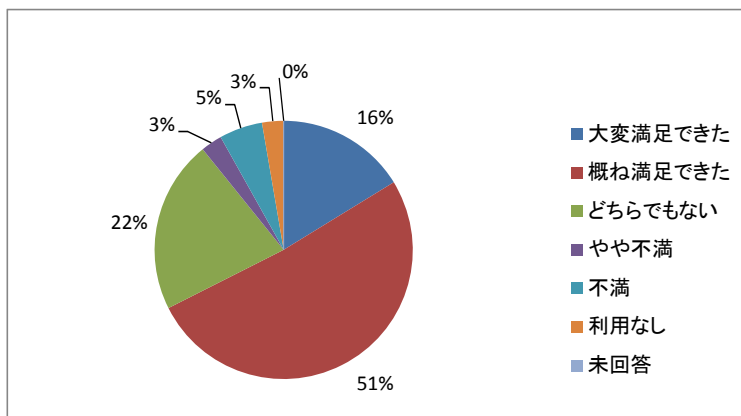
問14 これまで本研究科で受けてきた授業や研究指導は、全般的に満足のものでしたか。

選択肢	回答
強くそう思う	7
そう思う	24
そう思わない	3
全くそう思わない	3
未回答	0



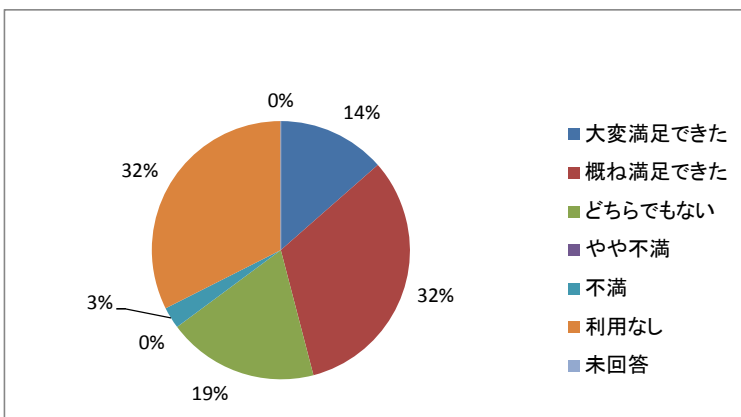
問15 所属研究科の学生支援室での学生の対応とサービスについて満足度

選択肢	回答
大変満足できた	6
概ね満足できた	19
どちらでもない	8
やや不満	1
不満	2
利用なし	1
未回答	0



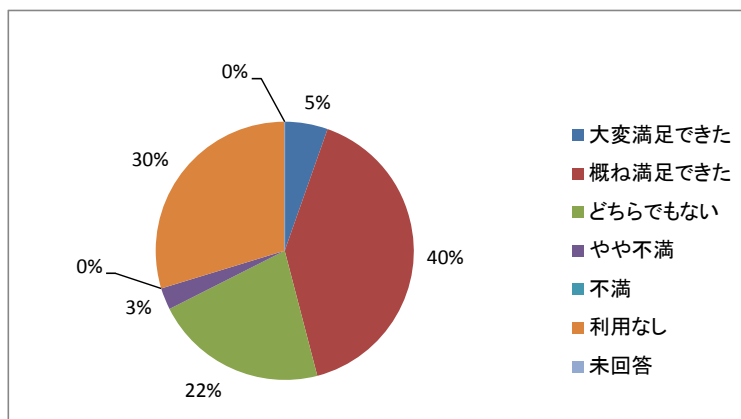
問16 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービスについて満足度

選択肢	回答
大変満足できた	5
概ね満足できた	12
どちらでもない	7
やや不満	0
不満	1
利用なし	12
未回答	0



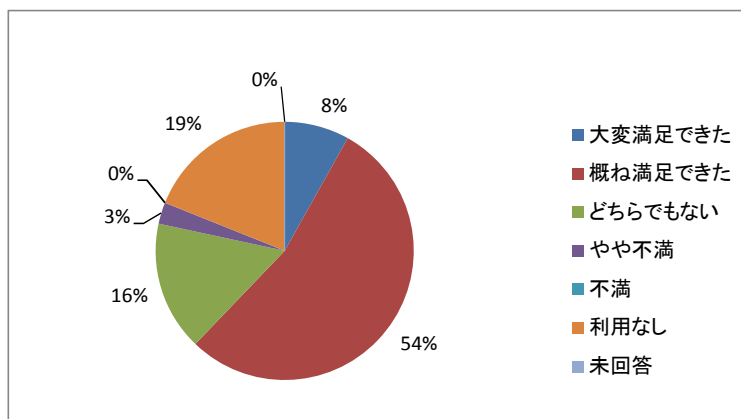
問17 保健管理センターの対応とケアについて満足度

選択肢	回答
大変満足できた	2
概ね満足できた	15
どちらでもない	8
やや不満	1
不満	0
利用なし	11
未回答	0



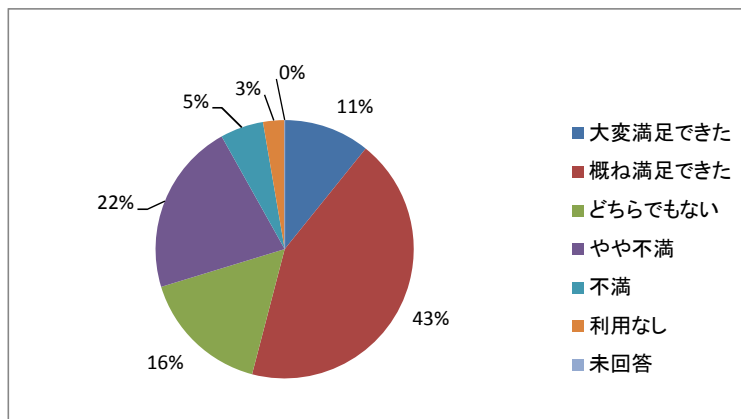
問18 図書館での対応やサービスについて満足度

選択肢	回答
大変満足できた	3
概ね満足できた	20
どちらでもない	6
やや不満	1
不満	0
利用なし	7
未回答	0



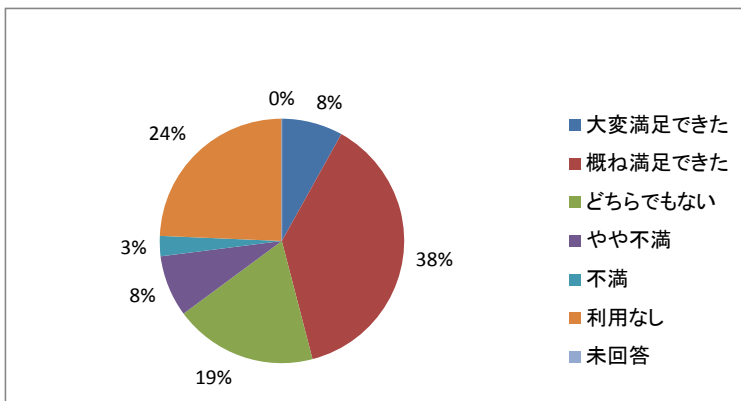
問19 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービスについて満足度

選択肢	回答
大変満足できた	4
概ね満足できた	16
どちらでもない	6
やや不満	8
不満	2
利用なし	1
未回答	0



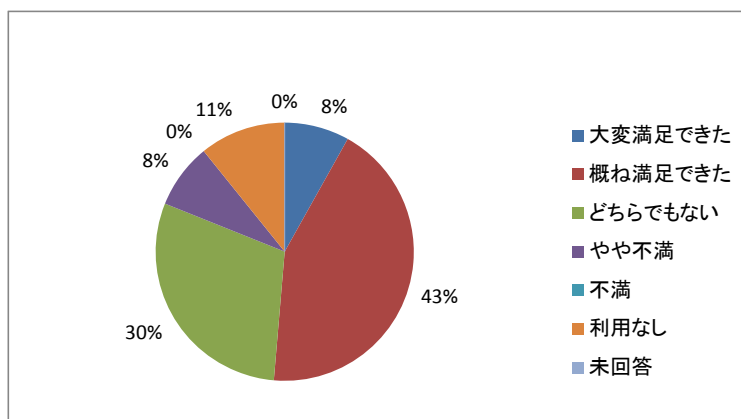
問20 課外活動施設(グランド体育館、テニスコート等)の施設や設備について満足度

選択肢	回答
大変満足できた	3
概ね満足できた	14
どちらでもない	7
やや不満	3
不満	1
利用なし	9
未回答	0



問21 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容について満足度

選択肢	回答
大変満足できた	3
概ね満足できた	16
どちらでもない	11
やや不満	3
不満	0
利用なし	4
未回答	0





## 研究科総評

### 研究科：医歯薬保健学研究科

#### 1. 集計結果のまとめ

アンケートは紙媒体で実施し、調査対象学生数は、修士課程及び博士課程前期に所属する78名で、そのうち57名が回答した。回答率は73%であり。この値は博士課程前期における全学の平均回答率67%よりも高い。これはアンケート用紙を修士論文発表会等で配付し、直接対象者に回答依頼を行ったことで7割以上の回答率が得られたものと考えられる。

また、今回の設問の中で、問6では多くの学生が授業科目、研究指導等が充実していたと回答していた。さらに、問7ではほとんどの学生が文書表現力、応用力、思考力、論理性、分析力などの面において、入学時に比べて向上したと回答していることから、学習成果が上がっているものと考えられる。

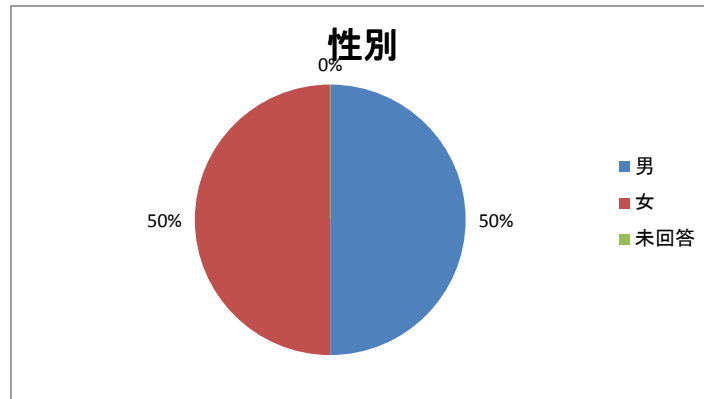
#### 2. 次年度に向けた対応

今年度は回答者から概ね良好な回答が得られたと考えるが、次年度以降も継続してアンケートを実施し、分析を積み重ねて行くことが重要と考える。

また、自由記述欄に記載されていた奨学金の充実や就職支援に対する要望などについて検討し、全学的な協力を得つつ、可能な部分から対応していく必要があるものとする。

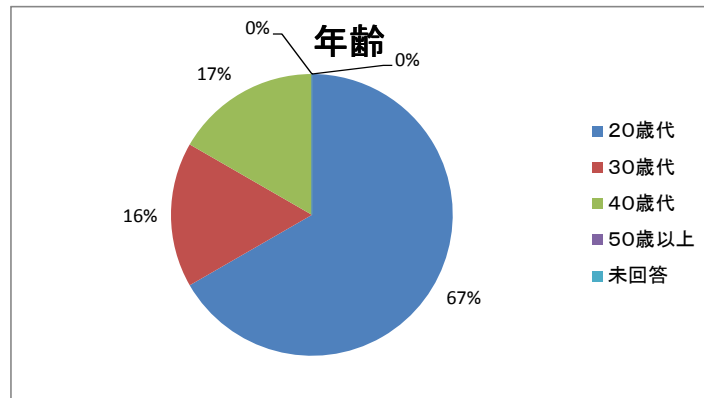
性別

選択肢	回答
男	3
女	3
未回答	0



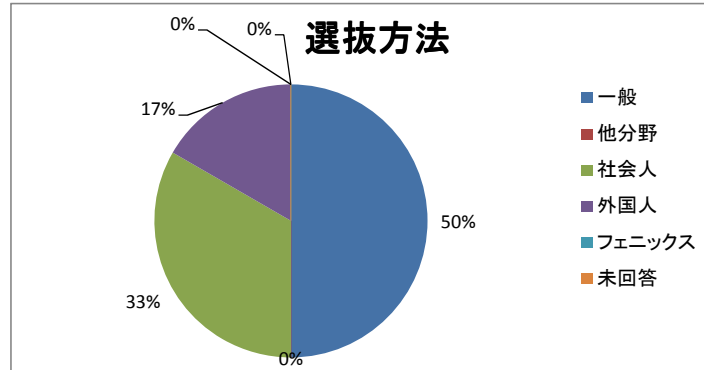
年齢

選択肢	回答
20歳代	4
30歳代	1
40歳代	1
50歳以上	0
未回答	0



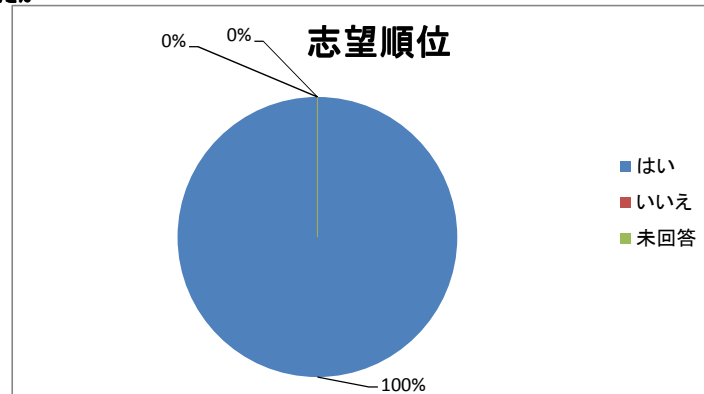
問2 本研究科への選抜方法

選択肢	回答
一般	3
他分野	0
社会人	2
外国人	1
フェニックス	0
未回答	0



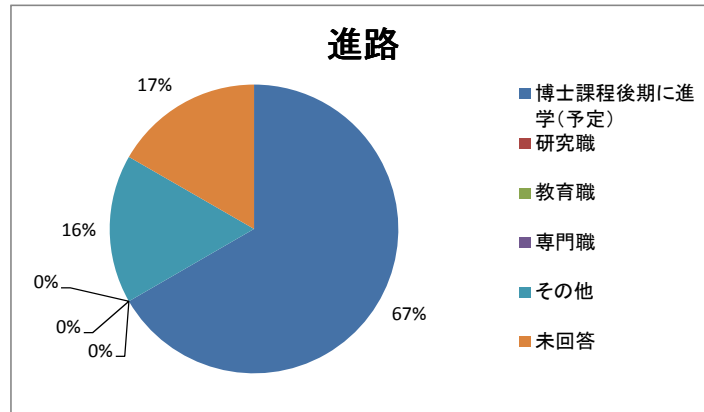
問3 本研究科への進学は第一志望でしたか

選択肢	回答
はい	6
いいえ	0
未回答	0



問4 大学院修了後の進路

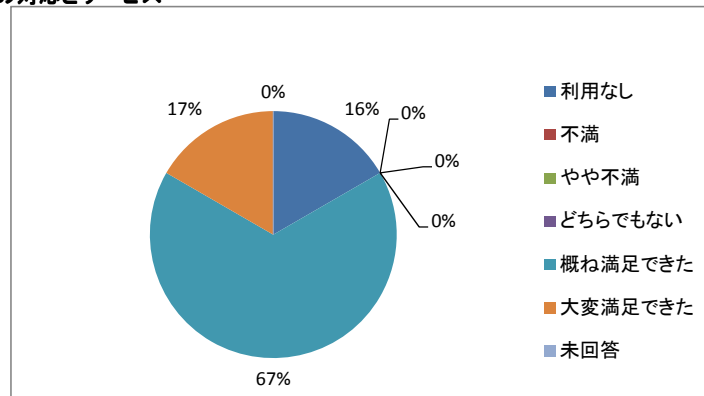
選択肢	回答
博士課程後期に進学(予定)	4
研究職	0
教育職	0
専門職	0
その他	1
未回答	1



問5 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

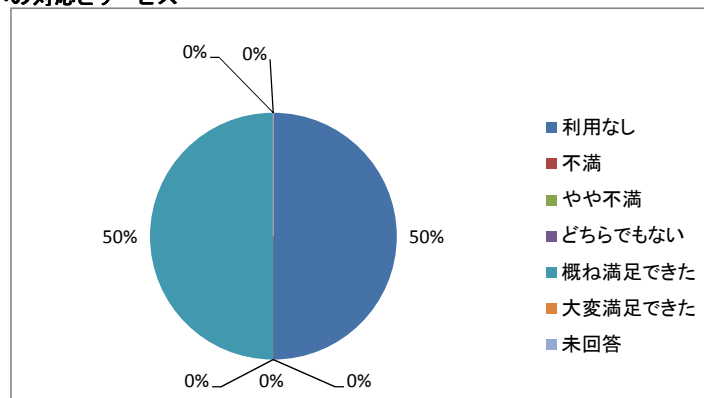
①所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	4
大変満足できた	1
未回答	0



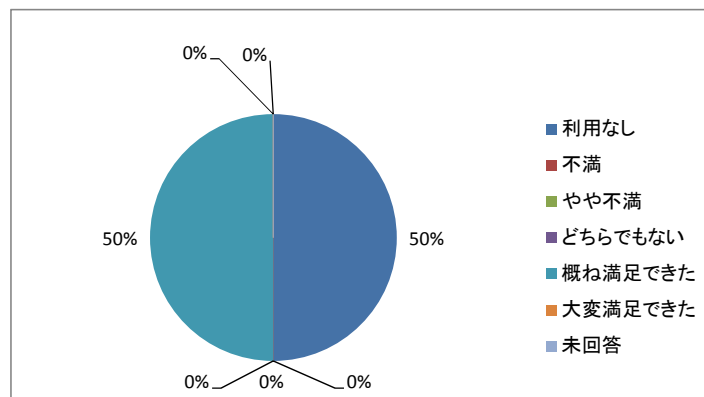
②学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	3
大変満足できた	0
未回答	0



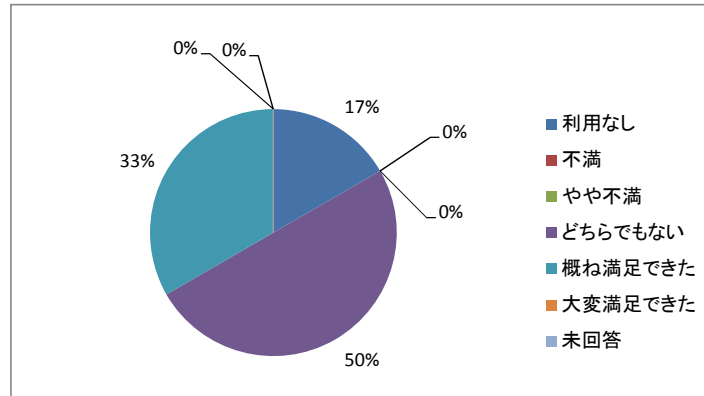
③保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	0
概ね満足できた	3
大変満足できた	0
未回答	0



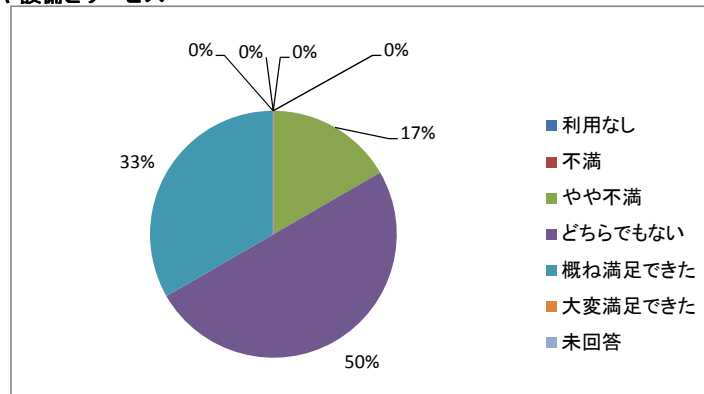
④図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	3
概ね満足できた	2
大変満足できた	0
未回答	0



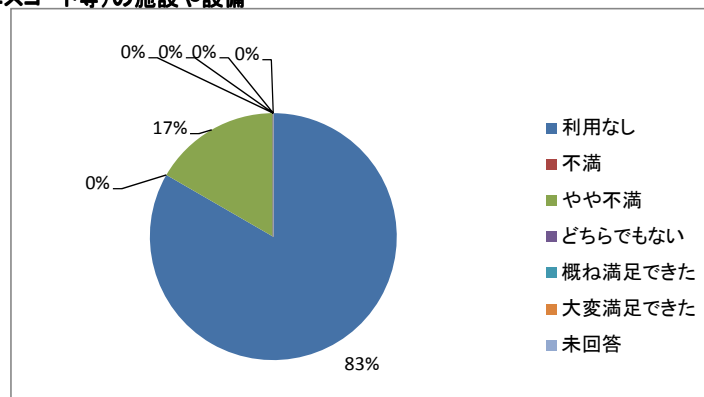
⑤福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	3
概ね満足できた	2
大変満足できた	0
未回答	0



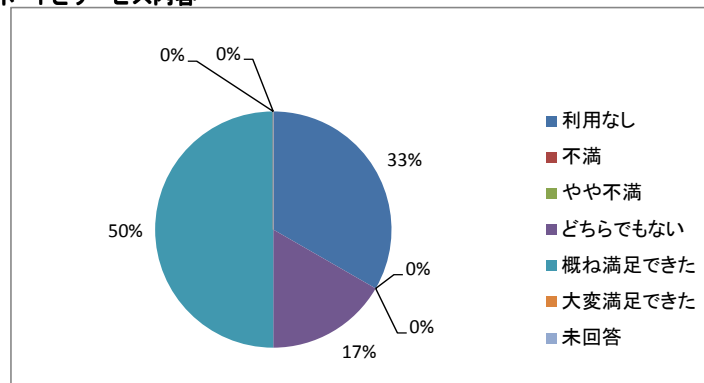
⑥課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	5
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	0
概ね満足できた	0
大変満足できた	0
未回答	0



⑦授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

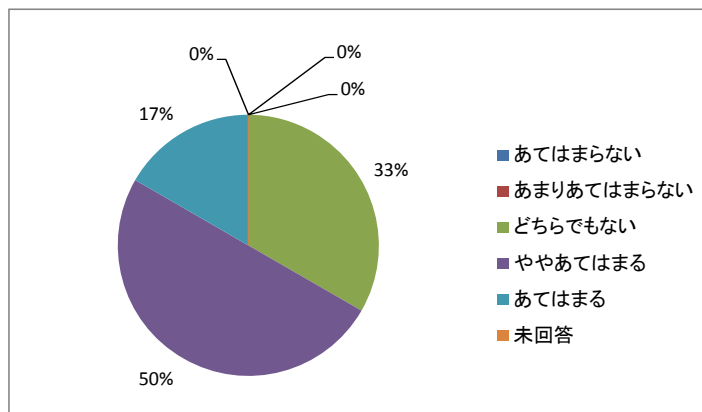
選択肢	回答
利用なし	2
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	3
大変満足できた	0
未回答	0



問6 修学・履修について

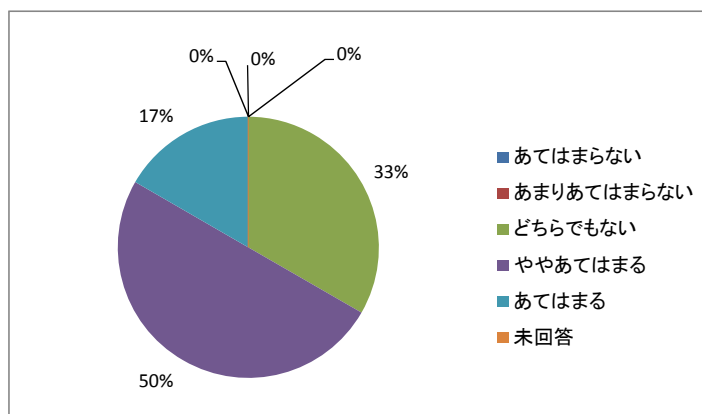
①専攻のカリキュラムが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	1
未回答	0



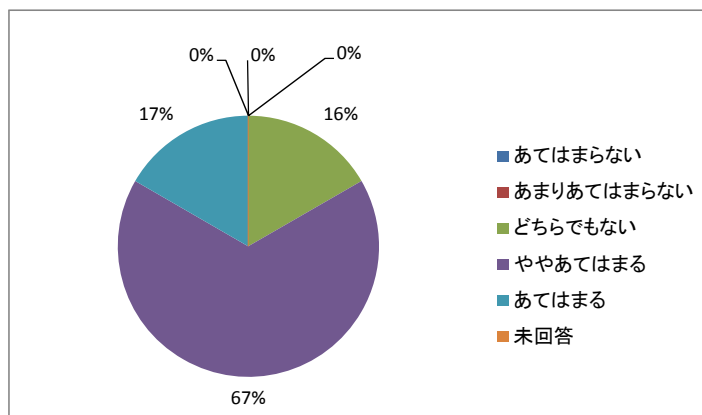
②共通科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	1
未回答	0



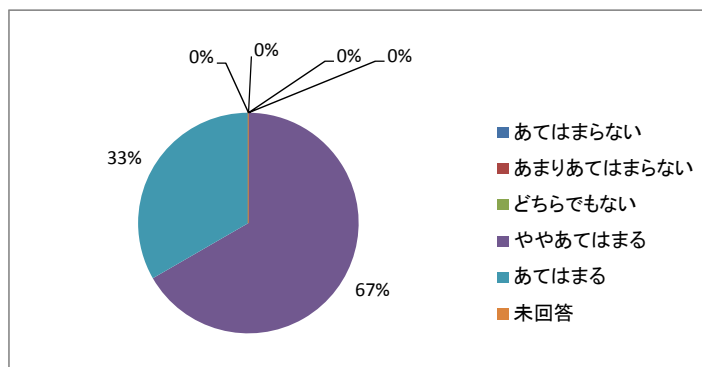
③専門科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	4
あてはまる	1
未回答	0



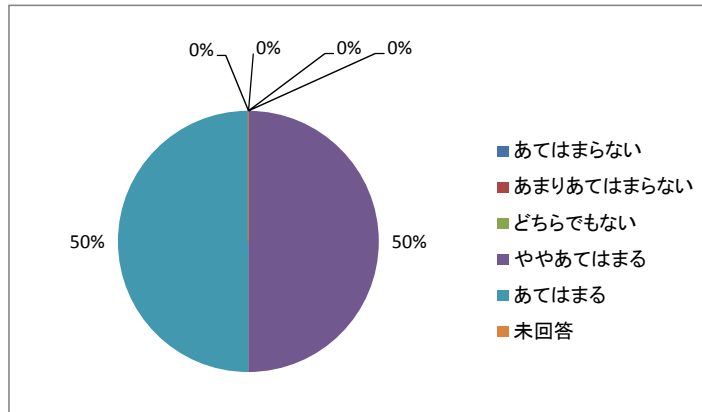
④研究指導が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	2
未回答	0



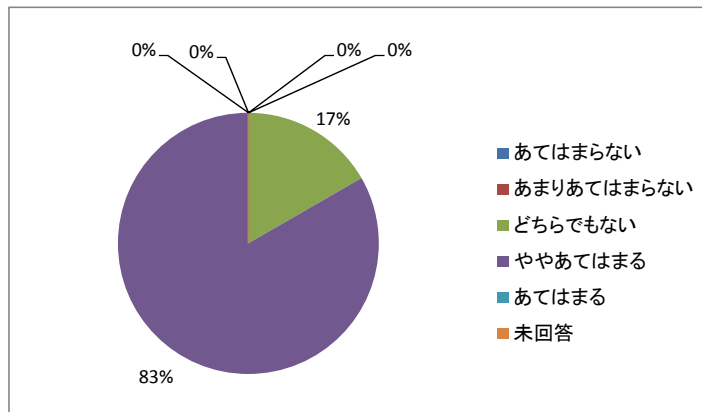
⑤教育研究設備や経費は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	0
ややあてはまる	3
あてはまる	3
未回答	0



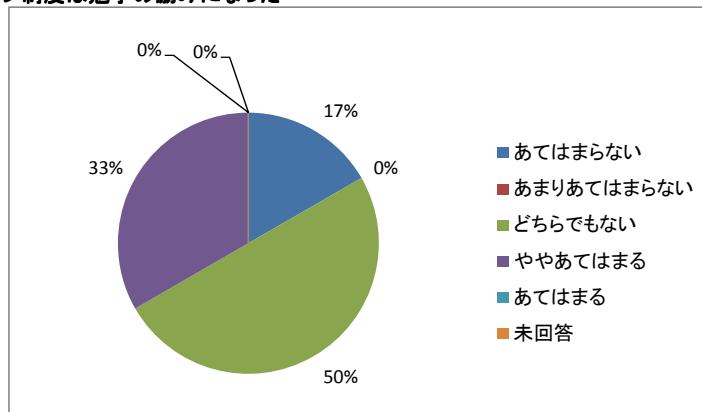
⑥全体的に大学院教育に満足であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	5
あてはまる	0
未回答	0



⑦エクセレント・チューデント・スカラーシップ制度は勉学の動みになった

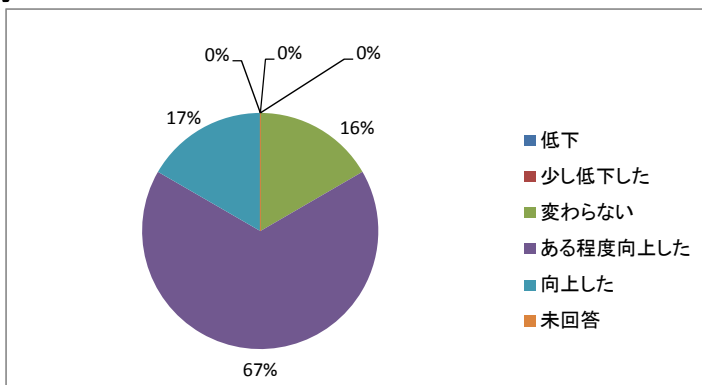
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	2
あてはまる	0
未回答	0



問7 大学院入学時と比較した貴方の能力

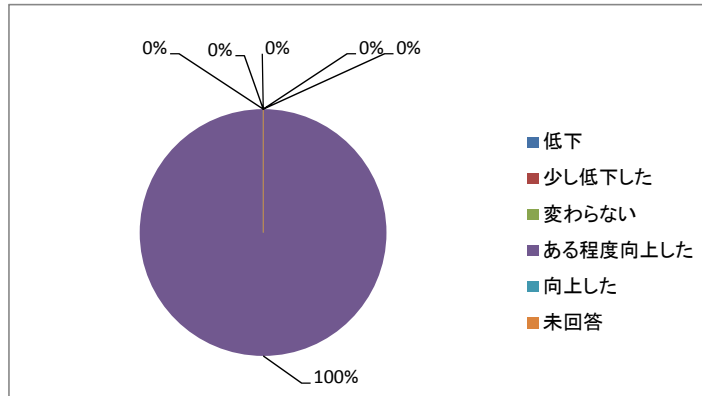
①文章表現力

選択肢	回答
低下	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	4
向上した	1
未回答	0



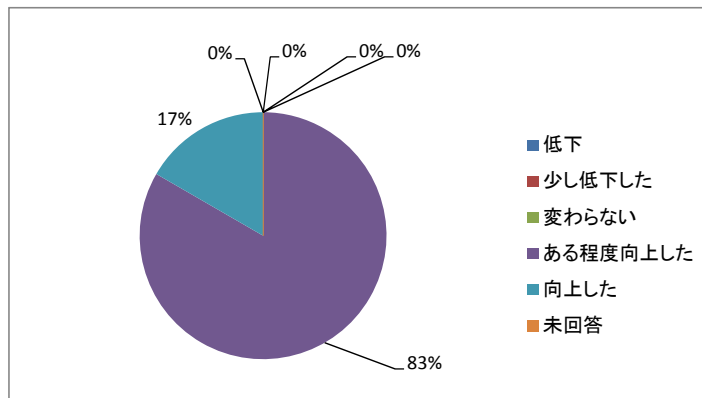
②応用力

選択肢	回答
低下	0
少し低下した	0
変わらない	0
ある程度向上した	6
向上した	0
未回答	0



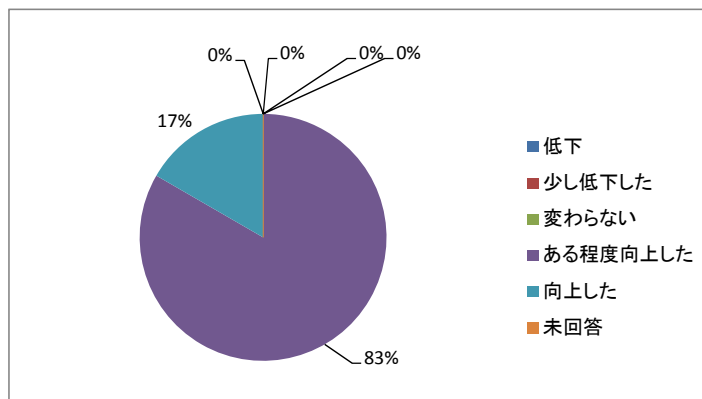
③思考力

選択肢	回答
低下	0
少し低下した	0
変わらない	0
ある程度向上した	5
向上した	1
未回答	0



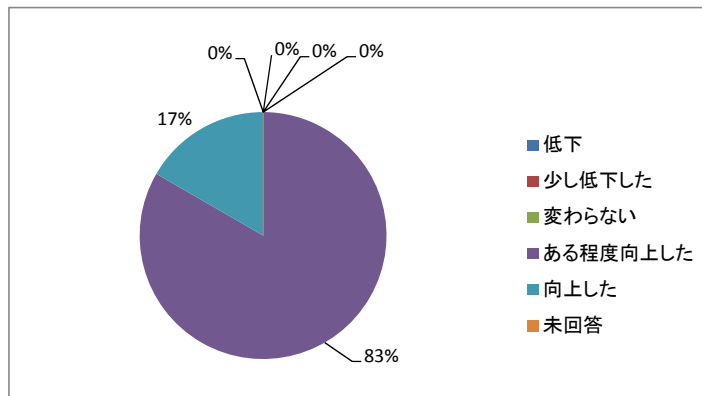
④論理性

選択肢	回答
低下	0
少し低下した	0
変わらない	0
ある程度向上した	5
向上した	1
未回答	0



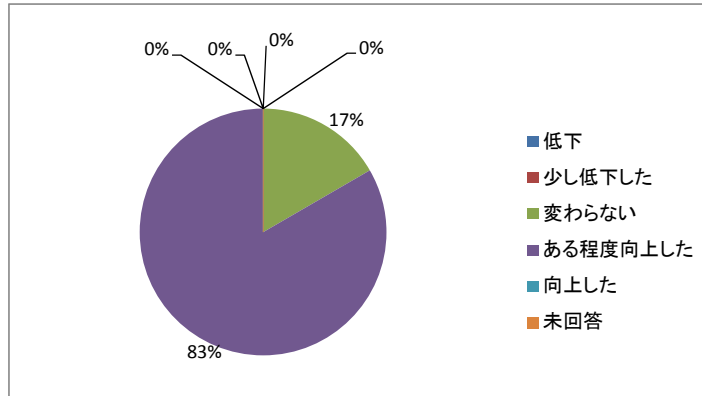
⑤クリティカル・シンキング(批判的思考)

選択肢	回答
低下	0
少し低下した	0
変わらない	0
ある程度向上した	5
向上した	1
未回答	0



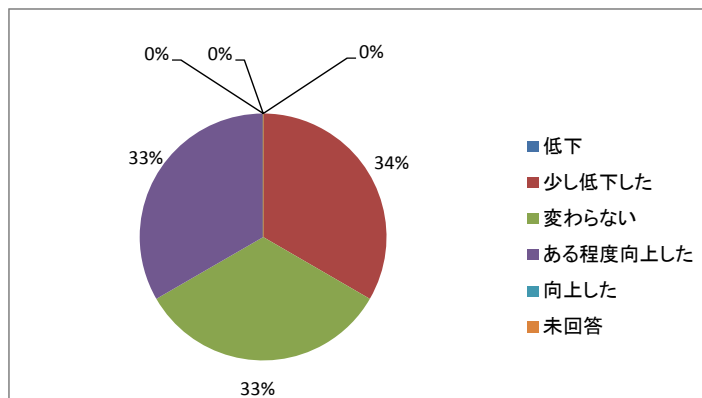
⑥分析力

選択肢	回答
低下	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	5
向上した	0
未回答	0



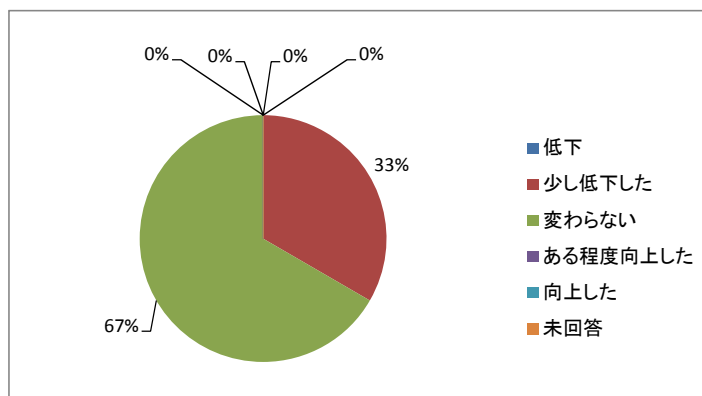
⑦主体性

選択肢	回答
低下	0
少し低下した	2
変わらない	2
ある程度向上した	2
向上した	0
未回答	0



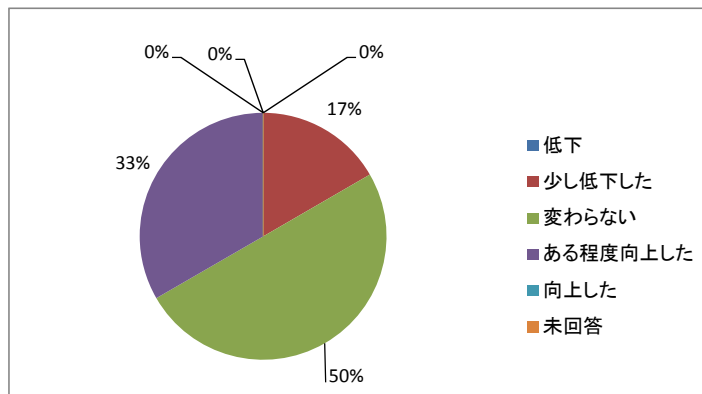
⑧リーダーシップ

選択肢	回答
低下	0
少し低下した	2
変わらない	4
ある程度向上した	0
向上した	0
未回答	0



⑨語学力

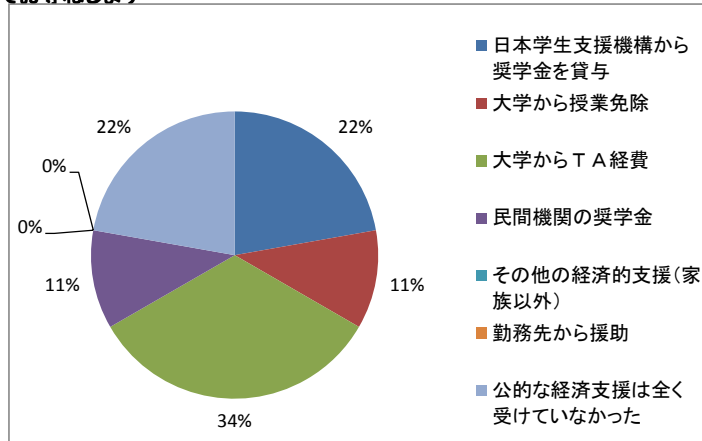
選択肢	回答
低下	0
少し低下した	1
変わらない	3
ある程度向上した	2
向上した	0
未回答	0





問8 大学院在学中の経済的支援についてお尋ねします

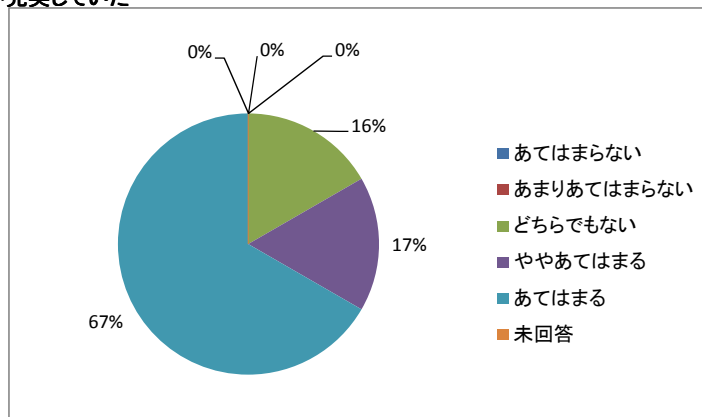
選択肢	8集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与	2
大学から授業免除	1
大学からTA経費	3
民間機関の奨学金	1
その他の経済的支援(家族以外)	0
勤務先から援助	0
公的な経済支援は全く受けていなかった	2



問9 大学院での学生生活について

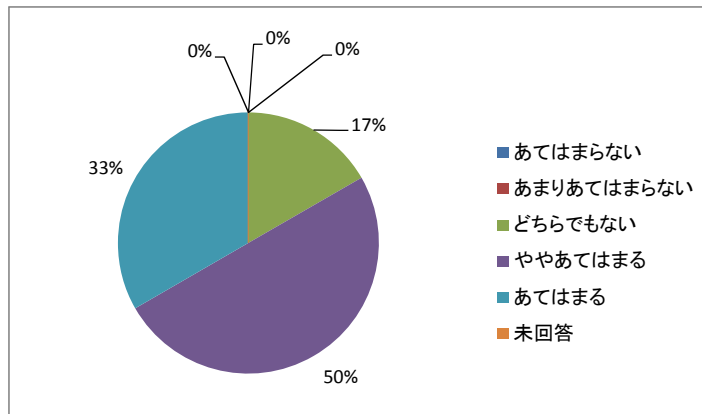
①指導教員(正、副)の支援(相談など)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	1
あてはまる	4
未回答	0



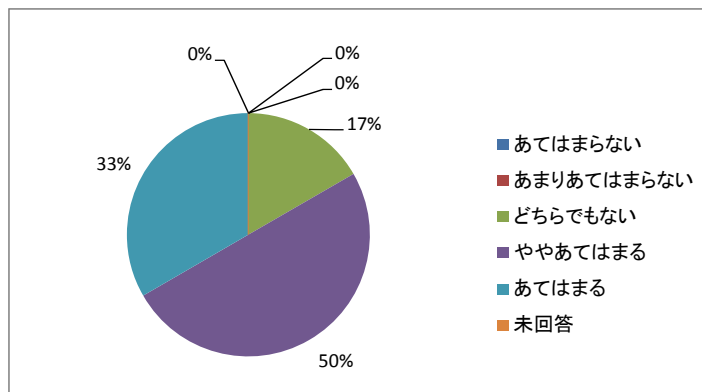
②事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



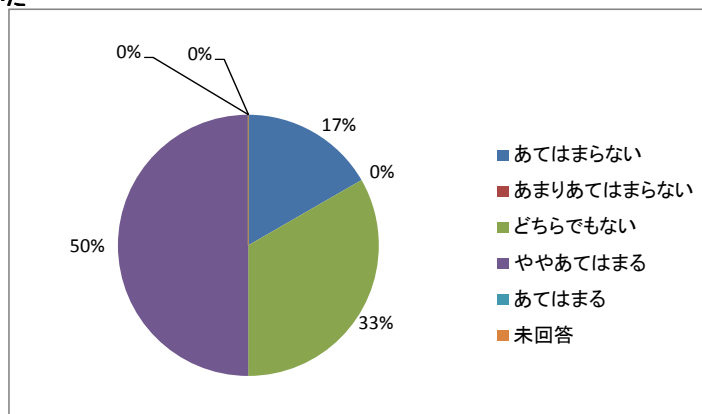
③研究室での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



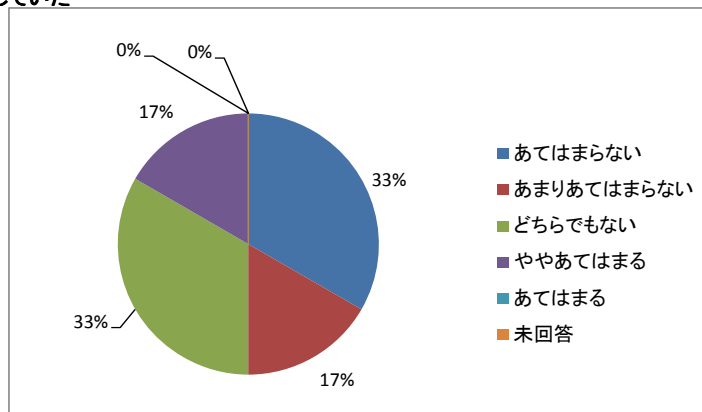
④研究室以外での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	0
未回答	0



⑤就職支援やキャリアガイダンスが充実していた

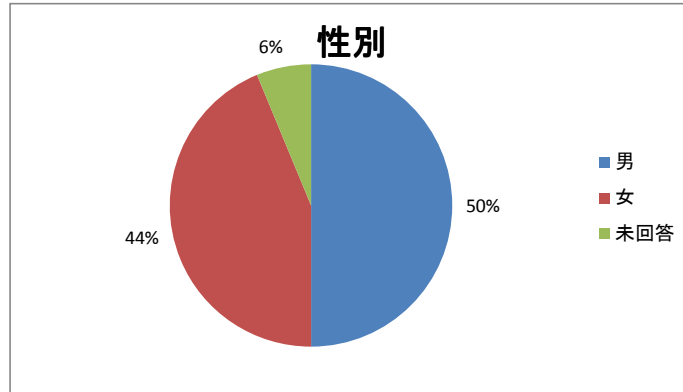
選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	1
あてはまる	0
未回答	0



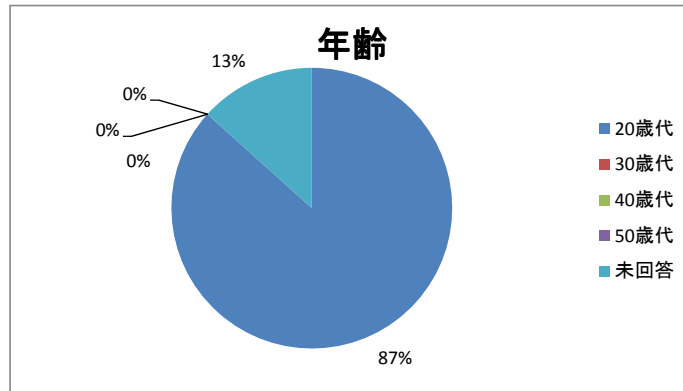
アンケート集計結果(博士課程前期)

研究科:医歯薬保健学研究科(口腔健康科学専攻)

性別	
選択肢	回答
男	8
女	7
未回答	1

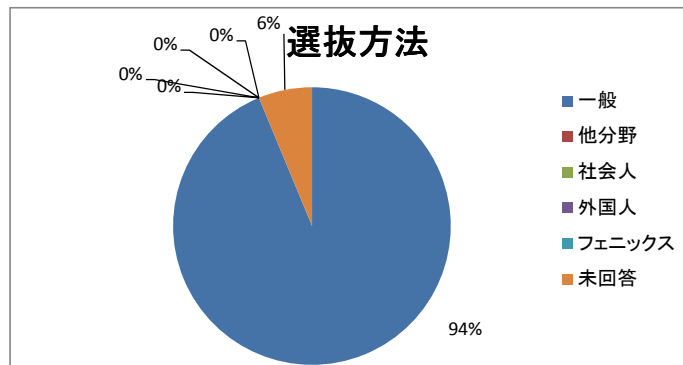


年齢	
選択肢	回答
20歳代	13
30歳代	0
40歳代	0
50歳代	0
未回答	2



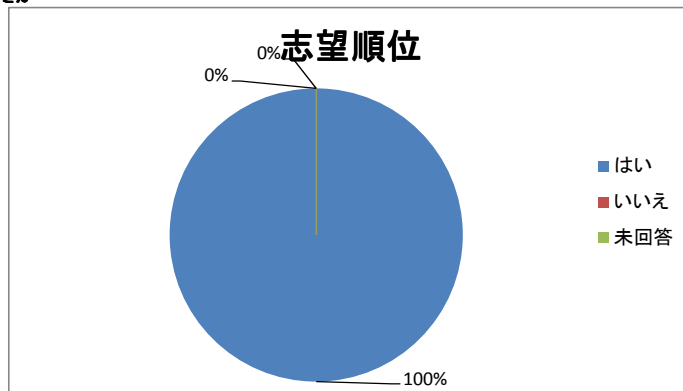
問2 本研究科への選抜方法

選択肢	回答
一般	15
他分野	0
社会人	0
外国人	0
フェニックス	0
未回答	1



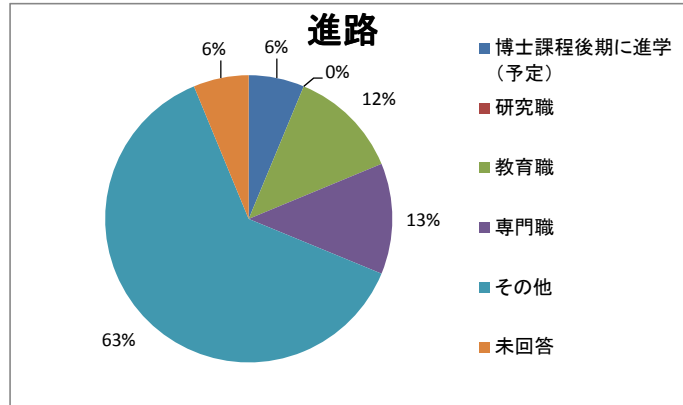
問3 本研究科への進学は第1志望でしたか

選択肢	回答
はい	16
いいえ	0
未回答	0



問4 大学院修了後の進路

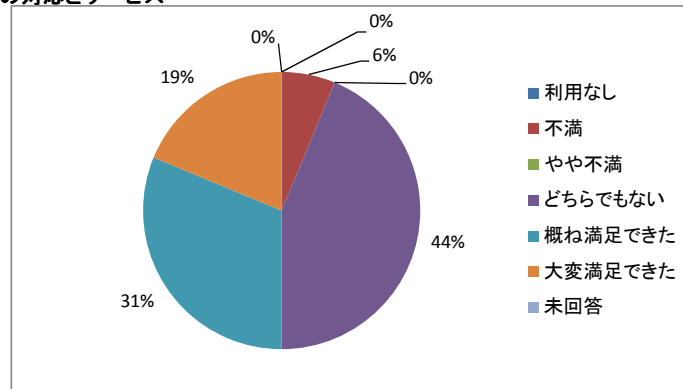
選択肢	回答
博士課程後期に進学(予定)	1
研究職	0
教育職	2
専門職	2
その他	10
未回答	1



問5 在学期間中の学生生活に関する満足度について

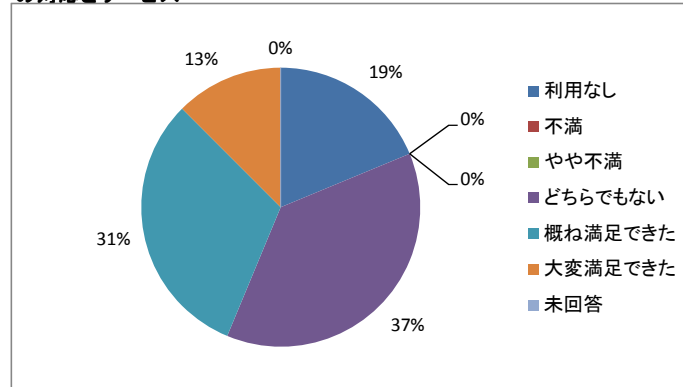
①所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	7
概ね満足できた	5
大変満足できた	3
未回答	0



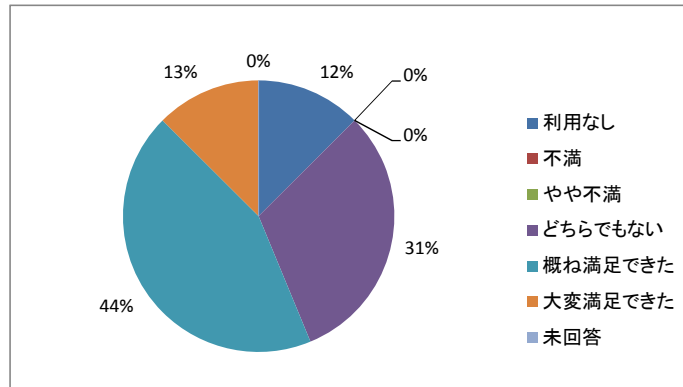
②学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	6
概ね満足できた	5
大変満足できた	2
未回答	0



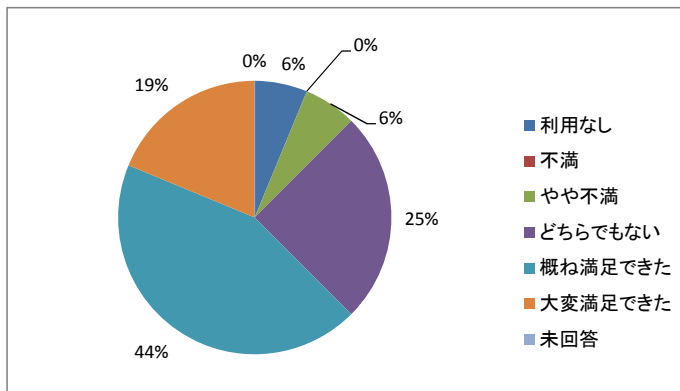
③保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	2
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	5
概ね満足できた	7
大変満足できた	2
未回答	0



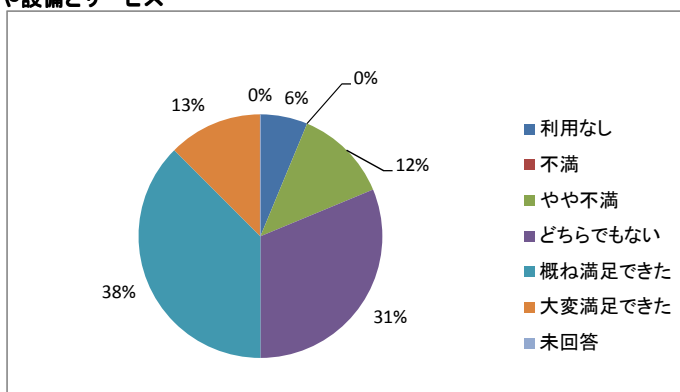
④図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	4
概ね満足できた	7
大変満足できた	3
未回答	0



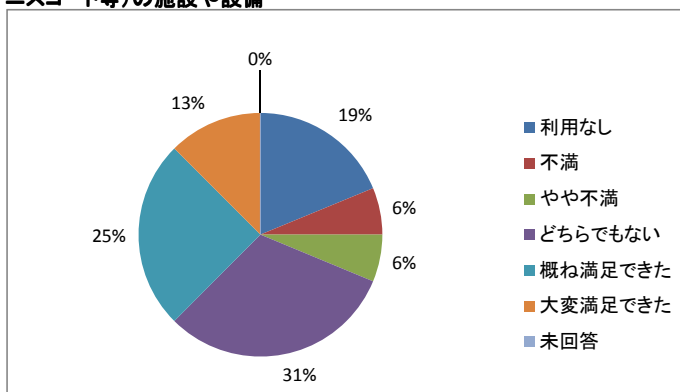
⑤福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	5
概ね満足できた	6
大変満足できた	2
未回答	0



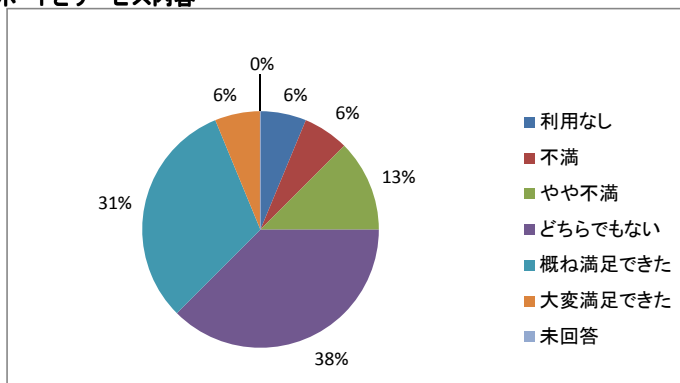
⑥課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	3
不満	1
やや不満	1
どちらでもない	5
概ね満足できた	4
大変満足できた	2
未回答	0



⑦授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

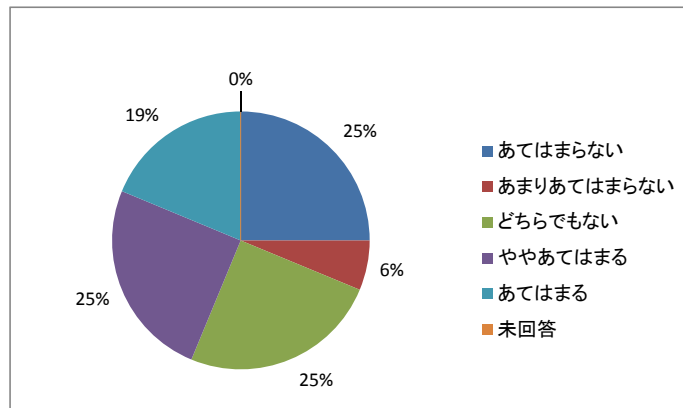
選択肢	回答
利用なし	1
不満	1
やや不満	2
どちらでもない	6
概ね満足できた	5
大変満足できた	1
未回答	0



問6 修学、履修について

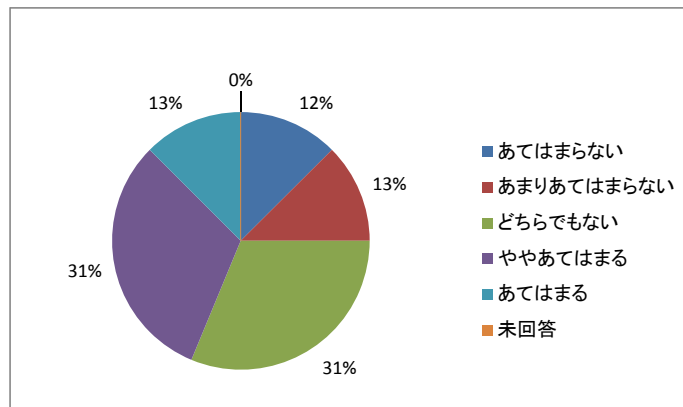
①専攻のカリキュラムが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	4
あてはまる	3
未回答	0



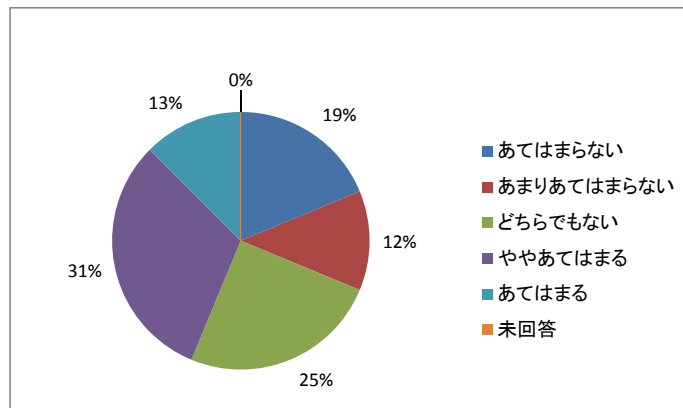
②共通科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	5
ややあてはまる	5
あてはまる	2
未回答	0



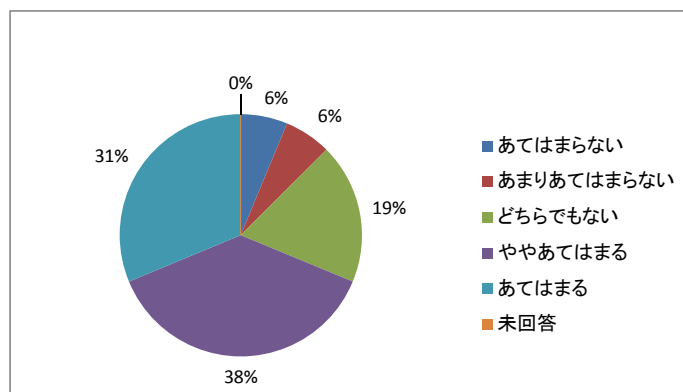
③専門科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	4
ややあてはまる	5
あてはまる	2
未回答	0



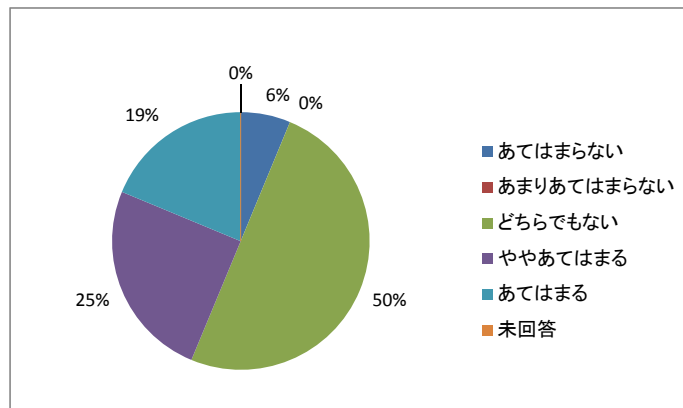
④研究指導が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	6
あてはまる	5
未回答	0



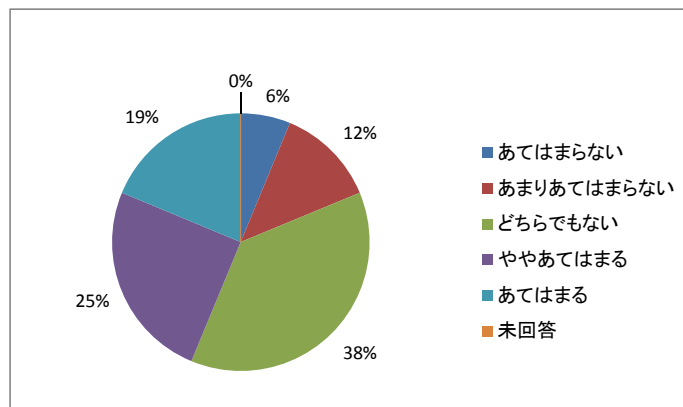
⑤教育研究設備や経費は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	8
ややあてはまる	4
あてはまる	3
未回答	0



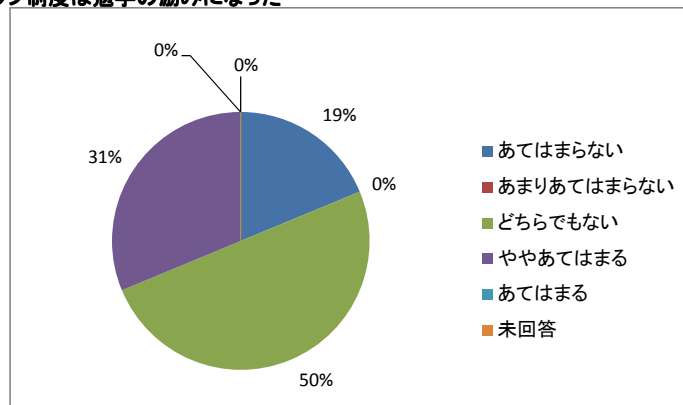
⑥全体的に大学院教育に満足であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	6
ややあてはまる	4
あてはまる	3
未回答	0



⑦エクセレント・スチューデント・スカラーシップ制度は勉学の励みになった

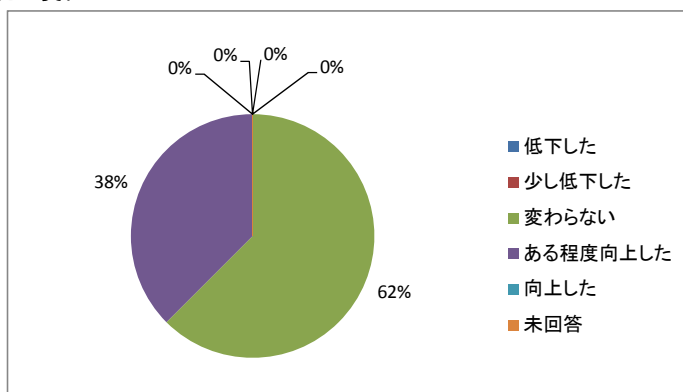
選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	8
ややあてはまる	5
あてはまる	0
未回答	0



問7 大学院入学時と比較して貴方の能力の変化

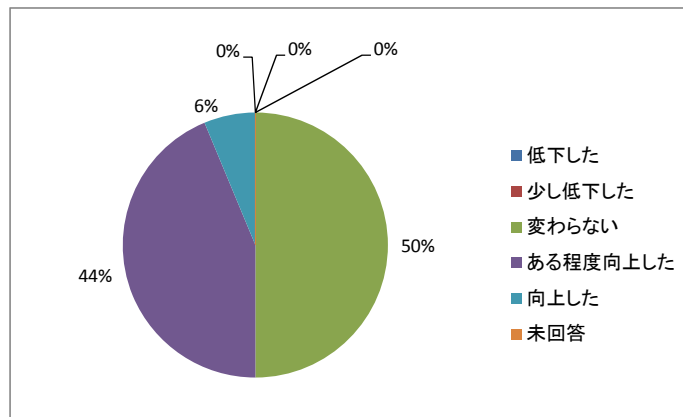
①文章表現力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	10
ある程度向上した	6
向上した	0
未回答	0



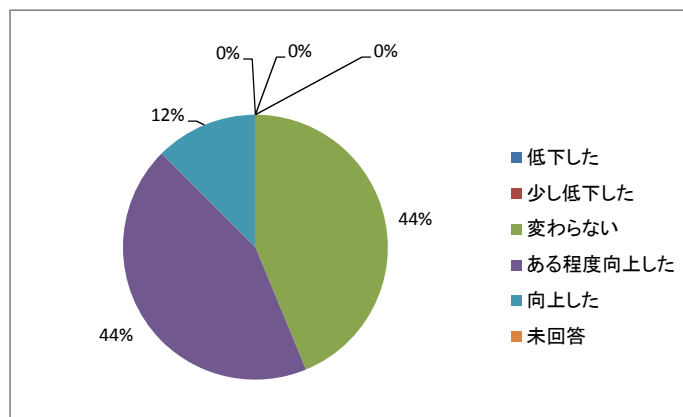
②応用力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	8
ある程度向上した	7
向上した	1
未回答	0



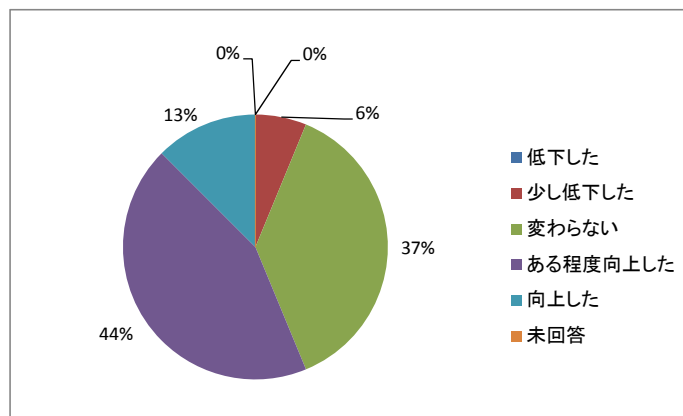
③思考力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	7
ある程度向上した	7
向上した	2
未回答	0



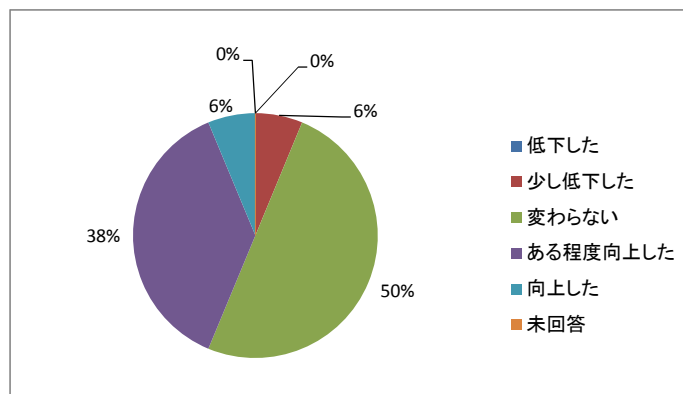
④論理性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	6
ある程度向上した	7
向上した	2
未回答	0



⑤クリティカル・シンキング(批判的思考)

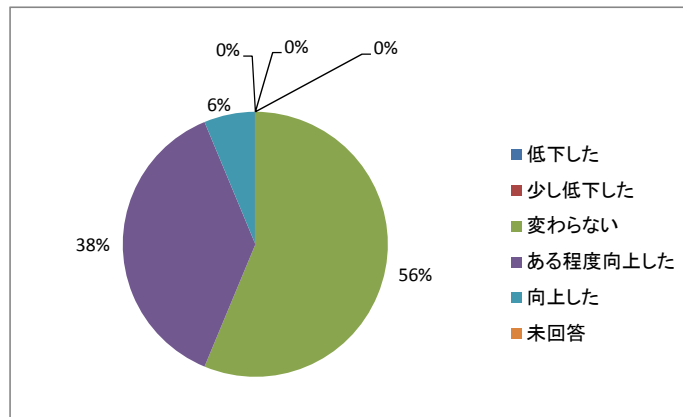
選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	8
ある程度向上した	6
向上した	1
未回答	0





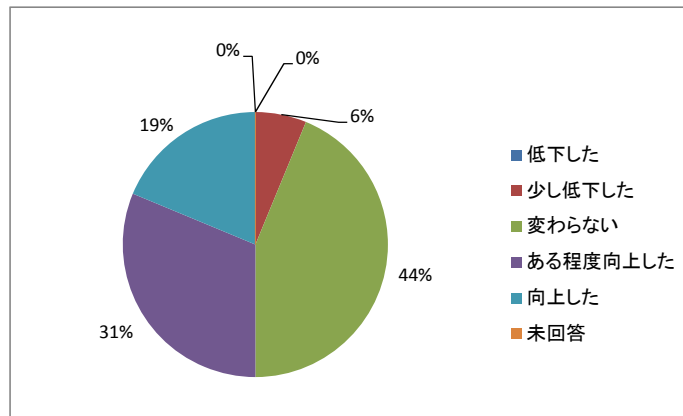
⑥分析力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	9
ある程度向上した	6
向上した	1
未回答	0



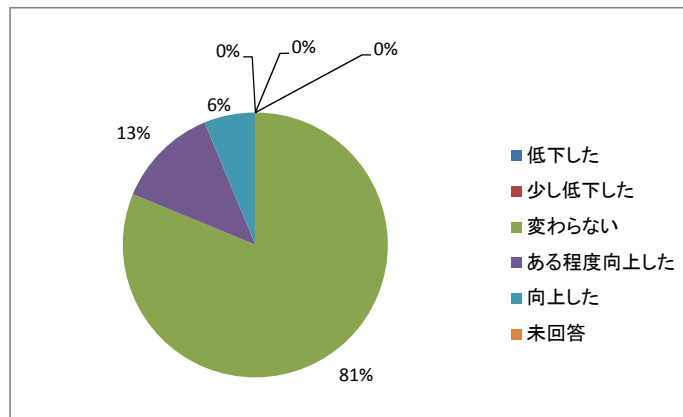
⑦主体性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	7
ある程度向上した	5
向上した	3
未回答	0



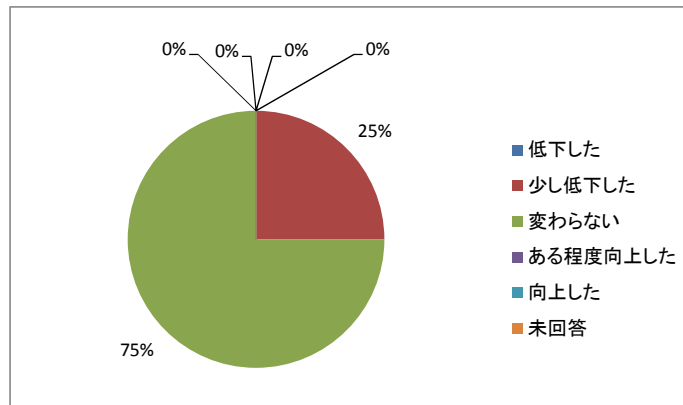
⑧リーダーシップ

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	13
ある程度向上した	2
向上した	1
未回答	0



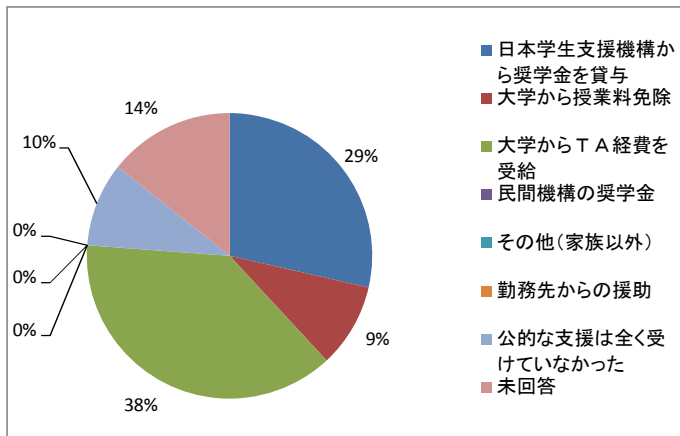
⑨語学力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	4
変わらない	12
ある程度向上した	0
向上した	0
未回答	0



問8 大学院在学中の経済支援について

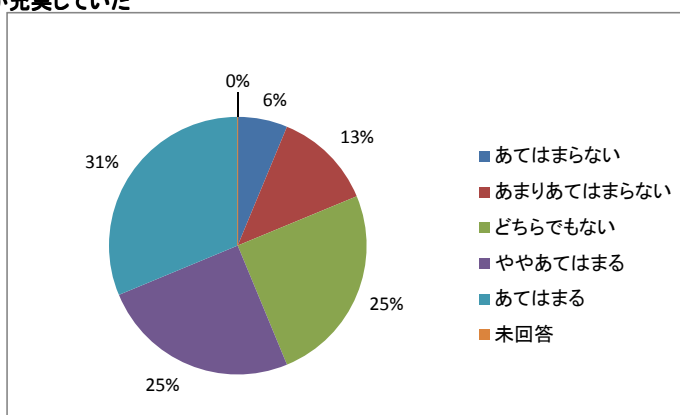
選択肢	8集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与	6
大学から授業料免除	2
大学からTA経費を受給	8
民間機構の奨学金	0
その他(家族以外)	0
勤務先からの援助	0
公的な支援は全く受けていなかった	2
未回答	3



問9 大学院での学生生活について

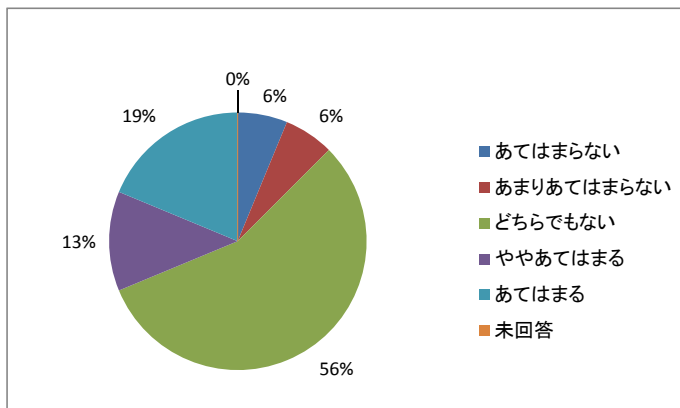
①指導教員(正、副)の支援(相談など)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	4
ややあてはまる	4
あてはまる	5
未回答	0



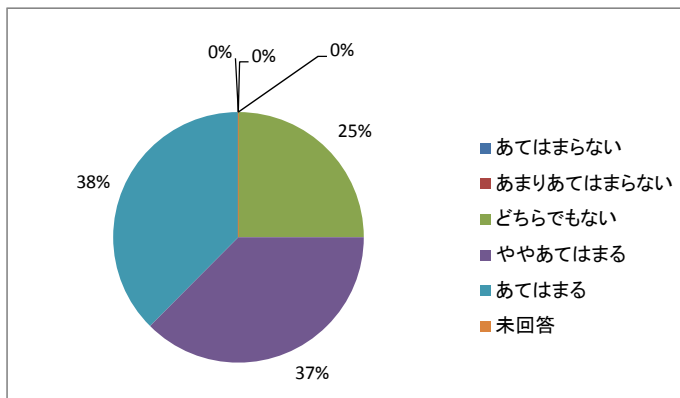
②事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	9
ややあてはまる	2
あてはまる	3
未回答	0



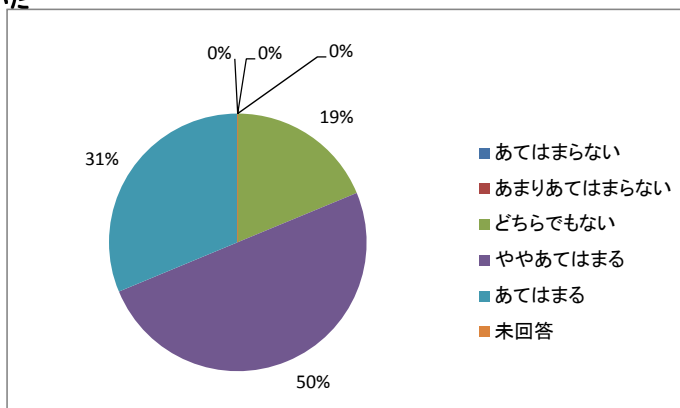
③研究室での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	6
あてはまる	6
未回答	0



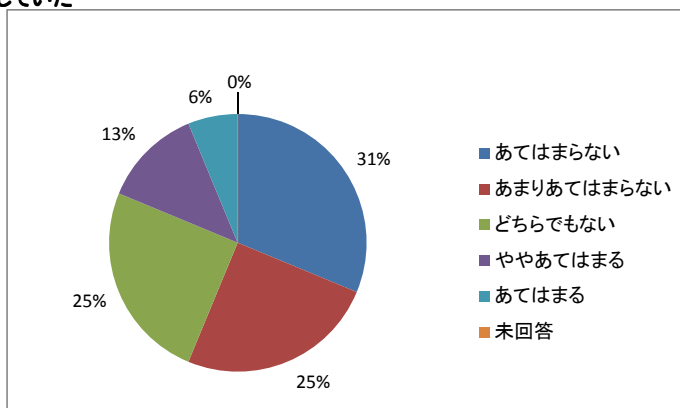
④研究室以外での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	3
ややあてはまる	8
あてはまる	5
未回答	0



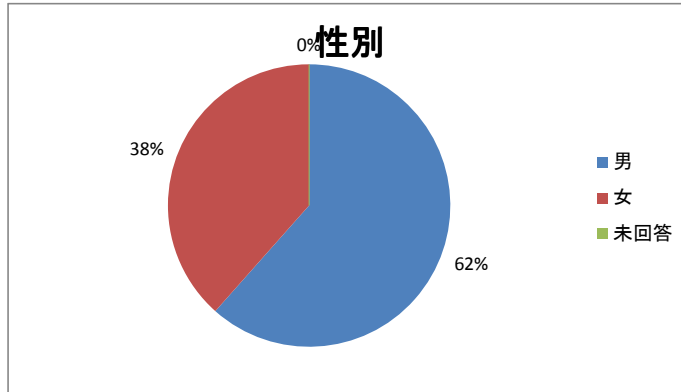
⑤就職支援やキャリアガイダンスが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	4
ややあてはまる	2
あてはまる	1
未回答	0



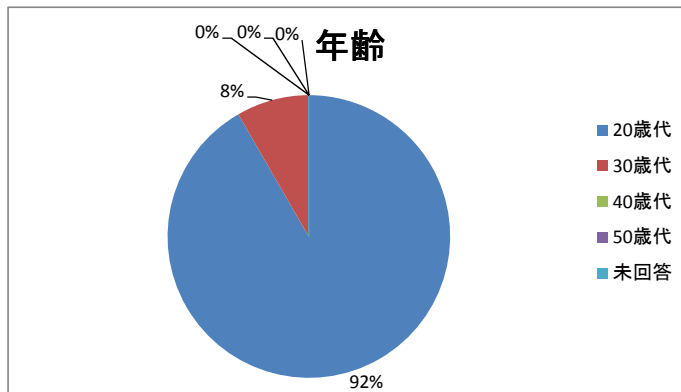
性別

選択肢	回答
男	8
女	5
未回答	0



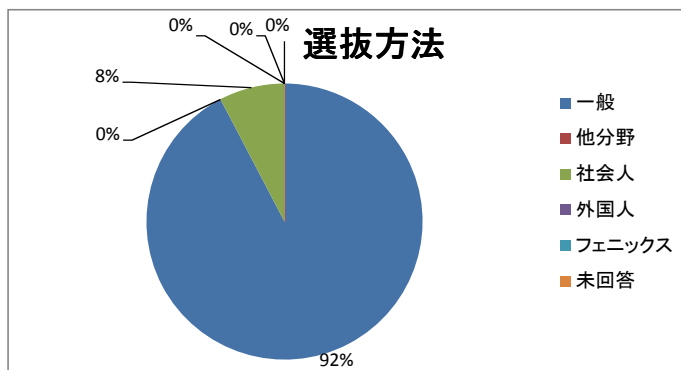
年齢

選択肢	回答
20歳代	11
30歳代	1
40歳代	0
50歳代	0
未回答	0



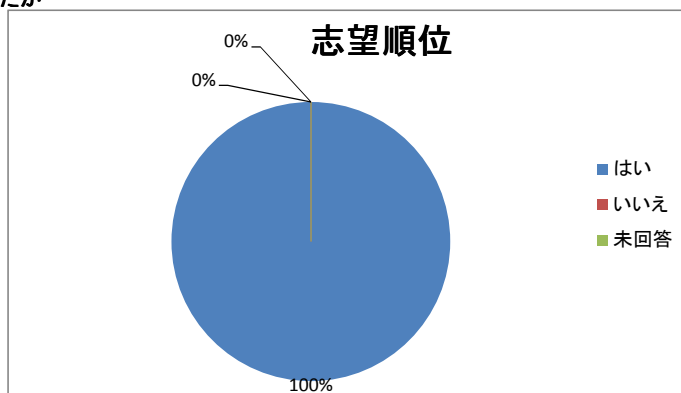
問2 本研究科への選抜方法

選択肢	回答
一般	12
他分野	0
社会人	1
外国人	0
フェニックス	0
未回答	0



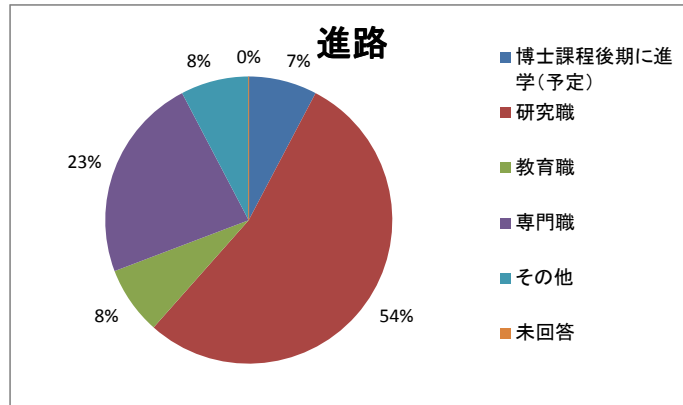
問3 本研究科への進学は第一志望でしたか

選択肢	回答
はい	13
いいえ	0
未回答	0



問4 大学院修了後の進路

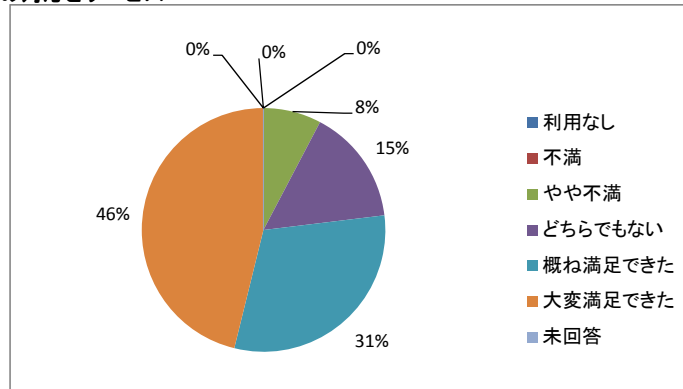
選択肢	回答
博士課程後期に進学(予定)	1
研究職	7
教育職	1
専門職	3
その他	1
未回答	0



問5 在学期間中の学生生活に関する満足度について

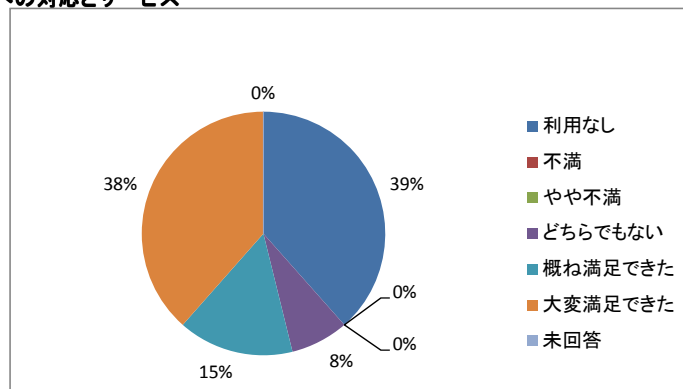
①所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	2
概ね満足できた	4
大変満足できた	6
未回答	0



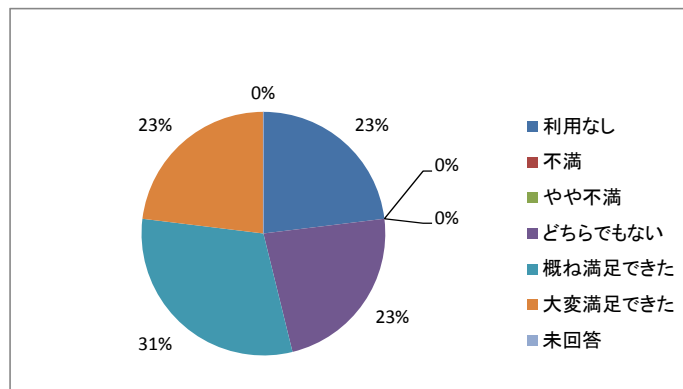
②学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	5
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	2
大変満足できた	5
未回答	0



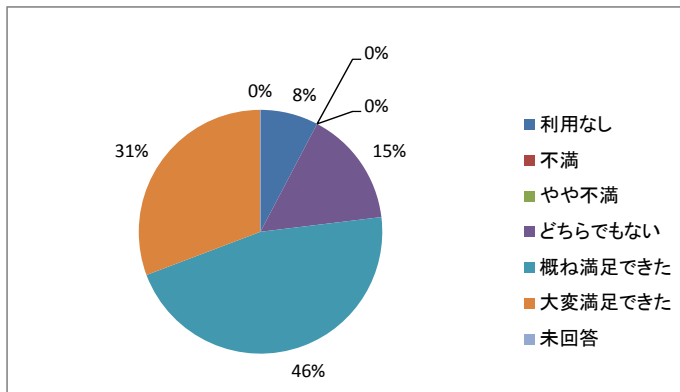
③保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	3
概ね満足できた	4
大変満足できた	3
未回答	0



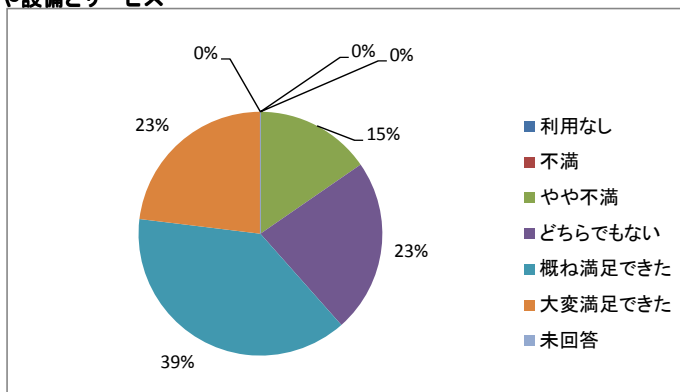
④図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	6
大変満足できた	4
未回答	0



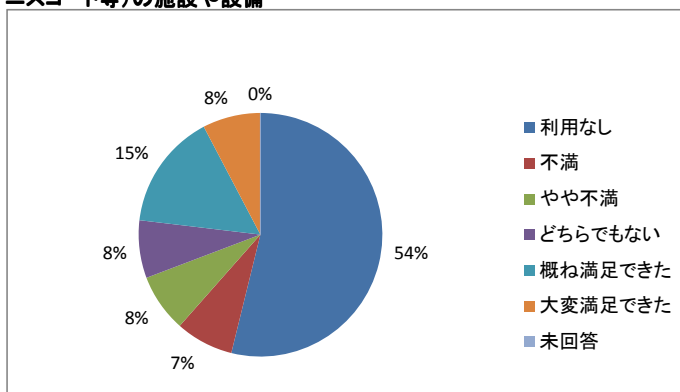
⑤福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	3
概ね満足できた	5
大変満足できた	3
未回答	0



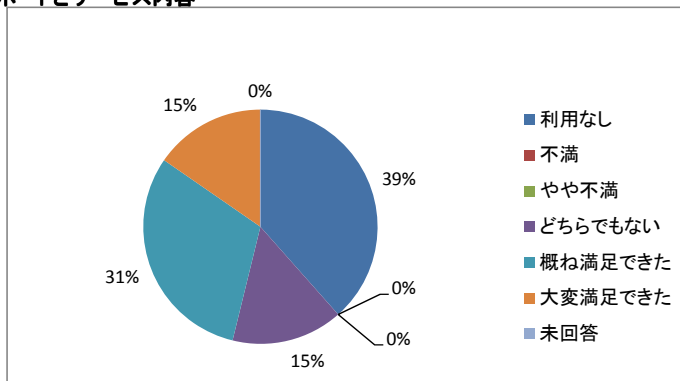
⑥課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	7
不満	1
やや不満	1
どちらでもない	1
概ね満足できた	2
大変満足できた	1
未回答	0



⑦授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

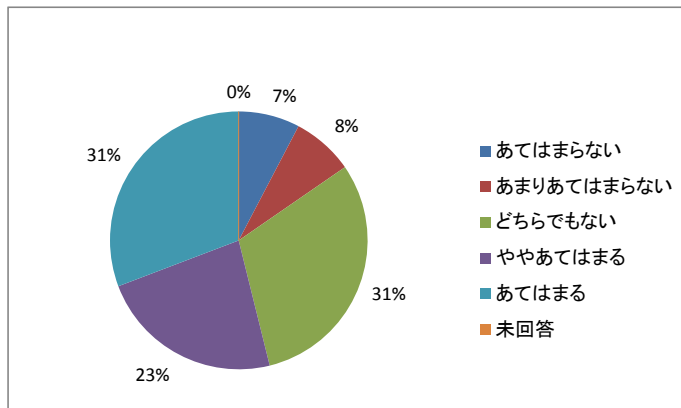
選択肢	回答
利用なし	5
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	4
大変満足できた	2
未回答	0



問6 修学、履修について

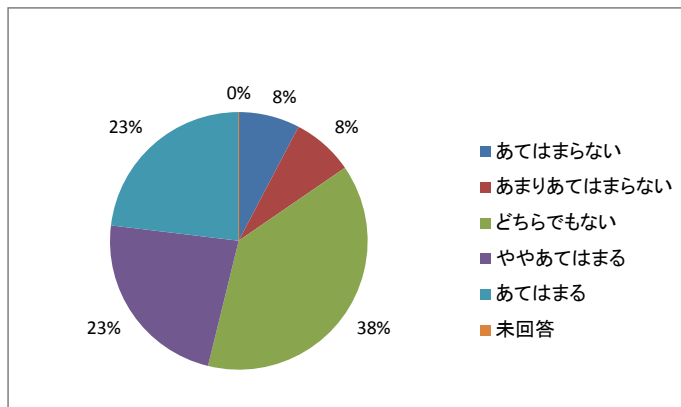
①専攻のカリキュラムが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	3
あてはまる	4
未回答	0



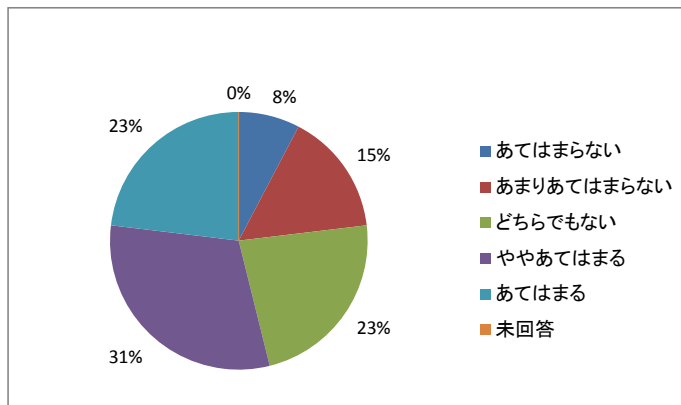
②共通科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	5
ややあてはまる	3
あてはまる	3
未回答	0



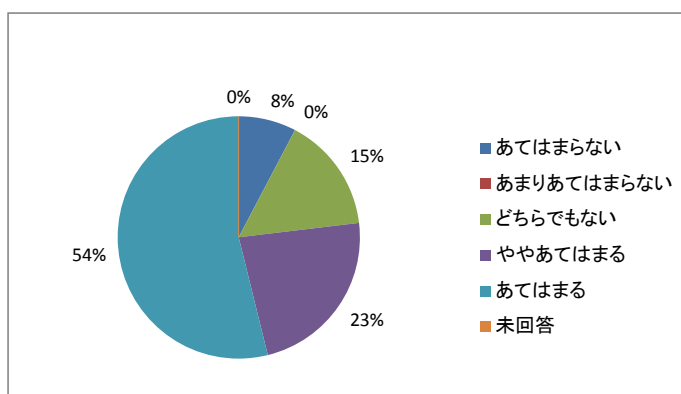
③専門科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	3
ややあてはまる	4
あてはまる	3
未回答	0



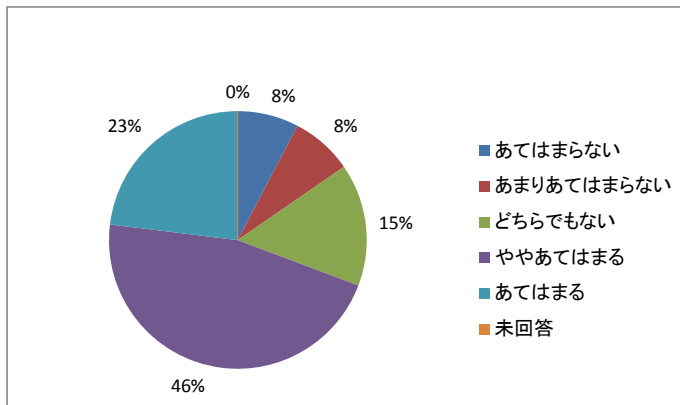
④研究指導が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	3
あてはまる	7
未回答	0



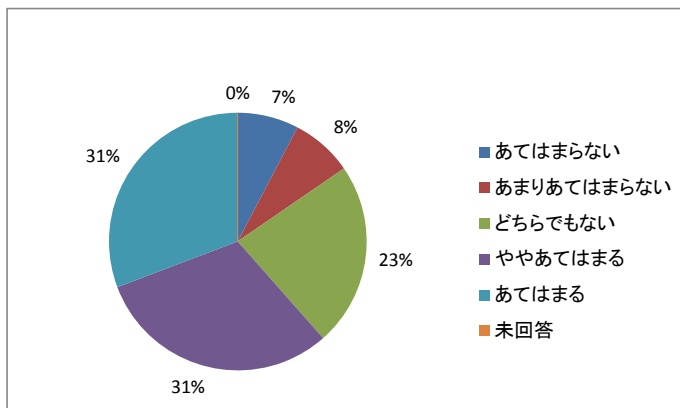
⑤教育研究設備や経費は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	2
ややあてはまる	6
あてはまる	3
未回答	0



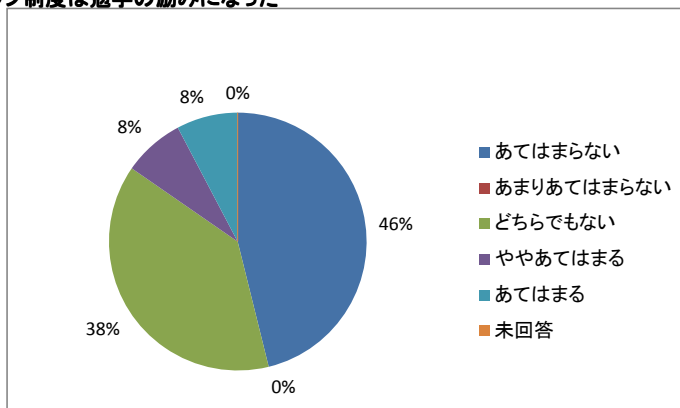
⑥全体的に大学院教育に満足であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	4
あてはまる	4
未回答	0



⑦エクセレント・スチューデント・スカラシップ制度は勉学の励みになった

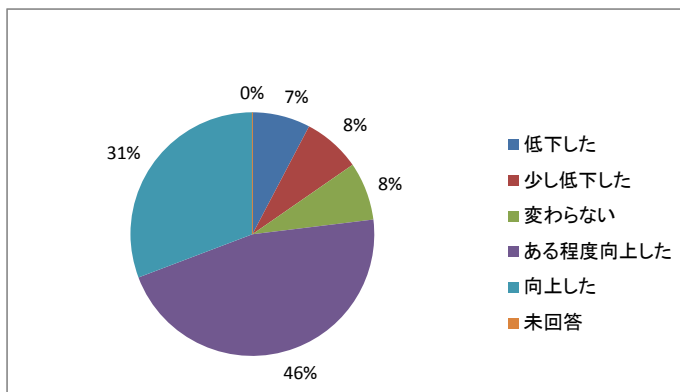
選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	1
あてはまる	1
未回答	0



問7 大学院入学時と比較して貴方の能力の変化

①文章表現力

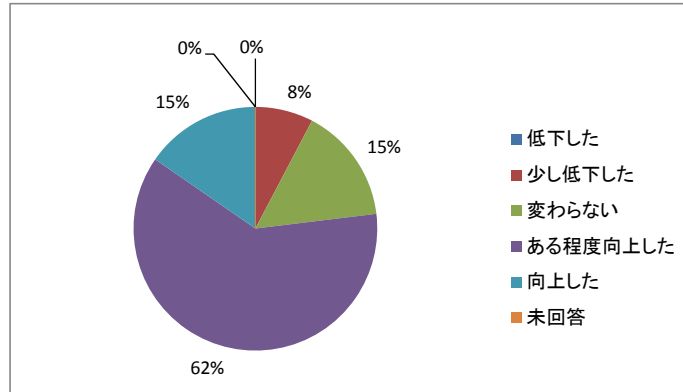
選択肢	回答
低下した	1
少し低下した	1
変わらない	1
ある程度向上した	6
向上した	4
未回答	0





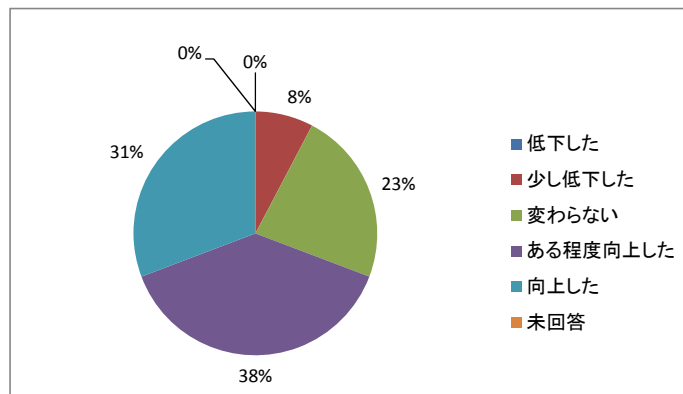
②応用力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	2
ある程度向上した	8
向上した	2
未回答	0



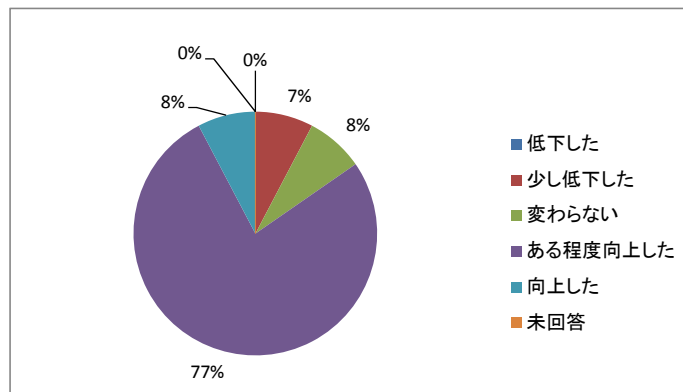
③思考力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	3
ある程度向上した	5
向上した	4
未回答	0



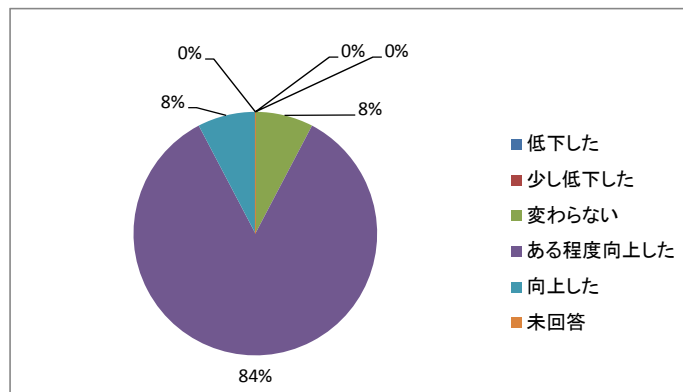
④論理性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	1
変わらない	1
ある程度向上した	10
向上した	1
未回答	0



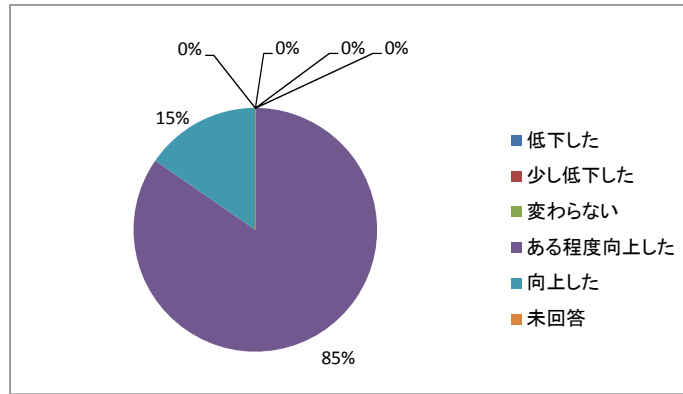
⑤クリティカル・シンキング(批判的思考)

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	11
向上した	1
未回答	0



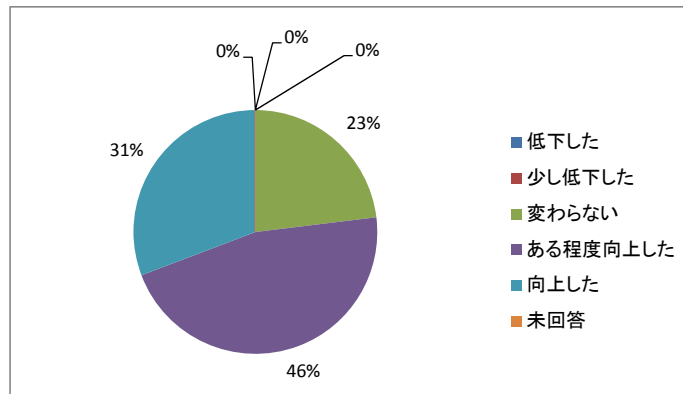
⑥分析力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	0
ある程度向上した	11
向上した	2
未回答	0



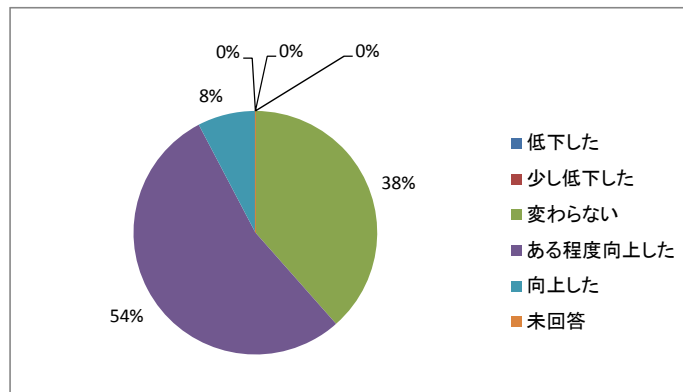
⑦主体性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	3
ある程度向上した	6
向上した	4
未回答	0



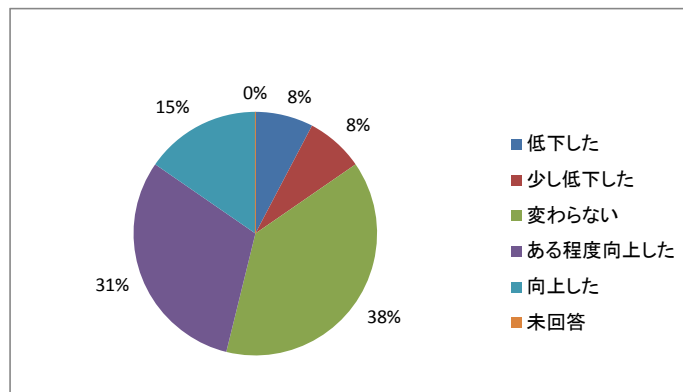
⑧リーダーシップ

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	5
ある程度向上した	7
向上した	1
未回答	0



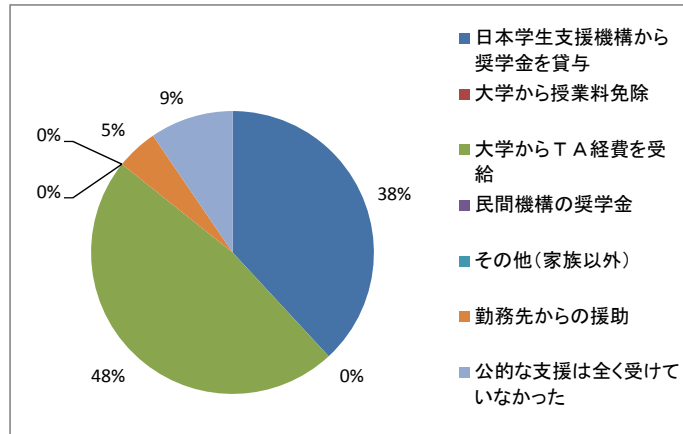
⑨語学力

選択肢	回答
低下した	1
少し低下した	1
変わらない	5
ある程度向上した	4
向上した	2
未回答	0



問8 大学院在学中の経済支援

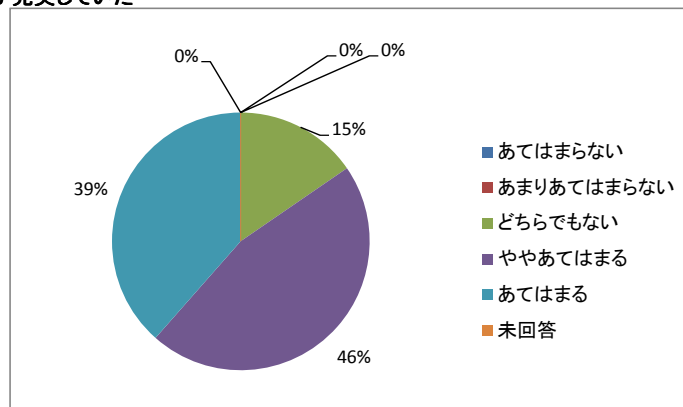
選択肢	8集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与	8
大学から授業料免除	0
大学からTA経費を受給	10
民間機構の奨学金	0
その他(家族以外)	0
勤務先からの援助	1
公的な支援は全く受けていなかった	2



問9 大学院での学生生活について

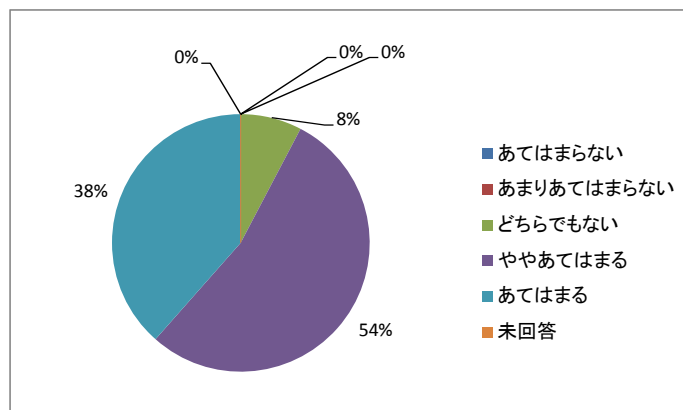
①指導教員(正、副)の支援(相談など)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	6
あてはまる	5
未回答	0



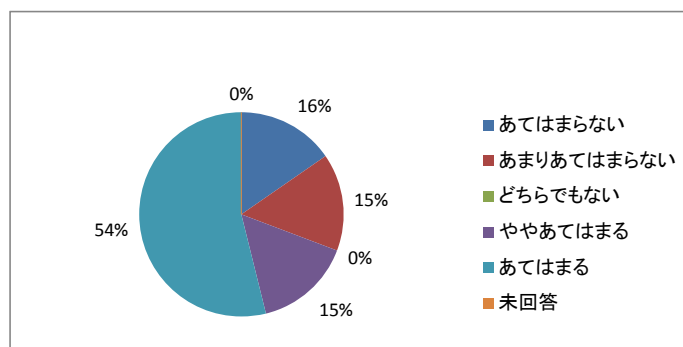
②事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	1
ややあてはまる	7
あてはまる	5
未回答	0



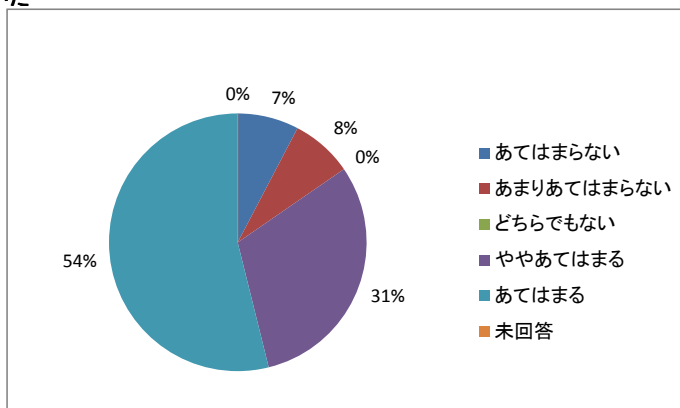
③研究室での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	0
ややあてはまる	2
あてはまる	7
未回答	0



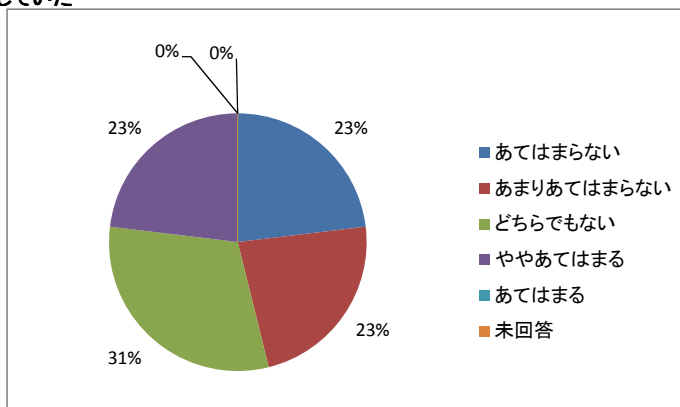
④研究室以外での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	0
ややあてはまる	4
あてはまる	7
未回答	0

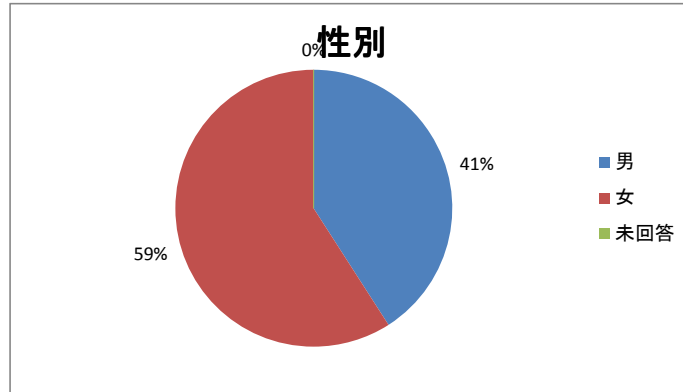


⑤就職支援やキャリアガイダンスが充実していた

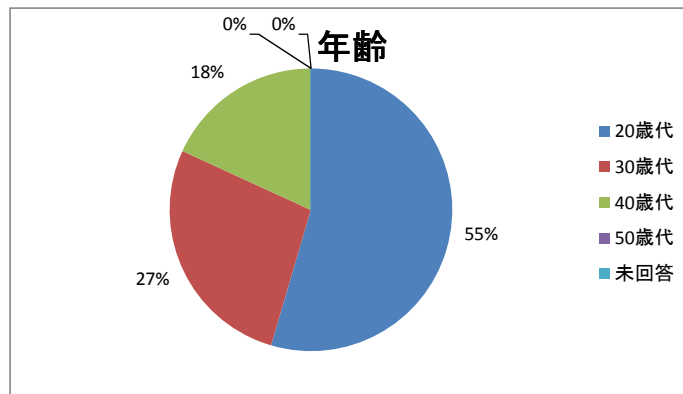
選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	4
ややあてはまる	3
あてはまる	0
未回答	0



性別	
選択肢	回答
男	9
女	13
未回答	0

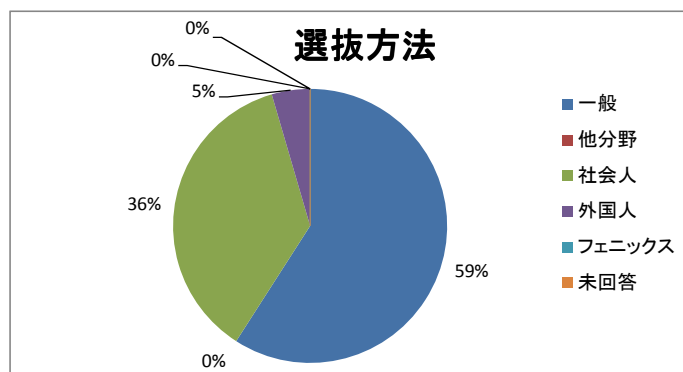


年齢	
選択肢	回答
20歳代	12
30歳代	6
40歳代	4
50歳代	0
未回答	0



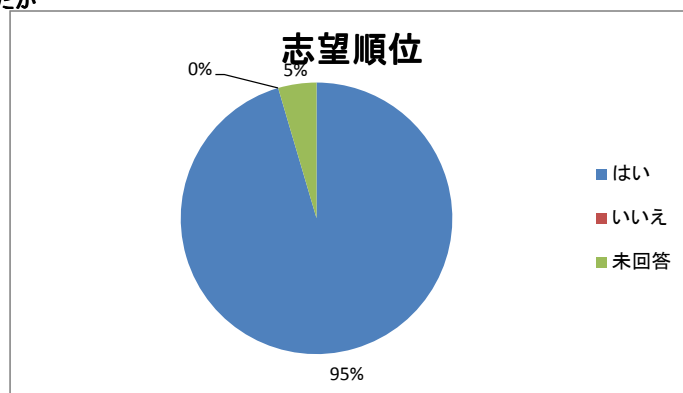
問2 本研究科への選抜方法

選択肢	回答
一般	13
他分野	0
社会人	8
外国人	1
フェニックス	0
未回答	0



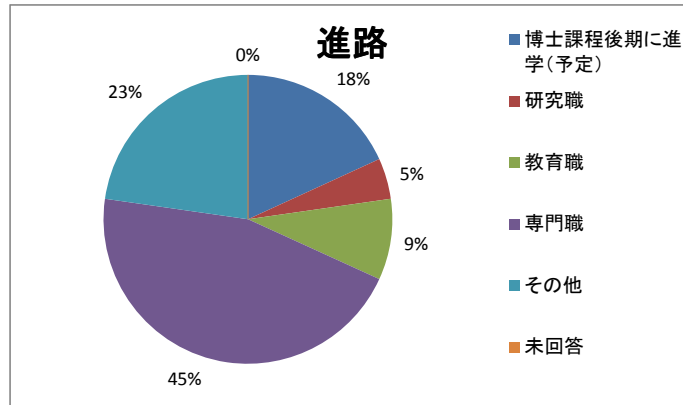
問3 本研究科への進学は第1志望でしたか

選択肢	回答
はい	21
いいえ	0
未回答	1



問4 大学院修了後の進路

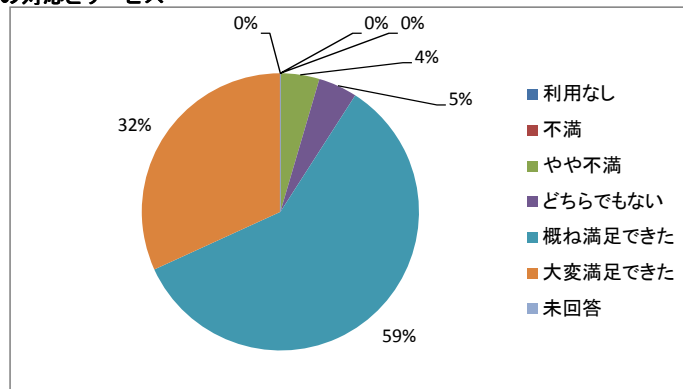
選択肢	回答
博士課程後期に進学(予定)	4
研究職	1
教育職	2
専門職	10
その他	5
未回答	0



問5 在学期間中の学生生活に関する満足度について

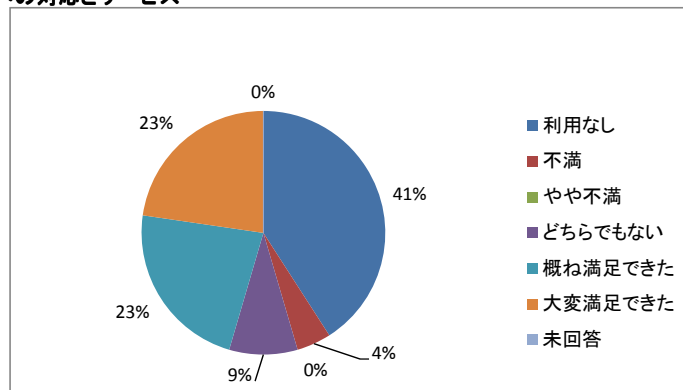
①所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	1
概ね満足できた	13
大変満足できた	7
未回答	0



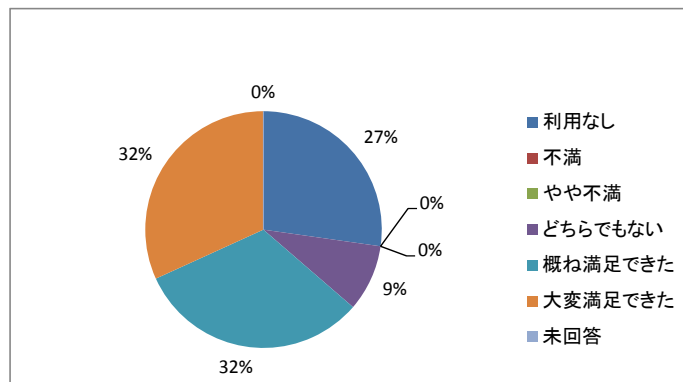
②学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	9
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	5
大変満足できた	5
未回答	0



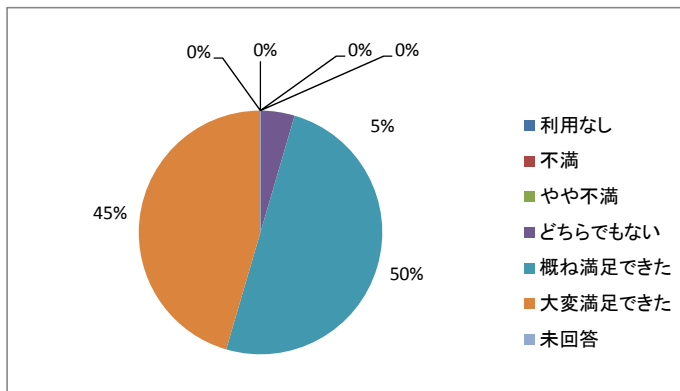
③保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	6
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	7
大変満足できた	7
未回答	0



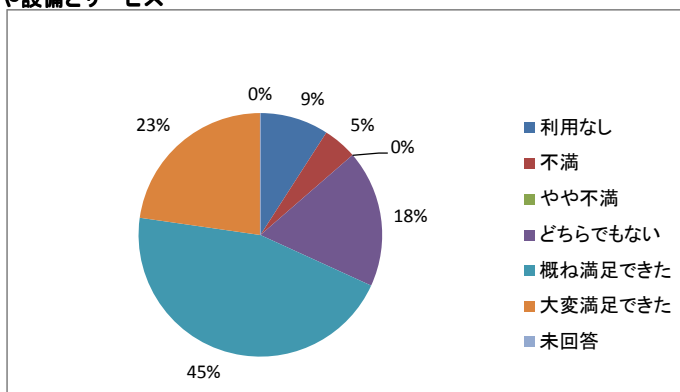
④図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	11
大変満足できた	10
未回答	0



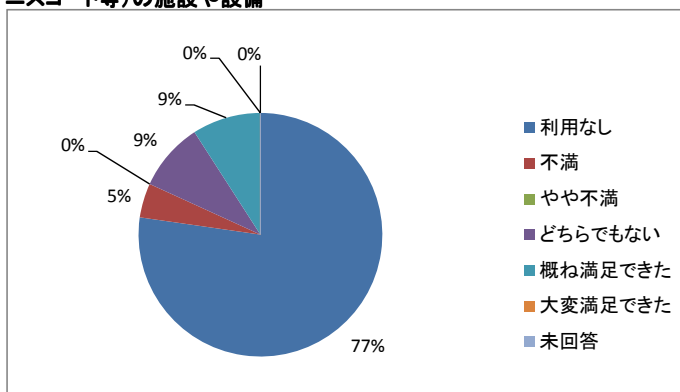
⑤福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	2
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	4
概ね満足できた	10
大変満足できた	5
未回答	0



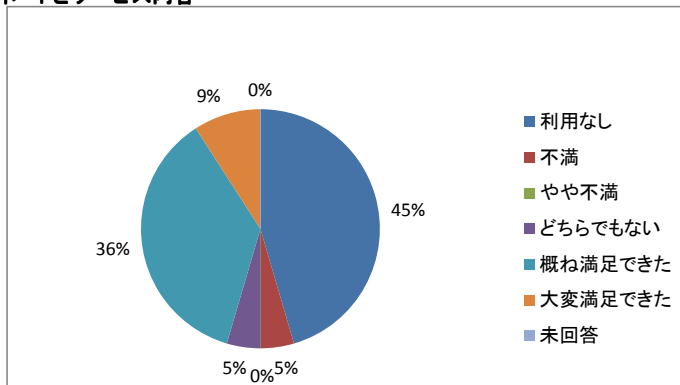
⑥課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	17
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足できた	2
大変満足できた	0
未回答	0



⑦授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

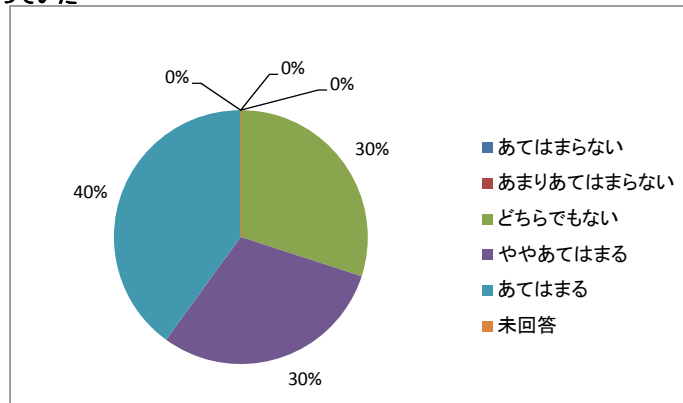
選択肢	回答
利用なし	10
不満	1
やや不満	0
どちらでもない	1
概ね満足できた	8
大変満足できた	2
未回答	0



問6 修学、履修について

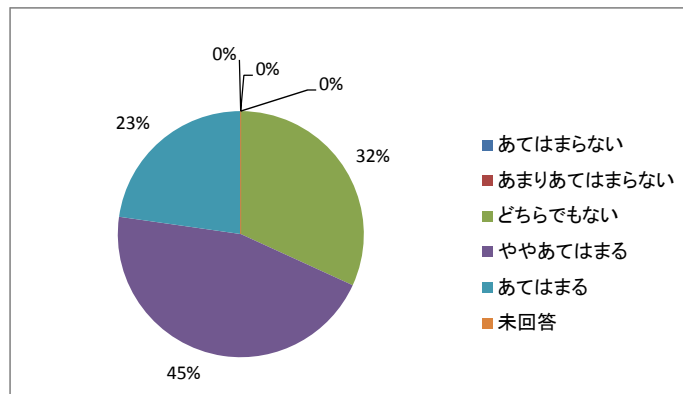
①保健学専攻の教育理念及び目標に沿っていた

選択肢	回答
知らない	
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	6
ややあてはまる	6
あてはまる	8
未回答	0



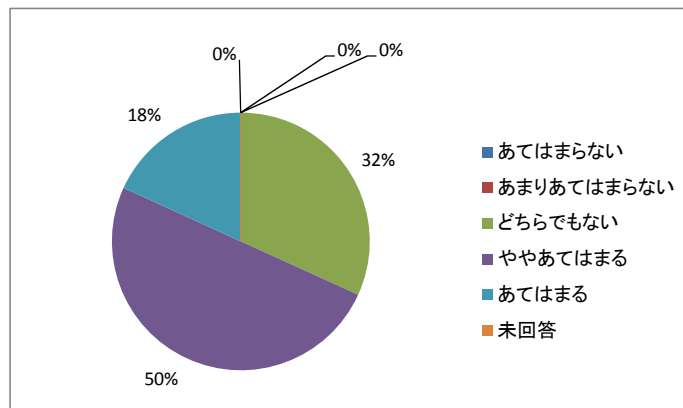
②共通科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	7
ややあてはまる	10
あてはまる	5
未回答	0



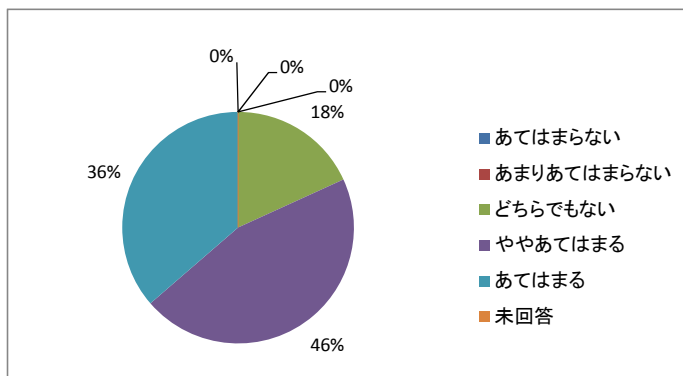
③専門科目が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	7
ややあてはまる	11
あてはまる	4
未回答	0



④研究指導が充実していた

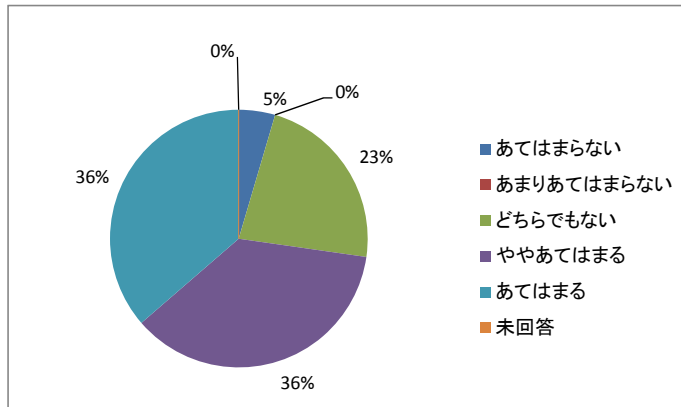
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	4
ややあてはまる	10
あてはまる	8
未回答	0





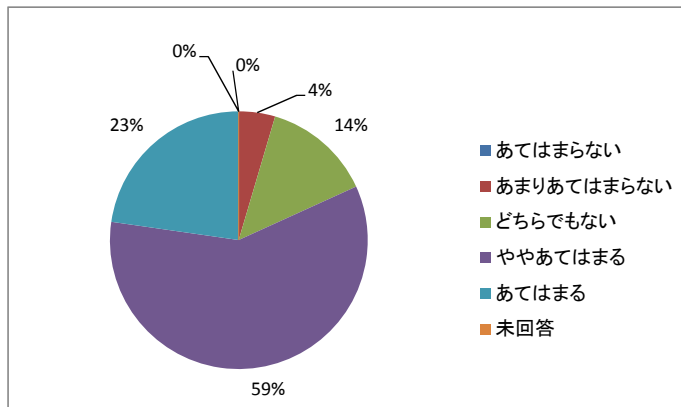
⑤教育研究設備や経費は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	8
あてはまる	8
未回答	0



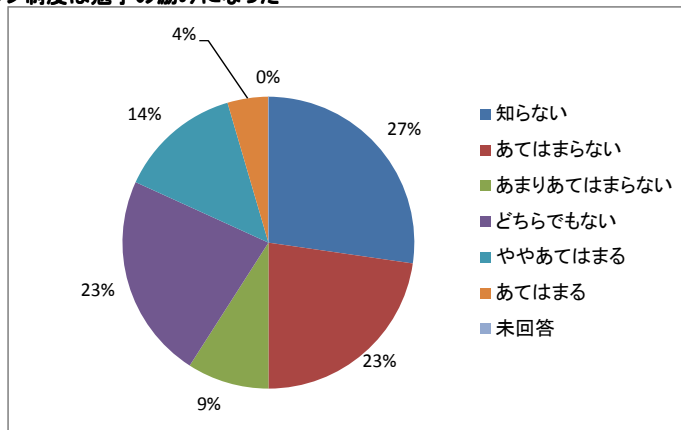
⑥全体的に大学院教育に満足であった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	13
あてはまる	5
未回答	0



⑦エクセレント・スチューデント・スカラシップ制度は勉学の励みになった

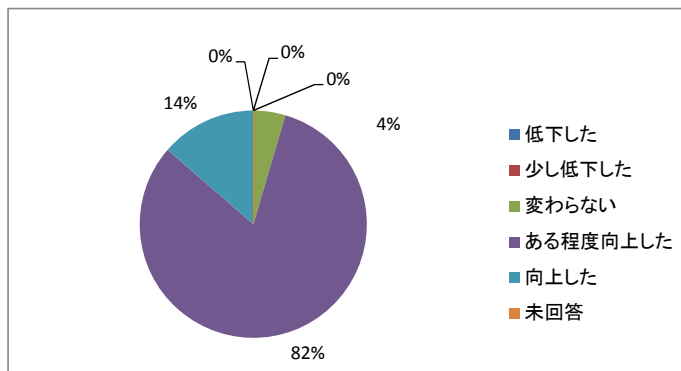
選択肢	回答
知らない	6
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	5
ややあてはまる	3
あてはまる	1
未回答	0



問7 大学院入学時と比較して貴方の能力の変化について

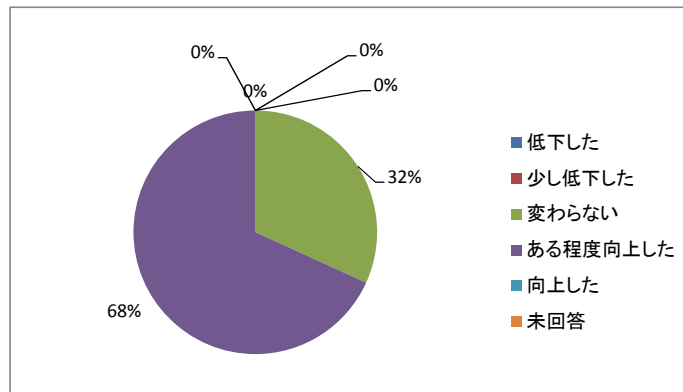
①文章表現力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	18
向上した	3
未回答	0



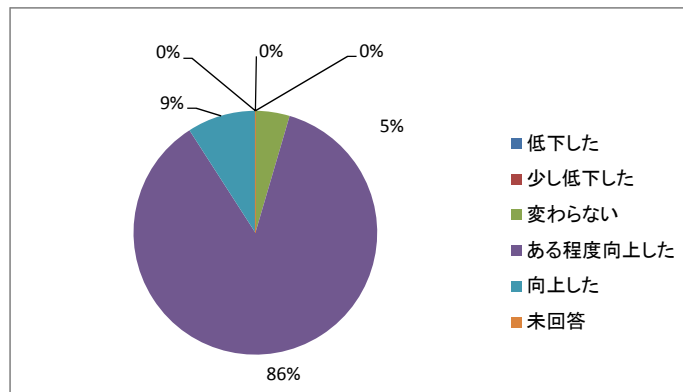
②応用力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	7
ある程度向上した	15
向上した	0
未回答	0



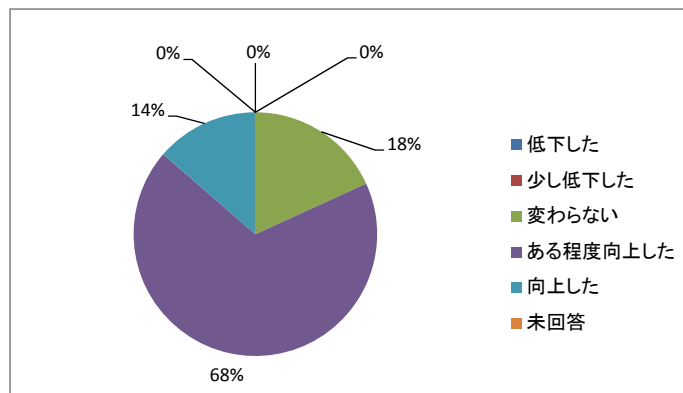
③思考力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	1
ある程度向上した	19
向上した	2
未回答	0



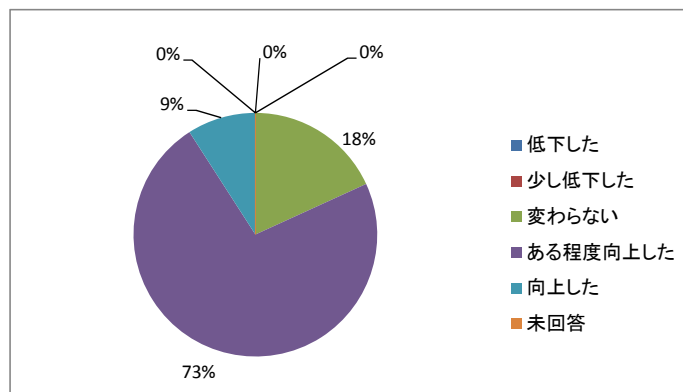
④論理性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	4
ある程度向上した	15
向上した	3
未回答	0



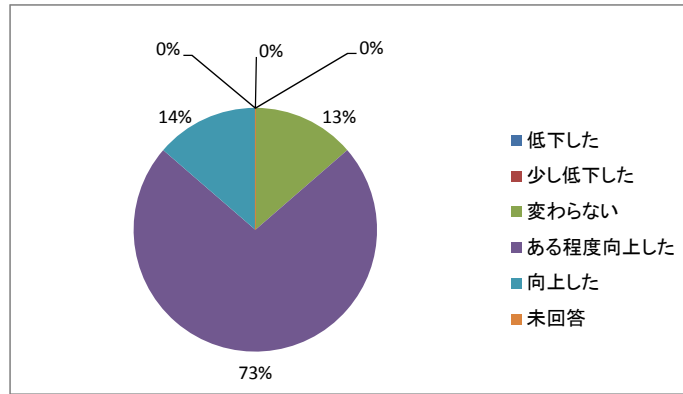
⑤クリティカル・シンキング(批判的思考)

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	4
ある程度向上した	16
向上した	2
未回答	0



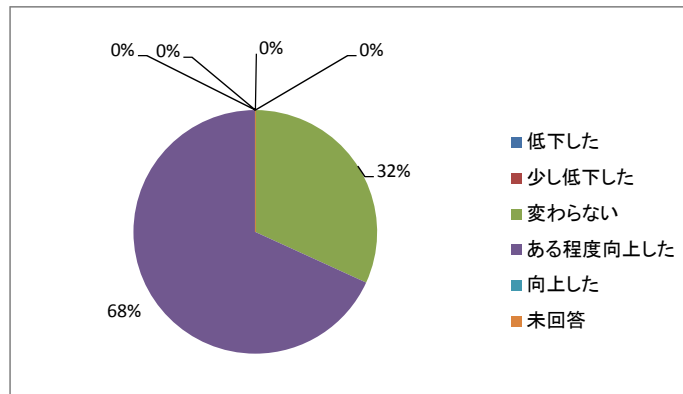
⑥分析力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	3
ある程度向上した	16
向上した	3
未回答	0



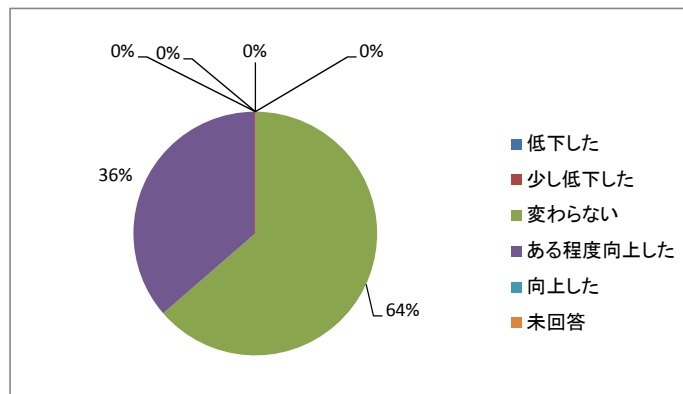
⑦主体性

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	7
ある程度向上した	15
向上した	0
未回答	0



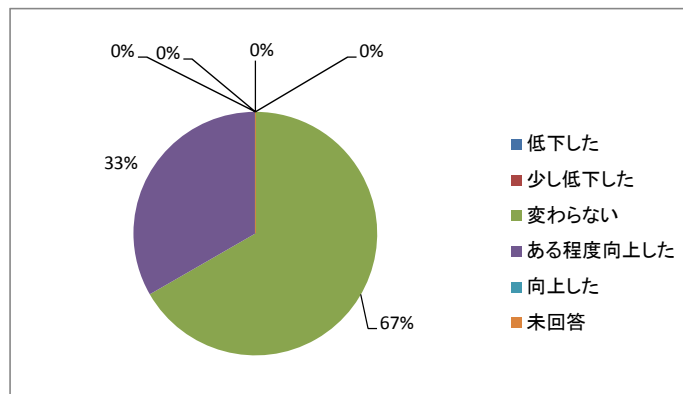
⑧リーダーシップ

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	14
ある程度向上した	8
向上した	0
未回答	0



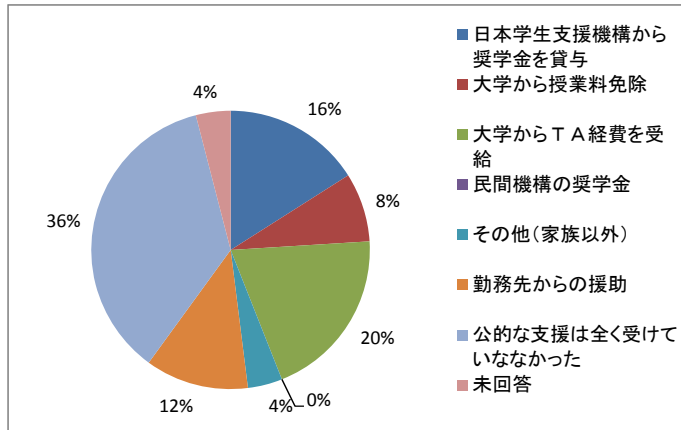
⑨語学力

選択肢	回答
低下した	0
少し低下した	0
変わらない	14
ある程度向上した	7
向上した	0
未回答	0



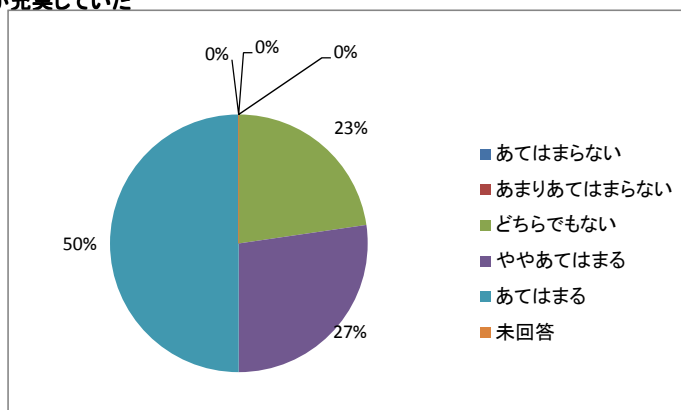
問8 大学院在学中の経済支援について

選択肢	8集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与	4
大学から授業料免除	2
大学からTA経費を受給	5
民間機構の奨学金	0
その他(家族以外)	1
勤務先からの援助	3
公的な支援は全く受けていなかった	9
未回答	1



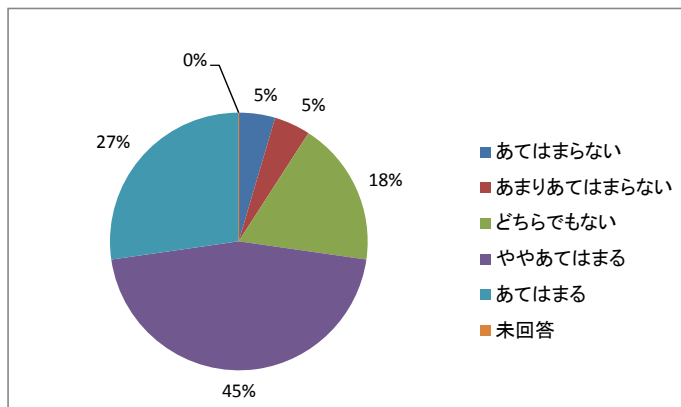
問9 大学院での学生生活について  
①指導教員(正、副)の支援(相談など)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	5
ややあてはまる	6
あてはまる	11
未回答	0



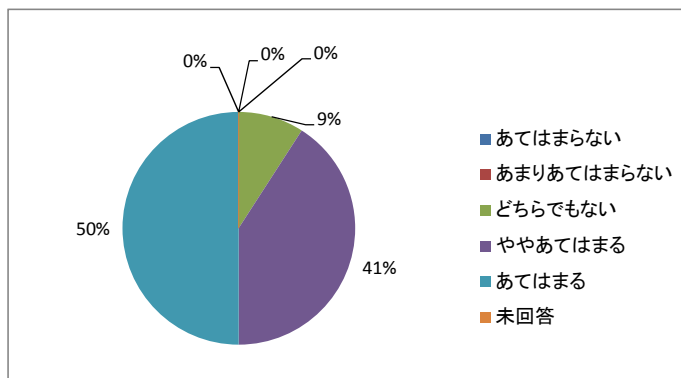
②事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	4
ややあてはまる	10
あてはまる	6
未回答	0



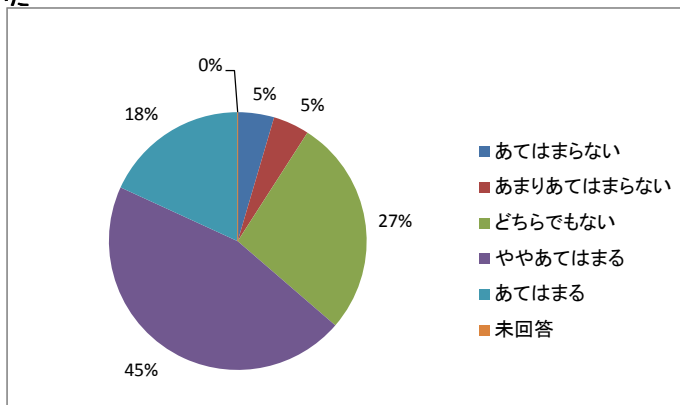
③研究室での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	9
あてはまる	11
未回答	0



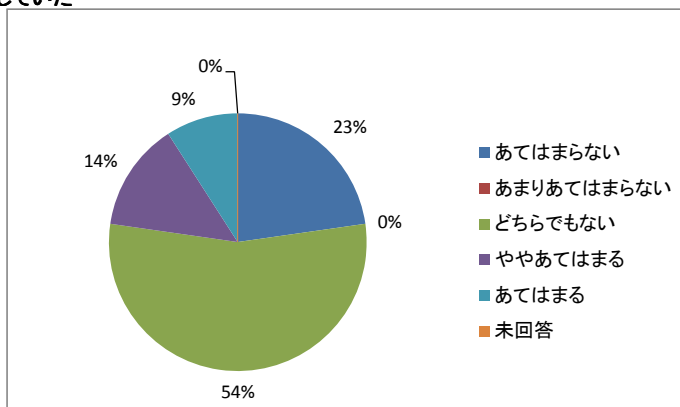
④研究室以外での友人関係が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	6
ややあてはまる	10
あてはまる	4
未回答	0



⑤就職支援やキャリアガイダンスが充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	5
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	12
ややあてはまる	3
あてはまる	2
未回答	0



## 研究科総評

研究科： 工学研究科

### 1. 集計結果のまとめ

アンケートは Web で実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する 322 名、そのうち 150 名が回答し、回答率は 47% だった。これは全学の調査対象学生数 1,104 名の 3 割に相当する学生数であり、回答者の 2 割に相当する。全学の回答率平均を下回るのは、紙媒体で実施しなかったこと及び設問数が 58 と多かったことが影響と思われる。

また、今回の設問の中で、設問 19, 25 は、研究科が掲げる人材養成の目的である「自ら課題を設定し、それを解決できる能力を有する高度専門技術者を養成する」という趣旨に沿った結果が反映されたものと考えられる。

設問 19 「論理的思考が向上した」については、86% が肯定的な回答をしている。

設問 25 「研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた」についても、84% が肯定的な回答をしている。

### 2. 次年度に向けた対応

今回のアンケート結果では、研究科全体として英語運用能力が弱い傾向があることが改めて浮き彫りとなった（設問 22, 29, 31）。

設問 22, 31 については、英語力が必ずしも必須でない分野もあるが、計画的に学習していないことが影響していると考ええる。

設問 29 については、英語力だけではなく、海外渡航という経済的な側面によって 3 割に留まっていると考ええる。

今後の国際社会での活躍には英語力の向上は必須であることから、これらの 2 点について、次のように取り組みたい。

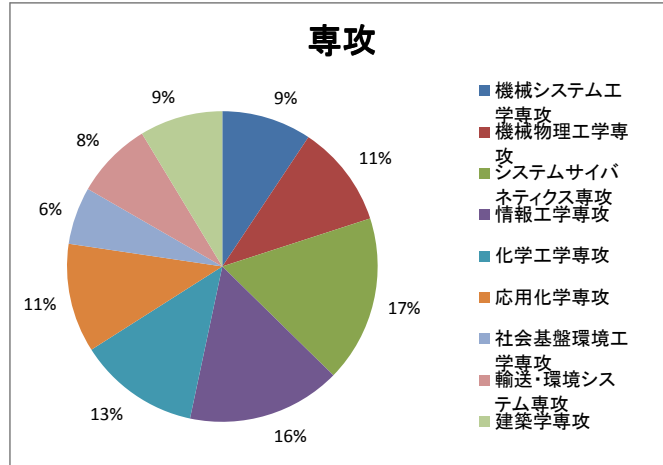
設問 22, 31 については、英語の専門教育機関である外国語教育センターの科目を活用し、必修科目として履修させる。

設問 29 については、学会発表に限定せず、海外共同研究、海外インターンシップ等、海外で活動する機会を増やすため、後援会、同窓会の協力を得て更なる経済的援助を実施したい。

また、博士課程後期進学に関する設問 58 において、24% の学生が経済的理由で進学を断念していることがわかった。博士課程後期の充足率向上の観点からも、現在研究科独自で行っている「工学研究科奨学金」による更なる経済的援助を実施したい。

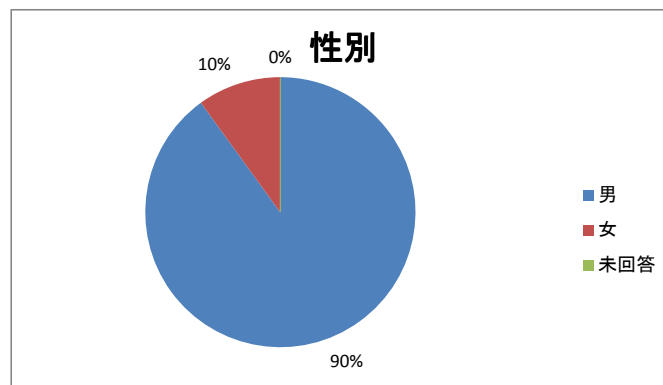
問1 現在の所属する専攻

選択肢	1集計
機械システム工学専攻	14
機械物理学専攻	16
システムサイバネティクス専攻	26
情報工学専攻	24
化学工学専攻	19
応用化学専攻	17
社会基盤環境工学専攻	9
輸送・環境システム専攻	12
建築学専攻	13



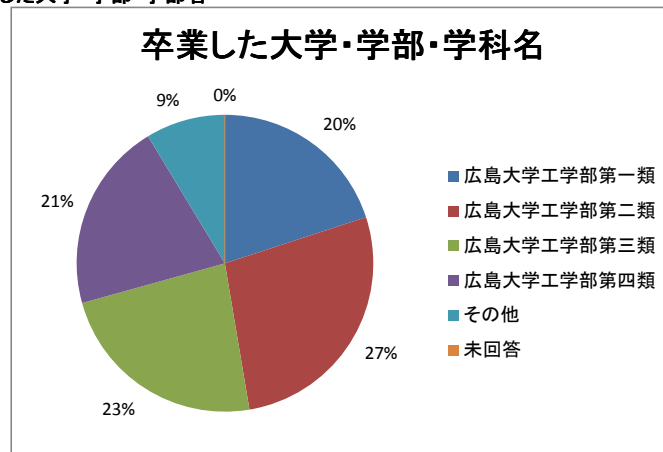
問2 性別

選択肢	回答
男	135
女	15
未回答	0



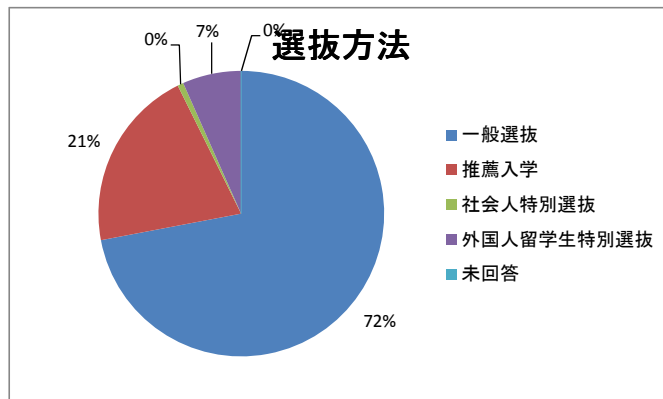
問3 工学研究科へ入学する前に、卒業した大学・学部・学科名

選択肢	回答
広島大学工学部第一類	30
広島大学工学部第二類	41
広島大学工学部第三類	35
広島大学工学部第四類	31
その他	13
未回答	0



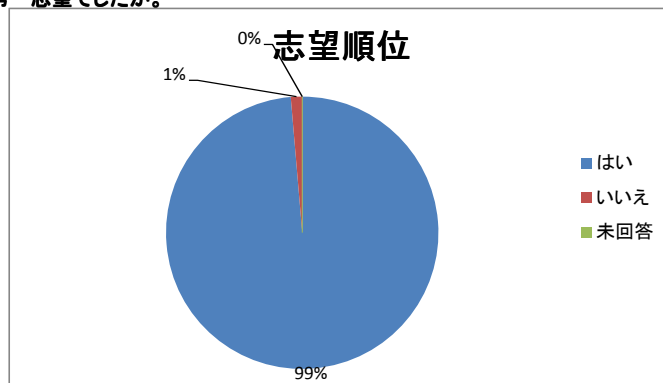
問5 工学研究科へはどの選抜方法で入学されましたか。

選択肢	回答
一般選抜	108
推薦入学	31
社会人特別選抜	1
外国人留学生特別選抜	10
未回答	0



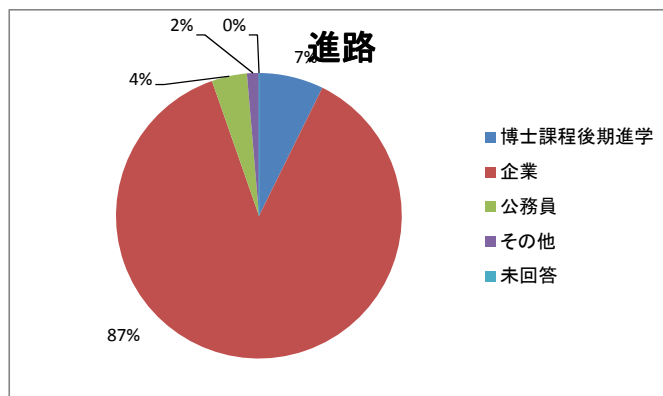
問6 広島大学工学研究科への志望は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	148
いいえ	2
未回答	0



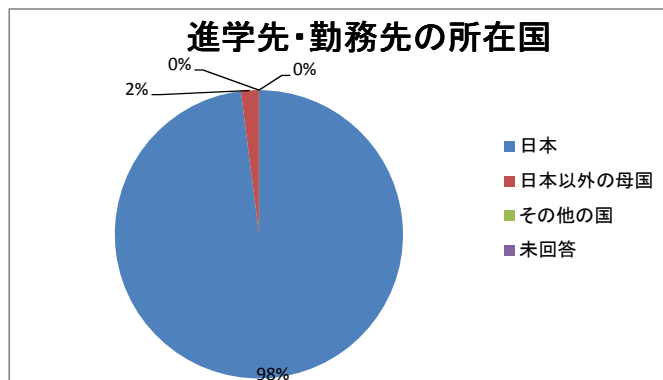
問8 博士課程前期修了後の進路について

選択肢	回答
博士課程後期進学	11
企業	131
公務員	6
その他	2
未回答	0



問9 進学先・勤務先の所在国

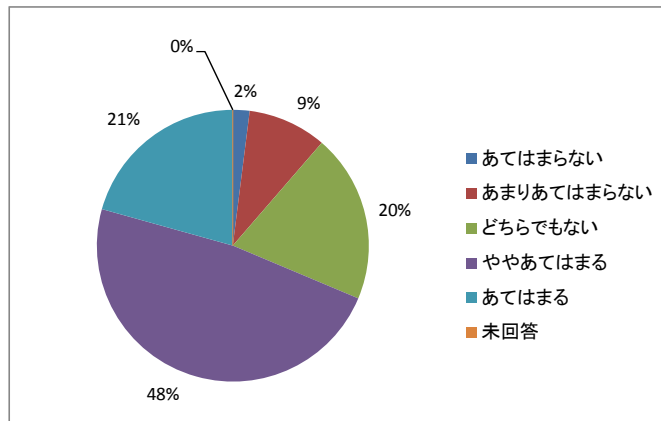
選択肢	回答
日本	147
日本以外の母国	3
その他の国	0
未回答	0





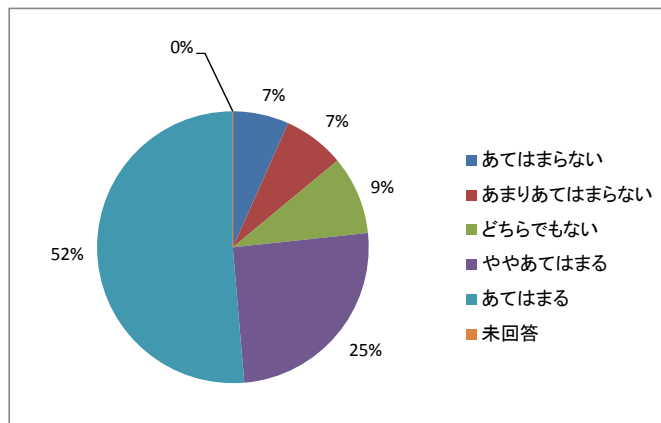
大学院で受けた教育について  
問12 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	14
どちらでもない	30
ややあてはまる	72
あてはまる	31
未回答	0



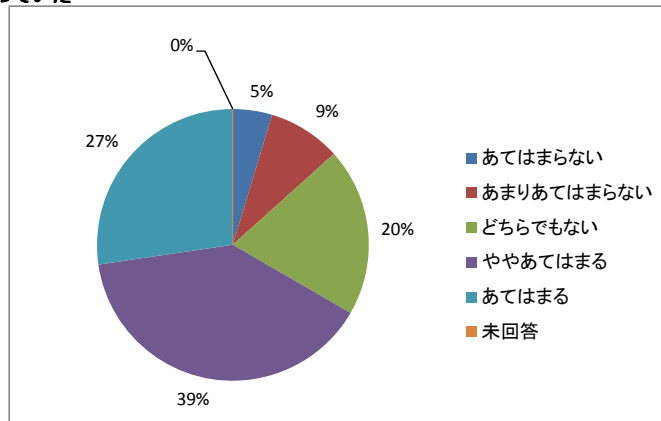
問13 修士論文の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	10
あまりあてはまらない	11
どちらでもない	14
ややあてはまる	38
あてはまる	77
未回答	0



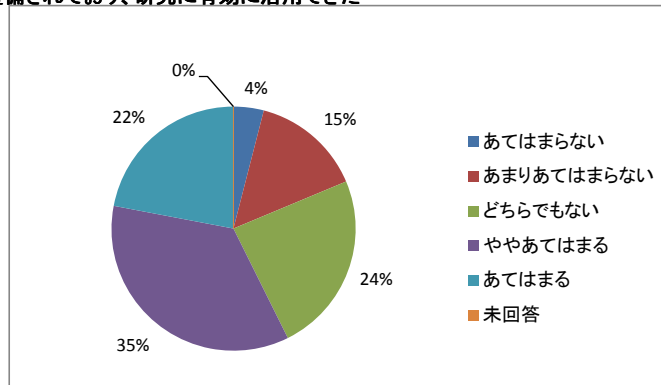
問14 大学のICT(情報端末)環境は整っていた

選択肢	回答
あてはまらない	7
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	30
ややあてはまる	59
あてはまる	41
未回答	0



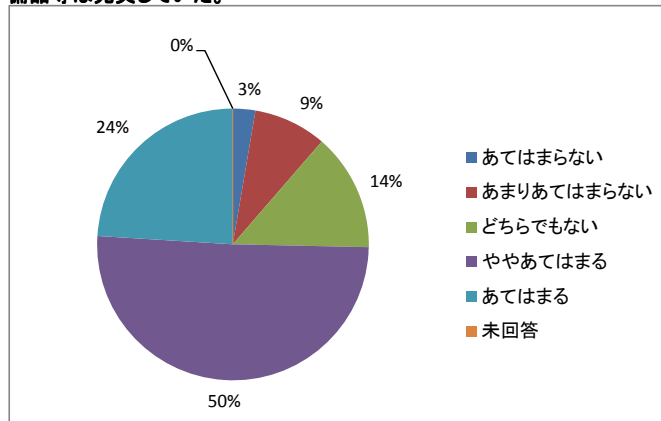
問15 図書や学術雑誌、AV資料等が整備されており、研究に有効に活用できた

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	22
どちらでもない	36
ややあてはまる	53
あてはまる	33
未回答	0



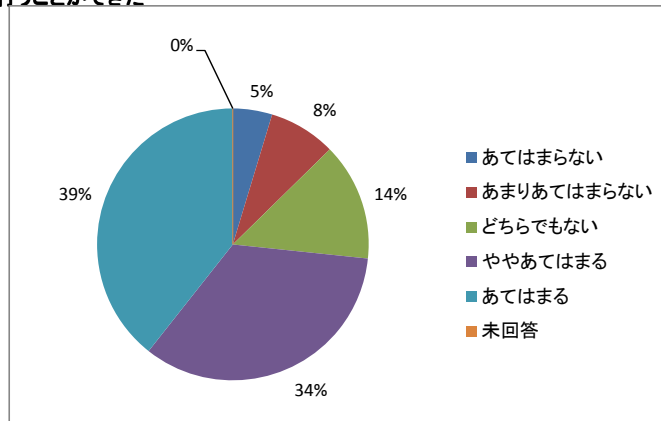
問16 全体的に教育・研究に係る設備や備品等は充実していた。

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	21
ややあてはまる	76
あてはまる	36
未回答	0



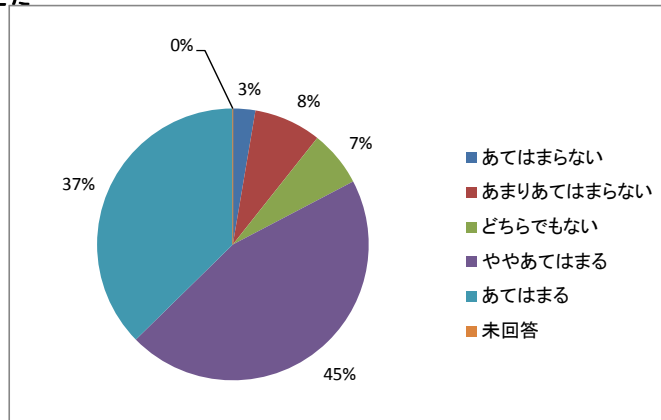
問17 研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	7
あまりあてはまらない	12
どちらでもない	21
ややあてはまる	51
あてはまる	59
未回答	0



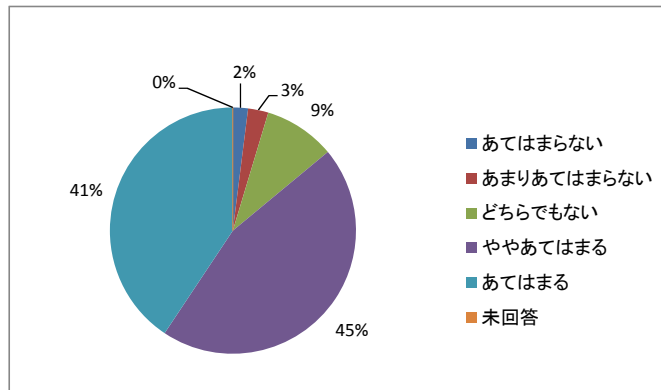
問18 専門分野の知識と技能を修得できた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	12
どちらでもない	10
ややあてはまる	68
あてはまる	56
未回答	0



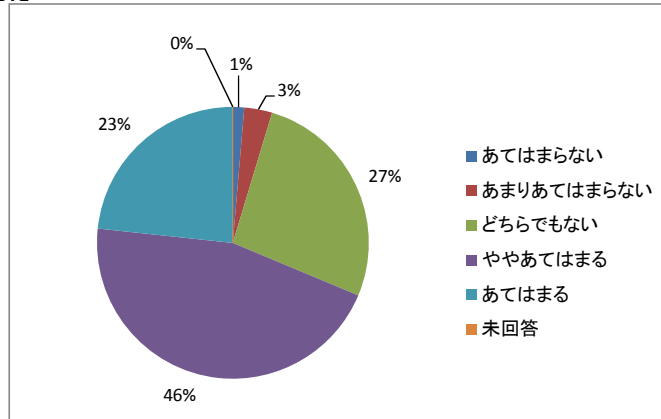
大学院での教育と研究の成果について  
問19 論理的思考が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	14
ややあてはまる	68
あてはまる	61
未回答	0



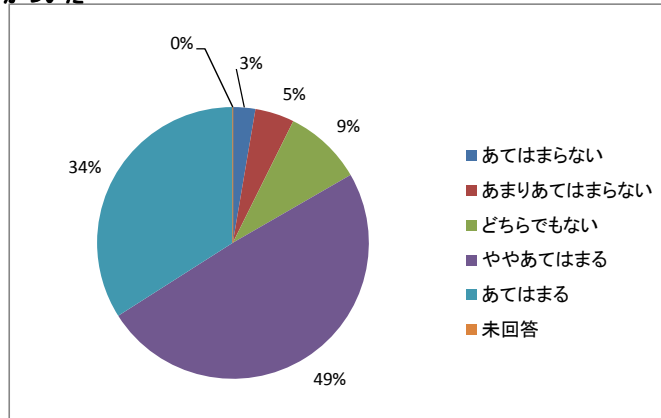
問20 物事を批判的に考える力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	40
ややあてはまる	68
あてはまる	35
未回答	0



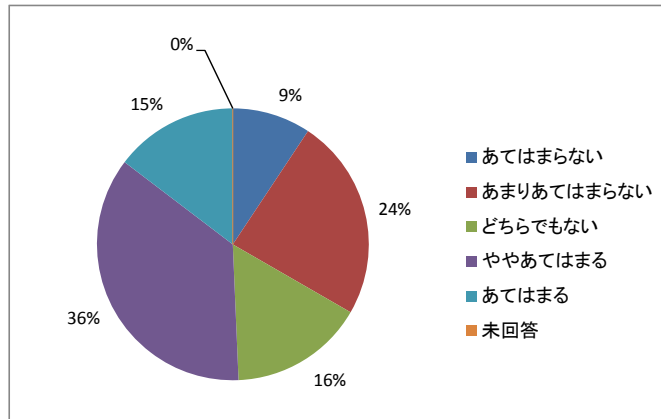
問21 研究成果を分かり易く発表する力がついた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	7
どちらでもない	14
ややあてはまる	74
あてはまる	51
未回答	0



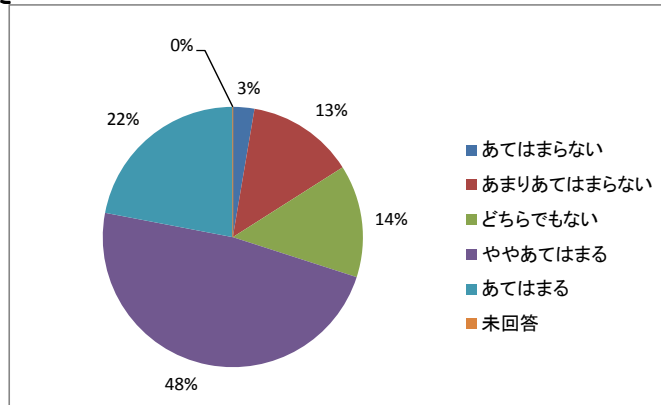
問22 外国語運用能力が向上した

選択肢	回答
あてはまらない	14
あまりあてはまらない	36
どちらでもない	24
ややあてはまる	54
あてはまる	22
未回答	0



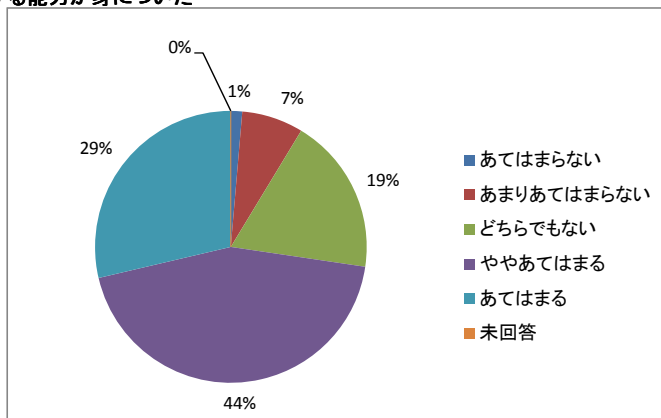
問23 学習における計画力が身についた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	20
どちらでもない	21
ややあてはまる	72
あてはまる	33
未回答	0



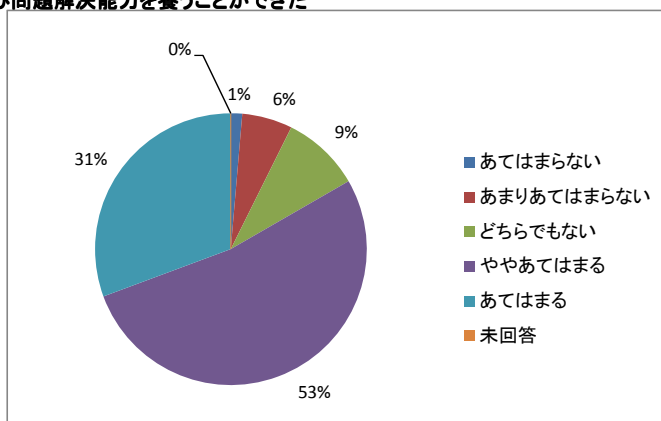
問24 研究推進において自立して学習する能力が身についた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	11
どちらでもない	28
ややあてはまる	66
あてはまる	43
未回答	0



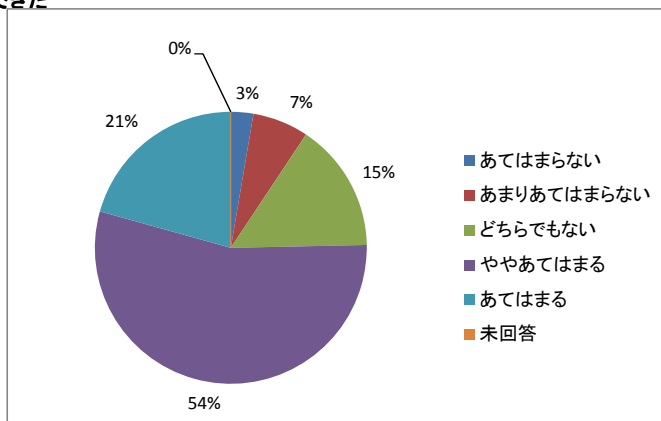
問25 研究等を通じて課題探求能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	9
どちらでもない	14
ややあてはまる	79
あてはまる	46
未回答	0



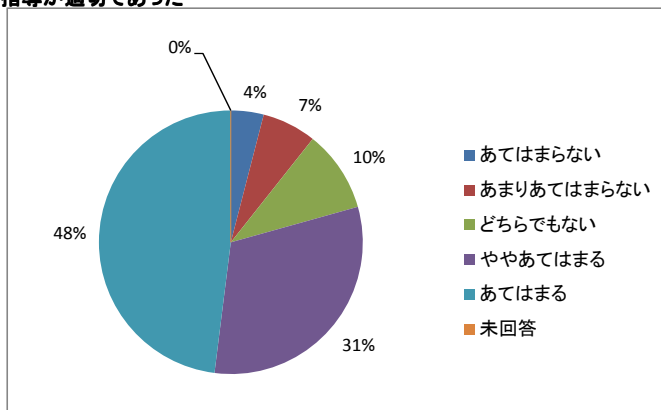
問26 専門分野で必要なスキルを修得できた

選択肢	回答
あてはまらない	4
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	23
ややあてはまる	82
あてはまる	31
未回答	0



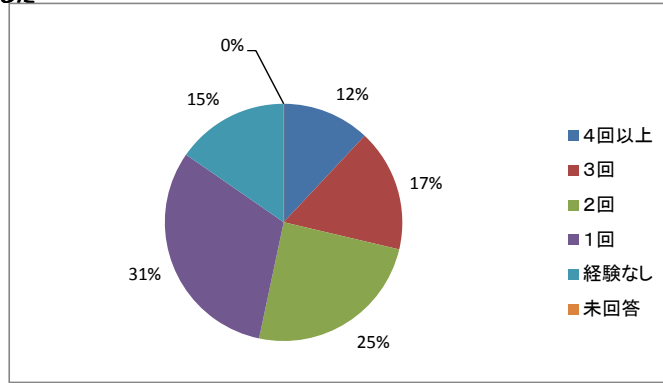
問27 学会等での発表に際して、助言と指導が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	15
ややあてはまる	47
あてはまる	72
未回答	0



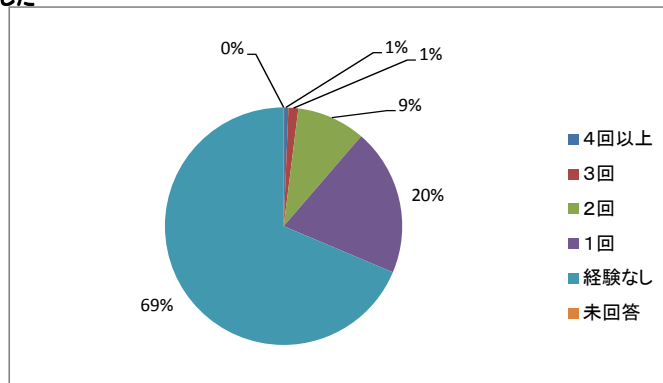
問28 大学院在学中に国内学会で発表した

選択肢	回答
4回以上	18
3回	25
2回	37
1回	47
経験なし	23
未回答	0



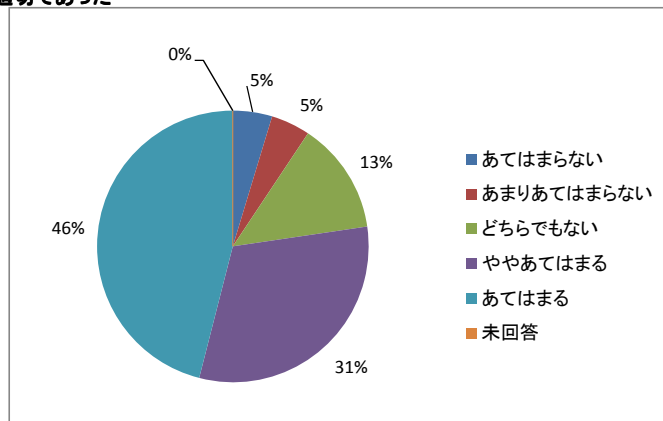
問29 大学院在学中に国際学会で発表した

選択肢	回答
4回以上	1
3回	2
2回	14
1回	30
経験なし	103
未回答	0



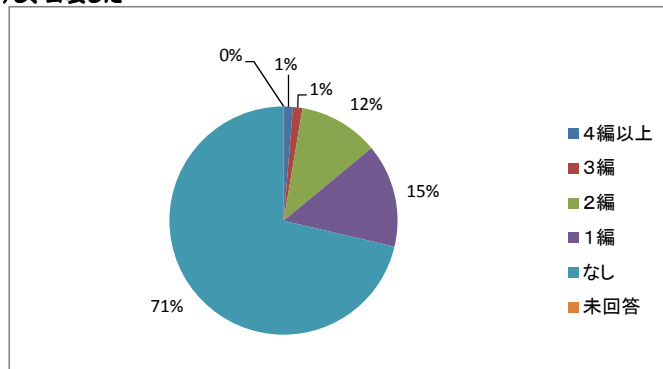
問30 論文発表に関する助言と指導が適切であった

選択肢	回答
あてはまらない	7
あまりあてはまらない	7
どちらでもない	20
ややあてはまる	47
あてはまる	69
未回答	0



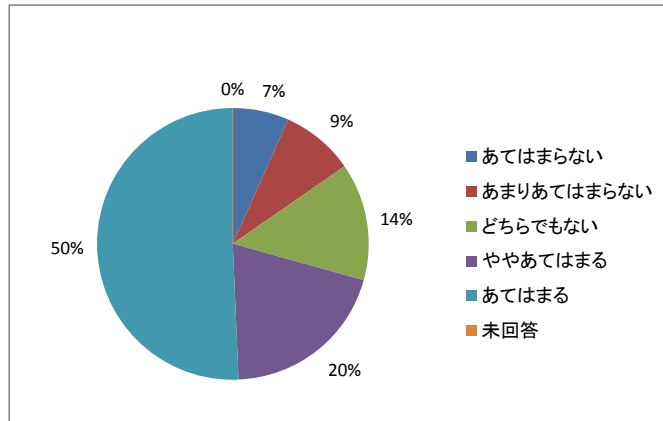
問31 英語で論文を執筆(共著も含めて)し、公表した

選択肢	回答
4編以上	2
3編	2
2編	17
1編	22
なし	107
未回答	0



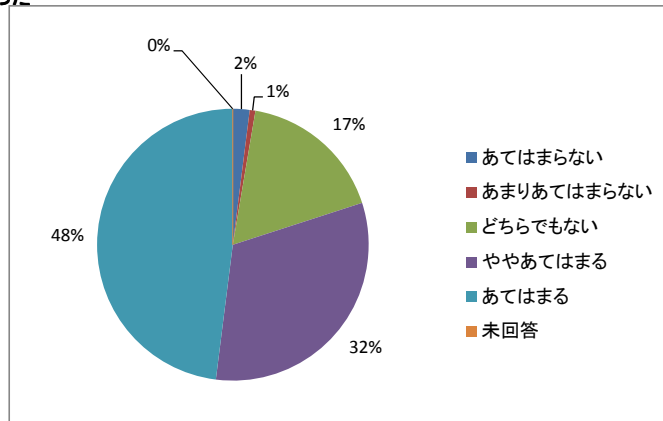
大学院での学生生活についての質問  
問33 教員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	10
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	21
ややあてはまる	30
あてはまる	76
未回答	0



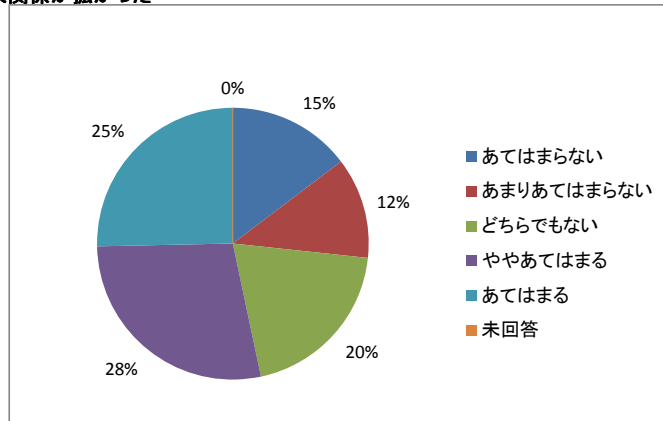
問34 事務系職員との関係は良好であった

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	26
ややあてはまる	48
あてはまる	72
未回答	0



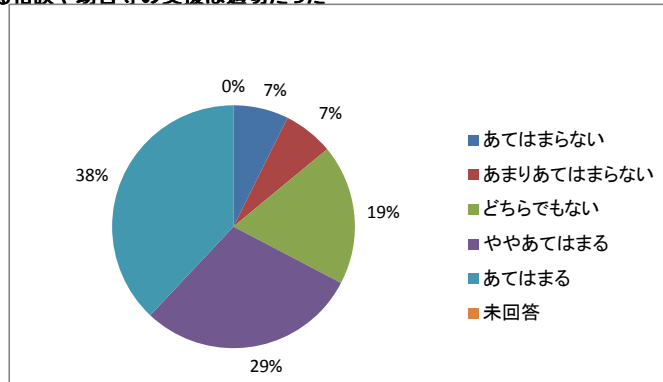
問35 共同研究等の活動をとおして友人関係が広がった

選択肢	回答
あてはまらない	22
あまりあてはまらない	18
どちらでもない	30
ややあてはまる	42
あてはまる	38
未回答	0



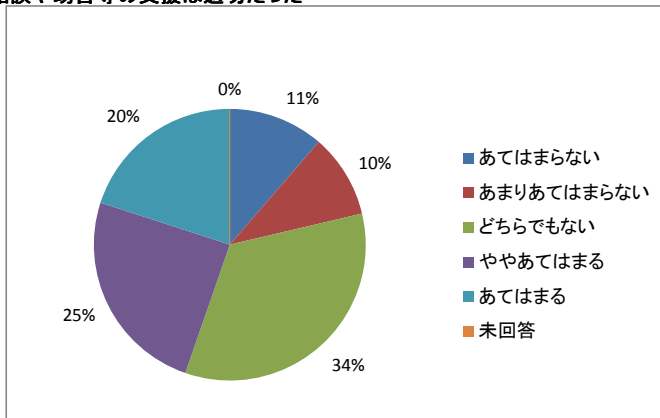
問36 教職員による進路や就職に関する相談や助言等の支援は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	11
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	28
ややあてはまる	44
あてはまる	57
未回答	0



問37 教職員による経済面を含む生活相談や助言等の支援は適切だった

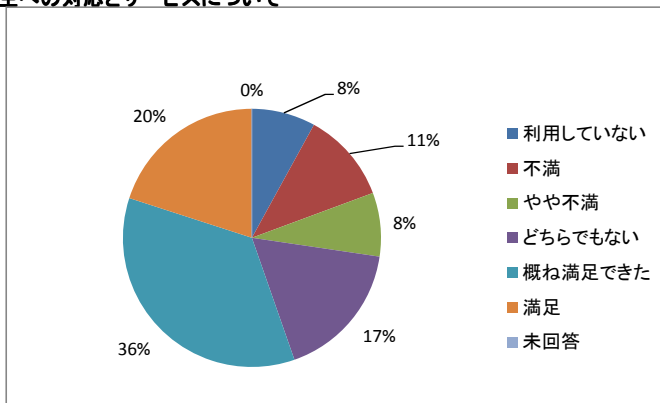
選択肢	回答
あてはまらない	17
あまりあてはまらない	15
どちらでもない	51
ややあてはまる	37
あてはまる	30
未回答	0



在学期間中の学生生活に関する満足度について

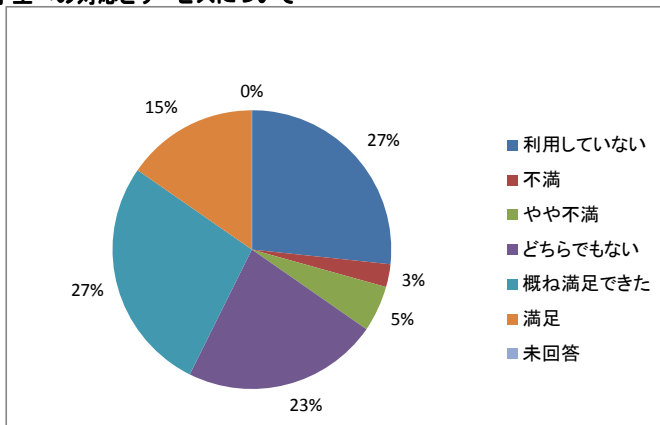
問38 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービスについて

選択肢	回答
利用していない	12
不満	17
やや不満	12
どちらでもない	26
概ね満足できた	53
満足	30
未回答	0



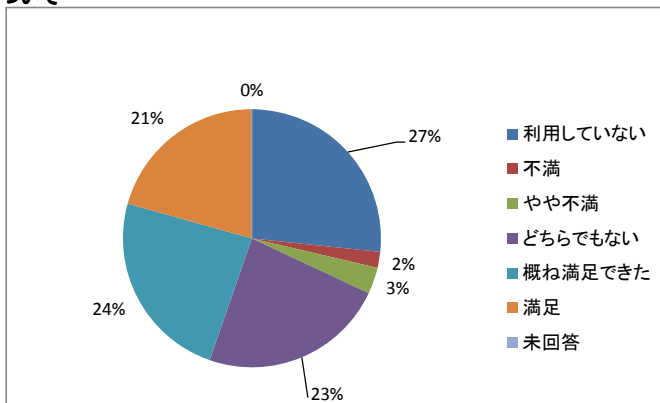
問39 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービスについて

選択肢	回答
利用していない	40
不満	4
やや不満	8
どちらでもない	34
概ね満足できた	41
満足	23
未回答	0



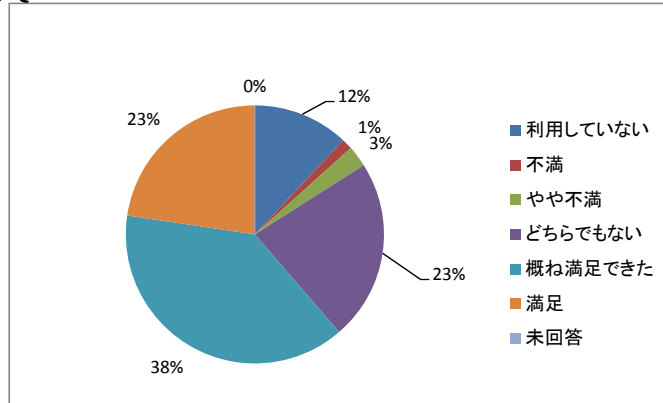
問40 保健管理センターの対応とケアについて

選択肢	回答
利用していない	40
不満	3
やや不満	5
どちらでもない	35
概ね満足できた	36
満足	31
未回答	0



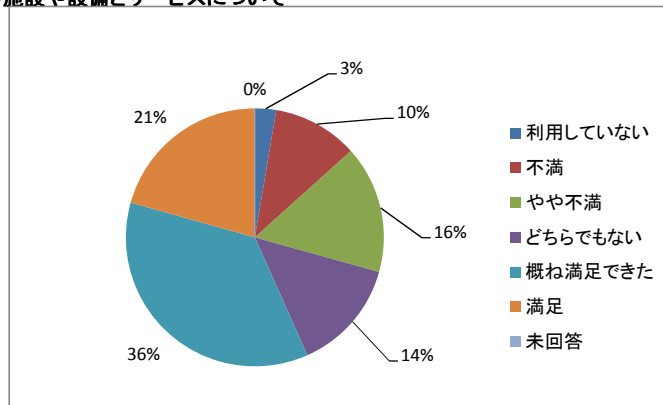
問41 図書館での対応やサービスについて

選択肢	回答
利用していない	18
不満	2
やや不満	4
どちらでもない	34
概ね満足できた	58
満足	34
未回答	0



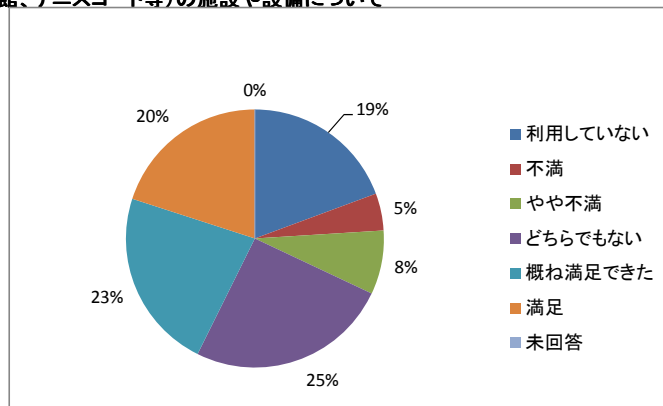
問42 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービスについて

選択肢	回答
利用していない	4
不満	16
やや不満	24
どちらでもない	21
概ね満足できた	54
満足	31
未回答	0



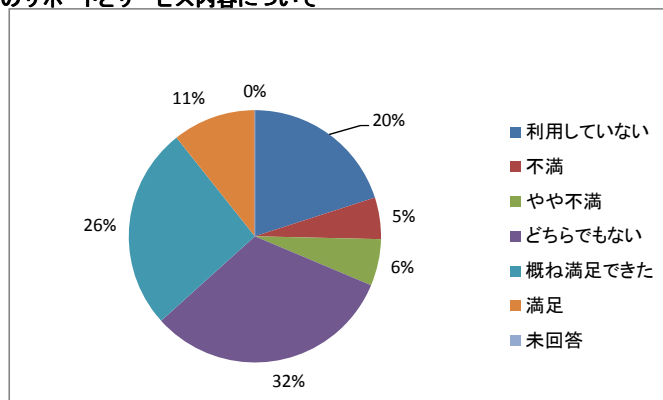
問43 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備について

選択肢	回答
利用していない	29
不満	7
やや不満	12
どちらでもない	38
概ね満足できた	34
満足	30
未回答	0



問44 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容について

選択肢	回答
利用していない	30
不満	8
やや不満	9
どちらでもない	48
概ね満足できた	39
満足	16
未回答	0

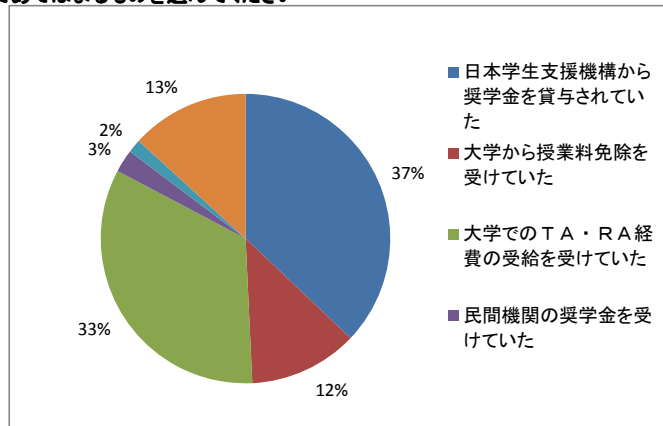




大学院在学中の経済的支援について

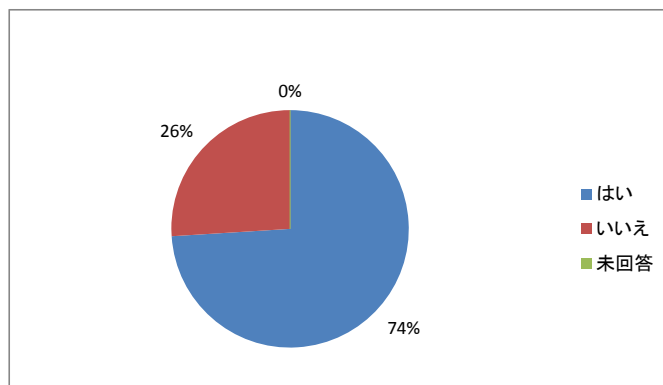
問46 あなたが受けていた経済的支援であてはまるものを選んでください

選択肢	46集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与されていた	73
大学から授業料免除を受けていた	24
大学でのTA・RA経費の受給を受けていた	66
民間機関の奨学金を受けていた	5
その他の経済的支援は受けていなかった	3
公的な経済的支援は受けていなかった	26



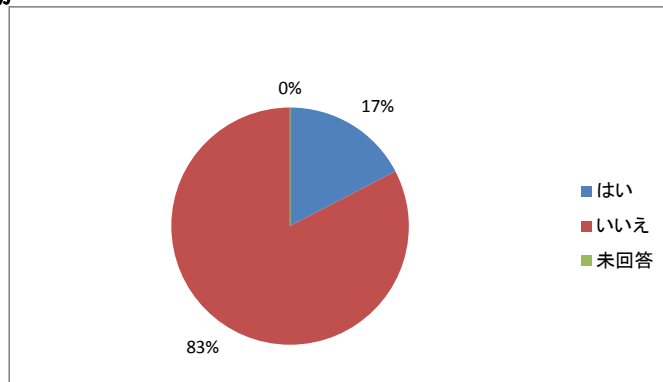
問48 アルバイトをしていましたか

選択肢	回答
はい	111
いいえ	39
未回答	0



問49 経済的に困窮したことはありますか

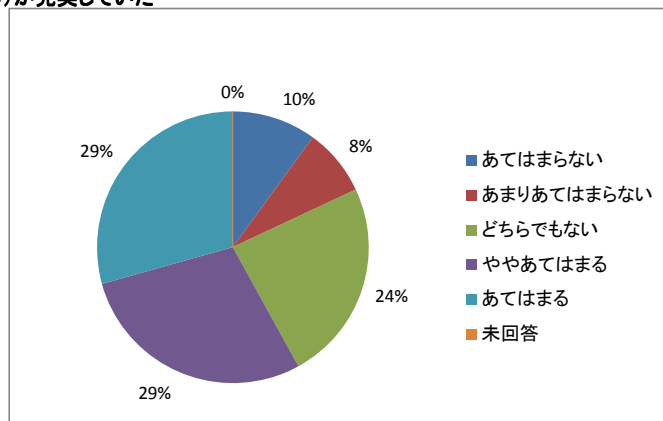
選択肢	回答
はい	26
いいえ	124
未回答	0



大学院修了後の進路選択について

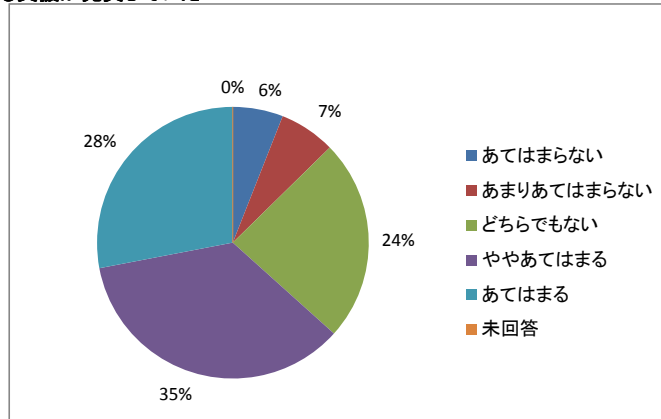
問52 指導教員(正・副)の支援(相談等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	15
あまりあてはまらない	12
どちらでもない	36
ややあてはまる	43
あてはまる	44
未回答	0



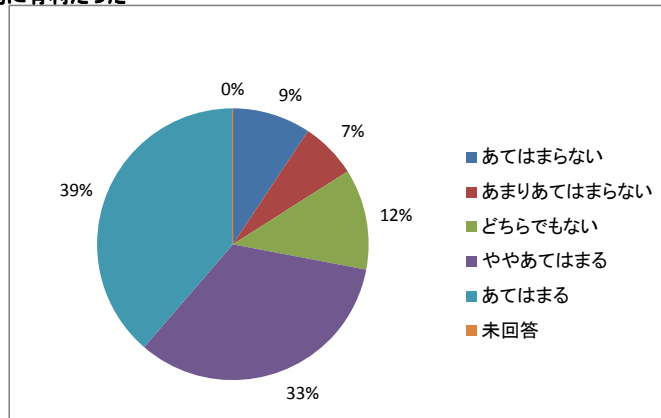
問53 就職指導教員又は各専攻における支援が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	9
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	36
ややあてはまる	53
あてはまる	42
未回答	0



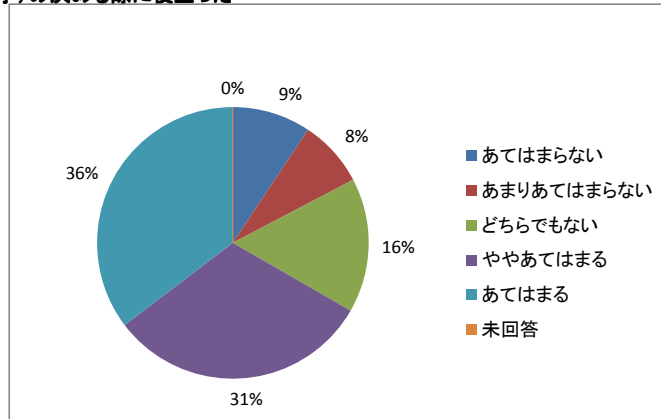
問54 大学院で学修したことが就職活動に有利だった

選択肢	回答
あてはまらない	14
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	18
ややあてはまる	50
あてはまる	58
未回答	0



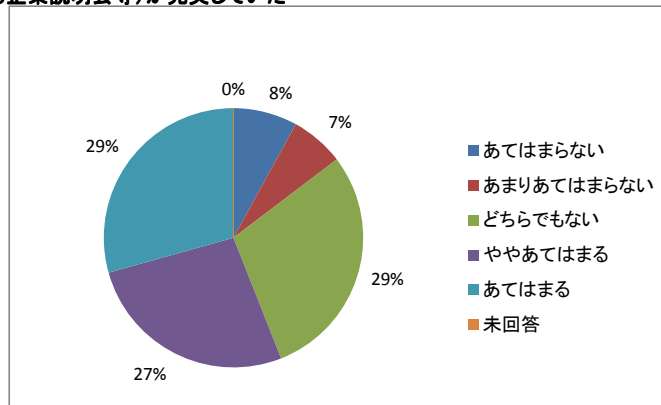
問55 大学院で学修したことが就職(進学)の決める際に役立った

選択肢	回答
あてはまらない	14
あまりあてはまらない	12
どちらでもない	24
ややあてはまる	47
あてはまる	53
未回答	0



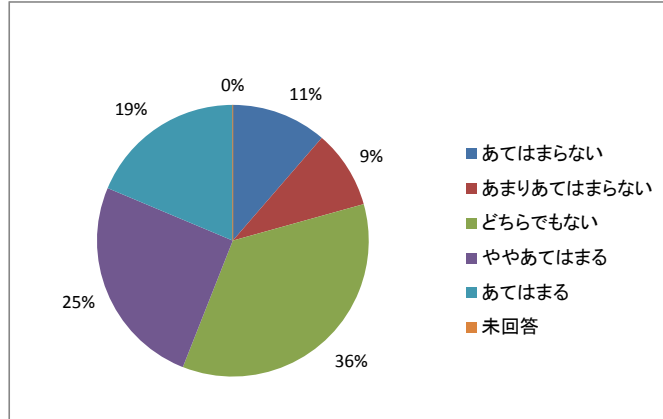
問56 工学研究科の支援(工業会による企業説明会等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	12
あまりあてはまらない	10
どちらでもない	44
ややあてはまる	40
あてはまる	44
未回答	0



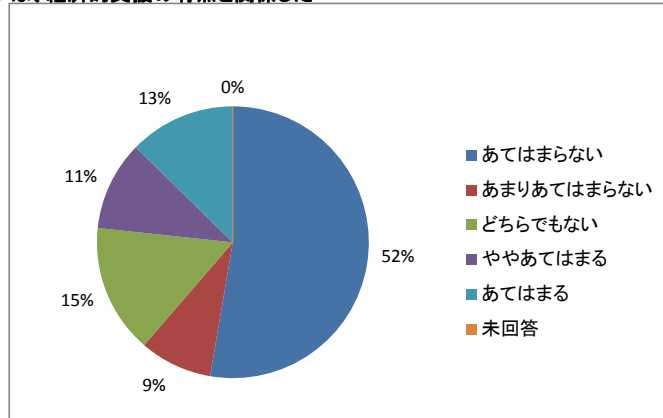
問57 キャリアセンターの支援(進路相談、各種セミナー、キャリアデザインノート等)が充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	17
あまりあてはまらない	14
どちらでもない	53
ややあてはまる	38
あてはまる	28
未回答	0



問58 博士課程後期に進学するかどうかは、経済的支援の有無と関係した

選択肢	回答
あてはまらない	79
あまりあてはまらない	13
どちらでもない	23
ややあてはまる	16
あてはまる	19
未回答	0



## 研究科総評

### 研究科：生物圏科学研究科

#### 1. 集計結果のまとめ

アンケートは回収率を高めるため紙媒体で行った。博士課程前期の修了者 64 名中、52 名が回答し、回答率は 81%であった。

(設問 2) 講義の満足度では、90%の学生が「大変満足」と「ほぼ満足」に回答した。

(設問 7) 共同セミナーの満足度では、77%の学生が「大変満足」と「ほぼ満足」に回答した。

(設問 12, 14, 15) 修士論文研究では、77%の学生が「大変満足」と「ほぼ満足」に回答し、17%の学生が「多少不満」、4%の学生が「大変不満」と回答した。また、研究指導については、90%の学生が修士修了時点で役に立ったと回答し、88%の学生が将来役に立つと思うと回答した。

(設問 17) 高度な科学知識の習得については、36%の学生が十分であったと回答し、60%の学生が普通（過不足がなかった）と回答した。

(設問 19, 21, 23) 「実験計画立案能力の育成」、「幅広実験技術の習得」、「実験結果の評価や解析技術の習得」については、「十分であった」との回答がそれぞれの設問で 21%、35%、40%、「普通（過不足がなかった）」との回答がそれぞれ 73%、61%、54%、「不足していた」との回答がそれぞれ 6%、4%、6%であった。

(設問 25, 27) 「プレゼンテーション技術の習得」、「論文作成能力の習得」については、「十分であった」との回答がそれぞれの設問で 46%、40%、「普通（過不足がなかった）」との回答がそれぞれ 48%、52%、「不足していた」との回答がそれぞれ 6%、8%であった。

#### 2. 次年度に向けた対応

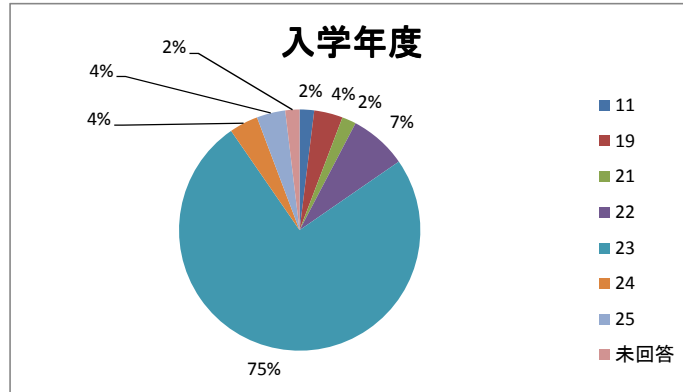
今回のアンケート調査では、生物圏科学研究科の教育カリキュラム（講義、修士論文研究）に対する学生の評価はおおむね良好であった。

(設問 12) 修士論文研究の満足度で、17%の学生が「多少不満」、4%の学生が「大変不満」と回答している。この不満の原因を明らかにし、満足度の向上を図ることが必要である。

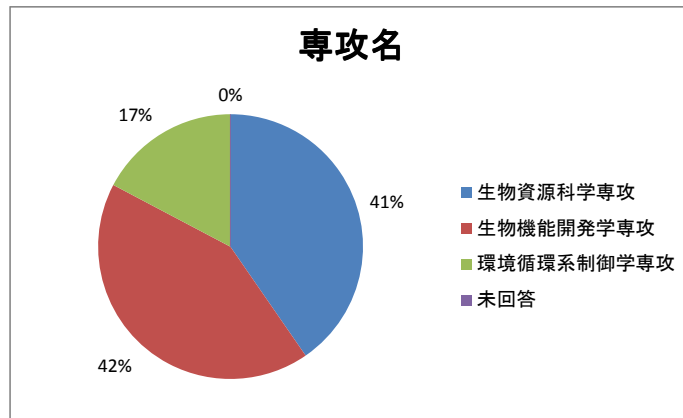
(設問 19, 21, 23, 25, 27) 「実験計画立案能力の育成」、「幅広実験技術の習得」、「実験結果の評価や解析技術の習得」、「プレゼンテーション技術の習得」、「論文作成能力の習得」について、「普通（過不足がなかった）」との回答が多く認められた。これらの技術や能力の習得については、就職後や後期課程への進学後に役立つものであることから、指導教員の個人的な指導に任せない新たな教育プログラムの構築が必要である。

これらの課題については、複数指導教員制度の更なる実質化により解決できると考えられるが、専門的な講義・演習科目の設置も検討していく予定である。

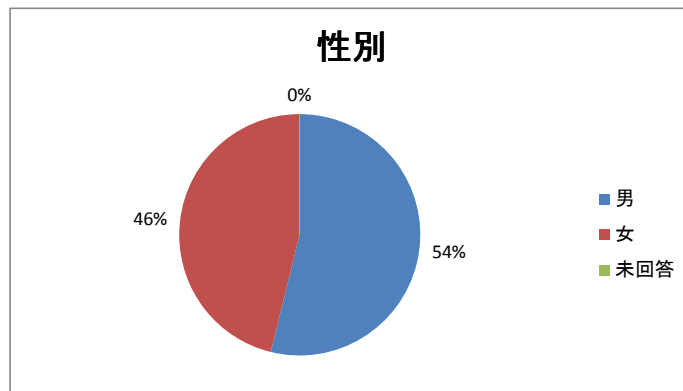
入学年度	
入学年度	入学年度集計
11	1
19	2
21	1
22	4
23	39
24	2
25	2
未回答	1



専攻名	
選択肢	回答
生物資源科学専攻	21
生物機能開発学専攻	22
環境循環系制御学専攻	9
未回答	0



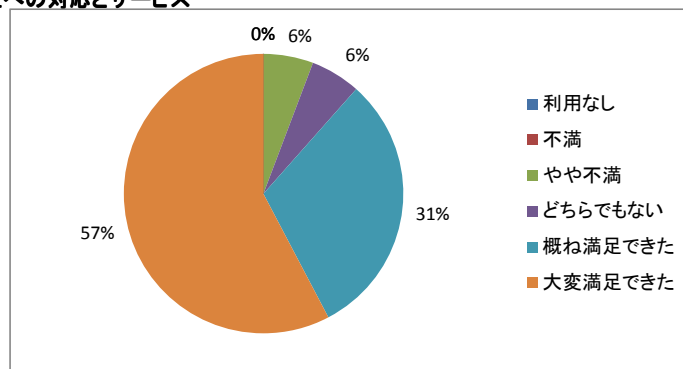
性別	
選択肢	回答
男	28
女	24
未回答	0



問1 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

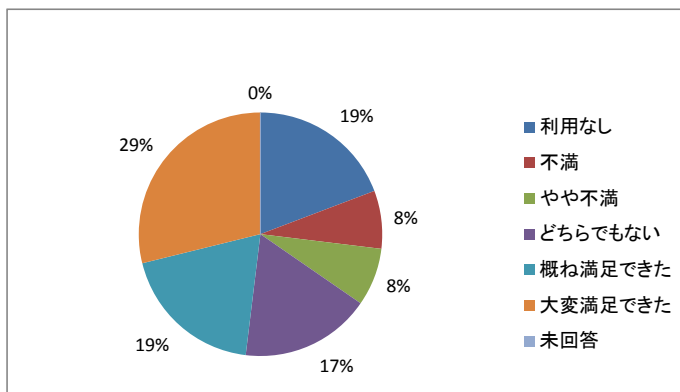
1-1 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	3
どちらでもない	3
概ね満足できた	16
大変満足できた	30



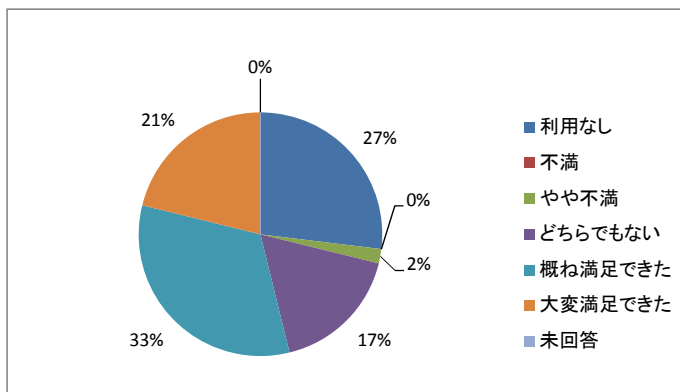
### 1-2 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	10
不満	4
やや不満	4
どちらでもない	9
概ね満足できた	10
大変満足できた	15
未回答	0



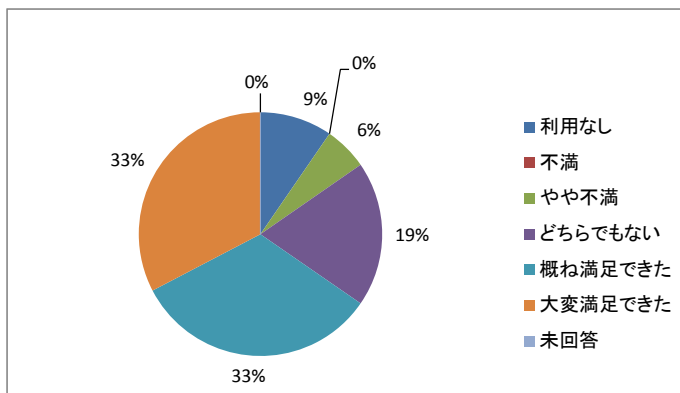
### 1-3 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	14
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	9
概ね満足できた	17
大変満足できた	11
未回答	0



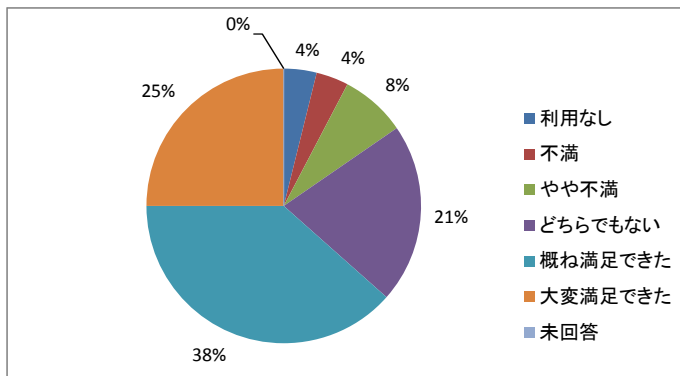
### 1-4 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	5
不満	0
やや不満	3
どちらでもない	10
概ね満足できた	17
大変満足できた	17
未回答	0



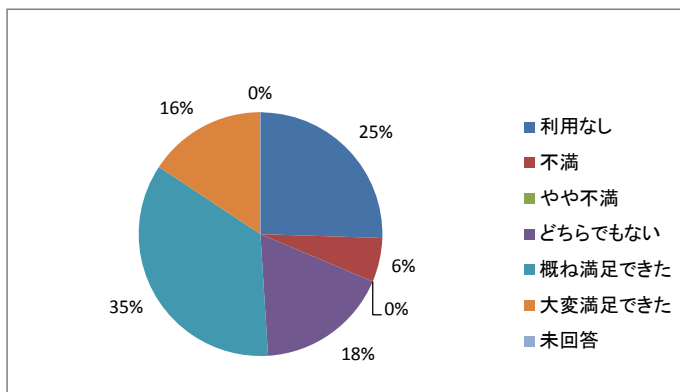
### 1-5 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	2
不満	2
やや不満	4
どちらでもない	11
概ね満足できた	20
大変満足できた	13
未回答	0



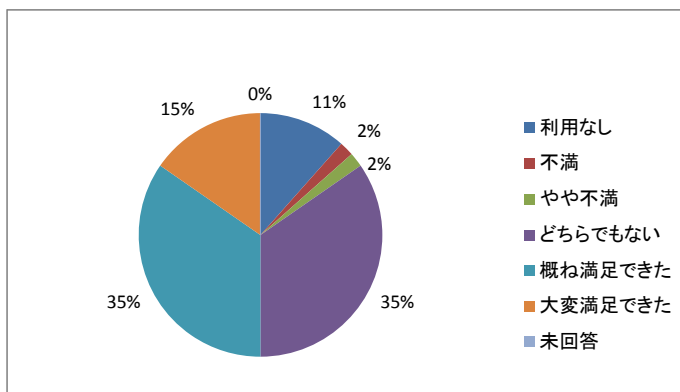
1-6 課外活動施設(グラウンドや体育館,テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	13
不満	3
やや不満	0
どちらでもない	9
概ね満足できた	18
大変満足できた	8
未回答	0



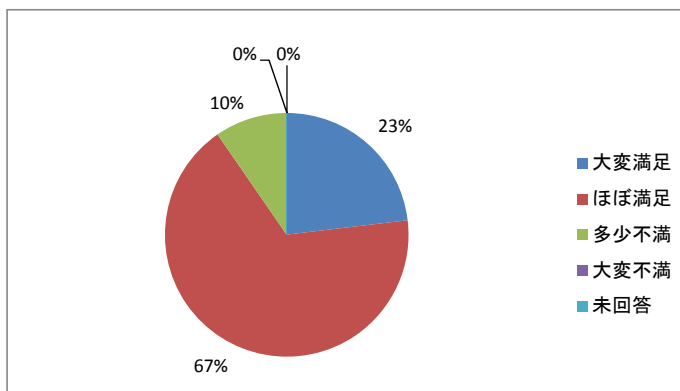
1-7 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

選択肢	回答
利用なし	6
不満	1
やや不満	1
どちらでもない	18
概ね満足できた	18
大変満足できた	8
未回答	0



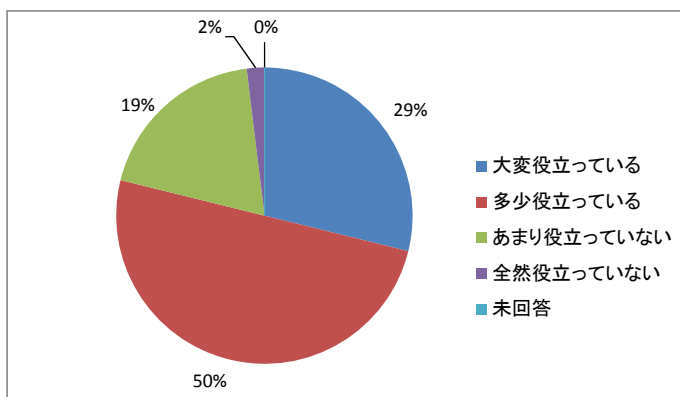
問2 生物圏科学研究科博士課程前期の講義科目は満足できましたか？

選択肢	回答
大変満足	12
ほぼ満足	35
多少不満	5
大変不満	0
未回答	0



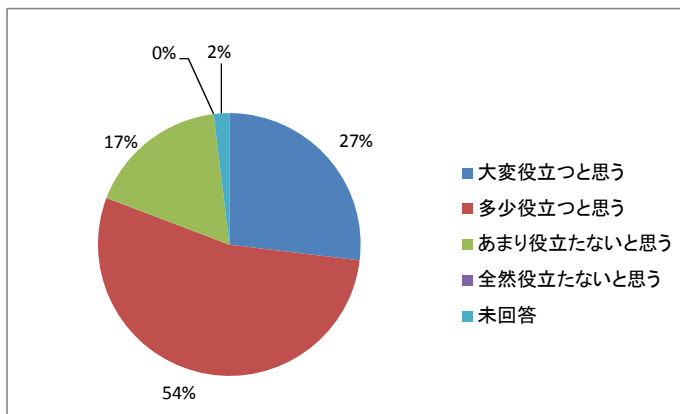
問4 あなたが受けた生物圏科学研究科博士課程前期の講義科目は現在役立っていますか？

選択肢	回答
大変役立っている	15
多少役立っている	26
あまり役立っていない	10
全然役立っていない	1
未回答	0



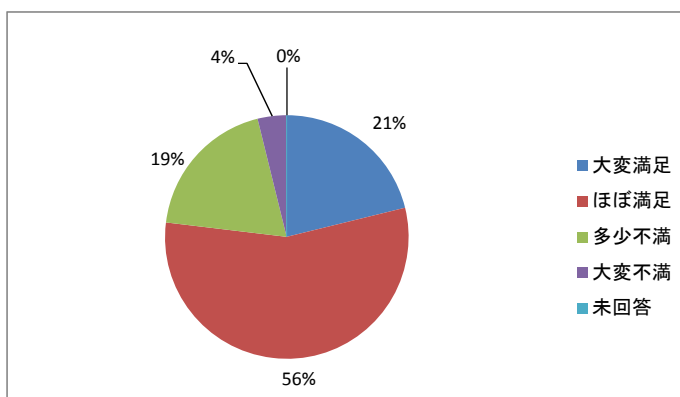
問5 あなたが受けた生物圏科学研究科博士課程前期の講義科目は今後役立つと思いますか？

選択肢	回答
大変役立つと思う	14
多少役立つと思う	28
あまり役立たないと思う	9
全然役立たないと思う	0
未回答	1



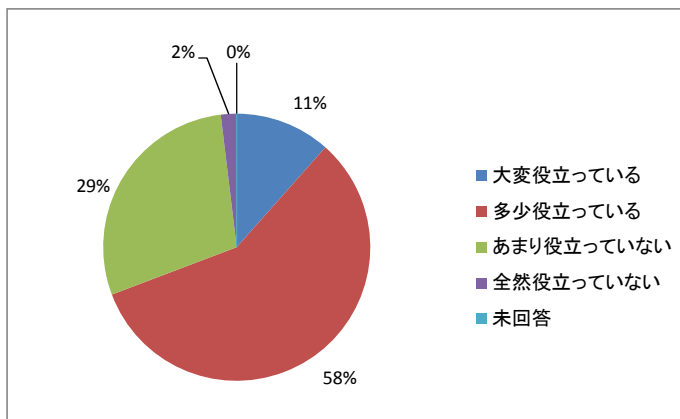
問7 共同セミナーは満足できましたか？

選択肢	回答
大変満足	11
ほぼ満足	29
多少不満	10
大変不満	2
未回答	0



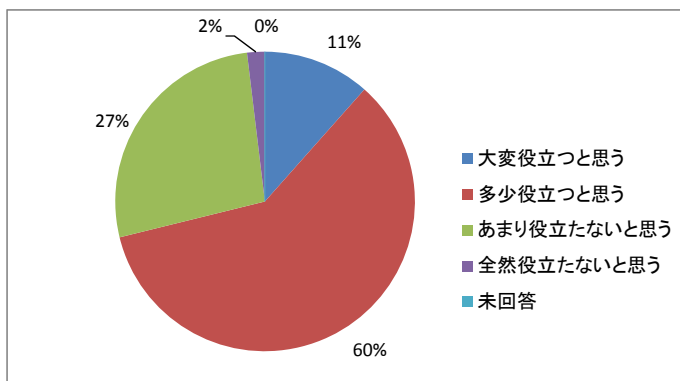
問9 あなたが受けた共同セミナーは現在役立っていますか？

選択肢	回答
大変役立っている	6
多少役立っている	30
あまり役立っていない	15
全然役立っていない	1
未回答	0



問10 あなたが受けた共同セミナーは今後役立つと思いますか？

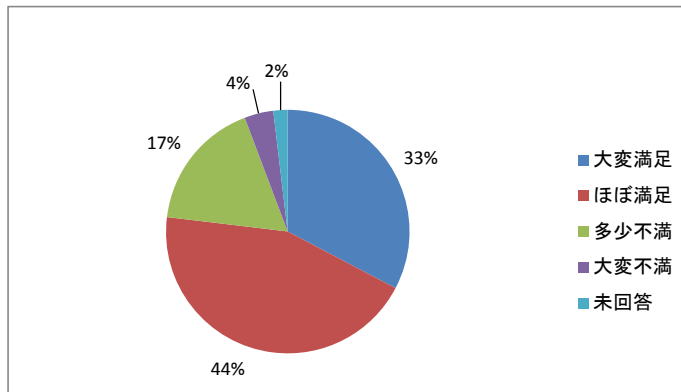
選択肢	回答
大変役立つと思う	6
多少役立つと思う	31
あまり役立たないと思う	14
全然役立たないと思う	1
未回答	0





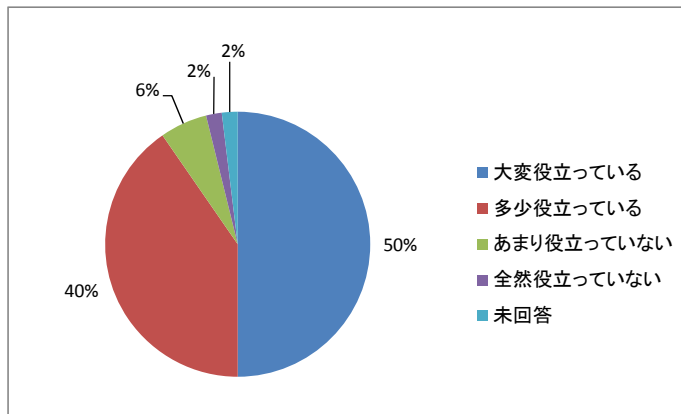
問12 修士論文研究は満足できましたか？

選択肢	回答
大変満足	17
ほぼ満足	23
多少不満	9
大変不満	2
未回答	1



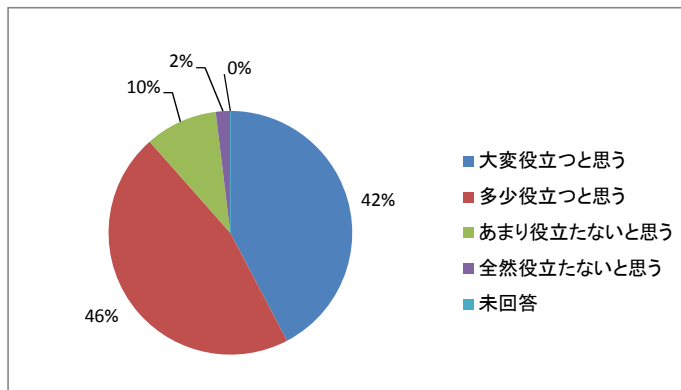
問14 指導を受けた修士論文研究は現在役立っていますか？

選択肢	回答
大変役立っている	26
多少役立っている	21
あまり役立っていない	3
全然役立っていない	1
未回答	1



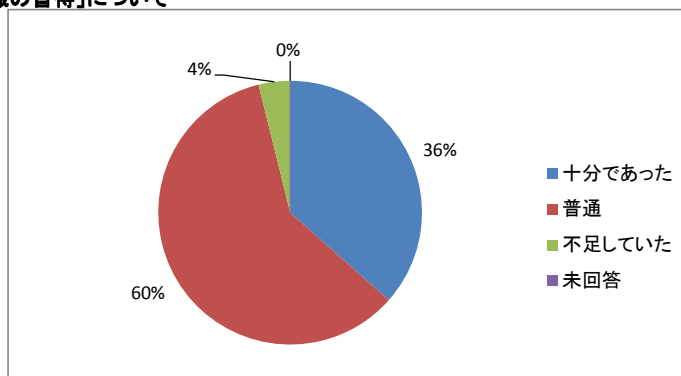
問15 指導を受けた修士論文研究は今後役立つと思いますか？

選択肢	回答
大変役立つと思う	22
多少役立つと思う	24
あまり役立たないと思う	5
全然役立たないと思う	1
未回答	0



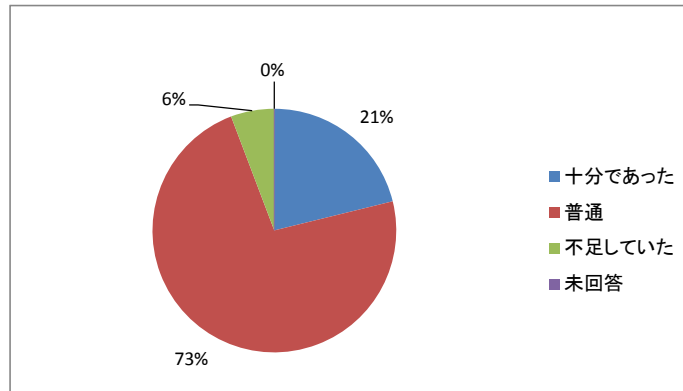
問17 生物圏科学研究科では、博士課程前期の教育目標として高度専門技術者養成を掲げています。「学部講義と比較してより高度な科学知識の習得」について

選択肢	回答
十分であった	19
普通	31
不足していた	2
未回答	0



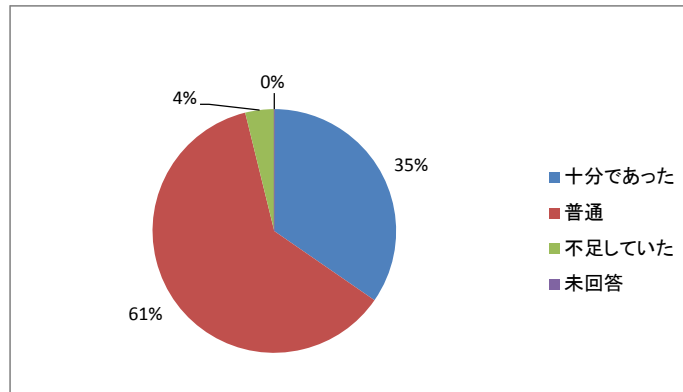
問19 「実験計画立案能力の育成」について

選択肢	回答
十分であった	11
普通	38
不足していた	3
未回答	0



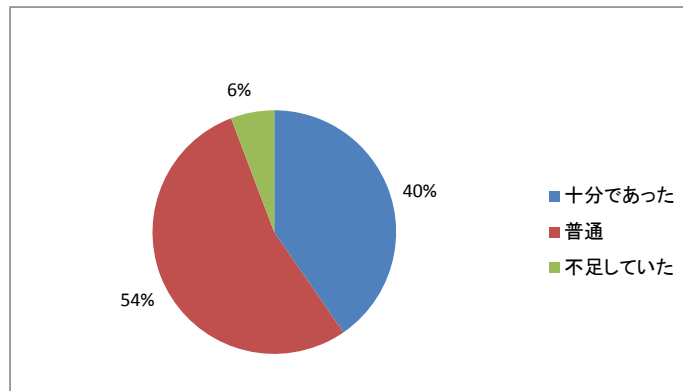
問21 「幅広い実験技術の習得」について

選択肢	回答
十分であった	18
普通	32
不足していた	2
未回答	0



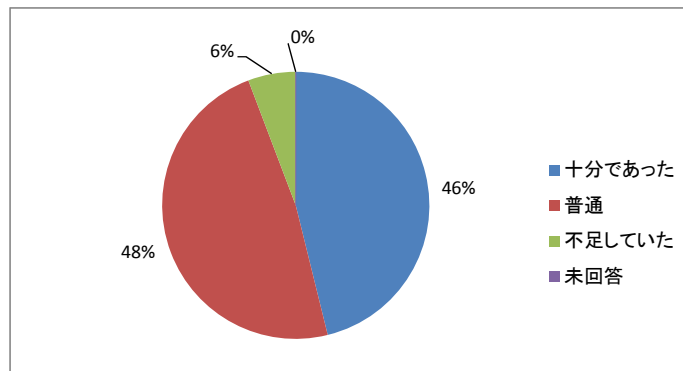
問23 「実験結果の評価や解析技術の習得」について

選択肢	回答
十分であった	21
普通	28
不足していた	3
未回答	0



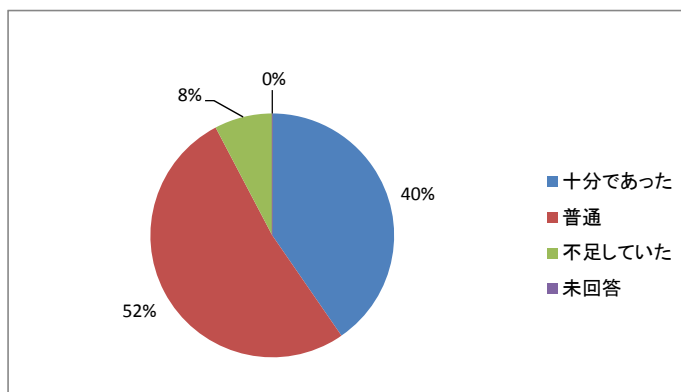
問25 「プレゼンテーション技術の習得について」

選択肢	回答
十分であった	24
普通	25
不足していた	3
未回答	0



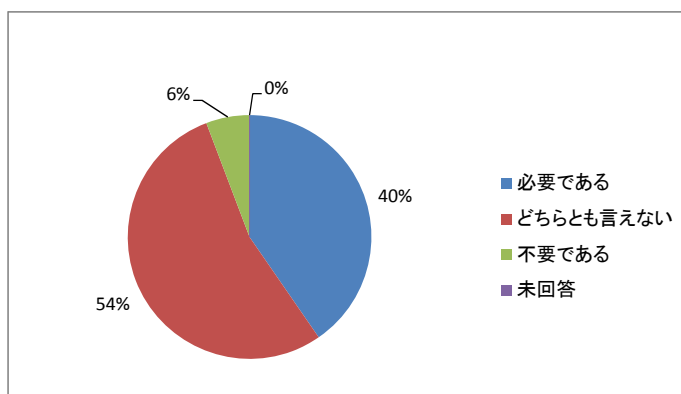
問27 「論文作成能力の習得」について

選択肢	回答
十分であった	21
普通	27
不足していた	4
未回答	0



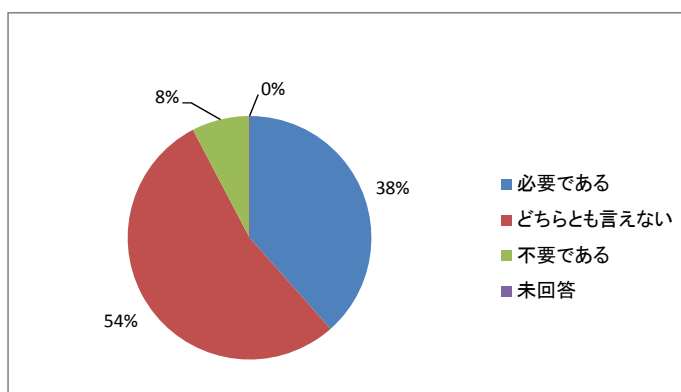
問29 「科学英語論文作成能力の習得」について

選択肢	回答
必要である	21
どちらとも言えない	28
不要である	3
未回答	0



問31 「企業などで行う現地研修(インターンシップ)」について

選択肢	回答
必要である	20
どちらとも言えない	28
不要である	4
未回答	0



## 研究科総評

### 研究科：国際協力研究科

#### 1. 集計結果のまとめ

アンケートは紙媒体で実施し、調査対象学生数は、博士課程前期に所属する46名で、そのうち22名が回答し、回答率は48%だった。これは、博士課程前期における全学の平均回答率67%より低い。回答率が低いのは、IDEC学生の7割程度が留学生であるためアンケートの主旨が上手く伝わらなかったのが原因と考えられる。

なお、今回の設問の中で、設問5から7は、研究科の取り組みが反映されたものと考えられる。

設問8については、国内・国際学会への参加や、英語による論文等の執筆に積極的に取り組んでいる学生もいるが、一部の学生が全て経験無しと回答しており、改善する必要があると考えられる。

設問10については、学生もグローバル化に対応した人材育成に繋がる学習が重要と認識していると考えられる。

設問11については、学生から「教授の方々によって指導の差が大きすぎる」という意見があった。これは設問8の在学中の学会発表・論文執筆のアンケート結果にも反映されていると考えられる。

#### 2. 次年度に向けた対応

学生生活支援、教育活動と学習成果、研究成果の公開活動について、評価が低かった項目は散在していた。

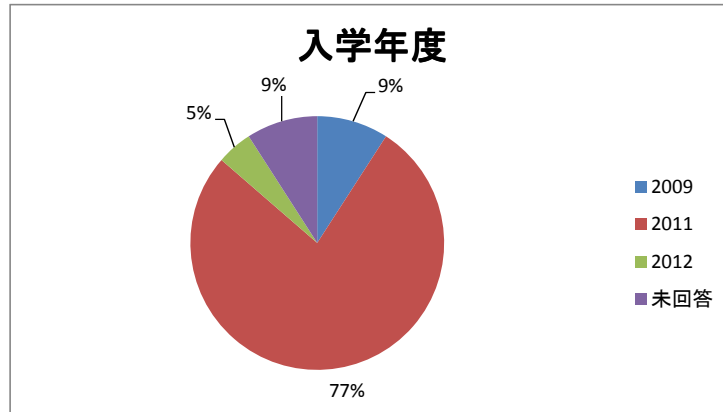
学生生活支援について、日本人学生と留学生の違い、留学生の出身国の違いによって生活支援のニーズが異なると考えている。今後、事務側と研究室側の円滑な連携のもとで、個人の事情に合ったきめ細かな支援方法を検討していく。そのために、関連支援予算の効果的な運用を改善していく。

教育活動と学習成果について、授業関係について、授業評価結果を反映し、教員と研究科のそれぞれにおいて改善策を講じているところである。教育を通じての能力育成は直接に就職活動の成果につながる部分が多い。学生の期待と教育側の実態とのギャップを埋めるために、各種外部教育資金の獲得などを通じて、教育体系の見直しを行い、教育内容の充実を引き続き図っていく。

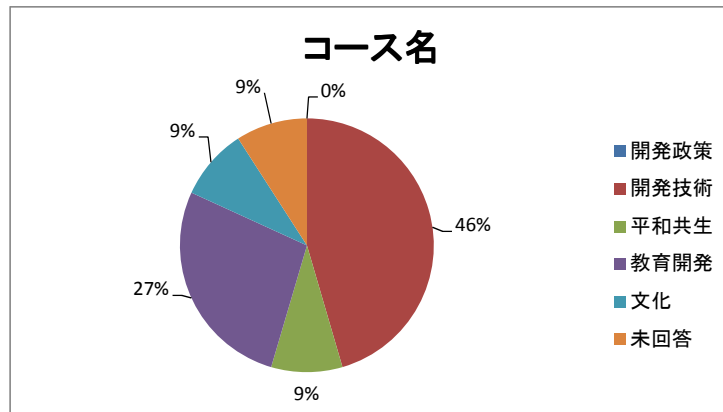
研究成果の公表については、多くの学生は研究・教育機関以外のところに就職することが多く、学生側のニーズが低かったのは原因の一部であると否めない。一方、教員側の指導姿勢にも課題がないとは言えない。研究成果の発表を通じて、教育の効果を外部

から評価するという役割があるため、上記のいずれの場合についても、問題視すべき。今後、科研費などの研究資金の獲得と活用、学生の研究発表を積極的に支援する教員へのインセンティブ賦与などを通じて、学生の研究発表を促す環境づくりをもっと積極的に進めていく。

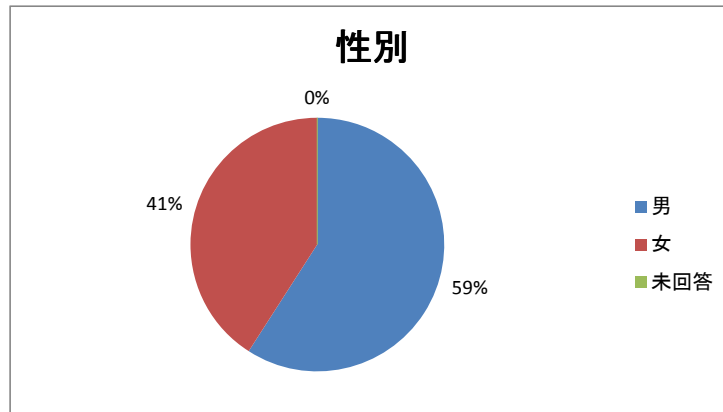
入学年度	入学年度集計
2009	2
2011	17
2012	1
未回答	2



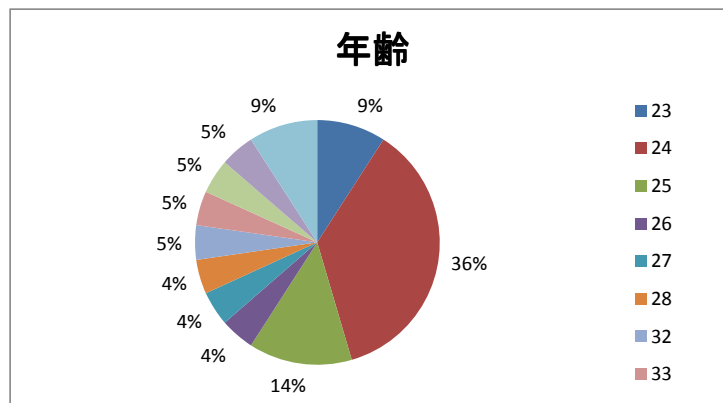
コース名	回答
開発政策	0
開発技術	10
平和共生	2
教育開発	6
文化	2
未回答	2



性別	回答
男	13
女	9
未回答	0

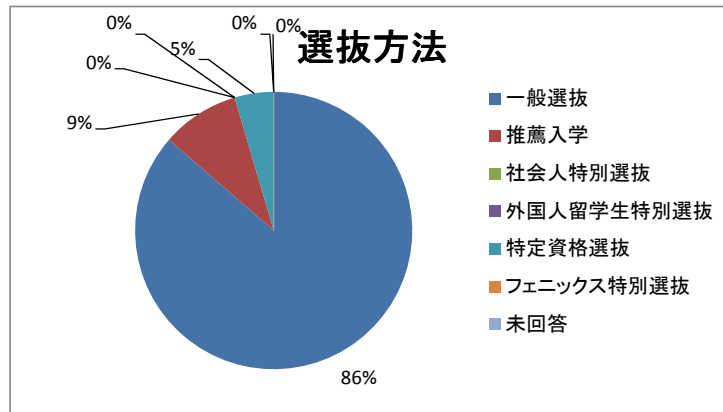


年齢	年齢集計
23	2
24	8
25	3
26	1
27	1
28	1
32	1
33	1
37	1
43	1
未回答	2



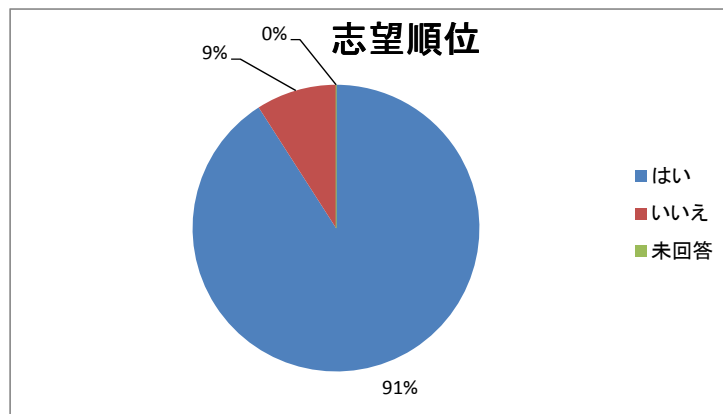
入学時の選抜方法

選択肢	回答
一般選抜	19
推薦入学	2
社会人特別選抜	0
外国人留学生特別選抜	0
特定資格選抜	1
フェニックス特別選抜	0
未回答	0



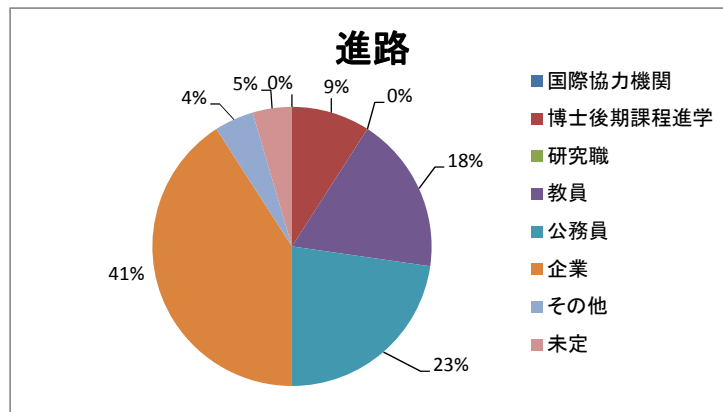
問3 当研究科への進学は第一志望でしたか。

選択肢	回答
はい	20
いいえ	2
未回答	0



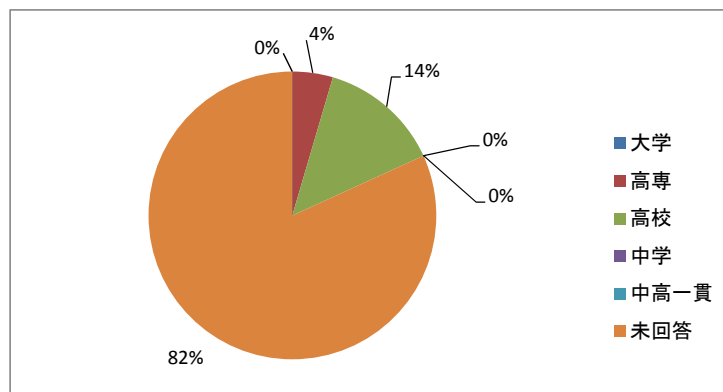
問4 大学院修了後、現状において決定してる進路について

進路	進路の集計
国際協力機関	0
博士後期課程進学	2
研究職	0
教員	4
公務員	5
企業	9
その他	1
未定	1



教員と答えた方

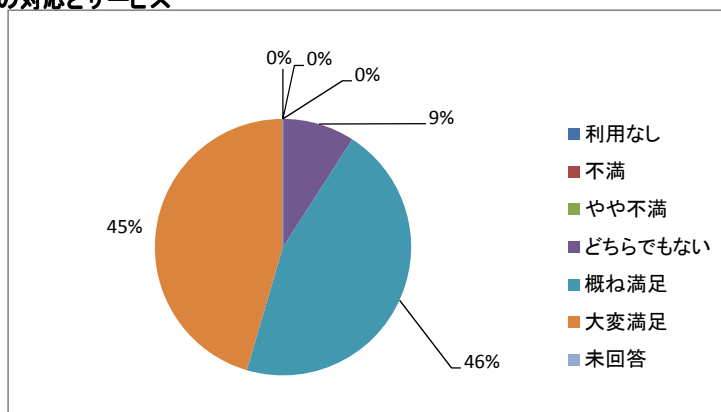
選択肢	回答
大学	0
高専	1
高校	3
中学	0
中高一貫	0
未回答	18



問5 在学期間中の学生生活に関する満足度についてお尋ねします。

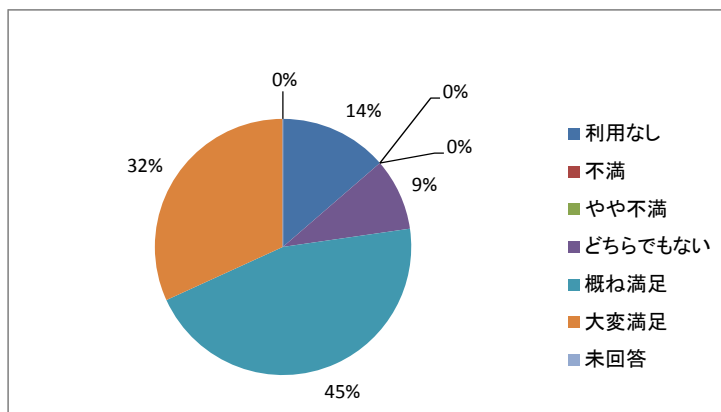
①所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足	10
大変満足	10
未回答	0



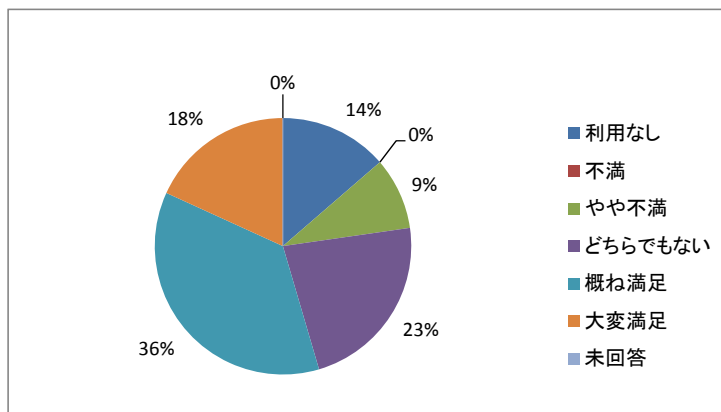
②学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	2
概ね満足	10
大変満足	7
未回答	0



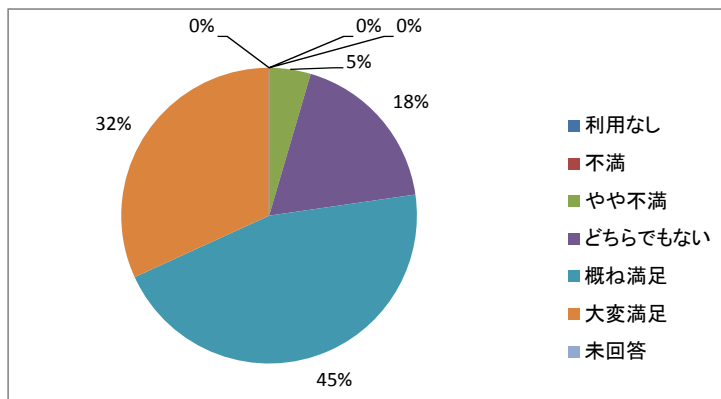
③保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	3
不満	0
やや不満	2
どちらでもない	5
概ね満足	8
大変満足	4
未回答	0



④図書館での対応やサービス

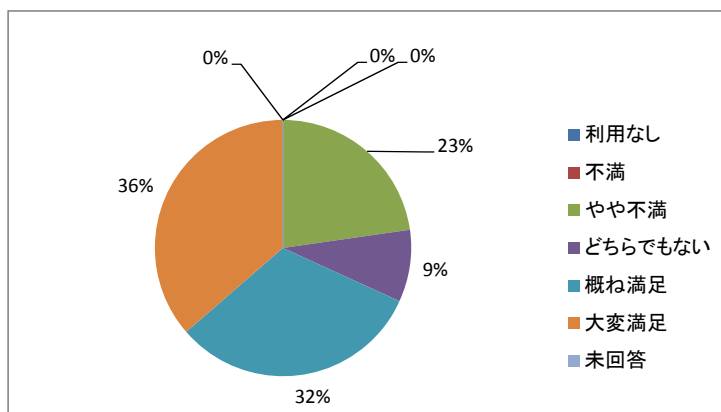
選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	1
どちらでもない	4
概ね満足	10
大変満足	7
未回答	0





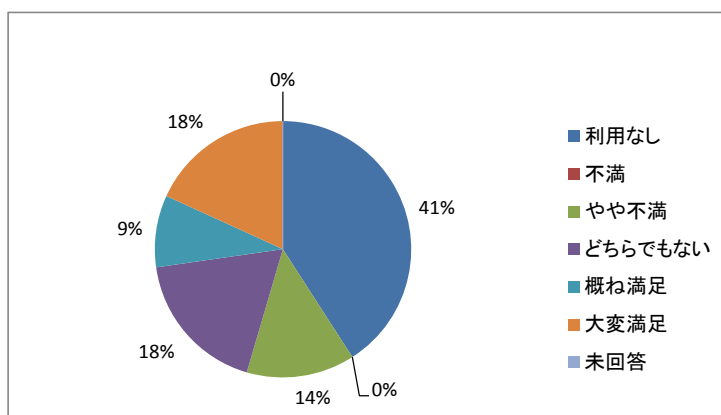
⑤福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	0
やや不満	5
どちらでもない	2
概ね満足	7
大変満足	8
未回答	0



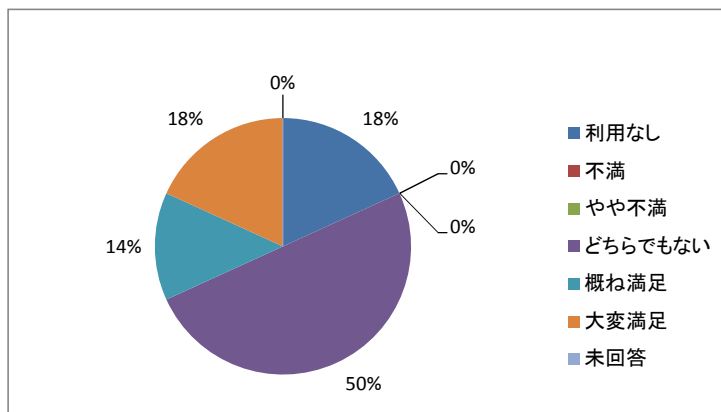
⑥課外活動施設(グラウンドや体育館,テニスコート等)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	9
不満	0
やや不満	3
どちらでもない	4
概ね満足	2
大変満足	4
未回答	0



⑦授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

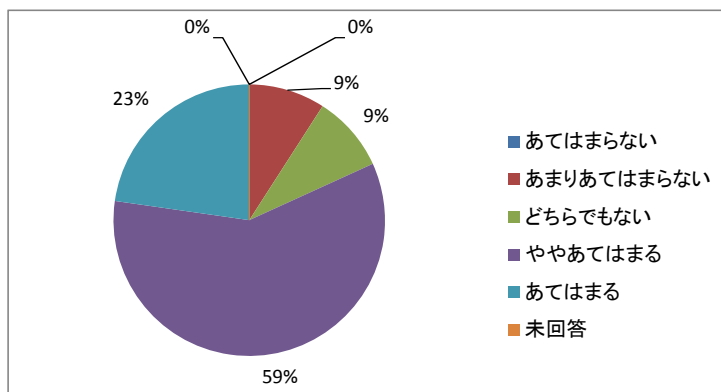
選択肢	回答
利用なし	4
不満	0
やや不満	0
どちらでもない	11
概ね満足	3
大変満足	4
未回答	0



問6 大学院で受けた教育についてお尋ねします。

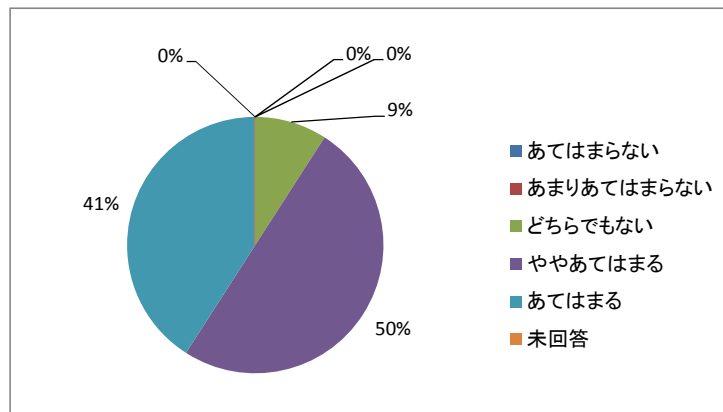
⑧授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	2
ややあてはまる	13
あてはまる	5
未回答	0



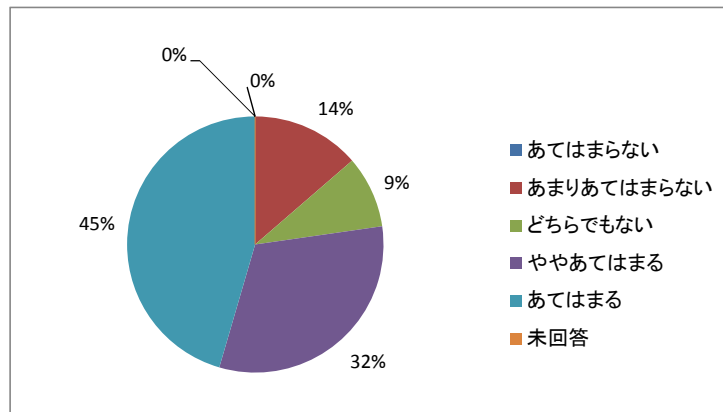
⑨セミナーは充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	0
どちらでもない	2
ややあてはまる	11
あてはまる	9
未回答	0



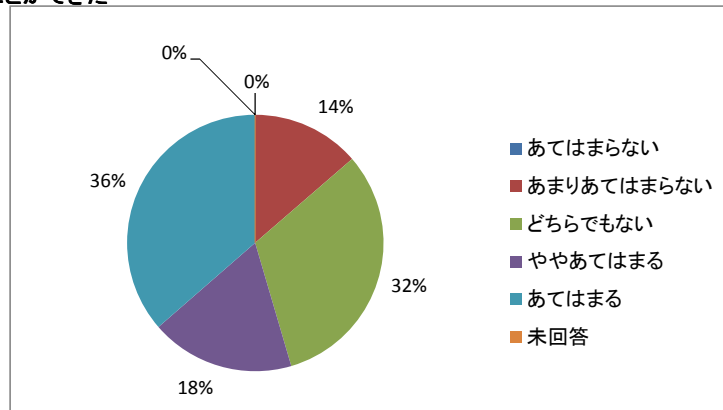
⑩修士論文の指導は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	2
ややあてはまる	7
あてはまる	10
未回答	0



⑪研究室では意欲的な研究活動を行うことができた

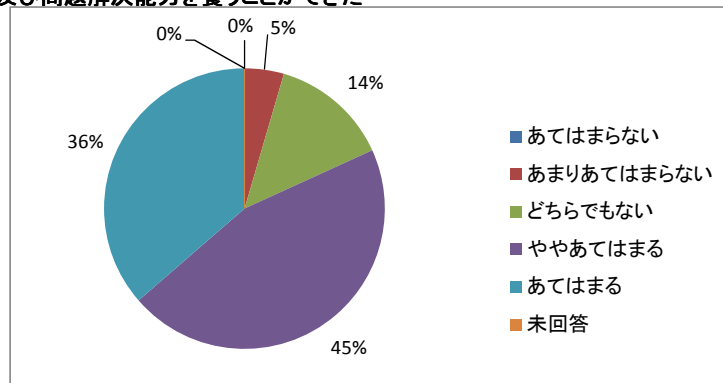
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	7
ややあてはまる	4
あてはまる	8
未回答	0



問7 大学院での学習成果と進路についてお尋ねします。

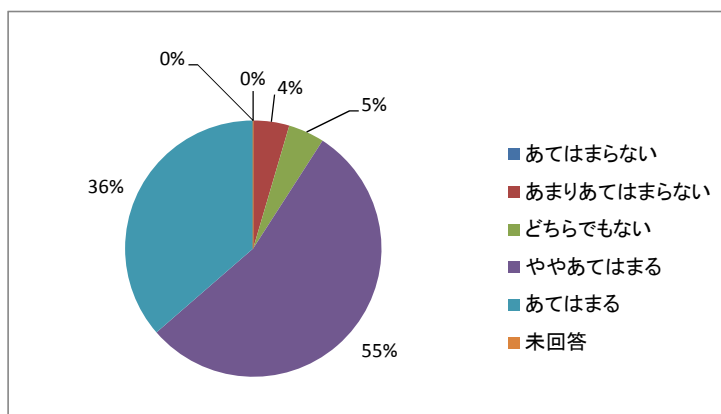
⑫研究科の教育を通して、課題探究能力及び問題解決能力を養うことができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	3
ややあてはまる	10
あてはまる	8
未回答	0



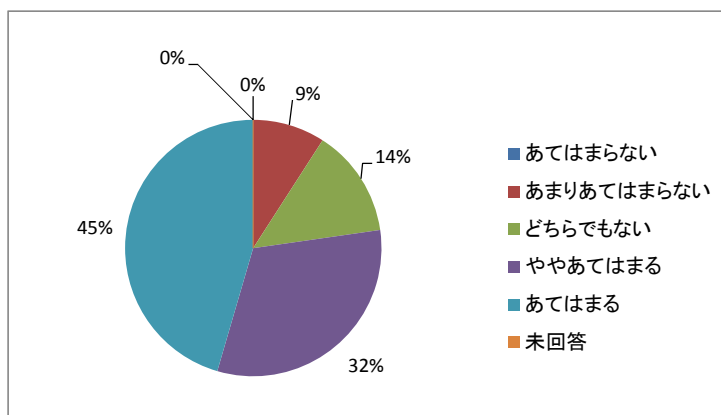
⑬研究科の教育を通して,知識,技能,態度は向上したと思う

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	1
ややあてはまる	12
あてはまる	8
未回答	0



⑭修了後の進路決定に研究科の教育が貢献している

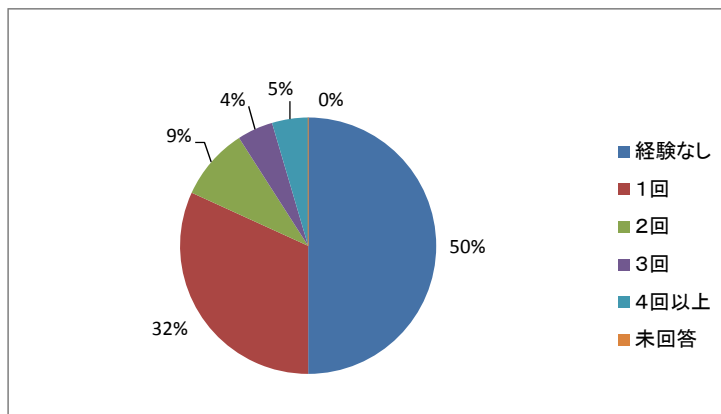
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	3
ややあてはまる	7
あてはまる	10
未回答	0



問8 在学中の学会発表・論文執筆についてお伺いします。

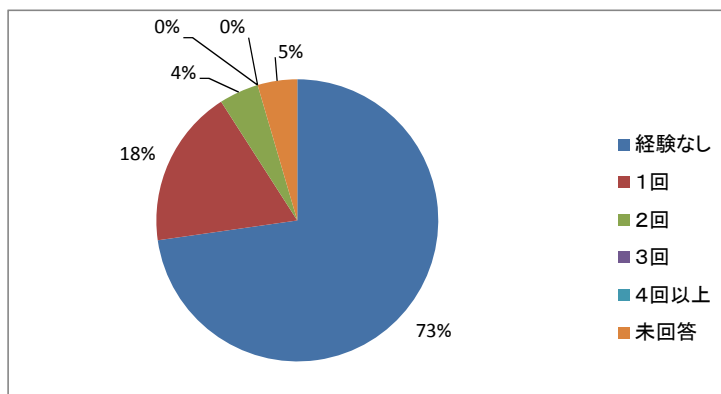
⑮大学院在学中に国内学会で発表した

選択肢	回答
経験なし	11
1回	7
2回	2
3回	1
4回以上	1
未回答	0



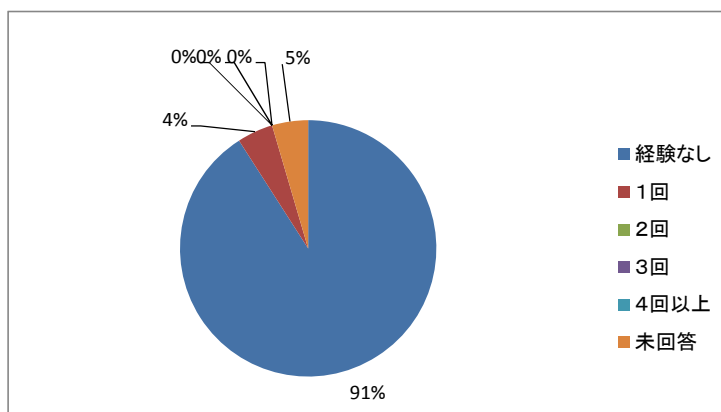
⑯大学院在学中に国際学会で発表した

選択肢	回答
経験なし	16
1回	4
2回	1
3回	0
4回以上	0
未回答	1



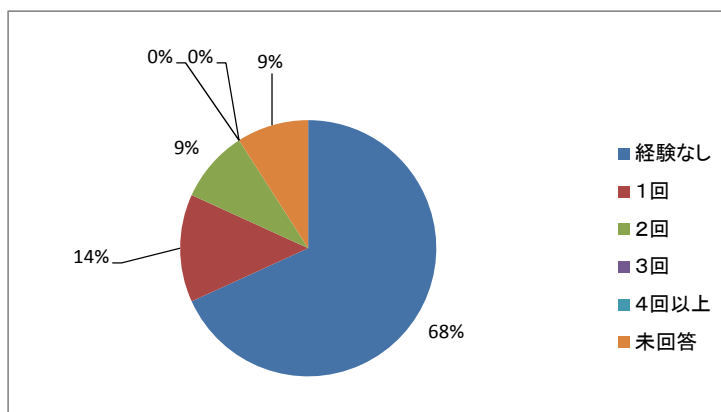
⑰大学院在学中に英語で論文を執筆し(共著も含めて)出版した

選択肢	回答
経験なし	20
1回	1
2回	0
3回	0
4回以上	0
未回答	1



⑱大学院在学中に論文(共著も含めて)を投稿した

選択肢	回答
経験なし	15
1回	3
2回	2
3回	0
4回以上	0
未回答	2



## 研究科総評

研究科： 法務研究科

### 1. 集計結果のまとめ

#### (1) はじめに

アンケートは、卒業予定の学生全員に対して実施された最終試験の当日に紙媒体で書式を配布し、回収した。そのため、回収率は86%(対象者49名中42名が回答)と高い水準となっている。

当研究科は専門職大学院であり、修了要件としての論文作成と、これに伴う研究指導が存しない。このため、それに代えて、研究科で実施された講義内容や、教員による指導が、司法試験の合格に必要な知識や知見の修得、また法曹として実務を担当することになって後の技能や倫理観の修得に有用であったかについて、質問した。なお、講義以外の学生生活のサポート等に関する質問項目については、他の研究科と共通である。

以下、回答の集計結果についてコメントする。

#### (2) 各学年の講義について

各学年の講義の満足度について、「授業内容は充実していたか」「授業内容を理解することができたか」「教員の指導方法は適切だったか」の3つの観点から質問した。

授業内容の充実については、肯定的評価(「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した者を合せた割合)は、1年次の講義については61%、2年次の講義については69%、3年次の講義については64%である。授業内容の理解については、肯定的評価が1年次講義では50%、2年次講義では79%、3年次講義では70%、教員の指導方法については、肯定的評価が1年次講義では54%、2年次講義では62%、3年次講義では62%である。

1年次の講義に対する満足度が、特に授業の理解についてはやや低いことが目立つ。1年次の講義については、別に「はじめて法律を学ぶ者にも配慮した講義であったか」について問うている。この問には、非法学部出身者のみに回答してもらっている。実際に回答した者18名の中で、肯定的評価が7名、38%に留まっており、非法学部出身者にとっては1年次の講義が理解の困難なものであったことが、全体的な満足度の低下につながったと推測される。

#### (3) 科目群毎の評価について

講義科目の系統別の満足度についても質問している。法律基本科目については、「法律の基本的知識を得ることができたか」に対する肯定的評価が74%、「法的思考力を修得することができたか」に対する肯定的評価が66%と、講義の内容については満足度が高いが、

「司法試験に合格するうえで有用な講義であったか」については、肯定的評価が59%と若干低下する。講義だけで司法試験合格レベルにまで到達したと感じるのにはやや不安があるということかと推測される。

法曹としての技能や責任感を修得することを目的とする法律実務科目については、法曹としての倫理観の修得については肯定的評価が62%であったものの、訴訟書類や契約書などの法文書の作成に必要な知識を得たかについては肯定的評価が55%、裁判実務の基礎的技能の修得については肯定的評価が55%と相対的に低く、課題を残す形となっている。

展開・先端科目および基礎法学・隣接科目については、司法試験の選択科目に該当する科目では、講義の受講を肯定的に評価する回答が65%、その他の科目では、社会に対する考察を深めるため必要な広い視野を得ることができたかについて肯定的に評価する者が62%であるのに対して、科目全体として法曹としての活動に有用な知識の修得については肯定的評価が45%に留まった。

#### (4) 講義以外の学生生活のサポート等

回答比率の高い、学生支援室での学生への対応、図書館、食堂・売店等の福利厚生施設についてみると、学生支援室での学生への対応とサービスについては、肯定的な評価が35%に留まり、課題を残す。図書館の対応については、肯定的な評価が57%であり、明確に不満とする回答が5%に留まり、まずまずの評価を得ていると言える。

食堂・売店等の福利厚生施設については、肯定的な評価が21%、不満ないしやや不満と回答する者が50%と半数を占めるが、施設の現状を考えると当然の結果であろう。

研究科独自のサポート体制である、教員のチューター制度、および先輩弁護士によるサポートについては、まず教員のチューター制度については肯定的な評価が53%、否定的な評価は14%に留まり、概ね肯定的であると解される。これに対して、先輩弁護士によるサポートについては、肯定的な評価が38%に留まる一方で、利用無しという回答が19%存することも気付きである。

## 2. 次年度に向けた対応

在学生在が司法試験の受験に向けた強い圧力を感じながら、学生生活を送っている中で、どのような科目を充実させるか、またストレスの多い生活環境より生じる課題をいかに解決するかについては、様々の困難があるが、当研究科は、学生との意見交換その他交流を図る場を多様に設けて、学生生活上の真摯な要求をくみ取る努力を続ける意向である。

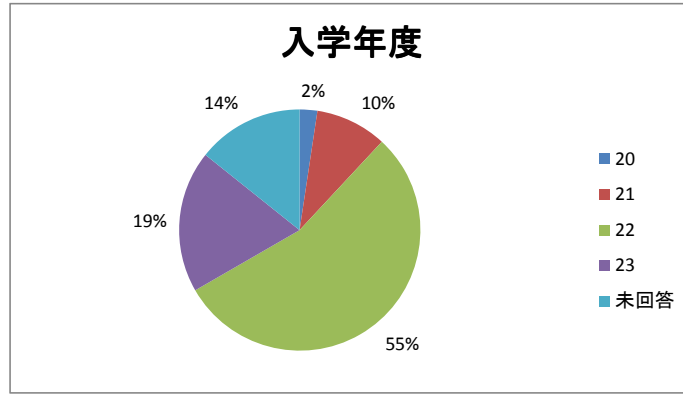
教育上の課題については、自由記述欄で、基礎の徹底を求める意見が多いことに留意したい。

1年次の教育については、特に未修生に対する教育の充実を期した単位数の増加および入学前のガイダンスの充実を図っているところであり、その成果を見守りたい。

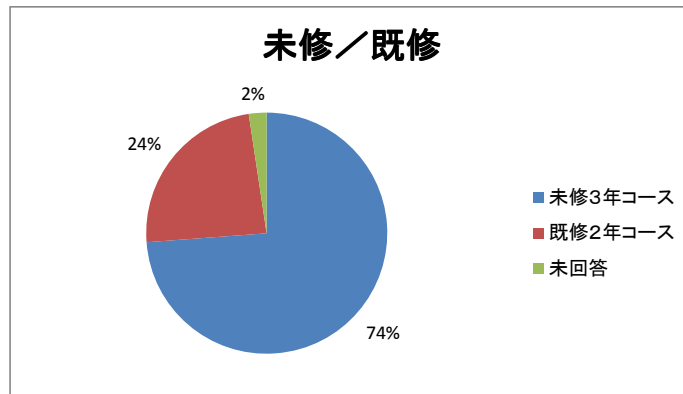
学生の多くが司法試験の合格に意識を集中させている中で、司法試験合格後に求められる実務に関する教育をどのように充実させるかも重要な課題である。学生諸君の関心を喚起しながら、プロフェッションを目指す者としての明確な認識としっかりした技能を修得させることを試みたい。

福利厚生施設を含めた設備面の充実は、当研究科単独では解決が不可能な課題であり、大学全体としての取組みを求めたい。なお、この点は、現在進行中の東千田キャンパスの整備計画に大きく左右されるところでもあり、計画の早期実現を期待する。

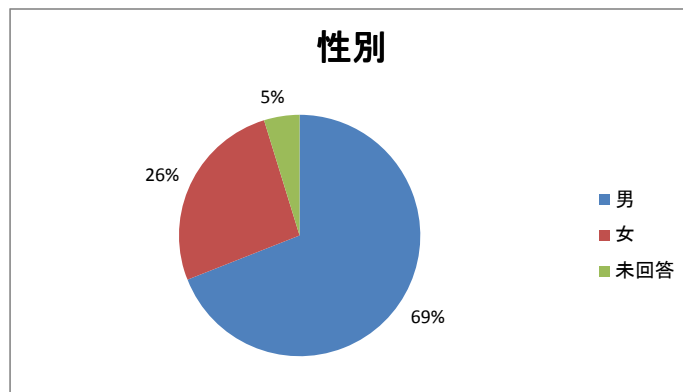
入学年度	
入学年度	入学年度集計
20	1
21	4
22	23
23	8
未回答	6



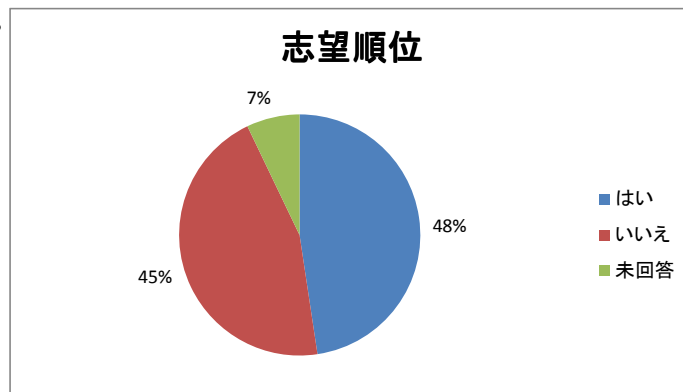
未修/既修	
選択肢	回答
未修3年コース	31
既修2年コース	10
未回答	1



性別	
選択肢	回答
男	29
女	11
未回答	2



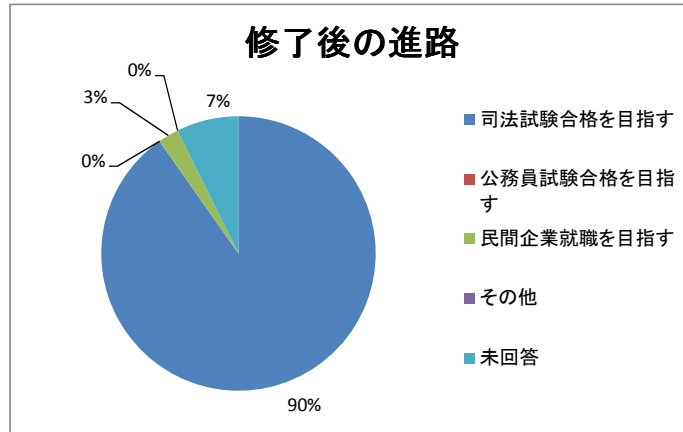
当研究科への進学は第一志望でしたか。	
選択肢	回答
はい	20
いいえ	19
未回答	3





修了後の進路

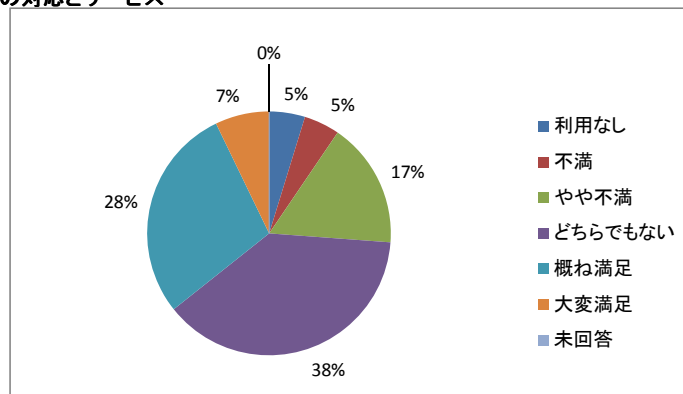
選択肢	回答
司法試験合格を目指す	37
公務員試験合格を目指す	0
民間企業就職を目指す	1
その他	0
未回答	3



問1 在学期間中の学生生活に関する満足度について

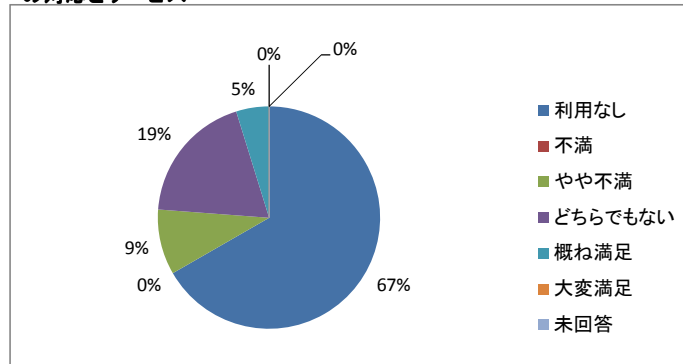
① 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	2
不満	2
やや不満	7
どちらでもない	16
概ね満足	12
大変満足	3
未回答	0



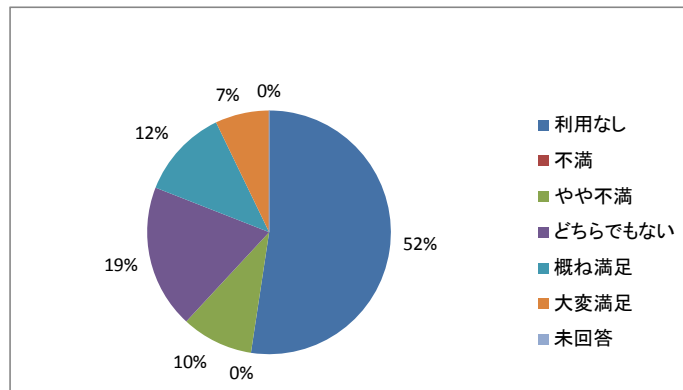
② 学生プラザの学士支援部門での学生への対応とサービス

選択肢	回答
利用なし	28
不満	0
やや不満	4
どちらでもない	8
概ね満足	2
大変満足	0
未回答	0



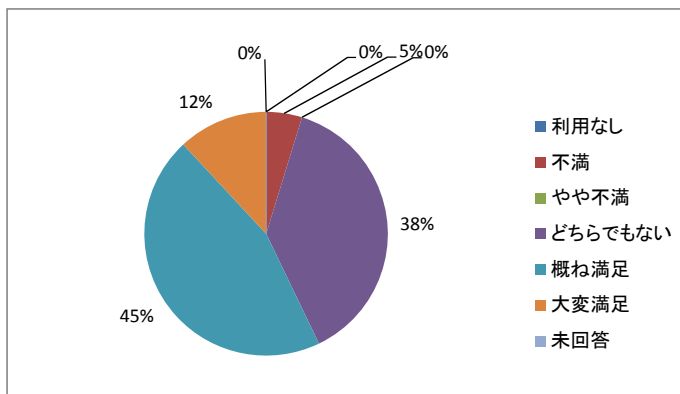
③ 保健管理センターでの対応とケア

選択肢	回答
利用なし	22
不満	0
やや不満	4
どちらでもない	8
概ね満足	5
大変満足	3
未回答	0



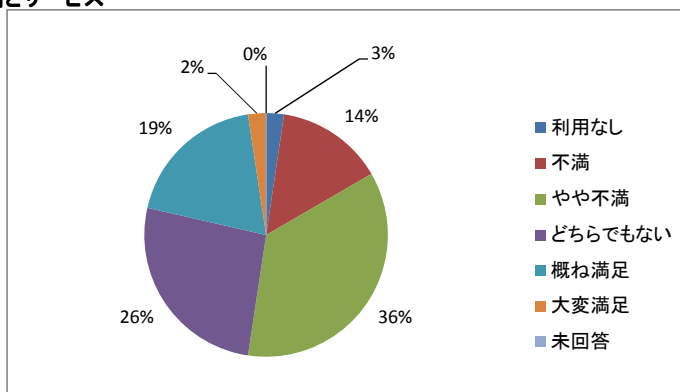
④ 図書館での対応やサービス

選択肢	回答
利用なし	0
不満	2
やや不満	0
どちらでもない	16
概ね満足	19
大変満足	5
未回答	0



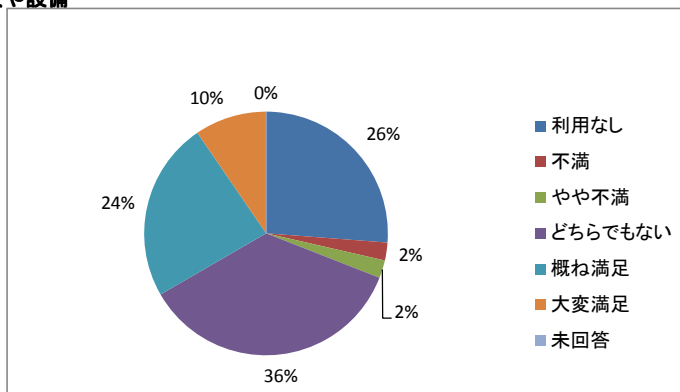
⑤ 福利厚生施設(食堂や売店等)の設備とサービス

選択肢	回答
利用なし	1
不満	6
やや不満	15
どちらでもない	11
概ね満足	8
大変満足	1
未回答	0



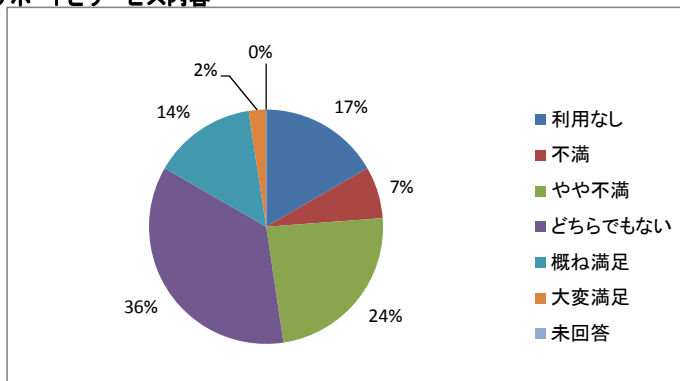
⑥ 課外活動施設(体育館その他)の施設や設備

選択肢	回答
利用なし	11
不満	1
やや不満	1
どちらでもない	15
概ね満足	10
大変満足	4
未回答	0



⑦ 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

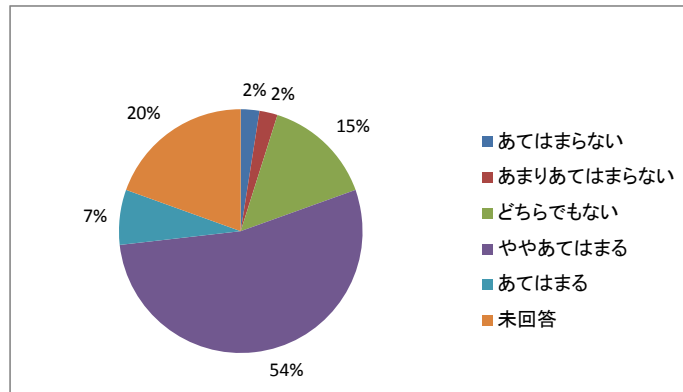
選択肢	回答
利用なし	7
不満	3
やや不満	10
どちらでもない	15
概ね満足	6
大変満足	1
未回答	0



問2 1年次に受けた教育について

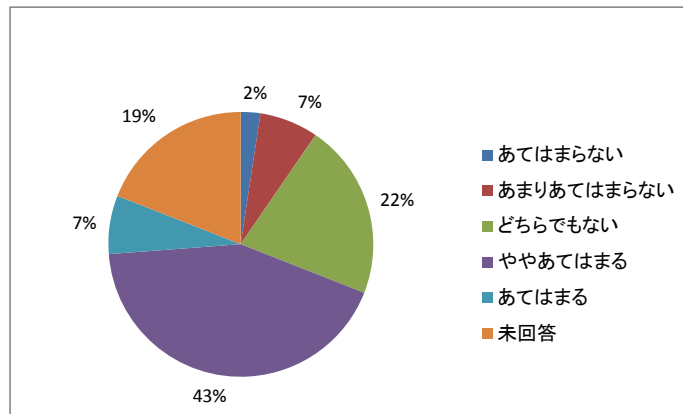
① 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	6
ややあてはまる	22
あてはまる	3
未回答	8



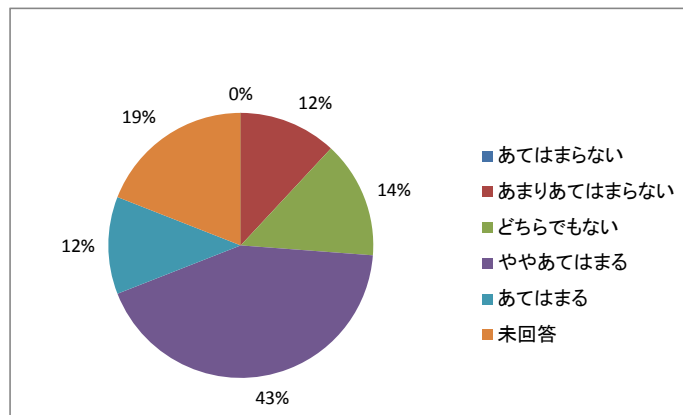
② 授業内容を理解することができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	9
ややあてはまる	18
あてはまる	3
未回答	8



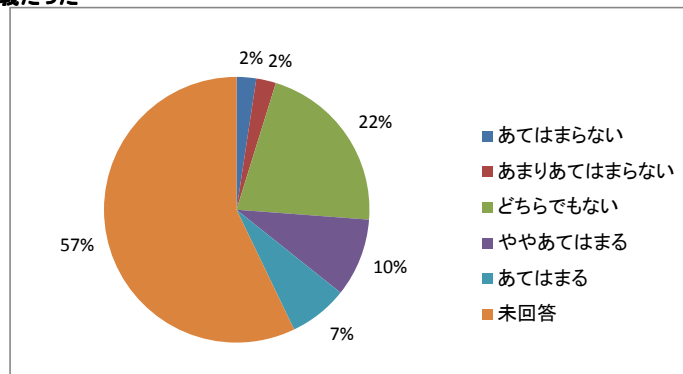
③ 教員の指導方法は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	6
ややあてはまる	18
あてはまる	5
未回答	8



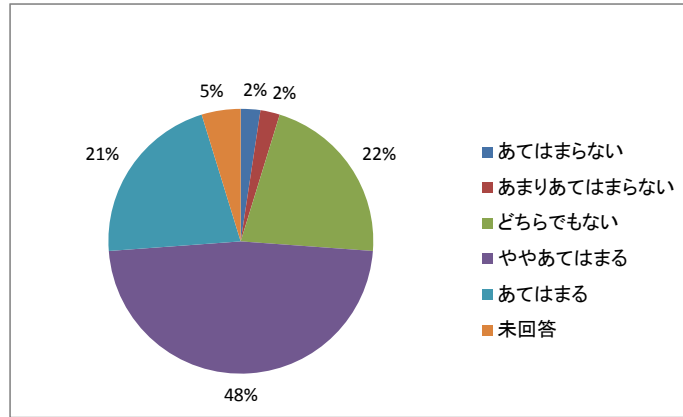
④ 初めて法律を学ぶ者にも配慮した講義だった

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	9
ややあてはまる	4
あてはまる	3
未回答	24



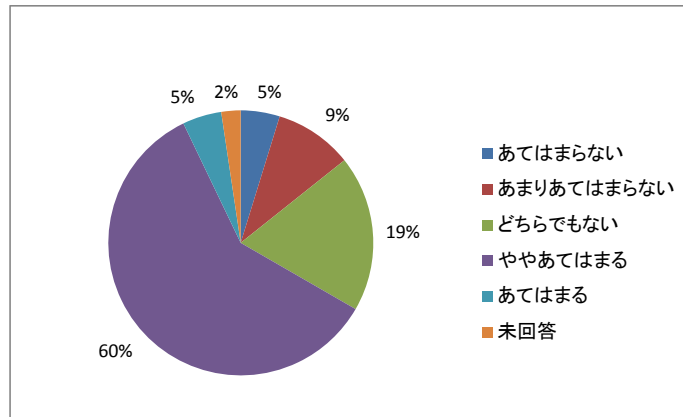
問3 2年次に受けた教育について  
① 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	9
ややあてはまる	20
あてはまる	9
未回答	2



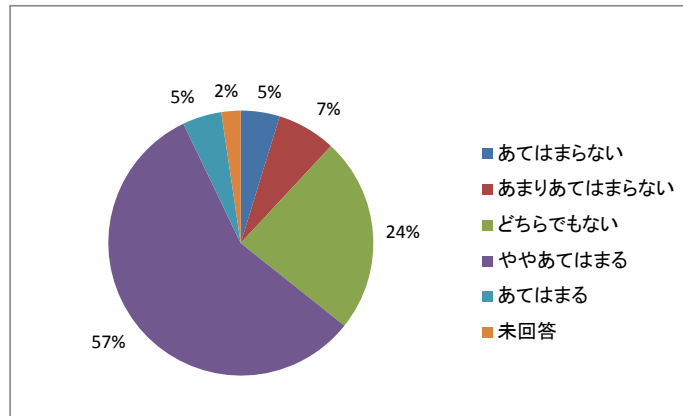
② 授業内容を理解することができた

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	8
ややあてはまる	25
あてはまる	2
未回答	1



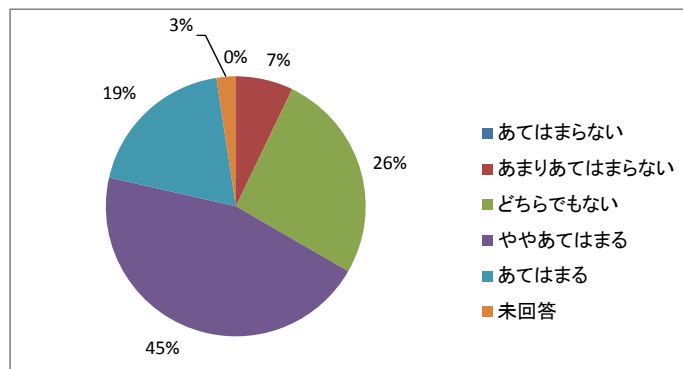
③ 教員の指導方法は適切だった

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	10
ややあてはまる	24
あてはまる	2
未回答	1



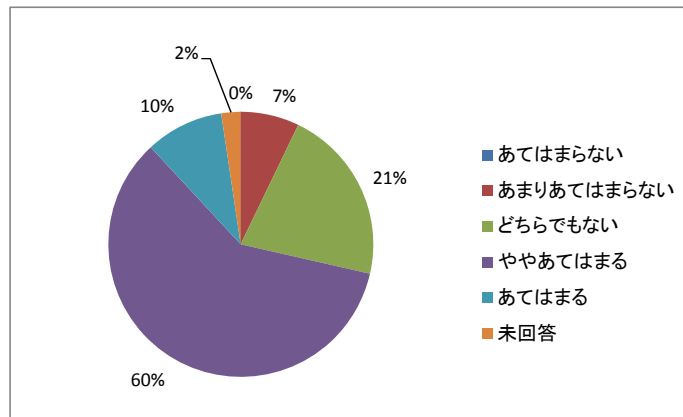
問4 3年次に受けた教育について  
① 授業内容は充実していた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	11
ややあてはまる	19
あてはまる	8
未回答	1



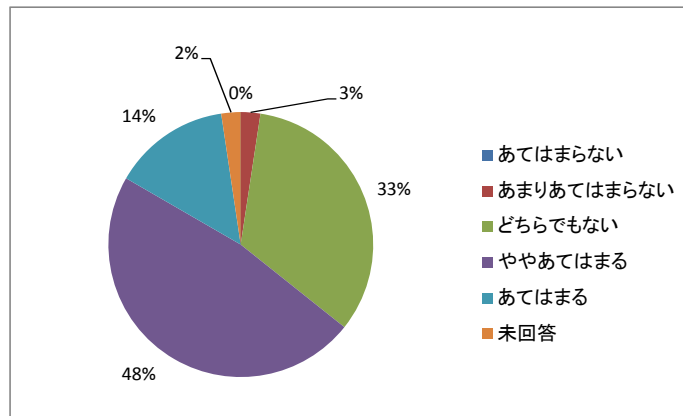
②授業内容を理解することができた

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	9
ややあてはまる	25
あてはまる	4
未回答	1



③ 教員の指導方法は適切だった

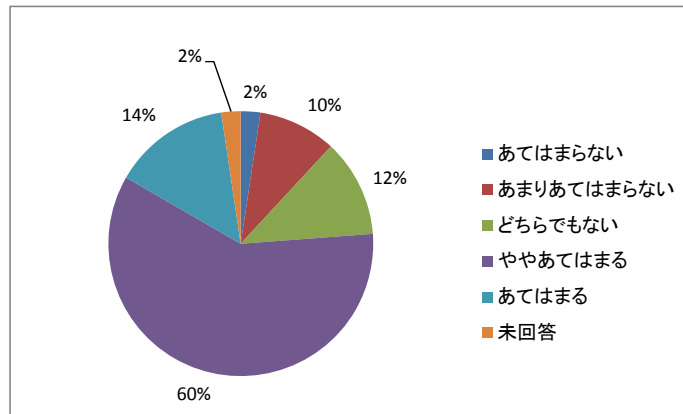
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	14
ややあてはまる	20
あてはまる	6
未回答	1



問5 法律基本科目について

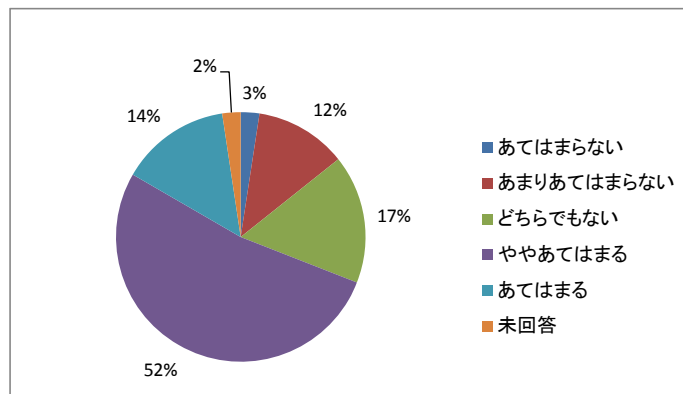
①法律の基礎知識を得ることができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	5
ややあてはまる	25
あてはまる	6
未回答	1



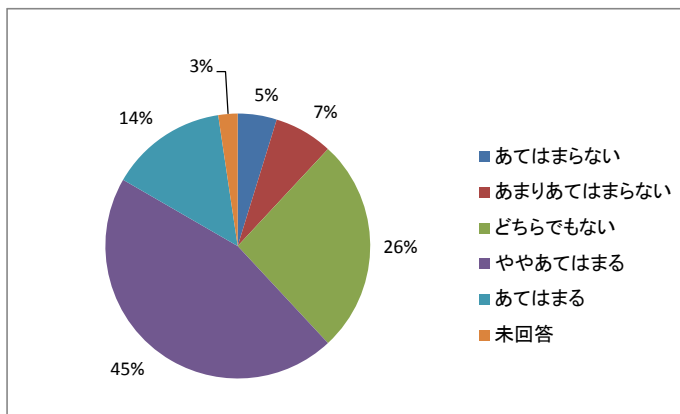
② 法的思考力を修得することができた

選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	5
どちらでもない	7
ややあてはまる	22
あてはまる	6
未回答	1



③ 司法試験に合格するうえで有用な講義であった。

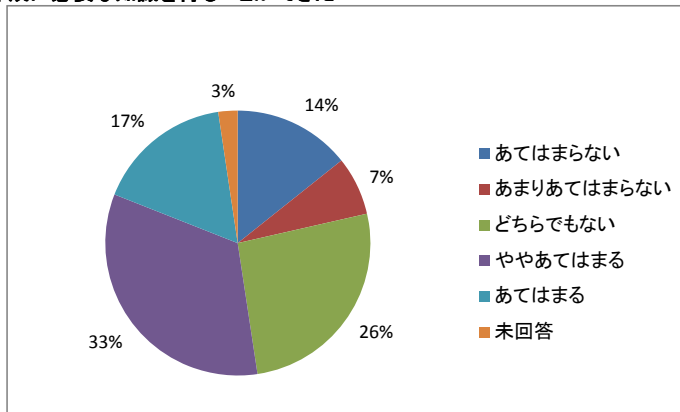
選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	11
ややあてはまる	19
あてはまる	6
未回答	1



問6 法律実務基礎科目について

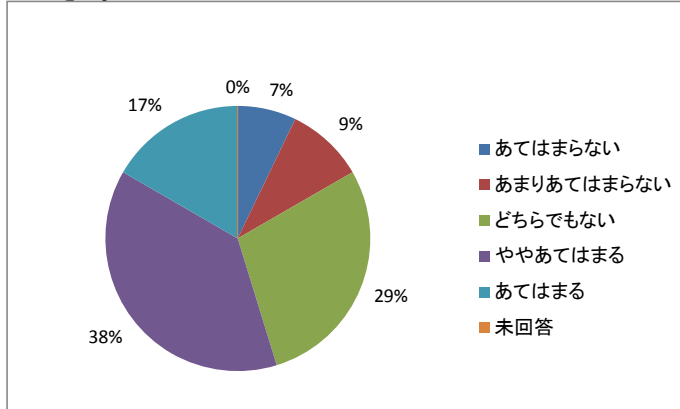
① 訴訟書類や契約書などの法文書の作成に必要な知識を得ることができた

選択肢	回答
あてはまらない	6
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	11
ややあてはまる	14
あてはまる	7
未回答	1



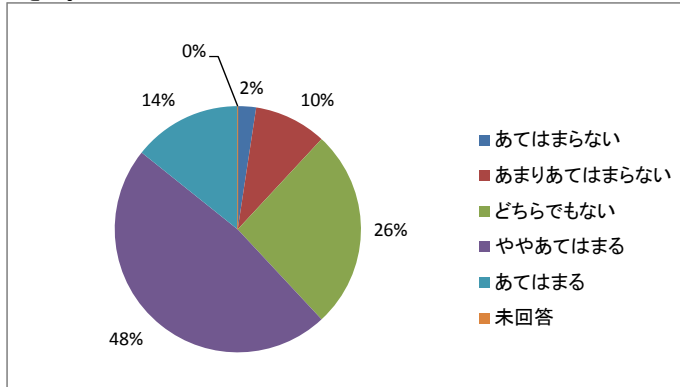
② 裁判実務の基礎的スキルを修得することができた。

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	12
ややあてはまる	16
あてはまる	7
未回答	0



③ 法曹としての倫理観を修得することができた。

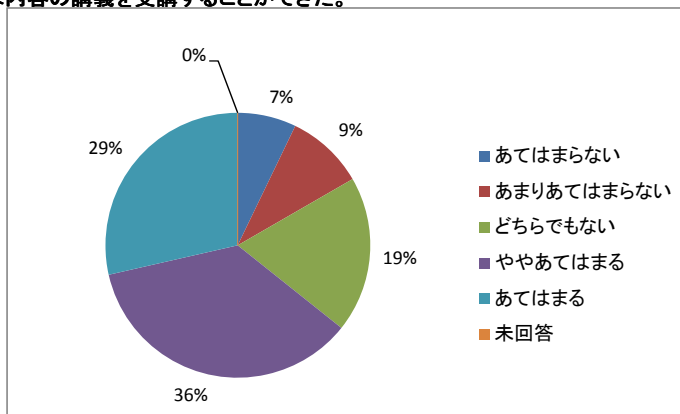
選択肢	回答
あてはまらない	1
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	11
ややあてはまる	20
あてはまる	6
未回答	0



問7 展開・先端科目および基礎科学・隣接科目について

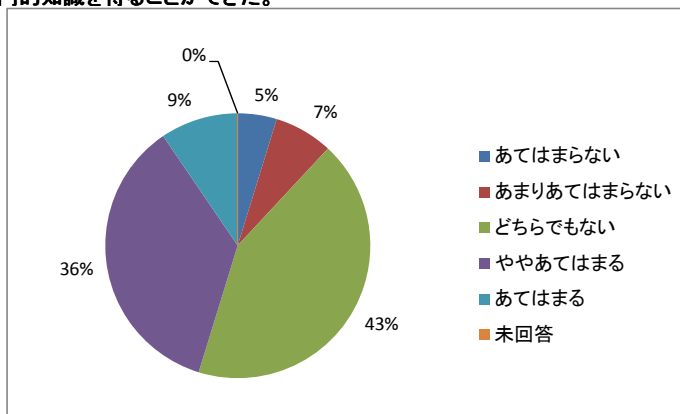
① 司法試験の選択科目について、有用な内容の講義を受講することができた。

選択肢	回答
あてはまらない	3
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	8
ややあてはまる	15
あてはまる	12
未回答	0



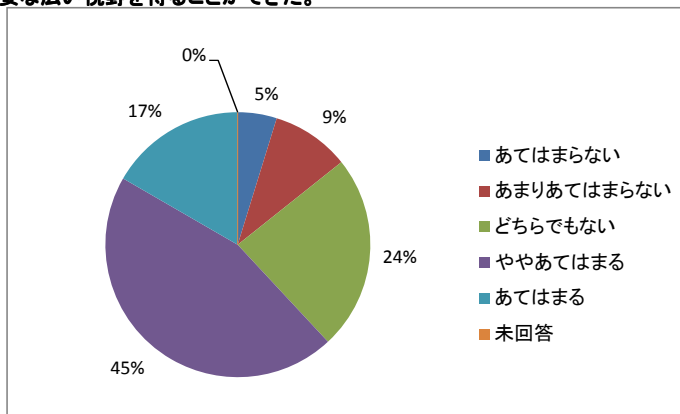
② 将来の法曹としての活動に有用な専門的知識を得ることができた。

選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	18
ややあてはまる	15
あてはまる	4
未回答	0



③ 社会に対する考察を深めるために必要な広い視野を得ることができた。

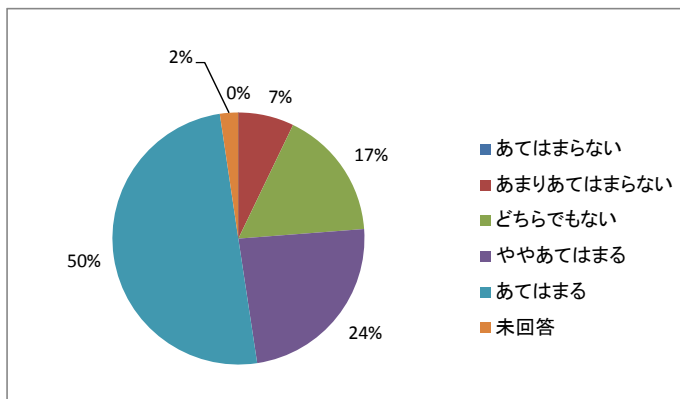
選択肢	回答
あてはまらない	2
あまりあてはまらない	4
どちらでもない	10
ややあてはまる	19
あてはまる	7
未回答	0



問8 講義を担当する教員は担当講義にふさわしい専門的知識を有していたか。

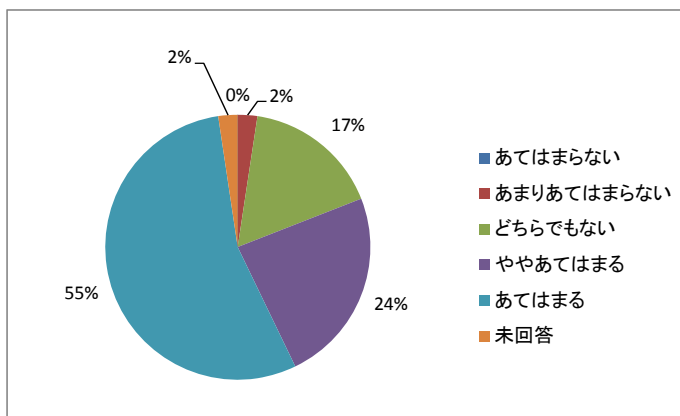
① 研究者教員

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	7
ややあてはまる	10
あてはまる	21
未回答	1



② 実務家教員

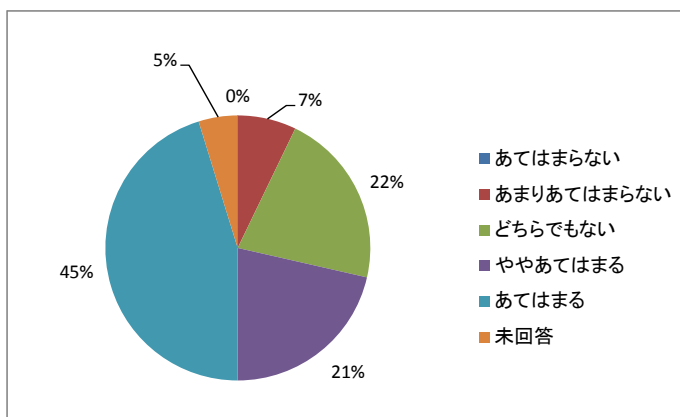
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	1
どちらでもない	7
ややあてはまる	10
あてはまる	23
未回答	1



問9 講義を担当する教員は担当講義にふさわしい教育技能を有していたか

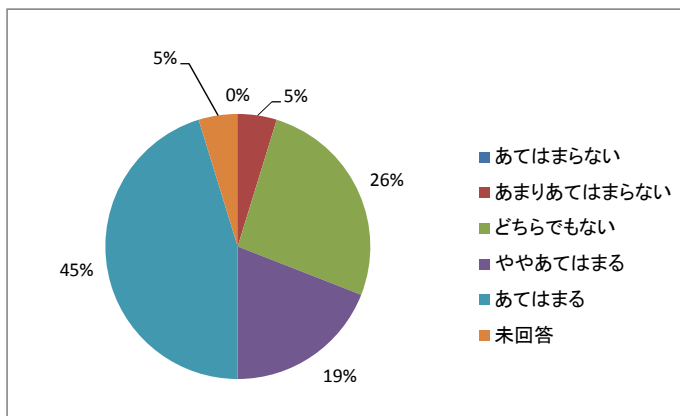
① 研究者教員

選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	3
どちらでもない	9
ややあてはまる	9
あてはまる	19
未回答	2



② 実務家教員

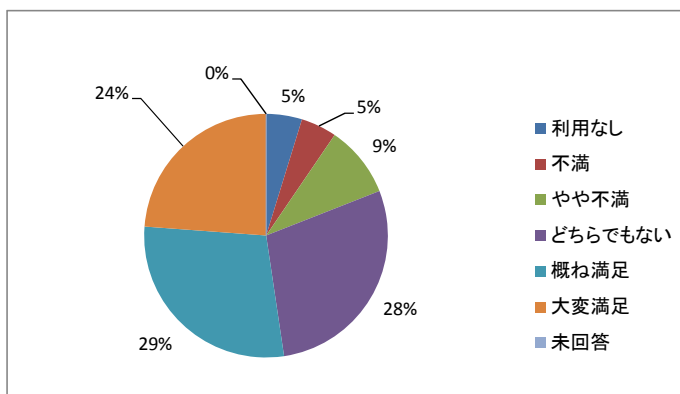
選択肢	回答
あてはまらない	0
あまりあてはまらない	2
どちらでもない	11
ややあてはまる	8
あてはまる	19
未回答	2



問11 勉学サポート体制の満足度

① チューターによる指導

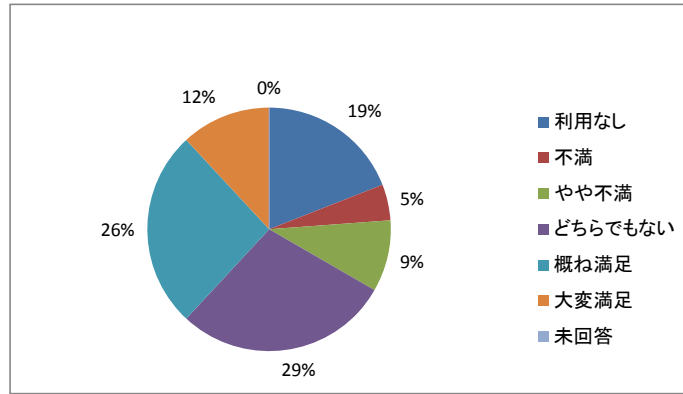
選択肢	回答
利用なし	2
不満	2
やや不満	4
どちらでもない	12
概ね満足	12
大変満足	10
未回答	0





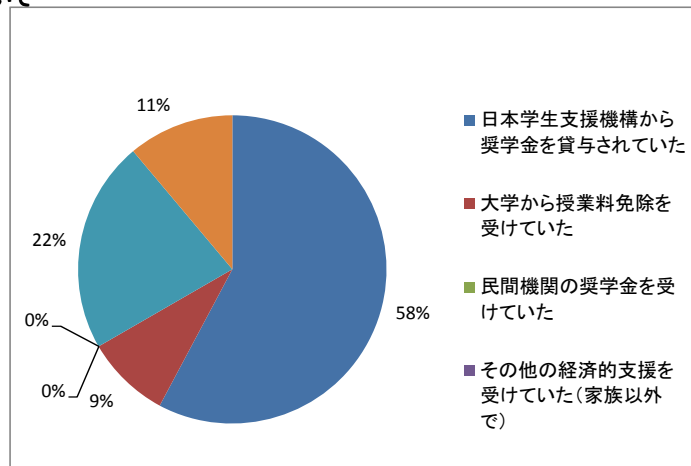
② 先輩弁護士によるサポート

選択肢	回答
利用なし	8
不満	2
やや不満	4
どちらでもない	12
概ね満足	11
大変満足	5
未回答	0



問13 大学院在学中の経済的支援について

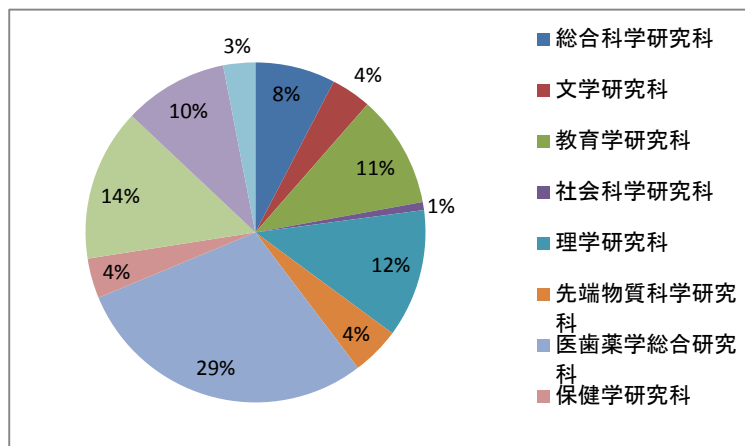
選択肢	13集計
日本学生支援機構から奨学金を貸与されていた	26
大学から授業料免除を受けていた	4
民間機関の奨学金を受けていた	0
その他の経済的支援を受けていた(家族以外)	0
公的な経済的支援は受けていなかった	10
未回答	5



## 平成24年度大学院課程教育修了時アンケート集計結果<全学共通項目>(博士課程後期)

### ○所属研究科

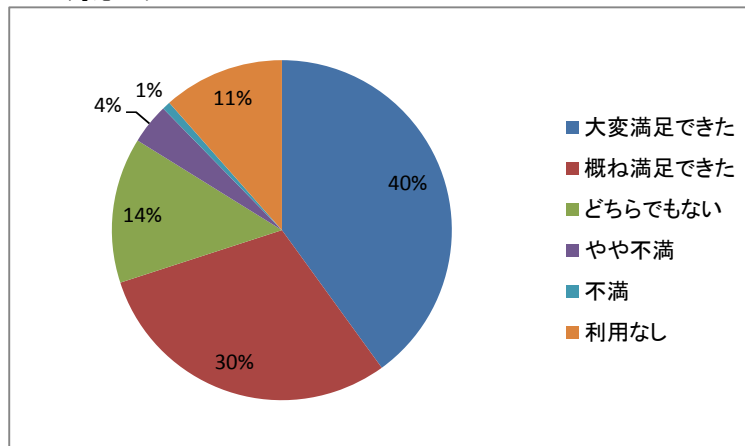
総合科学研究科	10
文学研究科	5
教育学研究科	14
社会科学研究科	1
理学研究科	16
先端物質科学研究科	6
医歯薬学総合研究科	38
保健学研究科	5
工学研究科	19
生物圏科学研究科	13
国際協力研究科	4



### ○在学中の学生生活に関する満足度について

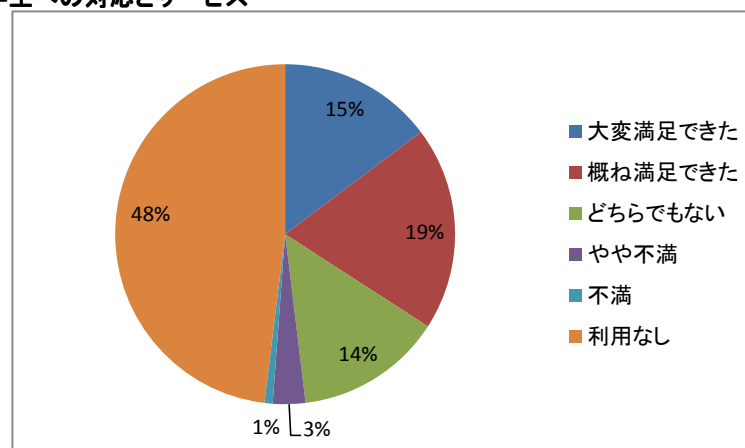
#### 1. 所属研究科の学生支援室での学生への対応とサービス

大変満足できた	52
概ね満足できた	39
どちらでもない	18
やや不満	5
不満	1
利用なし	15



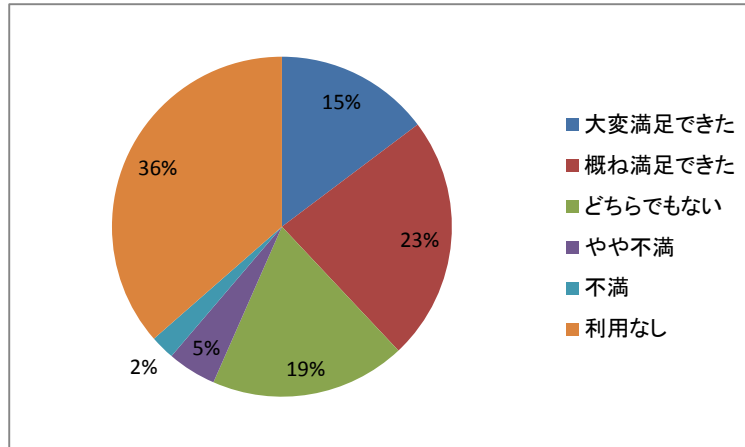
#### 2. 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービス

大変満足できた	19
概ね満足できた	25
どちらでもない	18
やや不満	4
不満	1
利用なし	62



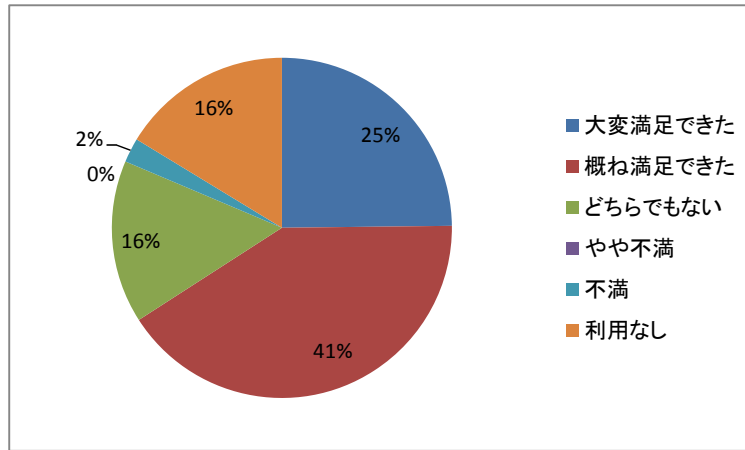
### 3. 保健管理センターでの対応とケア

大変満足できた	19
概ね満足できた	30
どちらでもない	24
やや不満	6
不満	3
利用なし	47



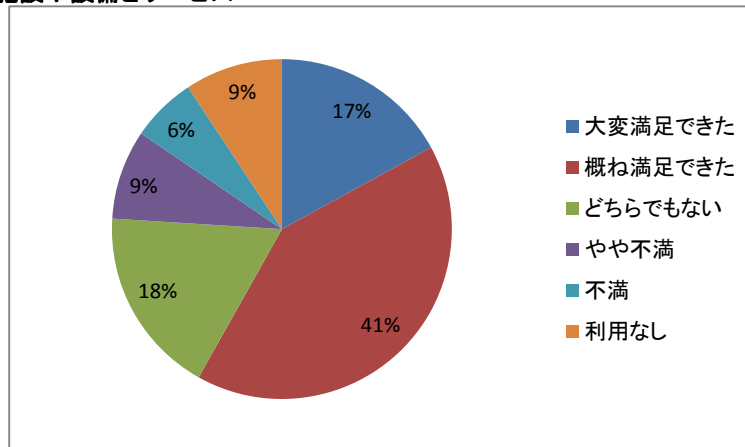
### 4. 図書館での対応やサービス

大変満足できた	32
概ね満足できた	53
どちらでもない	20
やや不満	0
不満	3
利用なし	21



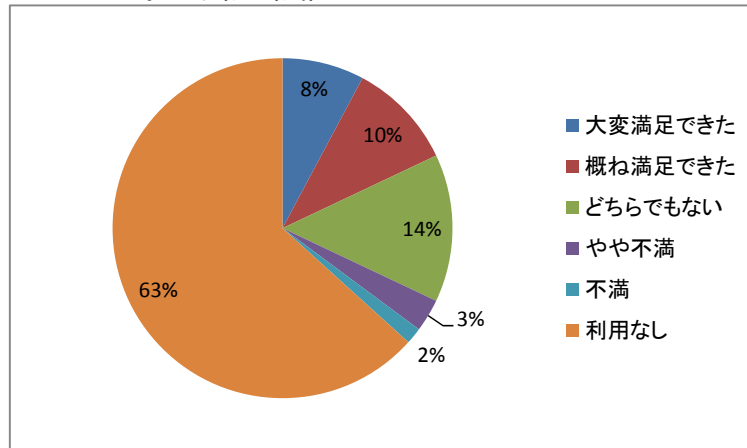
### 5. 福利厚生施設(食堂や売店等)の施設や設備とサービス

大変満足できた	22
概ね満足できた	53
どちらでもない	23
やや不満	11
不満	8
利用なし	12



## 6. 課外活動施設(グラウンドや体育館、テニスコート等)の施設や設備

大変満足できた	10
概ね満足できた	13
どちらでもない	18
やや不満	4
不満	2
利用なし	81



## 7. 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容

大変満足できた	16
概ね満足できた	32
どちらでもない	33
やや不満	6
不満	1
利用なし	41

